# 路上喫煙状況等調査報告書

平成２６年３月

川 口 市

# 目次


**Ⅰ．調査の概要** ..... 3
１．路上部分における飲料容器等の散乱状況の調査 ..... 3
１－１．調査地域 ..... 3
１－２．調査対象物・分類 ..... 3
１－３．調査時間 ..... 4
１－４．調査の実施方法 ..... 4
２．路上部分における喫煙状況の調査 ..... 4
２－１．調査地域 ..... 4
２－２．調査対象 ..... 4
２－３．調査時間 ..... 4
２－４．調査の実施方法 ..... 4
**Ⅱ．調査の結果** ..... 16
１．調査日程及び調査の流れ ..... 16
２．路上部分における飲料容器等の散乱状況の調査結果 ..... 17
２－１．各調査地域の平均散乱ごみ個数 ..... 17
２－２．過去の調査との比較 ..... 24
２－３．地域別の散乱ごみ個数の集計結果及び分析 ..... 31
２－４．地域別のたばこの吸い殻個数の集計結果及び分析 ..... 86
３．路上における喫煙状況の調査結果 ..... 141
３－１．平均喫煙者数の地域比較 ..... 141
３－２．喫煙率の推移 ..... 143
３－３．地域別の集計結果及び分析 ..... 146
３－４．指定喫煙場所における喫煙状況 ..... 188
**Ⅲ．考察** ..... 191
資料編 ..... **エラー! ブックマークが定義されていません。**

# Ⅰ．調査の概要

この調査では、「川口市路上喫煙の防止等に関する条例」第７条第１項の規定に基づいて指定された路上喫煙禁止地区及び禁止地区周辺、並びにその他の市内各駅周辺におけるたばこの吸い殻、飲料容器等の散乱状況及び、路上喫煙者の状況等を分析し、禁止地区指定をはじめとする条例の効果、課題について考察した。

これまで、この目的のための調査は、平成 16 年度、平成 17 年度、平成 20 年度（ＪＲ駅のみ）の３回実施されており、今回で４回目となる。この調査では、こうした過去の調査結果との比較も行った。

なお、平成 23 年の鳩ヶ谷市との合併にともない、これまでの調査地域に加え、今回の調査からＳＲ鳩ヶ谷駅と南鳩ヶ谷駅周辺も調査地域とした。

## １．路上部分における飲料容器等の散乱状況の調査

### １－１．調査地域

川口市内にある東日本旅客鉄道株式会社（ＪＲ）及び埼玉高速鉄道株式会社（ＳＲ）の駅周辺 9 駅 11 地域を調査地域とした（図表 1-3～13）。

具体的には、調査地域の歩道部分を調査対象とした。ただし、車道に路側帯がある場合は、そのエリアも対象とした。また、歩道と車道の境が明確でない道路や、商店街など歩行者がメインの道路については、歩道と車道の区別をせず道路全面を調査した。

調査地域とした駅名及び各調査地域の調査した歩道の総延長を図表 1-1 に示す。

**図表 1-1　調査駅名及び調査した歩道等の総延長**

| | ＪＲ駅周辺 | ＳＲ駅周辺 |
|---|---|---|
| 駅名 | 川口駅東口（7.3km） | 川口元郷駅(2.5km) |
| | 川口駅西口(5.6km) | 南鳩ヶ谷駅（4.9km） |
| | 西川口駅東口(4.1km) | 鳩ヶ谷駅（5.0km） |
| | 西川口駅西口（1.7km） | 新井宿駅(1.5km) |
| | 蕨駅東口(3.0km) | 戸塚安行駅（2.2km） |
| | 東川口駅(4.2km) | |

※　川口駅、西川口駅は、「東口」「西口」と２エリアに調査地域を分けて実施した。

### １－２．調査対象物・分類

調査対象物は、調査地域内に落ちている散乱ごみとし、びん、かん、ペットボトル、たばこの吸い殻、ガムの噛みかす、紙くず、その他の散乱ごみの７分類で調査した。

不法投棄のごみ、ごみの集積所に出された家庭系ごみ、犬猫のフン、落ち葉等は対象外とした。また、放置自転車のかごの中に捨てられているごみや、黒いシミになってしまったガムの噛みかすについても対象外とした。

### １－３．調査時間

調査は各調査地域で、平日及び休日（土・日・祝日）各１日（計２日)、午前 10 時～午後 4 時の間に実施した。

### １－４．調査の実施方法

調査範囲を 10m ごとのメッシュに区切り、各メッシュ内の路上部分及び植栽部分にある調査対象物の数を分類ごとに目視でカウントした。植栽部分については、路上から目視可能な範囲でカウントした。

なお、駅前の広場や川口西公園（川口駅西口）など公園等は平面であり、距離を測る方向が特定できないため、おおむね 10m四方になるようにメッシュに区切り、これを 10mとした。

## ２．路上部分における喫煙状況の調査

### ２－１．調査地域

散乱状況の調査同様に、川口市内にあるＪＲ及びＳＲの 9 駅 11 地域内の 77 地点（うち、指定喫煙場所数 7）とした。図表 1-2 には、各調査地域の調査地点数を示す。具体的な調査地点は、図表 1-3～13 に示した。

**図表 1-2　調査地点数**

| 調査駅名 | | 調査地点数 |
|---|---|---|
| 川口駅 | 東口 | 20（2） |
| | 西口 | 10（2） |
| 西川口駅 | 東口 | 7 |
| | 西口 | 5 |
| 蕨駅 | | 2 |
| 東川口駅 | | 12（3） |
| 川口元郷駅 | | 3 |
| 南鳩ヶ谷駅 | | 4 |
| 鳩ヶ谷駅 | | 6 |
| 新井宿駅 | | 3 |
| 戸塚安行駅 | | 5 |
| 計 | | 77（7） |

（　）内は指定喫煙場所数（うち数）

### ２－２．調査対象

各調査地点を通過する歩行者及び自転車運転者の数、路上部分における喫煙者の数を調査した。ただし、指定喫煙場所においては利用者数とした。

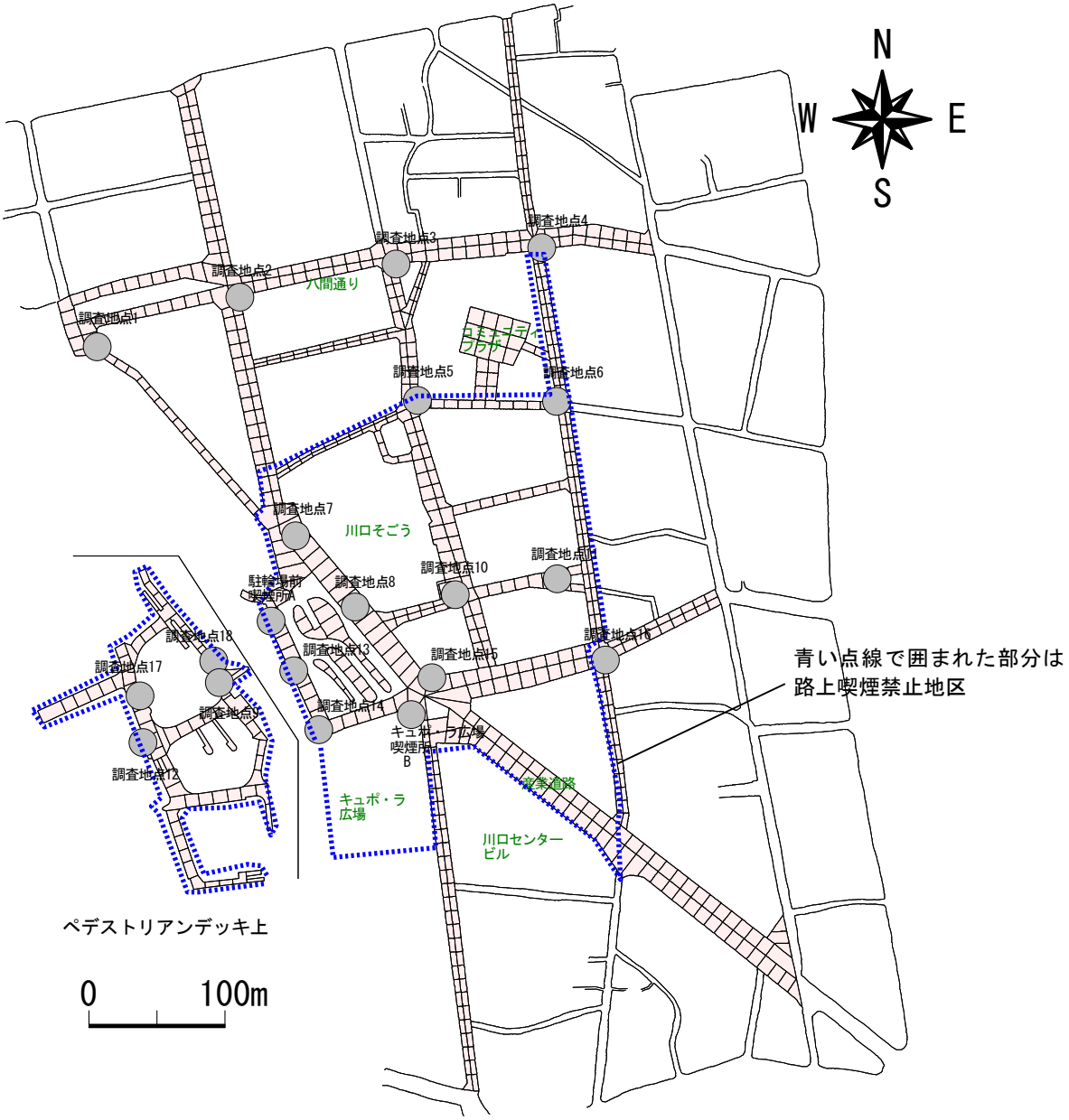
### ２－３．調査時間

各調査地点で、平日及び休日（土・日・祝日）各 1 日（計 2 日）の朝（8 時から 9 時)、昼（12 時 30 分から 13 時 30 分）及び夕方（16 時から 17 時）の 3 回実施した。

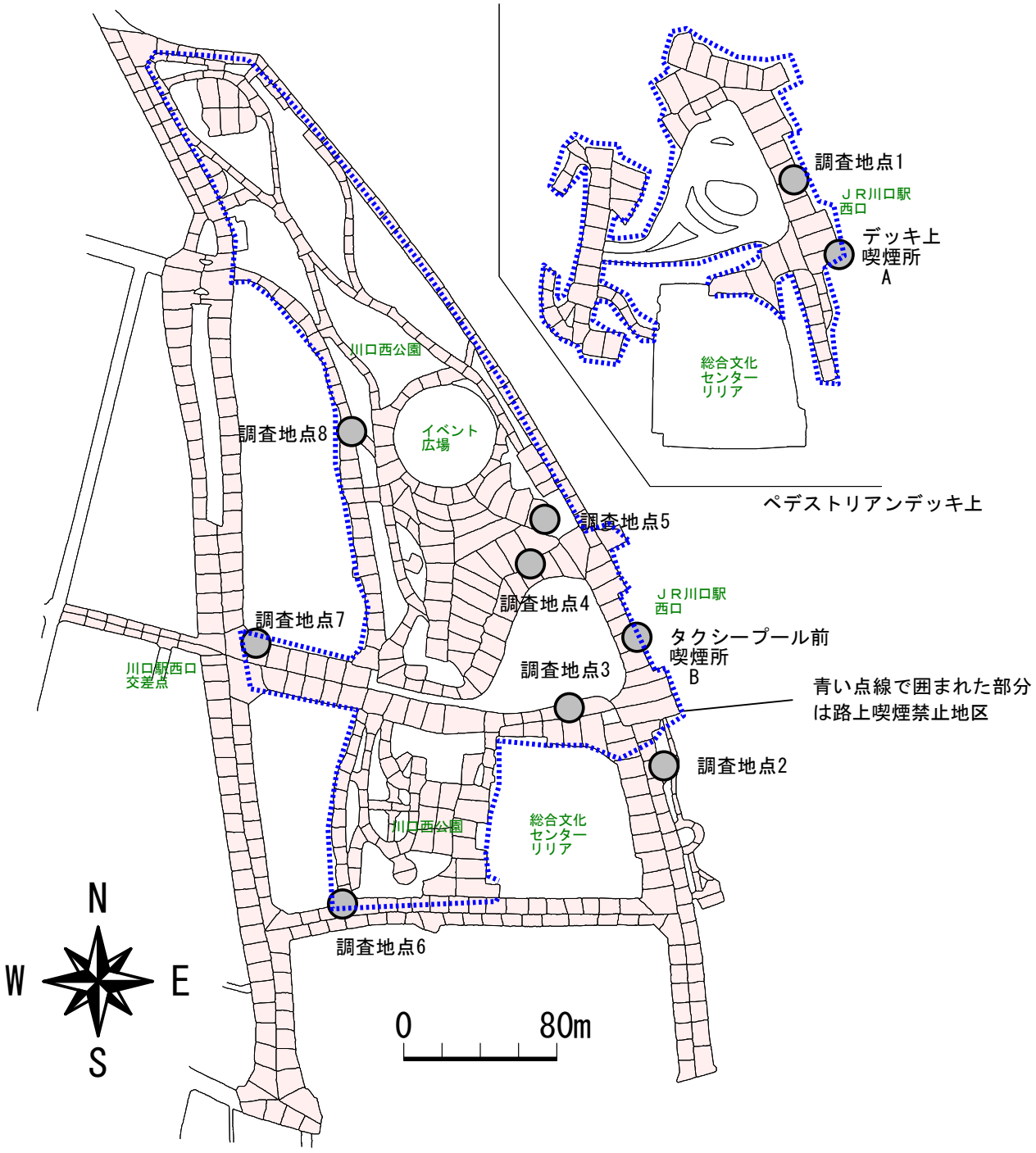
### ２－４．調査の実施方法

調査地点において、目視により通過する調査対象者または利用者の数を数えた。

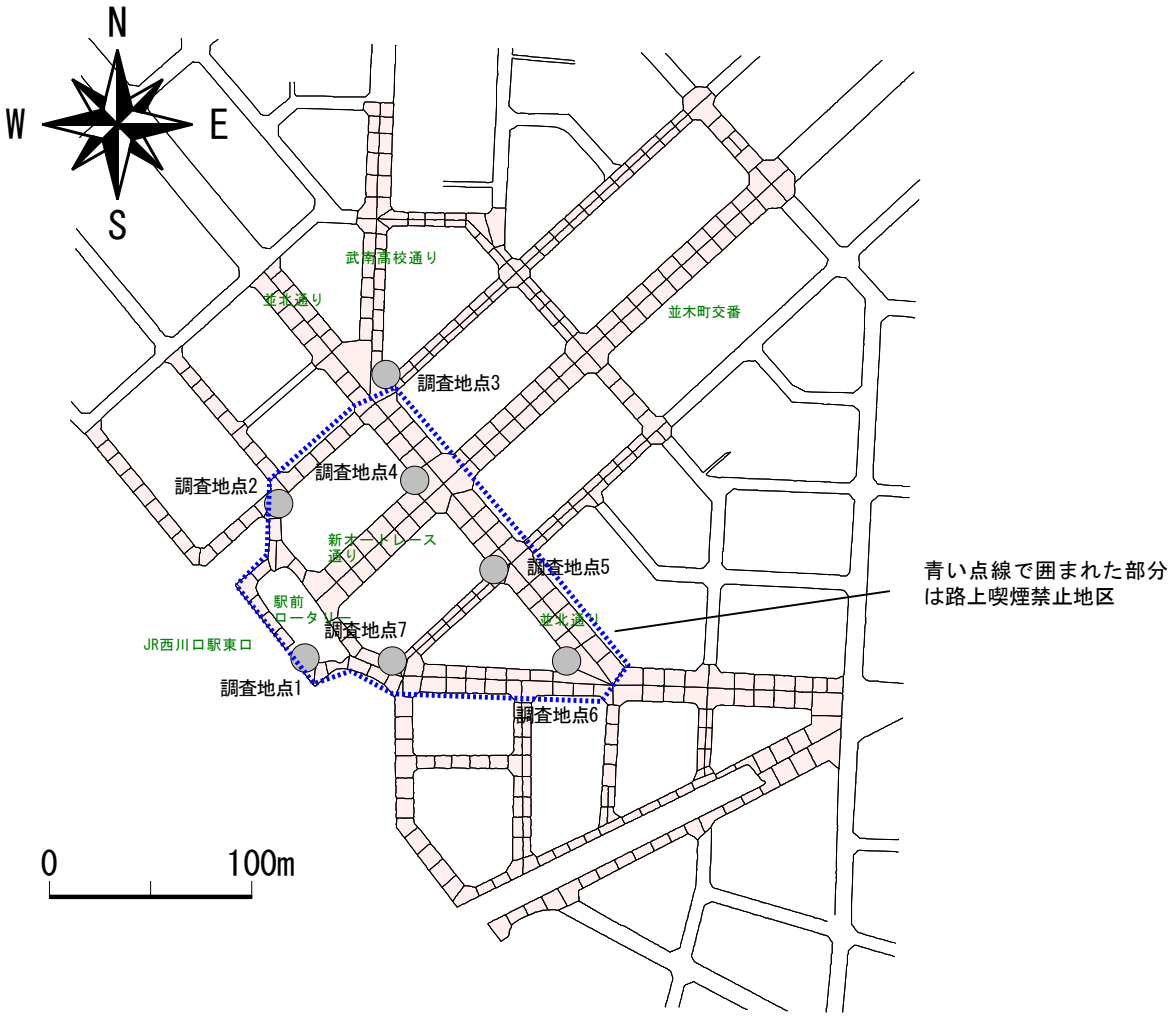
図表 1-3　調査地域（川口駅東口）



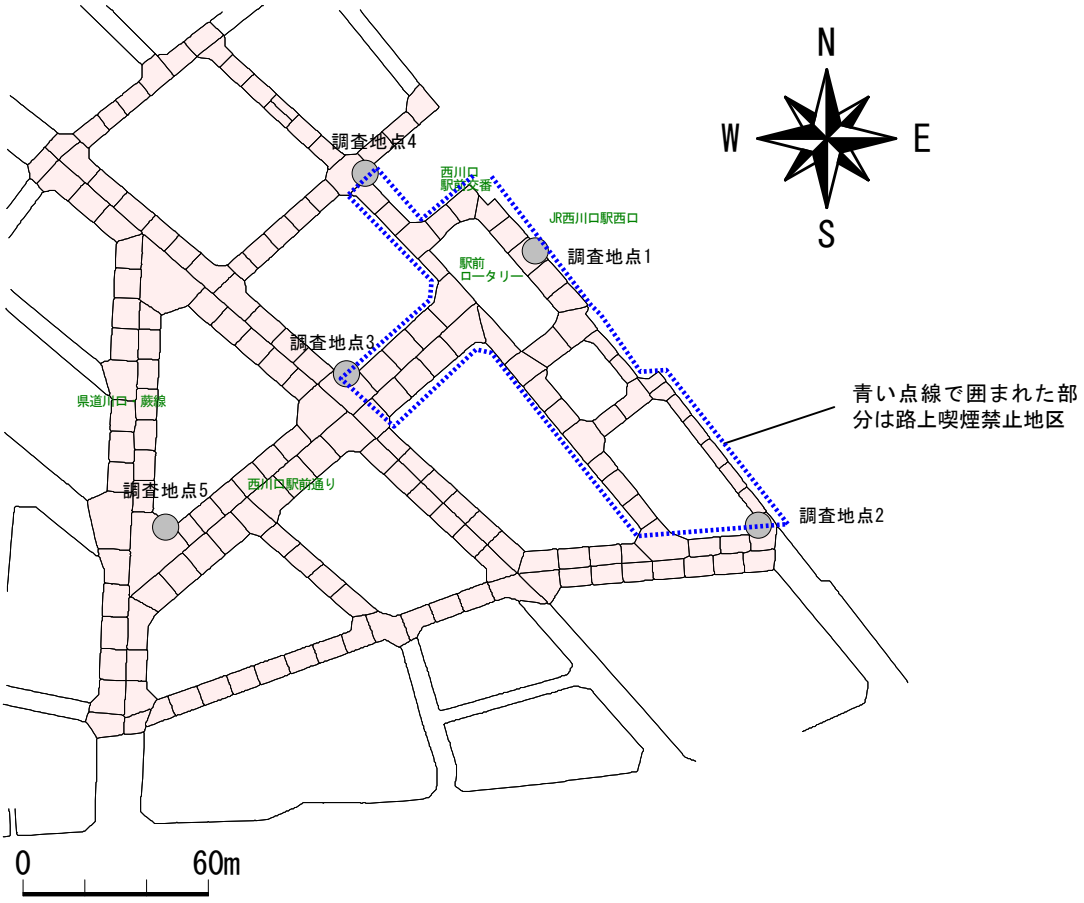
図表 1-4　調査地域（川口駅西口）



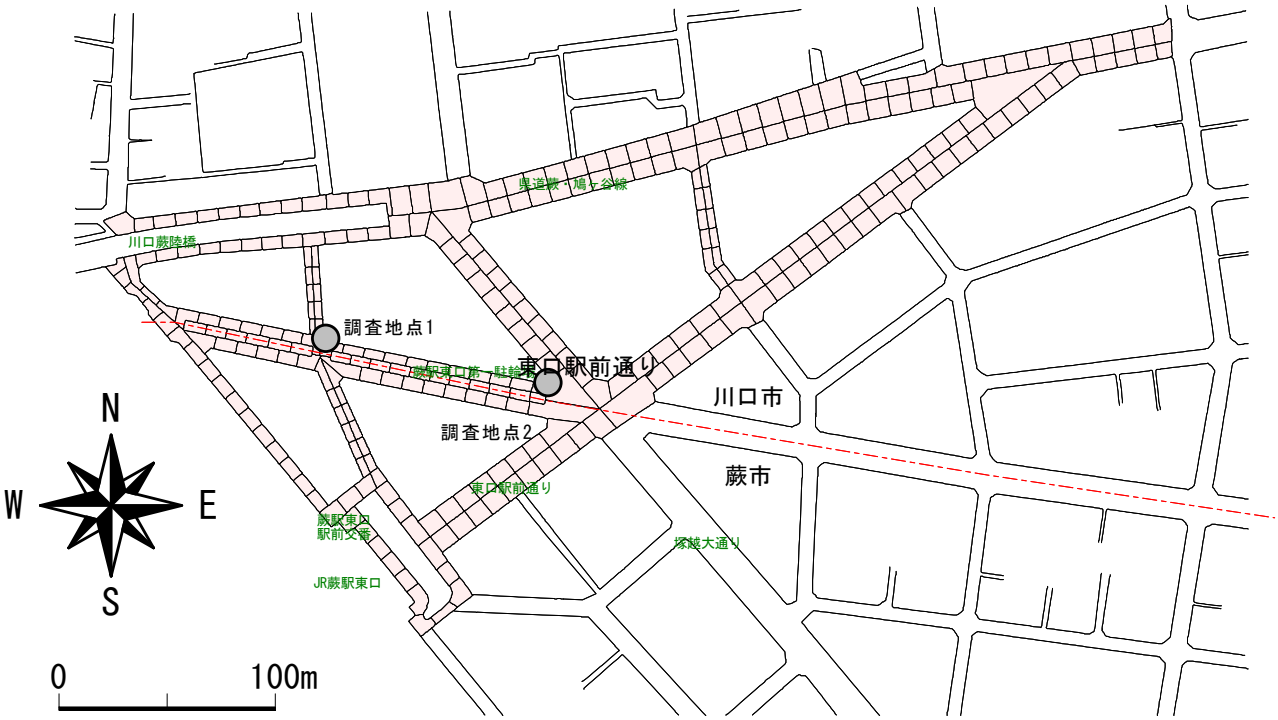
図表 1-5　調査地域（西川口駅東口）



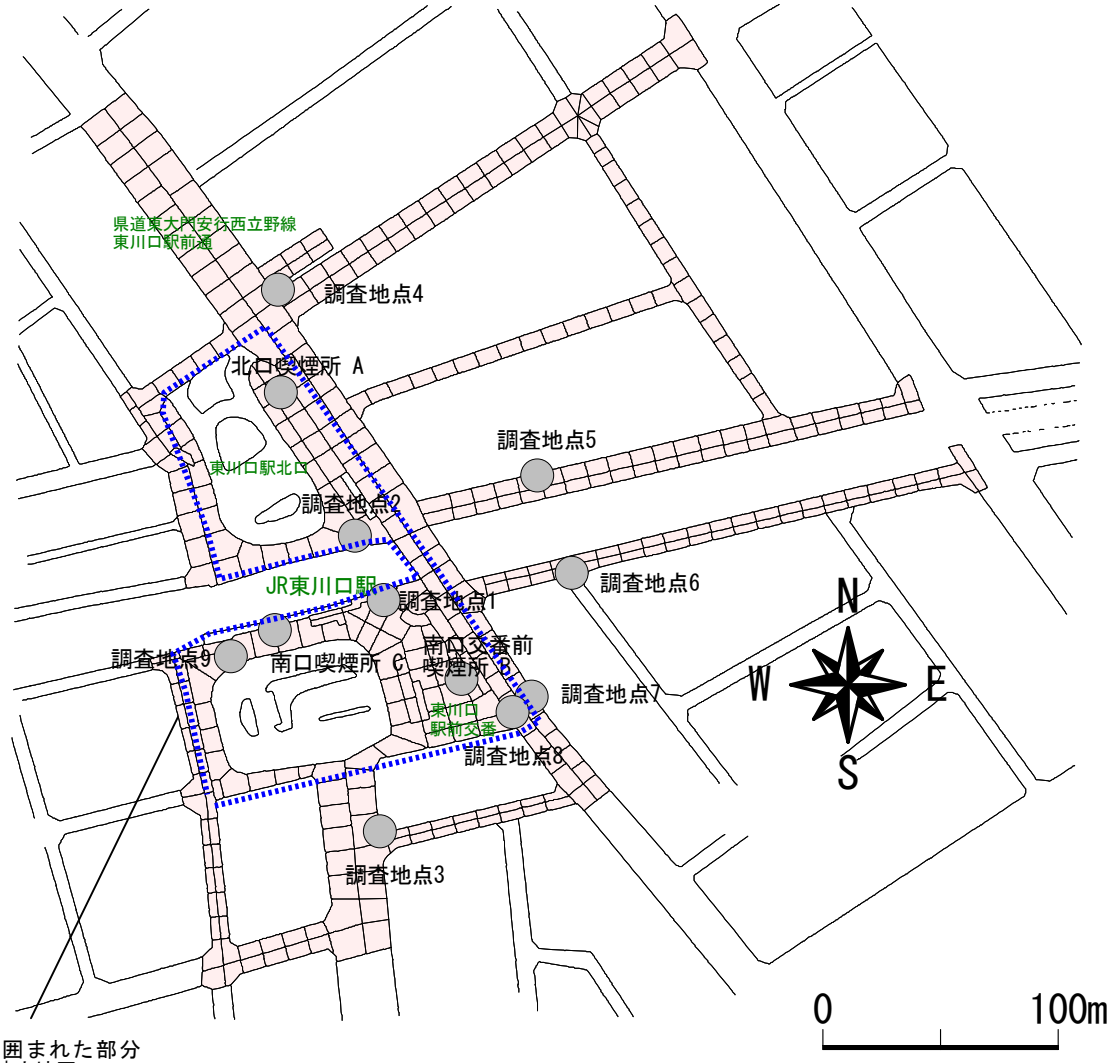
図表 1-6　調査地域（西川口駅西口）



図表 1-7　調査地域（蕨駅）

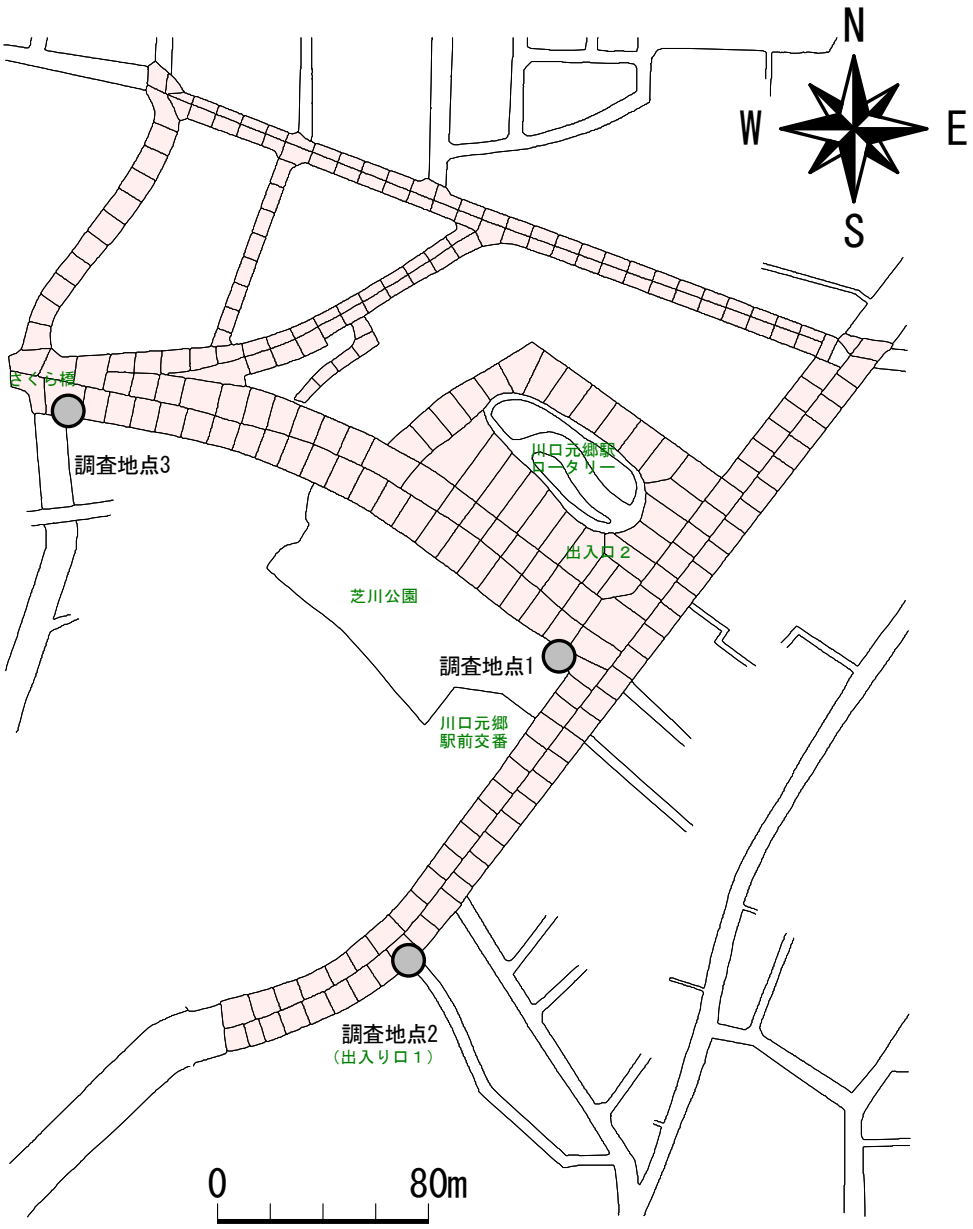

国道298号 鳩ヶ谷線
川口蕨陸橋
調査地点1
蕨駅東口第一駐輪場
東口駅前通り
川口市
調査地点2
蕨市
東口駅前通り
蕨駅東口
駅前交番
塚越大通り
JR蕨駅東口
N
W
E
S
0
100m

図表 1-8　調査地域（東川口駅）

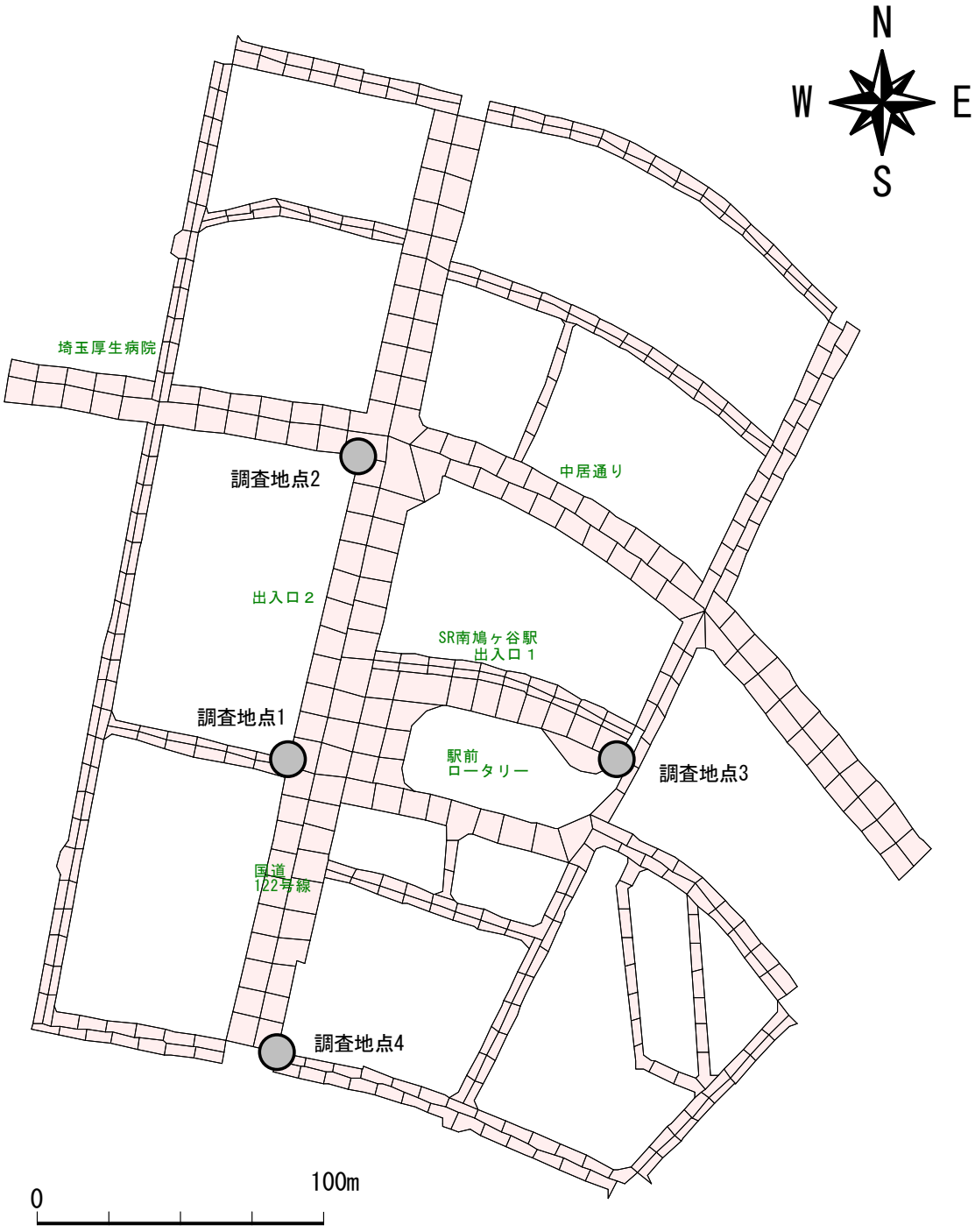



青い点線で囲まれた部分
は路上喫煙禁止地区

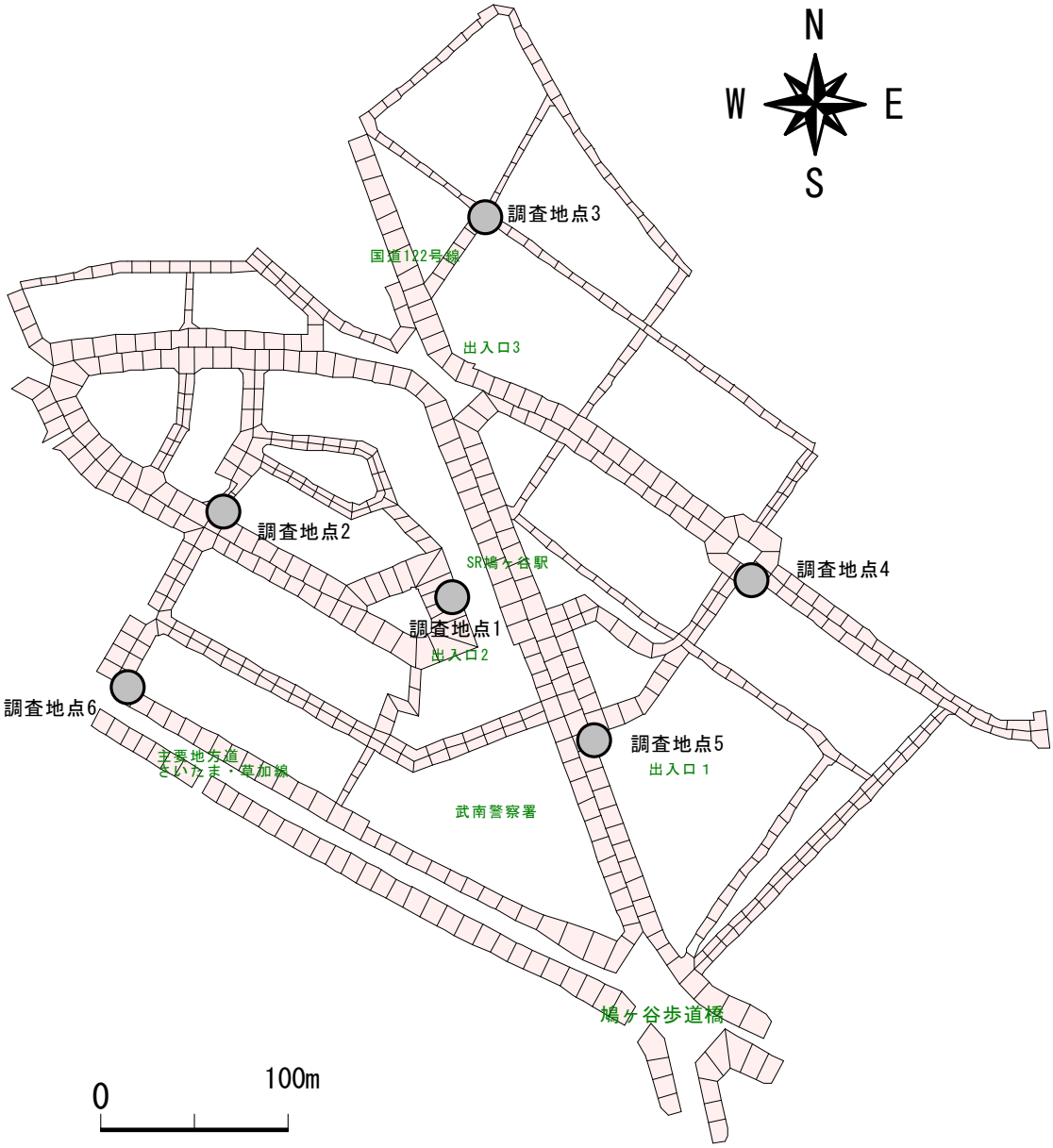
図表 1-9　調査地域（川口元郷駅）



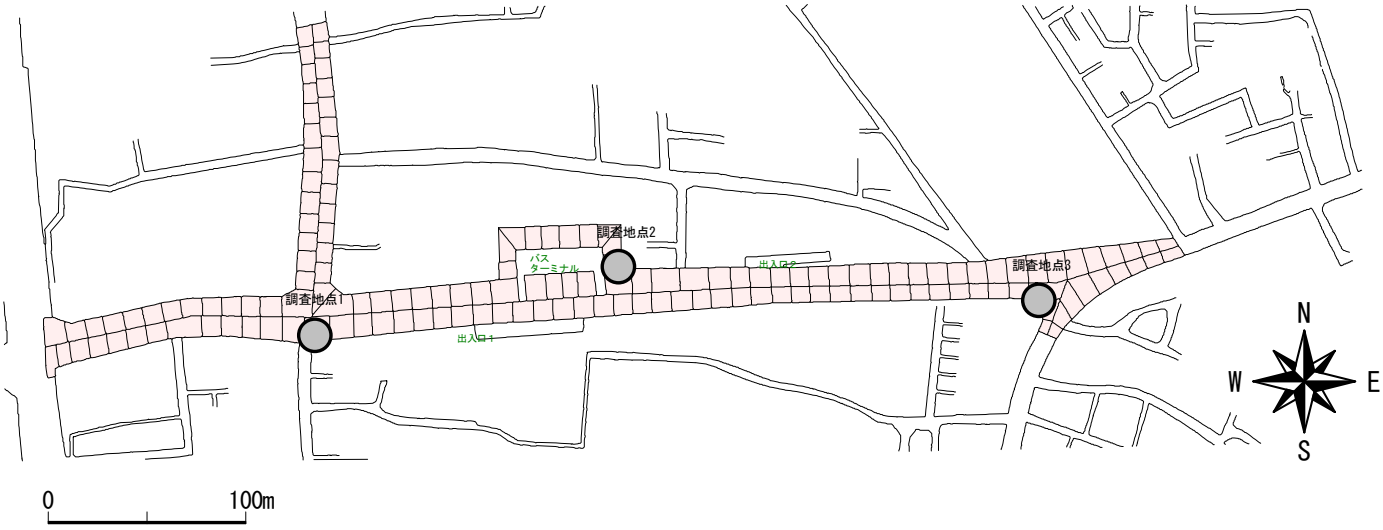
図表 1-10　調査地域（南鳩ヶ谷駅）



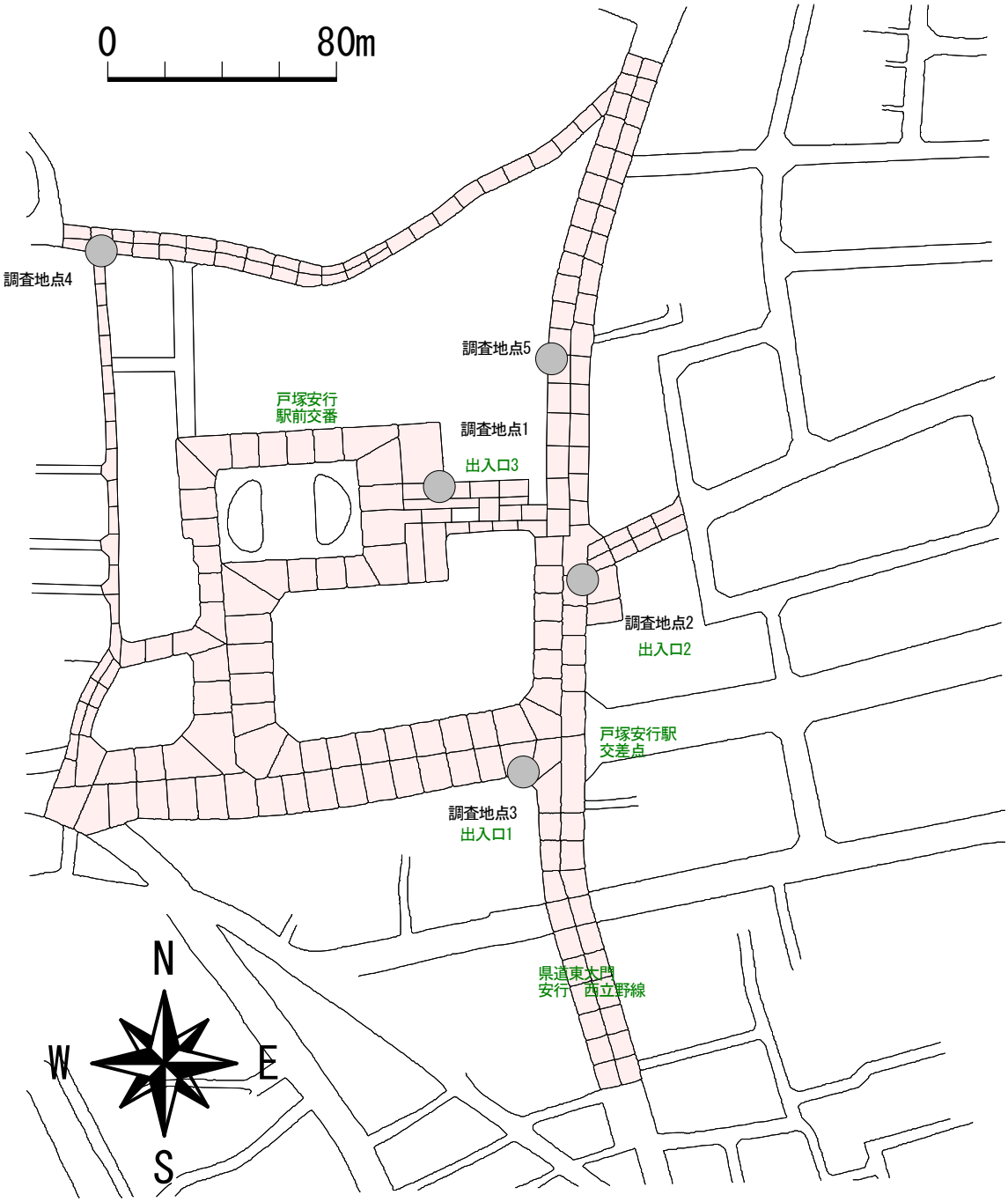
図表 1-11　調査地域（鳩ヶ谷駅）



図表 1-12　調査地域（新井宿駅）



図表 1-13　調査地域（戸塚安行駅）



# Ⅱ．調査の結果

## １．調査日程及び調査の流れ

「路上における飲料容器等の散乱状況の調査」及び「路上における喫煙状況の調査」は、各調査地域において同一の日に実施した（ただし、東川口駅の指定喫煙所利用者数は平成 26 年 3 月 9 日（日）と 10 日（月））。

以下、図表 2－1 に調査の日程及び調査時の天候を示す。

**図表 2-1　調査の日程及び調査時の天候**

| 調査日 | 天気 | 駅名 | 駅名 | 駅名 | 駅名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 11 月 2 日（土） | 曇 | 川口駅東口<br>(7.3km) | | | |
| 11 月 3 日(日・祝) | 晴 | 川口駅西口<br>(5.6km) | 西川口駅東口<br>(4.1km) | 蕨駅東口<br>(3.0km) | |
| 11 月 4 日(月・振) | 雨 | 鳩ヶ谷駅<br>(5.0km) | 西川口駅西口<br>(1.7km) | 南鳩ヶ谷駅<br>(4.9km) | 戸塚安行駅<br>(2.2km) |
| 11 月 5 日（火） | 晴 | 川口駅東口 | | | |
| 11 月 6 日（水） | 晴 | 川口駅西口 | 西川口駅東口 | 蕨駅東口 | |
| 11 月 7 日（木） | 雨 | 鳩ヶ谷駅 | 西川口駅西口 | 南鳩ヶ谷駅 | 戸塚安行駅 |
| 11 月 8 日（金） | 晴 | 東川口駅<br>(4.2km) | 川口元郷駅<br>(2.5km) | 新井宿駅<br>(1.5km) | |
| 11 月 9 日（土） | 曇 | 東川口駅 | 川口元郷駅 | 新井宿駅 | |

※着色した日は休日を示す。

各調査日の調査の流れは以下の図表 2-2 の通りである。

**図表 2-2　調査の流れ**

| 時間 | 内容 |
|---|---|
| ８：００～０９：００ | 喫煙状況の調査（朝） |
| １０：００～１２：３０ | 散乱状況の調査 |
| １２：３０～１３：３０ | 喫煙状況の調査（昼） |
| １３：３０～１６：００ | 散乱状況の調査 |
| １６：００～１７：００ | 喫煙状況の調査（夕方） |

## ２．路上部分における飲料容器等の散乱状況の調査結果

本調査結果の数値に関しては端数処理をしているため、合計が一致しない場合がある。

### ２－１．各調査地域の平均散乱ごみ個数

本調査では、散乱ごみの調査地域を 10mごとのメッシュに区切り、各メッシュ内の路上部分及び植栽部分を分けて調査対象物をカウントした。調査結果は、路上部分のみの集計結果、路上部分及び植栽部分をあわせた集計結果の２種類を示す。各集計結果に関しては、以下のように解釈することができると考える。

**【路上部分のみの散乱ごみ】**

駅周辺の路上部分の散乱ごみは、行政によって、高い頻度で清掃されている（図表 2-3)。また、多くの市民・事業者が、日常的に清掃活動をしているほか、市民団体が場所と日時を決めて清掃活動を実施しているケースもある。

そのため、路上部分で観察される散乱ごみは、すぐに清掃されることが多いと考えられ、集計した散乱ごみ個数は、その地域で投げ捨てられるごみの個数と清掃活動の頻度に影響されていると考えられる。

清掃活動をする地元商店主
（西川口駅東口）

**図表 2-3　行政による清掃活動の概要**　　**（川口市廃棄物対策課まとめ）**

| 所管 | 場所 | 人員 | 頻度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 廃棄物対策課 | 川口駅前東西 | 2 名 | 毎日 | |
| | 西川口駅前東西 | 2 名 | 月 20 日間、月曜～金曜 | |
| 道路維持課 | 川口駅デッキ上 | 3 名 | 毎日（1 日 2 回） | |
| | 東川口駅前南北 | 2 名 | 月 20 日間 | 午前 7～11 時 |
| | 埼玉高速鉄道線沿線（南鳩ヶ谷駅東口、鳩ヶ谷駅東口、戸塚安行駅周辺） | 各駅 2 名 | 月 8 日 | 午前 7～11 時 |
| 川口公園緑地公社 | 川口西公園 | 3～6 名 | 毎日 | 午前 7～午後 4 時 |
| 川口オート | 西川口駅東口 | | 開催日 | 車券等を清掃 |
| 戸田ボート | 川口駅西口 | 5～7 名 | 開艇日・チケット場外発売日（平成 24 年は年間 249 日） | 午前中約 1 時間 |

**【路上部分及び植栽部分をあわせた散乱ごみ】**

植栽部分は路上部分と異なり、清掃が十分に行き届かないケースも多いと考えられ、長期間にわたるごみの堆積がある場合があり、注意する必要がある。

### （１）路上部分のみの集計結果

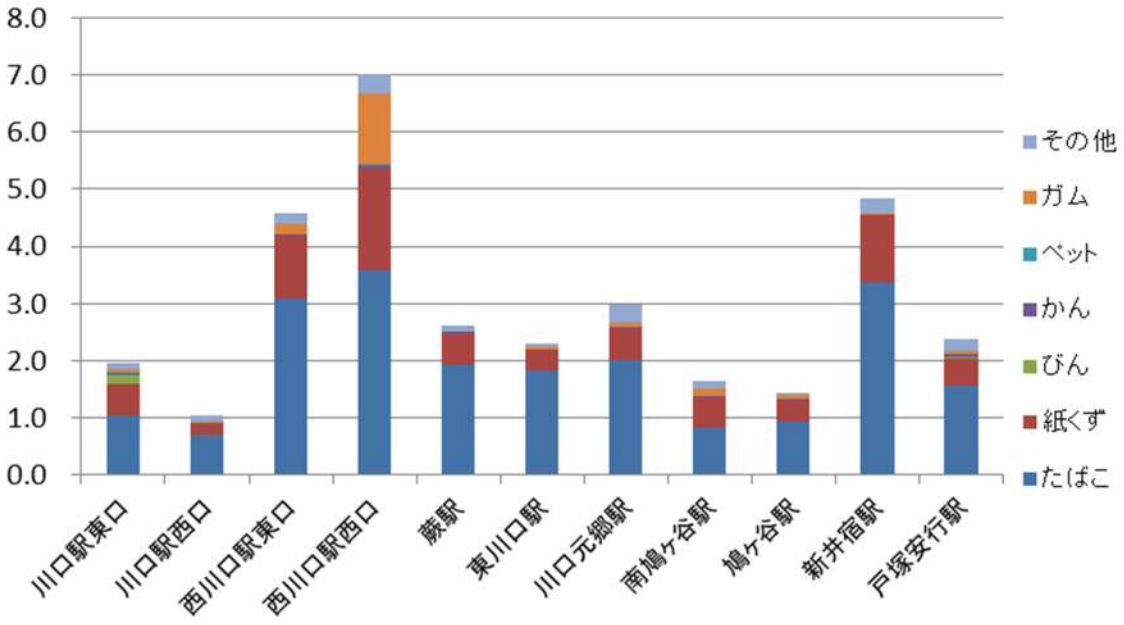
平日及び休日の各調査地域における 10m当たりの路上部分のみの平均散乱ごみ個数を以下の図表 2-4～5 に示す。

全調査地域の散乱ごみ平均構成比を見ると、路上部分では、たばこの吸い殻が平日休日とも全体の 6 割を超えている。次いで、紙くずが 2 割台（平日 23.3%、休日 26.7%）と多かった。飲料容器の中では、平日では、びんが 0.6%・ペットが 0.2%に対し、かんが 0.9%、休日では、びんが 0.3%・ペットが 0.4%に対し、かんが 1.0%と、かんの散乱が多かった。

散乱ごみの平均個数は、平日では、西川口駅西口、新井宿駅、西川口駅東口の順で多かった。休日では、新井宿駅、西川口駅西口、西川口駅東口の順で多かった。全体的には、休日の方がごみの個数が多かった。

図表 2-4　平日の散乱ごみの平均個数（路上部分のみ）　（個／10m）

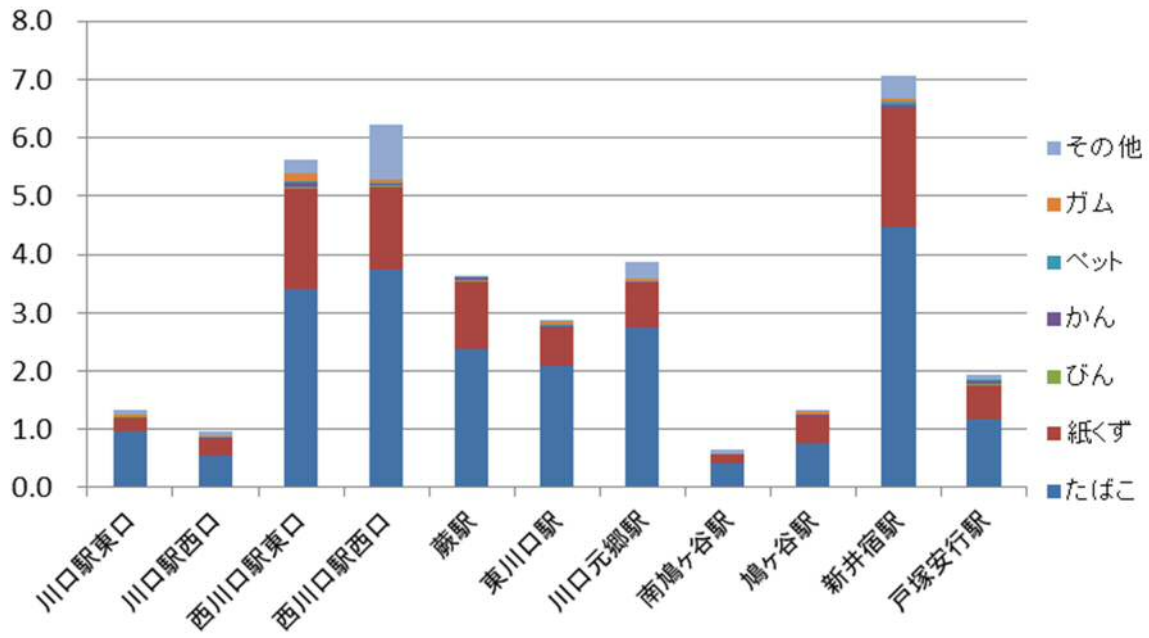
| | 路上部分のみ | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | たばこ | 紙くず | びん | かん | ペット | ガム | その他 | 合計 |
| 川口駅東口 | 1.1 | 0.5 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 2.0 |
| 川口駅西口 | 0.7 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.1 |
| 西川口駅東口 | 3.1 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | 4.6 |
| 西川口駅西口 | 3.6 | 1.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.2 | 0.3 | 7.0 |
| 蕨駅 | 1.9 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 2.6 |
| 東川口駅 | 1.8 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 2.3 |
| 川口元郷駅 | 2.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 3.0 |
| 南鳩ヶ谷駅 | 0.8 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 1.6 |
| 鳩ヶ谷駅 | 0.9 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.4 |
| 新井宿駅 | 3.4 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 4.8 |
| 戸塚安行駅 | 1.6 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 2.4 |
| 平均 | 1.9 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | 3.0 |
| 平均構成比 | 63.7% | 23.3% | 0.6% | 0.9% | 0.2% | 5.6% | 5.8% | 100.0% |




平日の散乱ごみの平均個数（路上部分のみ）

図表 2-5　休日の散乱ごみの平均個数（路上部分のみ）　（個／10m）

| | 路上部分のみ | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | たばこ | 紙くず | びん | かん | ペット | ガム | その他 | 合計 |
| 川口駅東口 | 1.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.3 |
| 川口駅西口 | 0.5 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.0 |
| 西川口駅東口 | 3.4 | 1.7 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 5.6 |
| 西川口駅西口 | 3.7 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.0 | 6.2 |
| 蕨駅 | 2.4 | 1.2 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 |
| 東川口駅 | 2.1 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 2.9 |
| 川口元郷駅 | 2.8 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 3.9 |
| 南鳩ヶ谷駅 | 0.4 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.7 |
| 鳩ヶ谷駅 | 0.7 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.3 |
| 新井宿駅 | 4.5 | 2.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.4 | 7.1 |
| 戸塚安行駅 | 1.2 | 0.6 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.9 |
| 平均 | 2.1 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 3.2 |
| 平均構成比 | 63.9% | 26.7% | 0.3% | 1.0% | 0.4% | 1.2% | 6.5% | 100.0% |




休日の散乱ごみの平均個数（路上部分のみ）

### （２）植栽部分を含めた調査地域の集計結果

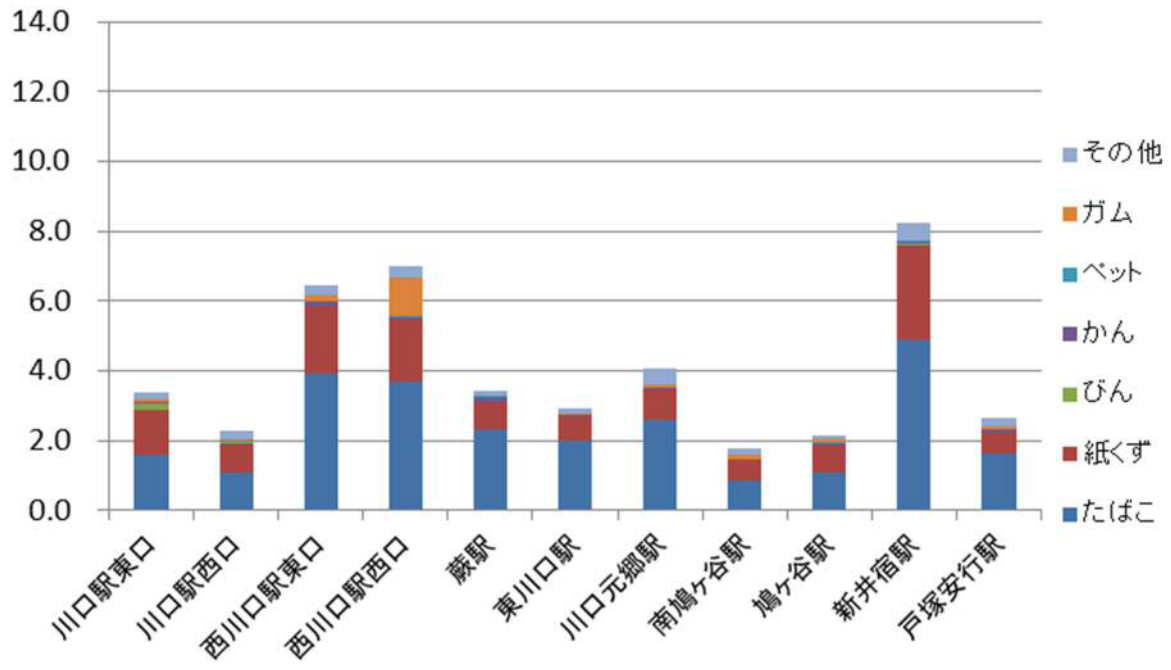
平日及び休日の各調査地域における植栽部分を含めた10m当たりの平均散乱ごみ個数を図表2-6～7に示す。

植栽部分を含めた全調査地域の散乱ごみ平均構成比を見ると、たばこの吸い殻が、平日休日とも散乱ごみ全体の約半数を超えており、一方で紙くずが 30%前後、かんが 2%程度と路上部分のみの場合と比べるとやや高い傾向にあった。

散乱ごみの平均個数は、平日では新井宿駅、西川口駅西口、西川口駅東口の順で多かった。休日では新井宿駅、西川口駅東口、西川口駅西口の順で多かった。

図表 2-6　平日の散乱ごみの平均個数（路上部分＋植栽部分）　　（個／10m）

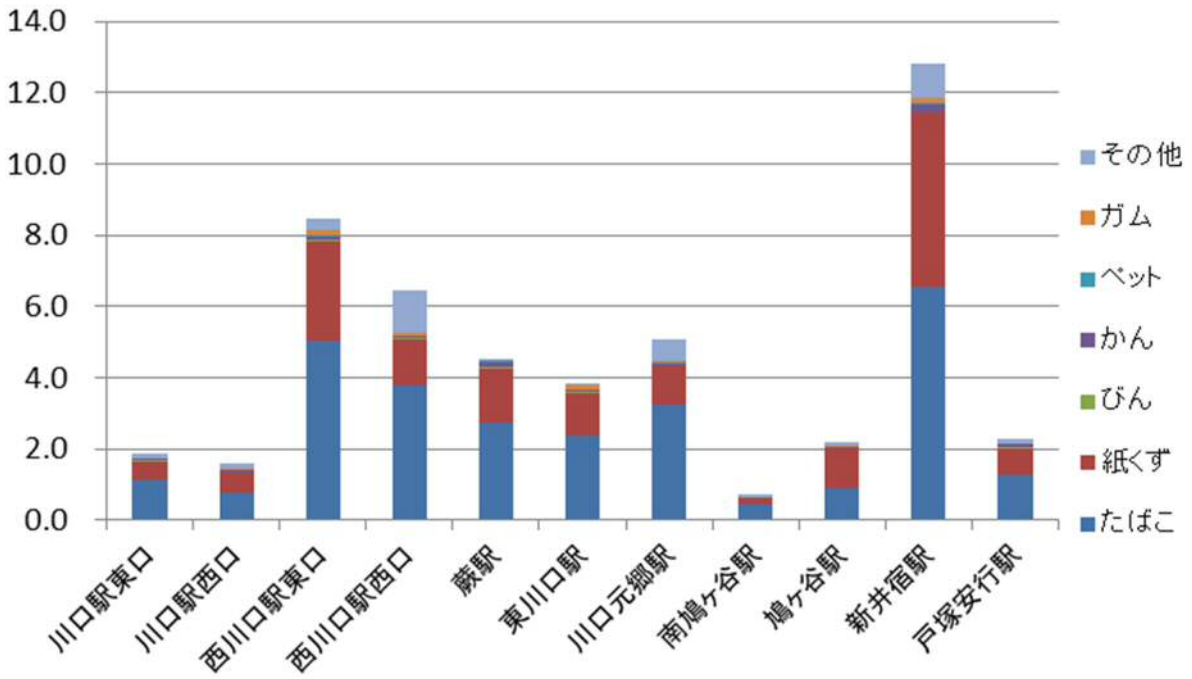
| | 路上部分＋植え込み | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | たばこ | 紙くず | びん | かん | ペット | ガム | その他 | 合計 |
| 川口駅東口 | 1.6 | 1.3 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 3.4 |
| 川口駅西口 | 1.1 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 2.3 |
| 西川口駅東口 | 3.9 | 1.9 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.3 | 6.5 |
| 西川口駅西口 | 3.7 | 1.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.1 | 0.3 | 7.0 |
| 蕨駅 | 2.3 | 0.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 3.4 |
| 東川口駅 | 2.0 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 2.9 |
| 川口元郷駅 | 2.6 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.5 | 4.1 |
| 南鳩ヶ谷駅 | 0.9 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 1.8 |
| 鳩ヶ谷駅 | 1.1 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 2.1 |
| 新井宿駅 | 4.9 | 2.7 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 8.3 |
| 戸塚安行駅 | 1.7 | 0.6 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 2.7 |
| 平均 | 2.4 | 1.2 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.3 | 4.0 |
| 平均構成比 | 58.2% | 28.7% | 0.7% | 1.5% | 0.4% | 4.2% | 6.3% | 100.0% |




平日の散乱ごみの平均個数（路上部分＋植栽部分）

図表 2-7　休日の散乱ごみの平均個数（路上部分＋植栽部分）　　（個／10m）

| | 路上＋植え込み | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | たばこ | 紙くず | びん | かん | ペット | ガム | その他 | 合計 |
| 川口駅東口 | 1.2 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.9 |
| 川口駅西口 | 0.8 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 1.6 |
| 西川口駅東口 | 5.0 | 2.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 8.5 |
| 西川口駅西口 | 3.8 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.2 | 6.5 |
| 蕨駅 | 2.7 | 1.5 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.5 |
| 東川口駅 | 2.4 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 3.9 |
| 川口元郷駅 | 3.3 | 1.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.6 | 5.1 |
| 南鳩ヶ谷駅 | 0.5 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.7 |
| 鳩ヶ谷駅 | 0.9 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 2.2 |
| 新井宿駅 | 6.5 | 4.9 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.1 | 1.0 | 12.8 |
| 戸塚安行駅 | 1.3 | 0.7 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 2.3 |
| 平均 | 2.6 | 1.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 4.5 |
| 平均構成比 | 56.7% | 31.7% | 0.4% | 1.7% | 0.6% | 1.2% | 7.6% | 100.0% |




休日の散乱ごみの平均個数（路上部分＋植栽部分）

## ２－２．過去の調査との比較

### （１）路上部分のみの集計結果

平日及び休日の各調査地域における路上部分の10m当たりの平均散乱ごみ個数を図表2-8～9に示した。

散乱ごみの合計の平均個数を、これまでの調査と比較すると、平日（路上部分のみ）は、今回の調査では、3.0個であったのに対し、平成20年度は5.3個、平成17年度は3.6個、平成16年度は3.9個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。休日（路上部分のみ）でも、今回の調査では3.2個であったのに対し、平成20年度は6.3個、平成17年度は5.7個、平成16年度は5.9個となっており、過去の調査に比べて少なくなっている。

### （２）植栽部分を含めた調査地域の集計結果

平日及び休日の各調査地域における路上部分及び植栽部分の10m当たりの平均散乱ごみ個数を図表2-10～11に示した。

植栽部分を含めた散乱ごみ合計（路上部分＋植栽部分）の平均個数を、これまでの調査と比較すると、平日は、今回の調査では4.0個であったのに対し、平成20年度は7.3個、平成17年度は5.5個、平成16年度は6.2個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。休日でも、今回の調査では4.5個であったが、平成20年度は8.1個、平成17年度は8.2個、平成16年度は9.0個となっており、過去の調査に比べて少なくなっている。

路上部分＋植栽部分をみても同様に散乱ごみの平均個数の減少傾向がみられる。

図表 2-8　平日の散乱ごみの平均個数（路上部分のみ）（10mあたり個数）

| 調査場所 | 調査年度 | 路上部分 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | たばこ | 紙くず | びん | かん | ペット | ガム | その他 | 合計 |
| 川口駅東口 | 平成16年度 | 1.9 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.3 | 3.0 |
| | 平成17年度 | 2.2 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.3 | 3.5 |
| | 平成20年度 | 3.9 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.9 | 6.0 |
| | 平成25年度 | 1.1 | 0.5 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 2.0 |
| 川口駅西口 | 平成16年度 | 1.8 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | 2.7 |
| | 平成17年度 | 0.6 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.9 |
| | 平成20年度 | 1.4 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.4 | 2.3 |
| | 平成25年度 | 0.7 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.1 |
| 西川口駅東口 | 平成16年度 | 3.4 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.4 | 5.8 |
| | 平成17年度 | 3.9 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.7 | 6.9 |
| | 平成20年度 | 2.0 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.6 | 4.2 |
| | 平成25年度 | 3.1 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | 4.6 |
| 西川口駅西口 | 平成16年度 | 3.8 | 1.3 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.5 | 0.2 | 6.9 |
| | 平成17年度 | 0.6 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 1.1 |
| | 平成20年度 | 6.4 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.9 | 9.2 |
| | 平成25年度 | 3.6 | 1.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.2 | 0.3 | 7.0 |
| 蕨駅 | 平成16年度 | 4.2 | 1.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.6 | 0.9 | 7.4 |
| | 平成17年度 | 2.6 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 3.5 |
| | 平成20年度 | 4.6 | 1.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.8 | 7.2 |
| | 平成25年度 | 1.9 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 2.6 |
| 東川口駅 | 平成16年度 | 1.7 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 2.5 |
| | 平成17年度 | 3.7 | 0.9 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.4 | 5.3 |
| | 平成20年度 | 4.6 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.6 | 6.5 |
| | 平成25年度 | 1.8 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 2.3 |
| 川口元郷駅 | 平成16年度 | 1.8 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 2.5 |
| | 平成17年度 | 2.6 | 0.7 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.5 | 4.1 |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 2.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 3.0 |
| 南鳩ヶ谷駅 | 平成16年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成17年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 0.8 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 1.6 |
| 鳩ヶ谷駅 | 平成16年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成17年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 0.9 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.4 |
| 新井宿駅 | 平成16年度 | 4.1 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.2 | 1.9 | 8.5 |
| | 平成17年度 | 3.1 | 0.2 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.5 | 1.1 | 5.0 |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 3.4 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 4.8 |
| 戸塚安行駅 | 平成16年度 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.5 |
| | 平成17年度 | 1.4 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.4 | 2.5 |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 1.6 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 2.4 |
| 平均 | 平成16年度 | 2.3 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.4 | 3.9 |
| | 平成17年度 | 2.3 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.4 | 3.6 |
| | 平成20年度 | 3.4 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.7 | 5.3 |
| | 平成25年度 | 1.9 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | 3.0 |
| 対25年度比 | 平成16年度 | 1.2 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.4 | 2.3 | 1.3 |
| | 平成17年度 | 1.2 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.2 | 2.3 | 1.2 |
| | 平成20年度 | 1.8 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.8 | 4.1 | 1.8 |
| | 平成25年度 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 |

図表 2-9　休日の散乱ごみの平均個数（路上部分のみ）（10ｍあたり個数）

| 調査場所 | 調査年度 | 路上部分 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | たばこ | 紙くず | びん | かん | ペット | ガム | その他 | 合計 |
| 川口駅東口 | 平成16年度 | 3.2 | 1.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 0.4 | 5.1 |
| | 平成17年度 | 2.4 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.4 | 3.7 |
| | 平成20年度 | 4.7 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 1.2 | 7.6 |
| | 平成25年度 | 1.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.3 |
| 川口駅西口 | 平成16年度 | 1.6 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.4 | 2.5 |
| | 平成17年度 | 0.8 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 1.4 |
| | 平成20年度 | 1.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 1.7 |
| | 平成25年度 | 0.5 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.0 |
| 西川口駅東口 | 平成16年度 | 3.3 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.1 | 4.9 |
| | 平成17年度 | 6.4 | 2.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.8 | 1.0 | 10.8 |
| | 平成20年度 | 4.3 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.7 | 7.2 |
| | 平成25年度 | 3.4 | 1.7 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 5.6 |
| 西川口駅西口 | 平成16年度 | 7.5 | 2.0 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 3.9 | 1.2 | 14.9 |
| | 平成17年度 | 7.5 | 3.2 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.6 | 1.1 | 12.5 |
| | 平成20年度 | 7.1 | 1.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.8 | 10.0 |
| | 平成25年度 | 3.7 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.0 | 6.2 |
| 蕨駅 | 平成16年度 | 6.9 | 1.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.0 | 1.1 | 10.6 |
| | 平成17年度 | 4.5 | 1.0 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.1 | 1.1 | 7.0 |
| | 平成20年度 | 4.3 | 1.2 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.8 | 6.6 |
| | 平成25年度 | 2.4 | 1.2 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 |
| 東川口駅 | 平成16年度 | 4.2 | 0.9 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 1.1 | 6.7 |
| | 平成17年度 | 5.0 | 1.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 0.4 | 7.2 |
| | 平成20年度 | 5.0 | 1.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 0.2 | 7.1 |
| | 平成25年度 | 2.1 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 2.9 |
| 川口元郷駅 | 平成16年度 | 3.2 | 0.6 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 0.1 | 4.4 |
| | 平成17年度 | 2.8 | 0.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.4 | 4.2 |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 2.8 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 3.9 |
| 南鳩ヶ谷駅 | 平成16年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成17年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 0.4 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.7 |
| 鳩ヶ谷駅 | 平成16年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成17年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 0.7 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.3 |
| 新井宿駅 | 平成16年度 | 5.1 | 1.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.8 | 1.7 | 9.8 |
| | 平成17年度 | 5.1 | 0.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.9 | 6.6 |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 4.5 | 2.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.4 | 7.1 |
| 戸塚安行駅 | 平成16年度 | 1.1 | 0.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 1.9 |
| | 平成17年度 | 3.0 | 0.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 1.0 | 5.1 |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 1.2 | 0.6 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.9 |
| 平均 | 平成16年度 | 3.6 | 0.9 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.7 | 0.6 | 5.9 |
| | 平成17年度 | 3.6 | 1.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 0.6 | 5.7 |
| | 平成20年度 | 4.0 | 1.2 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 0.7 | 6.3 |
| | 平成25年度 | 2.1 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 3.2 |
| 対25年度比 | 平成16年度 | 1.7 | 1.0 | 0.0 | 3.1 | 0.0 | 17.9 | 2.9 | 1.8 |
| | 平成17年度 | 1.7 | 1.3 | 0.0 | 3.1 | 0.0 | 7.7 | 2.9 | 1.8 |
| | 平成20年度 | 1.9 | 1.4 | 0.0 | 3.1 | 0.0 | 7.7 | 3.3 | 2.0 |
| | 平成25年度 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 |

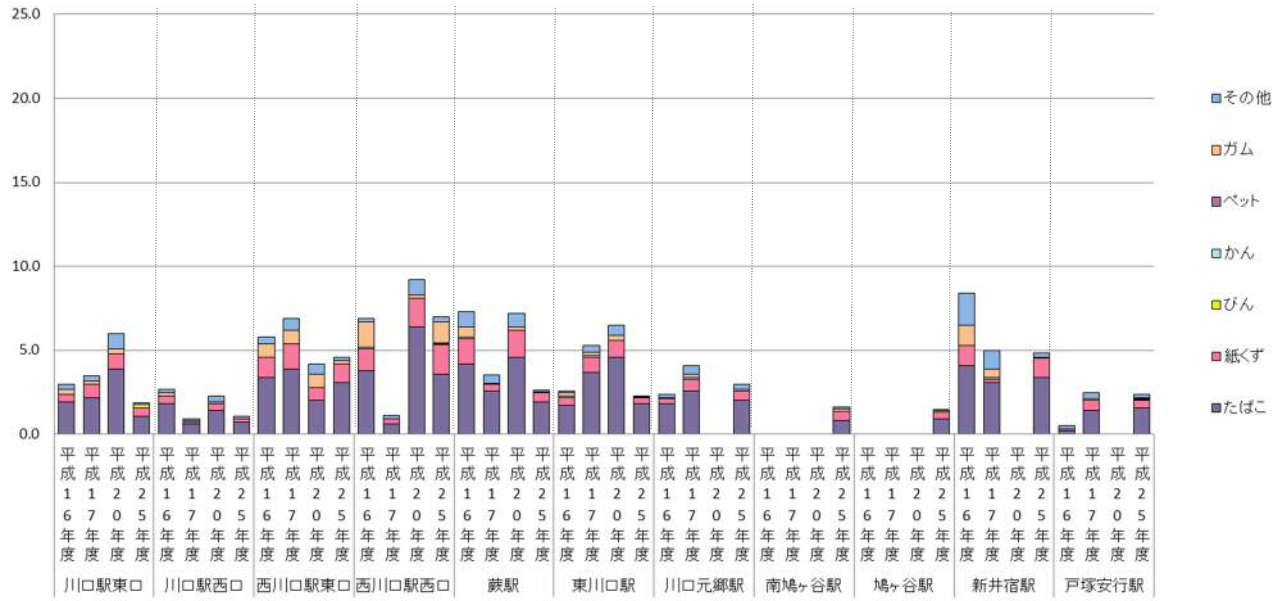
図表 2-10　平日の散乱ごみの平均個数（路上部分＋植栽部分）（10mあたり個数）

| 調査場所 | 調査年度 | 路上部分＋植栽部分 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | たばこ | 紙くず | びん | かん | ペット | ガム | その他 | 合計 |
| 川口駅東口 | 平成16年度 | 2.5 | 1.2 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.5 | 0.8 | 5.2 |
| | 平成17年度 | 2.7 | 1.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.6 | 5.0 |
| | 平成20年度 | 4.8 | 1.7 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 1.4 | 8.4 |
| | 平成25年度 | 1.6 | 1.3 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 3.4 |
| 川口駅西口 | 平成16年度 | 2.9 | 1.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 0.9 | 5.8 |
| | 平成17年度 | 1.0 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.5 | 2.1 |
| | 平成20年度 | 1.8 | 0.9 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.7 | 3.6 |
| | 平成25年度 | 1.1 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 2.3 |
| 西川口駅東口 | 平成16年度 | 4.1 | 1.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.8 | 0.4 | 7.2 |
| | 平成17年度 | 4.5 | 2.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.0 | 1.1 | 8.7 |
| | 平成20年度 | 2.1 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.9 | 0.8 | 4.8 |
| | 平成25年度 | 3.9 | 1.9 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.3 | 6.5 |
| 西川口駅西口 | 平成16年度 | 4.7 | 1.9 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 1.5 | 0.3 | 8.6 |
| | 平成17年度 | 0.9 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 1.7 |
| | 平成20年度 | 6.5 | 2.2 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 1.2 | 10.2 |
| | 平成25年度 | 3.7 | 1.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.1 | 0.3 | 7.0 |
| 蕨駅 | 平成16年度 | 5.1 | 2.2 | 0.0 | 0.4 | 0.1 | 0.8 | 1.7 | 10.2 |
| | 平成17年度 | 3.4 | 0.7 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 1.1 | 5.4 |
| | 平成20年度 | 6.0 | 2.6 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.5 | 1.4 | 10.6 |
| | 平成25年度 | 2.3 | 0.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 3.4 |
| 東川口駅 | 平成16年度 | 2.7 | 1.3 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | 4.7 |
| | 平成17年度 | 4.9 | 1.6 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.3 | 0.6 | 7.6 |
| | 平成20年度 | 5.4 | 1.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 1.1 | 8.8 |
| | 平成25年度 | 2.0 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 2.9 |
| 川口元郷駅 | 平成16年度 | 2.4 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.4 | 3.5 |
| | 平成17年度 | 4.9 | 1.1 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 0.6 | 7.0 |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 2.6 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.5 | 4.1 |
| 南鳩ヶ谷駅 | 平成16年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成17年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 0.9 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 1.8 |
| 鳩ヶ谷駅 | 平成16年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成17年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 1.1 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 2.1 |
| 新井宿駅 | 平成16年度 | 8.9 | 2.8 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 1.8 | 3.5 | 17.2 |
| | 平成17年度 | 8.4 | 0.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.6 | 3.0 | 12.9 |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 4.9 | 2.7 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 8.3 |
| 戸塚安行駅 | 平成16年度 | 0.3 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.8 |
| | 平成17年度 | 1.5 | 0.7 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.6 | 3.0 |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 1.7 | 0.6 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 2.7 |
| 平均 | 平成16年度 | 3.3 | 1.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.6 | 0.8 | 6.2 |
| | 平成17年度 | 3.2 | 1.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 0.8 | 5.5 |
| | 平成20年度 | 4.1 | 1.6 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 1.1 | 7.3 |
| | 平成25年度 | 2.4 | 1.2 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.3 | 4.0 |
| 対25年度比 | 平成16年度 | 1.4 | 1.2 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 3.6 | 3.1 | 1.5 |
| | 平成17年度 | 1.4 | 1.0 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 1.8 | 3.1 | 1.4 |
| | 平成20年度 | 1.7 | 1.4 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 2.4 | 4.3 | 1.8 |
| | 平成25年度 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 |

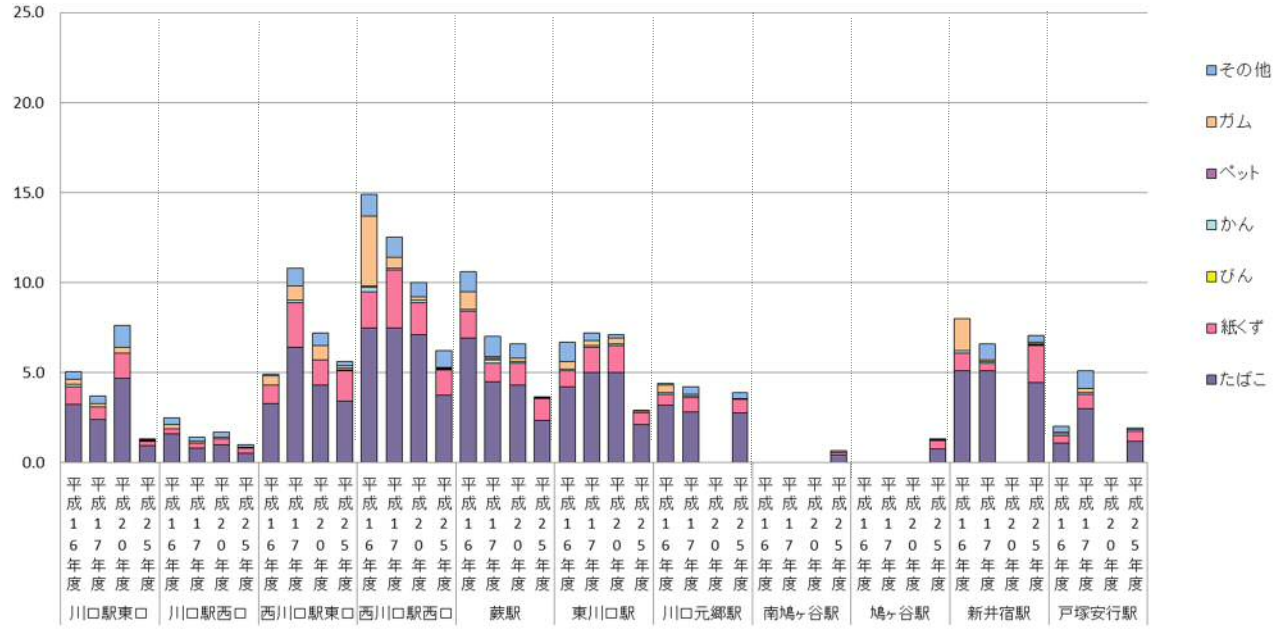
図表 2-11　休日の散乱ごみの平均個数（路上部分＋植栽部分）（10mあたり個数）

| 調査場所 | 調査年度 | 路上部分＋植栽部分 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | たばこ | 紙くず | びん | かん | ペット | ガム | その他 | 合計 |
| 川口駅東口 | 平成16年度 | 4.1 | 1.7 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.4 | 1.0 | 7.4 |
| | 平成17年度 | 3.0 | 1.3 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 0.8 | 5.5 |
| | 平成20年度 | 5.7 | 2.3 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 1.6 | 10.1 |
| | 平成25年度 | 1.2 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.9 |
| 川口駅西口 | 平成16年度 | 3.2 | 1.2 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 1.5 | 6.3 |
| | 平成17年度 | 1.6 | 1.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.5 | 3.8 |
| | 平成20年度 | 1.4 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.5 | 2.8 |
| | 平成25年度 | 0.8 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 1.6 |
| 西川口駅東口 | 平成16年度 | 4.0 | 1.7 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.7 | 0.2 | 6.7 |
| | 平成17年度 | 7.6 | 3.5 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 1.1 | 1.7 | 14.2 |
| | 平成20年度 | 4.6 | 1.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.8 | 0.9 | 8.2 |
| | 平成25年度 | 5.0 | 2.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 8.5 |
| 西川口駅西口 | 平成16年度 | 8.9 | 3.1 | 0.1 | 0.3 | 0.1 | 4.4 | 1.9 | 18.8 |
| | 平成17年度 | 8.0 | 3.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.8 | 1.4 | 13.7 |
| | 平成20年度 | 7.3 | 2.2 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 1.0 | 10.8 |
| | 平成25年度 | 3.8 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.2 | 6.5 |
| 蕨駅 | 平成16年度 | 8.1 | 2.3 | 0.1 | 0.5 | 0.1 | 1.3 | 1.8 | 14.3 |
| | 平成17年度 | 5.2 | 1.2 | 0.0 | 0.3 | 0.1 | 0.1 | 1.4 | 8.3 |
| | 平成20年度 | 6.0 | 2.3 | 0.0 | 0.3 | 0.1 | 0.5 | 1.3 | 10.5 |
| | 平成25年度 | 2.7 | 1.5 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.5 |
| 東川口駅 | 平成16年度 | 5.3 | 1.6 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.9 | 2.6 | 10.7 |
| | 平成17年度 | 6.2 | 2.3 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.4 | 0.5 | 9.7 |
| | 平成20年度 | 5.8 | 2.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 0.5 | 9.6 |
| | 平成25年度 | 2.4 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 3.9 |
| 川口元郷駅 | 平成16年度 | 3.8 | 0.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 0.2 | 5.3 |
| | 平成17年度 | 5.1 | 1.2 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.1 | 0.6 | 7.2 |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 3.3 | 1.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.6 | 5.1 |
| 南鳩ヶ谷駅 | 平成16年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成17年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 0.5 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.7 |
| 鳩ヶ谷駅 | 平成16年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成17年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 0.9 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 2.2 |
| 新井宿駅 | 平成16年度 | 10.7 | 3.5 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 3.3 | 4.8 | 22.7 |
| | 平成17年度 | 12.6 | 1.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 3.2 | 17.5 |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 6.5 | 4.9 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.1 | 1.0 | 12.8 |
| 戸塚安行駅 | 平成16年度 | 1.3 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.6 | 2.6 |
| | 平成17年度 | 3.2 | 1.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 1.3 | 5.8 |
| | 平成20年度 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 平成25年度 | 1.3 | 0.7 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 2.3 |
| 平均 | 平成16年度 | 4.8 | 1.7 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.9 | 1.4 | 9.0 |
| | 平成17年度 | 4.8 | 1.8 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.4 | 1.0 | 8.2 |
| | 平成20年度 | 4.7 | 1.9 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 1.0 | 8.1 |
| | 平成25年度 | 2.6 | 1.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 4.5 |
| 対25年度比 | 平成16年度 | 1.9 | 1.2 | 0.0 | 2.5 | 0.0 | 16.2 | 4.1 | 2.0 |
| | 平成17年度 | 1.9 | 1.3 | 0.0 | 2.5 | 0.0 | 7.2 | 2.9 | 1.8 |
| | 平成20年度 | 1.8 | 1.3 | 0.0 | 1.3 | 0.0 | 7.2 | 2.9 | 1.8 |
| | 平成25年度 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 |

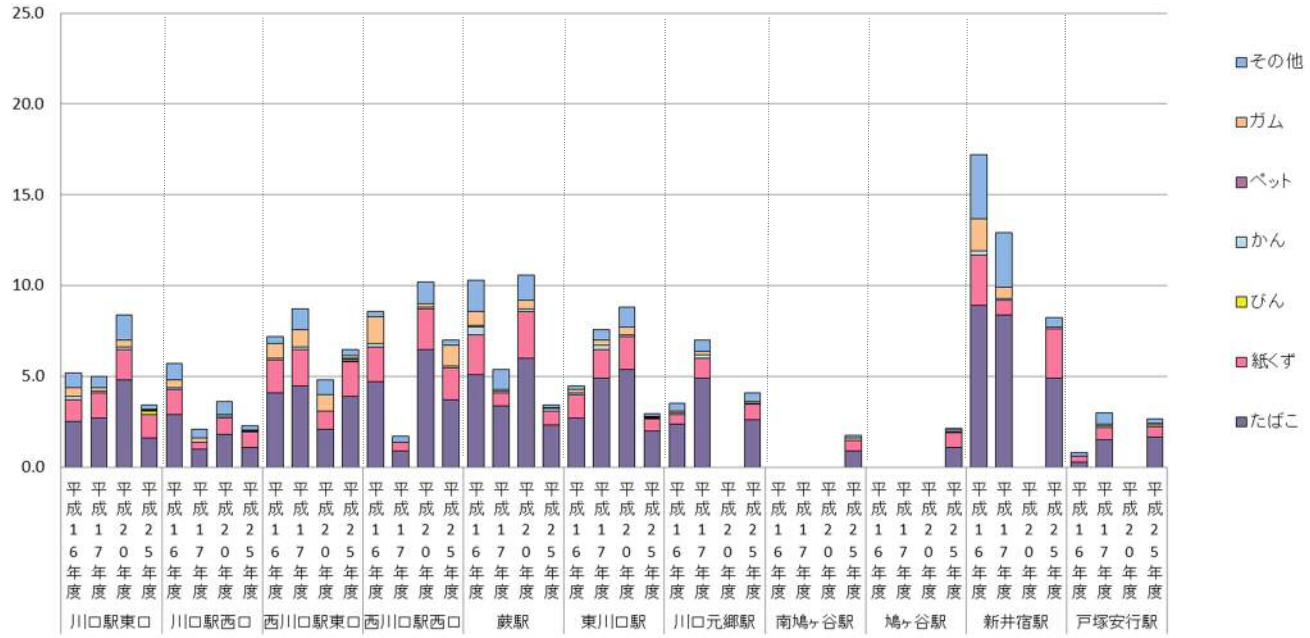
図表 2－8（B）　平日の散乱ごみの平均個数(路上部分のみ）比較グラフ



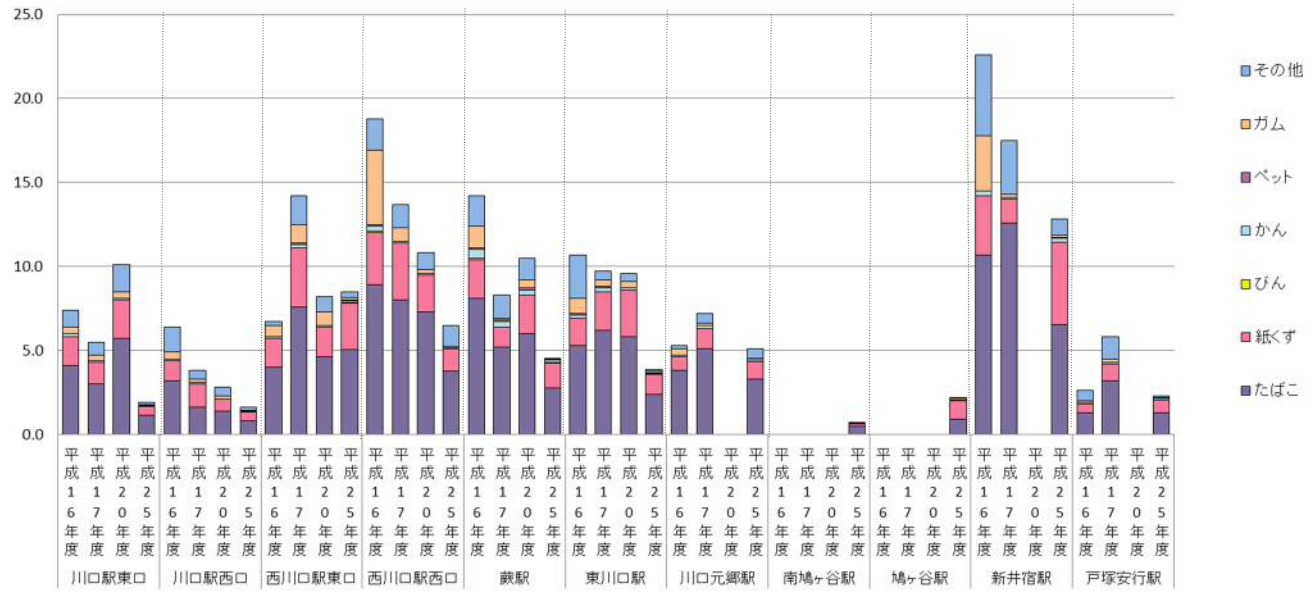

図表 2－9（B）　休日の散乱ごみの平均個数(路上部分のみ）比較グラフ



図表 2－10(B)　平日の散乱ごみの平均個数(路上部分+植栽部分）比較グラフ




図表 2－11(B)　休日の散乱ごみの平均個数(路上部分+植栽部分）比較グラフ



## ２－３．地域別の散乱ごみ個数の集計結果及び分析

各調査地域内で、散乱ごみの多い場所、少ない場所、全くない場所がどの程度の割合であるかを分析するため、調査地域別の度数分布を調べた。

また、具体的に散乱ごみが多い場所を地域別に知るために、散乱ごみの個数データを地図で示した。

今回の調査では、散乱ごみの個数が 10m当たり 6 個以上のエリアを「散乱ごみの多い場所」とした。そして、散乱ごみが少ない 5 個以下のエリアと 6 個以上のエリアの割合を考察した。

なお、調査の分析には、基本的に植栽部分を含めない歩道上のごみ個数をデータとして使用した。

### （１）川口駅東口

①散乱ごみの状況

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 2.0 個であったのに対し、平成 20 年度は 6.0 個、平成 17 年度は 3.5 個、平成 16 年度は 3.0 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。また、休日では今回調査の平均が 1.3 個であったのに対し、平成 20 年度は 7.6 個、平成 17 年度は 3.7 個、平成 16 年度は 5.1 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。(図表 2－8～9)。

今回の調査結果では、散乱ごみがまったくなかったブロックが、平日で 46.7%、1～5 個であったのが 45.5%と合わせて 92.2%を占め、他の地域に比べ散乱ごみが少ないブロックが多くなっている（図表 2-12)。休日でも同様に、散乱ごみがまったくなかったブロックが、52.0%、1～5 個であったのが 43.4%と合わせて 95.4%を占めており、散乱が多い 6 個以上のエリアが 5%以下と少なくなっている(図表 2-13)。

川口駅東口は、他の調査地域に比べると、比較的、散乱ごみが少ない地域といえる（図表 2-4～5)。また、路上部分＋植栽部分をみても同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。川口駅周辺では行政による清掃も頻繁に行われており、こうした努力も散乱ごみが少ない理由のひとつと考えられる。

②散乱状況の著しい場所の推移

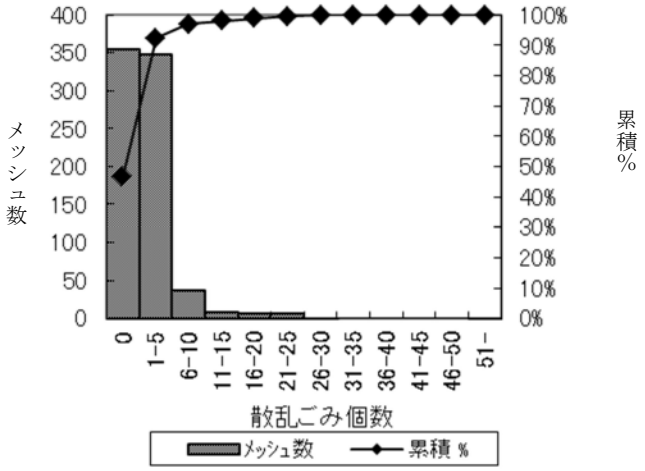
散乱ごみの分布状況を検討すると、前回行われた平成 20 年度の調査で散乱ごみが減少に転じているとされている駅東口近辺は、今回の調査では、比較的散乱が多い場所であった。特に平日は、散乱ごみが多い傾向にある。

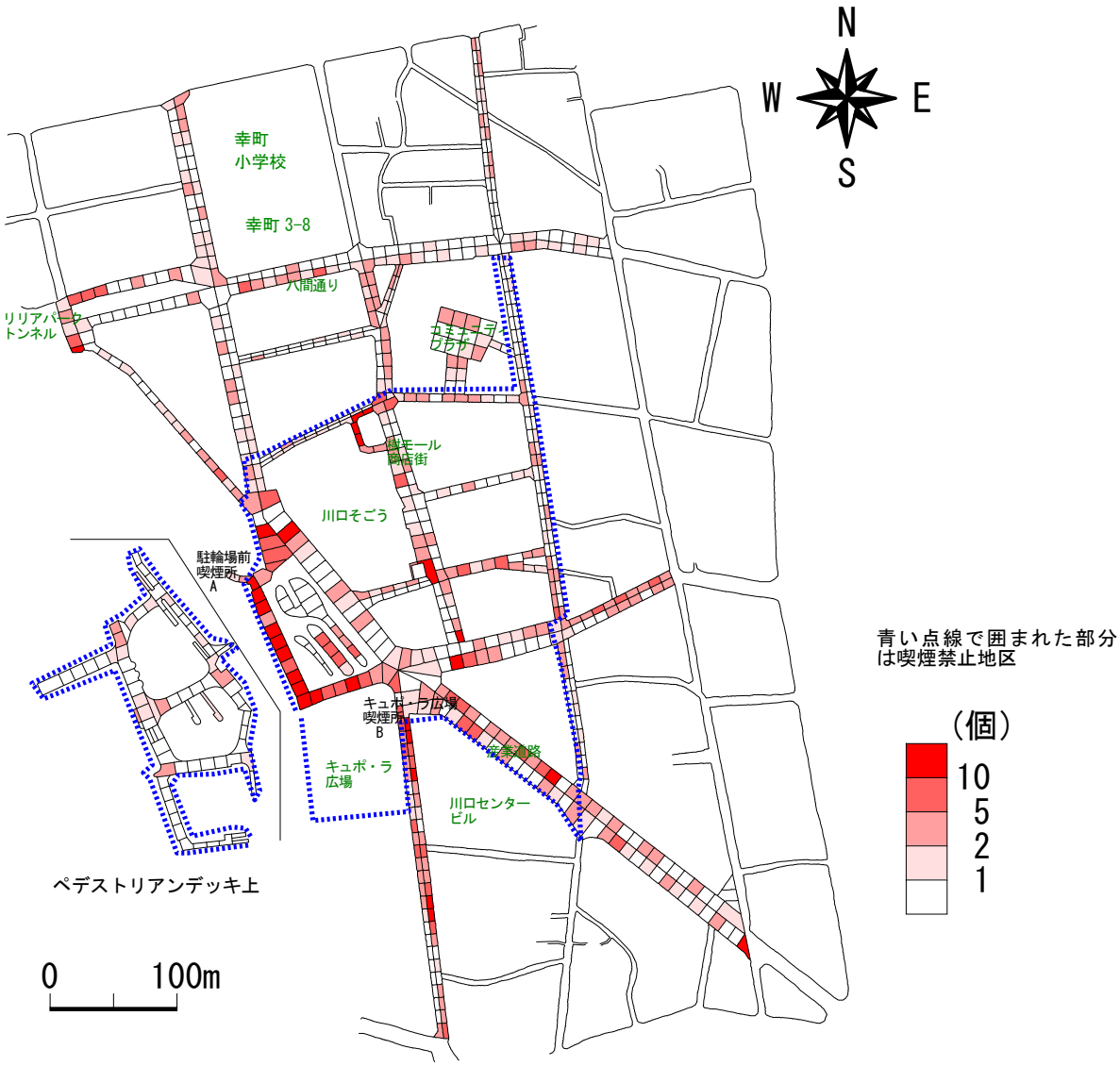
前回の調査で、散乱ごみが増加していると指摘されていた、リリアパークトンネル上部付近、幸町小学校南交差点付近、川口駅東口タクシー乗り場付近、幸町 3 丁目 8 番地北側・南側付近は、今回の調査では、比較的散乱ごみが少ないエリアとなっている。

前回の調査で、散乱ごみが減少していると指摘されていた、コミュニティプラザ付近、「樹モール」川口銀座商店街は、今回も散乱が少なかった。

図表 2-12　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分のみ）【川口駅東口】

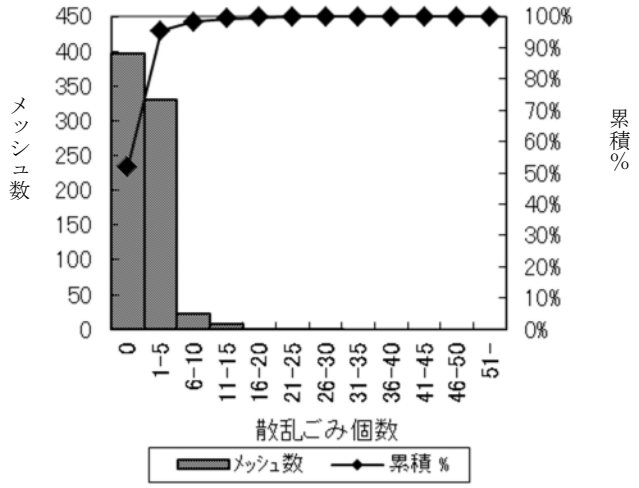
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 355 | 46.7% |
| 1-5 | 347 | 92.2% |
| 6-10 | 36 | 97.0% |
| 11-15 | 8 | 98.0% |
| 16-20 | 6 | 98.8% |
| 21-25 | 6 | 99.6% |
| 26-30 | 2 | 99.9% |
| 31-35 | 0 | 99.9% |
| 36-40 | 0 | 99.9% |
| 41-45 | 0 | 99.9% |
| 46-50 | 0 | 99.9% |
| 51- | 2 | 100.0% |

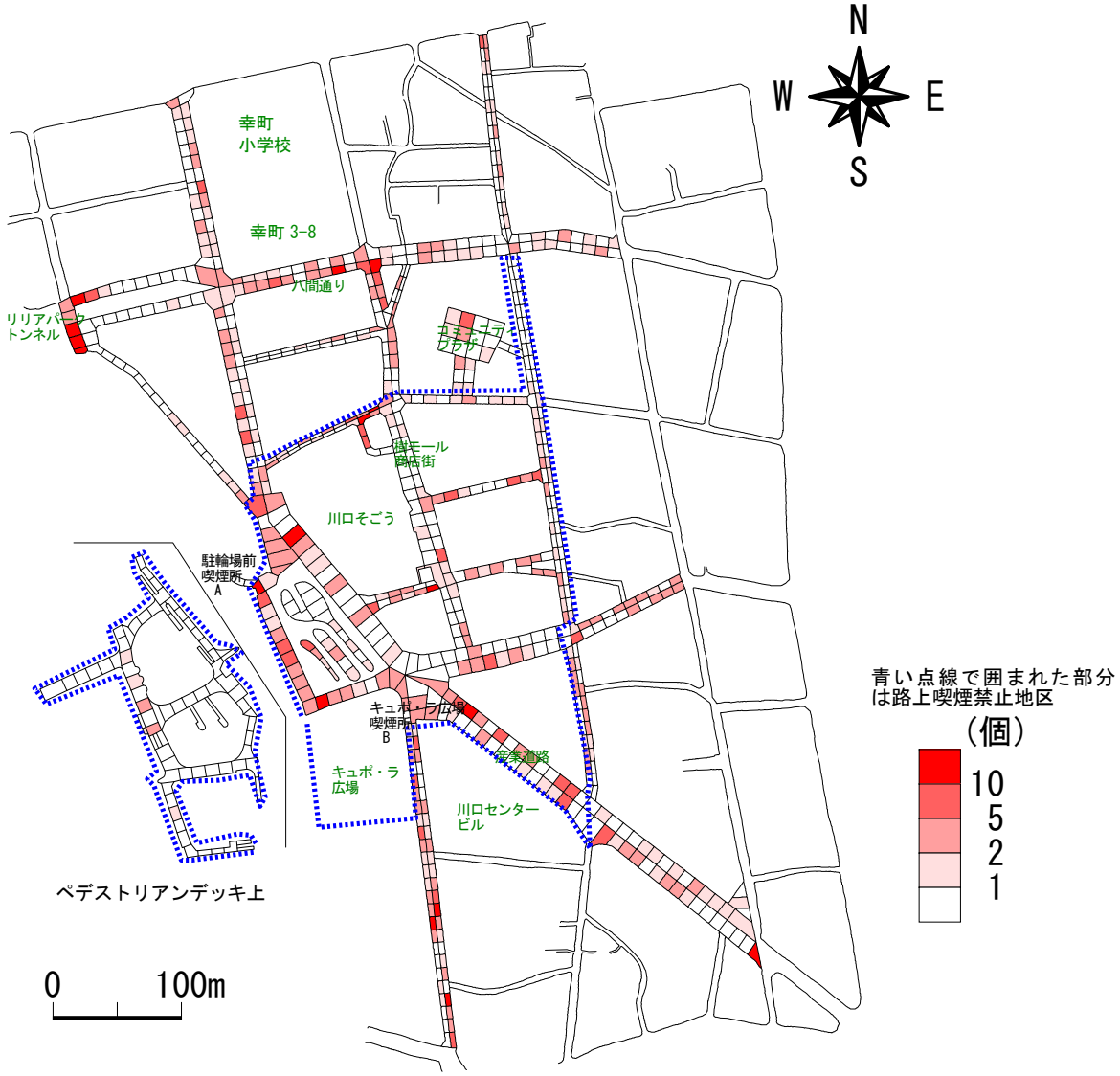


図表 2-13　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分のみ）【川口駅東口】

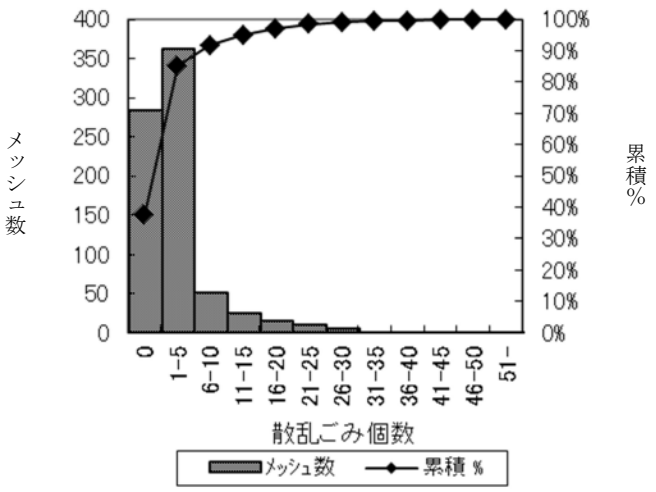
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 396 | 52.0% |
| 1-5 | 331 | 95.4% |
| 6-10 | 22 | 98.3% |
| 11-15 | 8 | 99.3% |
| 16-20 | 3 | 99.7% |
| 21-25 | 1 | 99.9% |
| 26-30 | 1 | 100.0% |
| 31-35 | 0 | 100.0% |
| 36-40 | 0 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

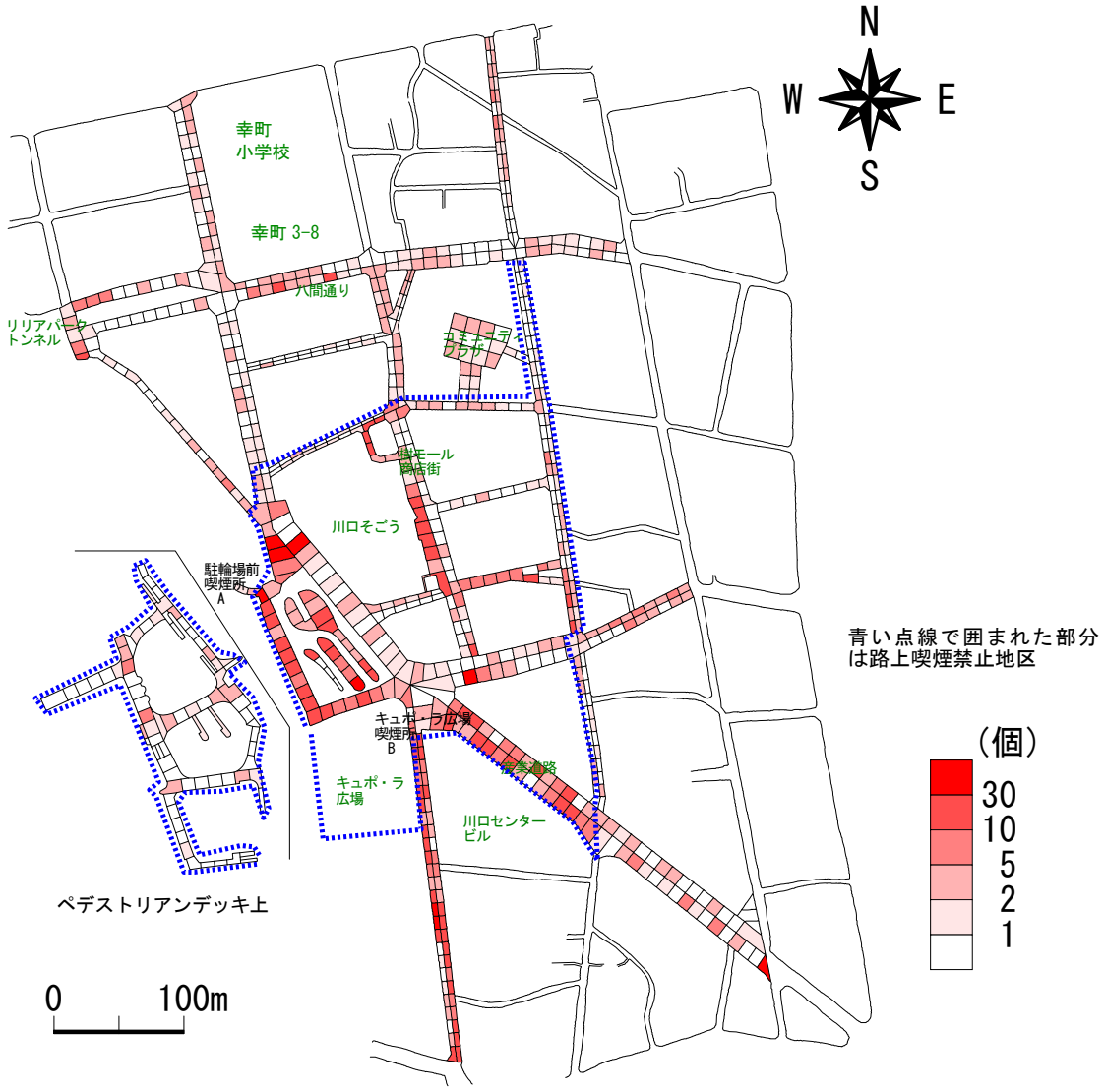


図表 2-14　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【川口駅東口】

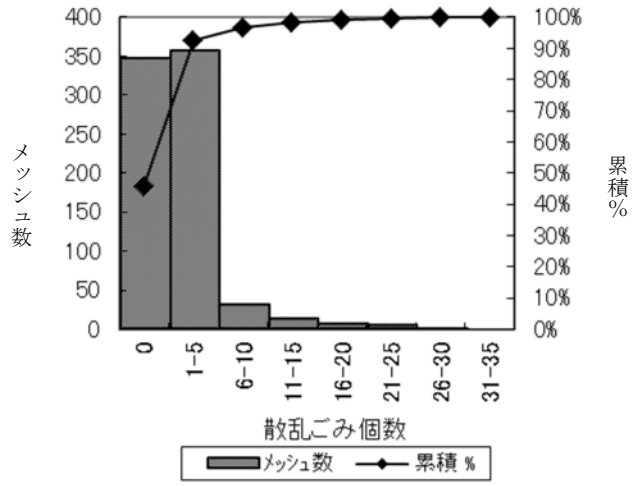
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 283 | 37.5% |
| 1-5 | 363 | 85.1% |
| 6-10 | 51 | 91.8% |
| 11-15 | 25 | 95.1% |
| 16-20 | 15 | 97.1% |
| 21-25 | 11 | 98.5% |
| 26-30 | 5 | 99.2% |
| 31-35 | 2 | 99.4% |
| 36-40 | 1 | 99.6% |
| 41-45 | 2 | 99.8% |
| 46-50 | 1 | 100.0% |
| 51- | 3 | 100.0% |

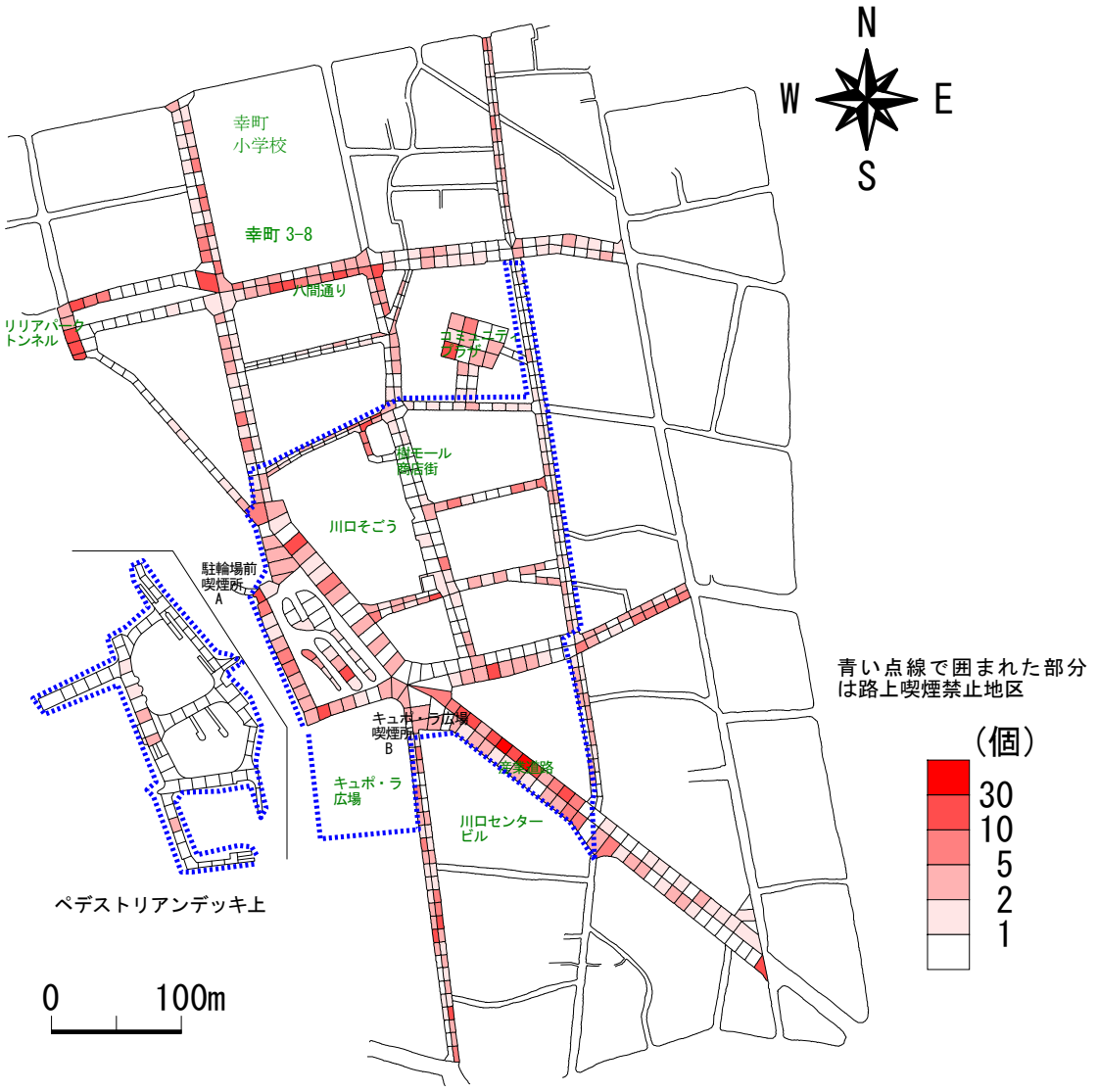


図表 2-15　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【川口駅東口】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 347 | 45.6% |
| 1-5 | 357 | 92.4% |
| 6-10 | 31 | 96.5% |
| 11-15 | 13 | 98.2% |
| 16-20 | 6 | 99.0% |
| 21-25 | 4 | 99.5% |
| 26-30 | 3 | 99.9% |
| 31-35 | 0 | 99.9% |
| 36-40 | 1 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |



## （２）川口駅西口

①散乱ごみの状況

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 1.1 個であったのに対し、平成 20 年度は 2.3 個、平成 17 年度は 0.9 個、平成 16 年度は 2.7 個であり、平成 17 年度を除き、過去の調査に比べて少なくなっている。また、休日でも、今回調査の平均が 1.0 個であったのに対し、平成 20 年度は 1.7 個、平成 17 年度は 1.4 個、平成 16 年度は 2.5 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。（図表 2-8～9)。

今回の調査の結果では、散乱ごみがまったくなかったブロックが、平日で 64.1%、1～5 個であったのが 30.9%と合わせて 95.0%を占め、散乱ごみが少ないブロックが多くなっている。散乱ごみが５個以上と多いブロックは 5%にとどまっている（図表 2-16)。

休日では、散乱ごみがまったくなかったブロックが 65.2%、1～5 個であったのが 30.3%と合わせて 95.5%を占めている。散乱ごみが５個以上と多いブロックは 5%に満たない（図表 2-17)。

川口駅西口は、他の調査地域に比べると、散乱ごみが最も少ない地域のひとつといえる（図表 2-4～5)。路上部分＋植栽部分をみても同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。川口駅西口は、行政による清掃も行われている。また、川口西公園は、指定管理者である公益財団法人川口公園緑地公社によって、常時清掃が行われている。こうした努力も散乱ごみが少ない理由のひとつと考えられる。

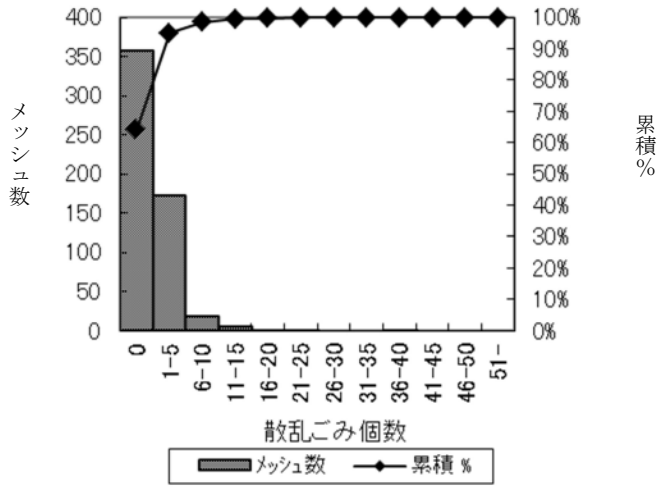
②散乱状況の著しい場所の推移

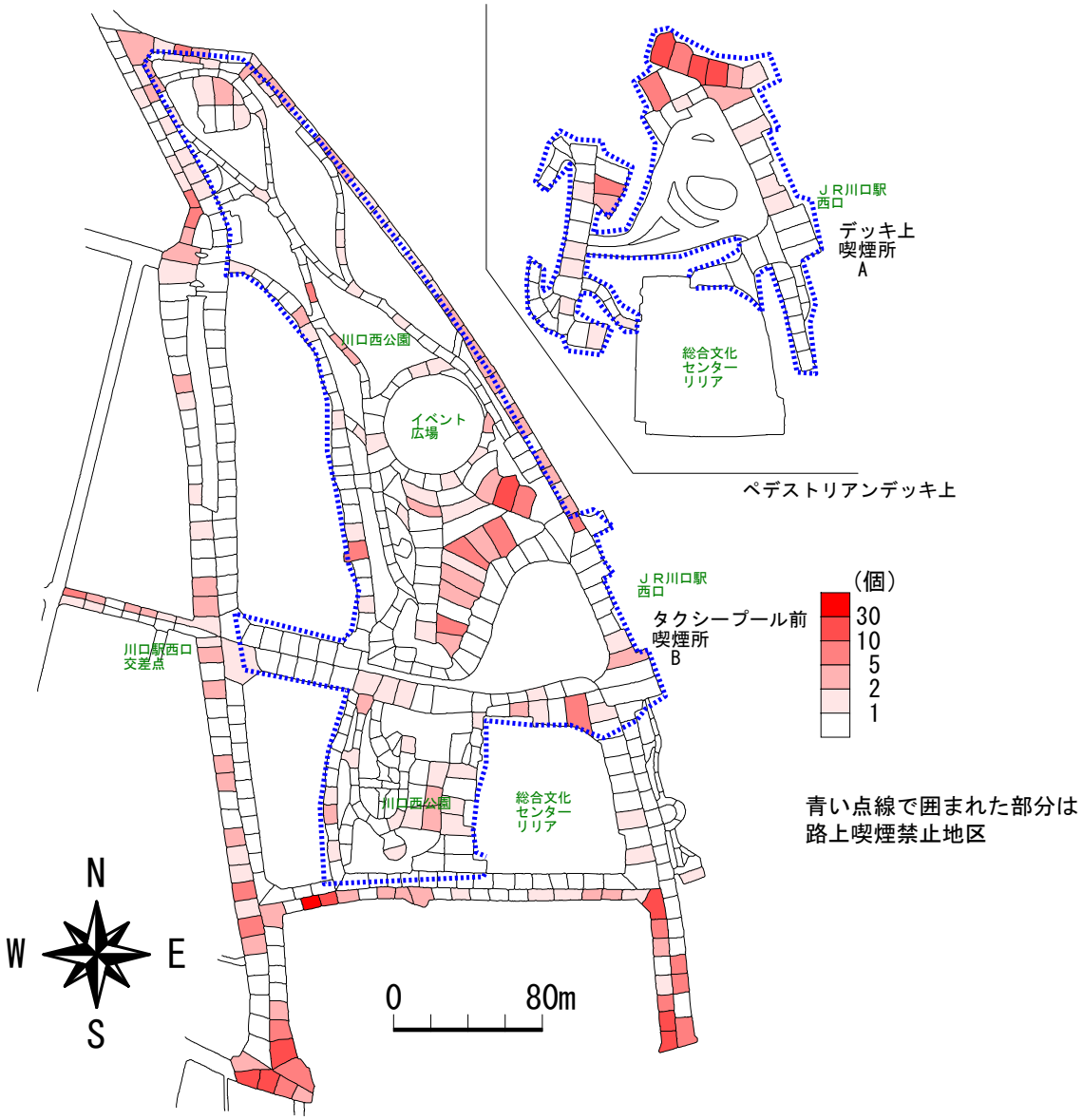
前回調査では、川口西公園イベント広場南側付近、川口駅西口交差点西側付近、西口ロータリー南側ペデストリアンデッキ下付近では散乱ごみが増加しているとされていた。今回調査では、これらの場所では、散乱ごみ量は特に多いとはいえない。

このほか、今回の調査では、川口駅西口からイベント広場にいたる部分や川口西公園のコミュニティ広場付近での散乱ごみが比較的多くなっている。川口西公園では、頻繁に清掃が行われているが、散乱ごみが多くなっている理由は不明である。

図表 2-16　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分のみ）【川口駅西口】

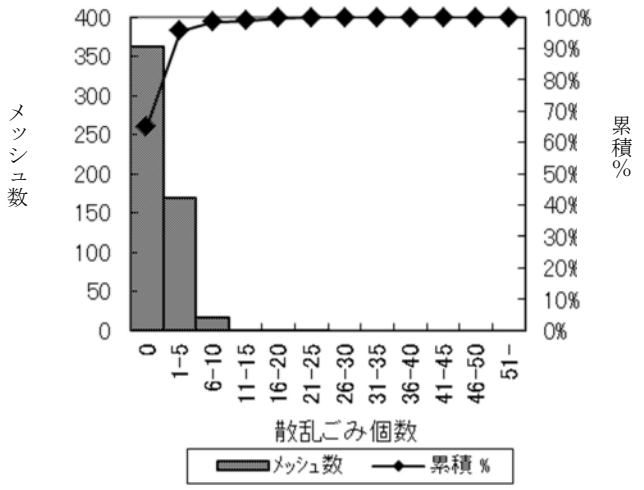
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 357 | 64.1% |
| 1-5 | 172 | 95.0% |
| 6-10 | 19 | 98.4% |
| 11-15 | 6 | 99.5% |
| 16-20 | 1 | 99.6% |
| 21-25 | 1 | 99.8% |
| 26-30 | 0 | 99.8% |
| 31-35 | 0 | 99.8% |
| 36-40 | 1 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

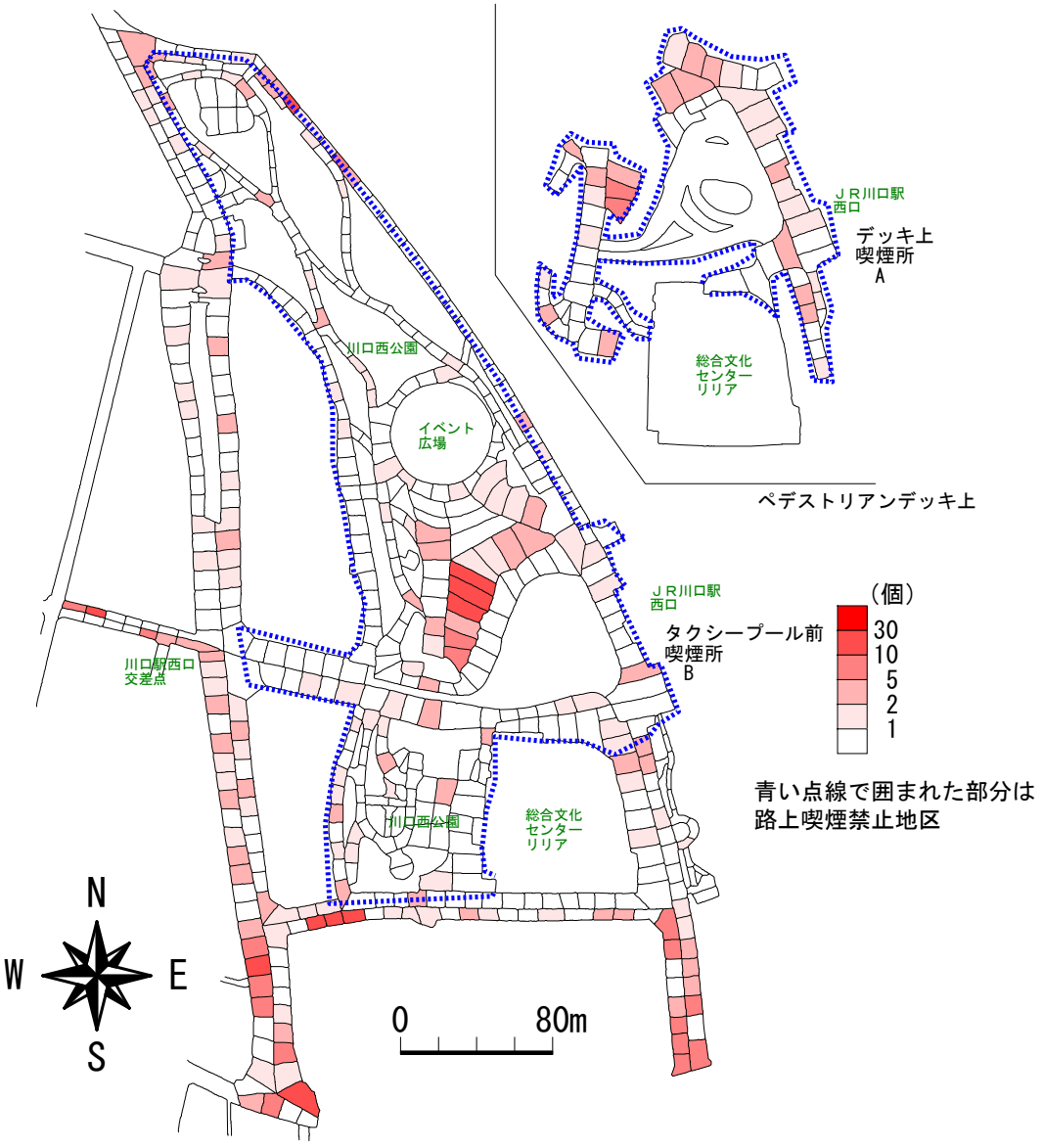


図表 2-17　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分のみ）【川口駅西口】

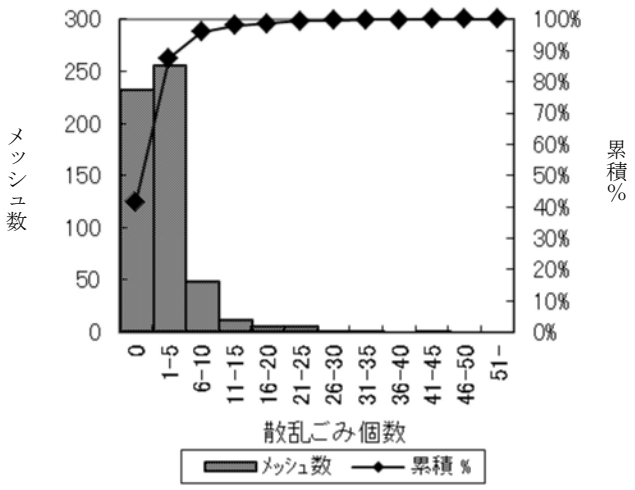
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 363 | 65.2% |
| 1-5 | 169 | 95.5% |
| 6-10 | 16 | 98.4% |
| 11-15 | 3 | 98.9% |
| 16-20 | 4 | 99.6% |
| 21-25 | 2 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31-35 | 0 | 100.0% |
| 36-40 | 0 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

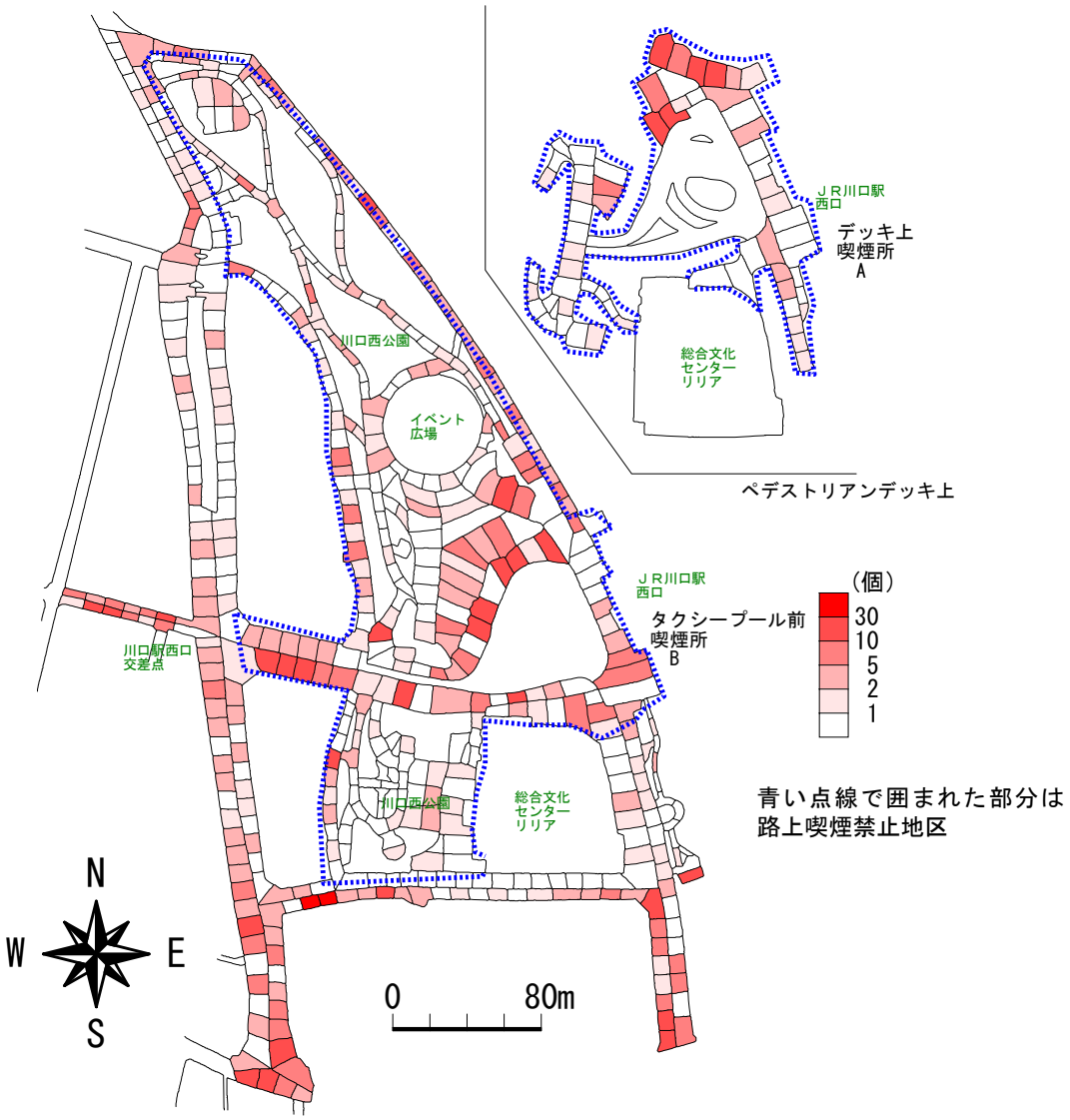


図表 2-18　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【川口駅西口】

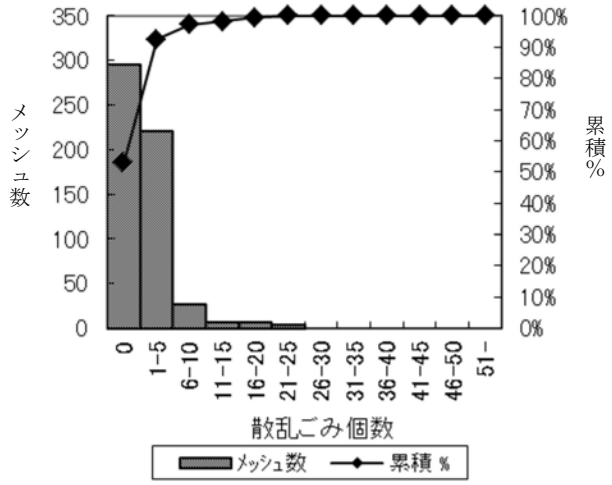
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 232 | 41.7% |
| 1-5 | 256 | 87.6% |
| 6-10 | 47 | 96.1% |
| 11-15 | 11 | 98.0% |
| 16-20 | 4 | 98.7% |
| 21-25 | 4 | 99.5% |
| 26-30 | 1 | 99.6% |
| 31-35 | 1 | 99.8% |
| 36-40 | 0 | 99.8% |
| 41-45 | 1 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

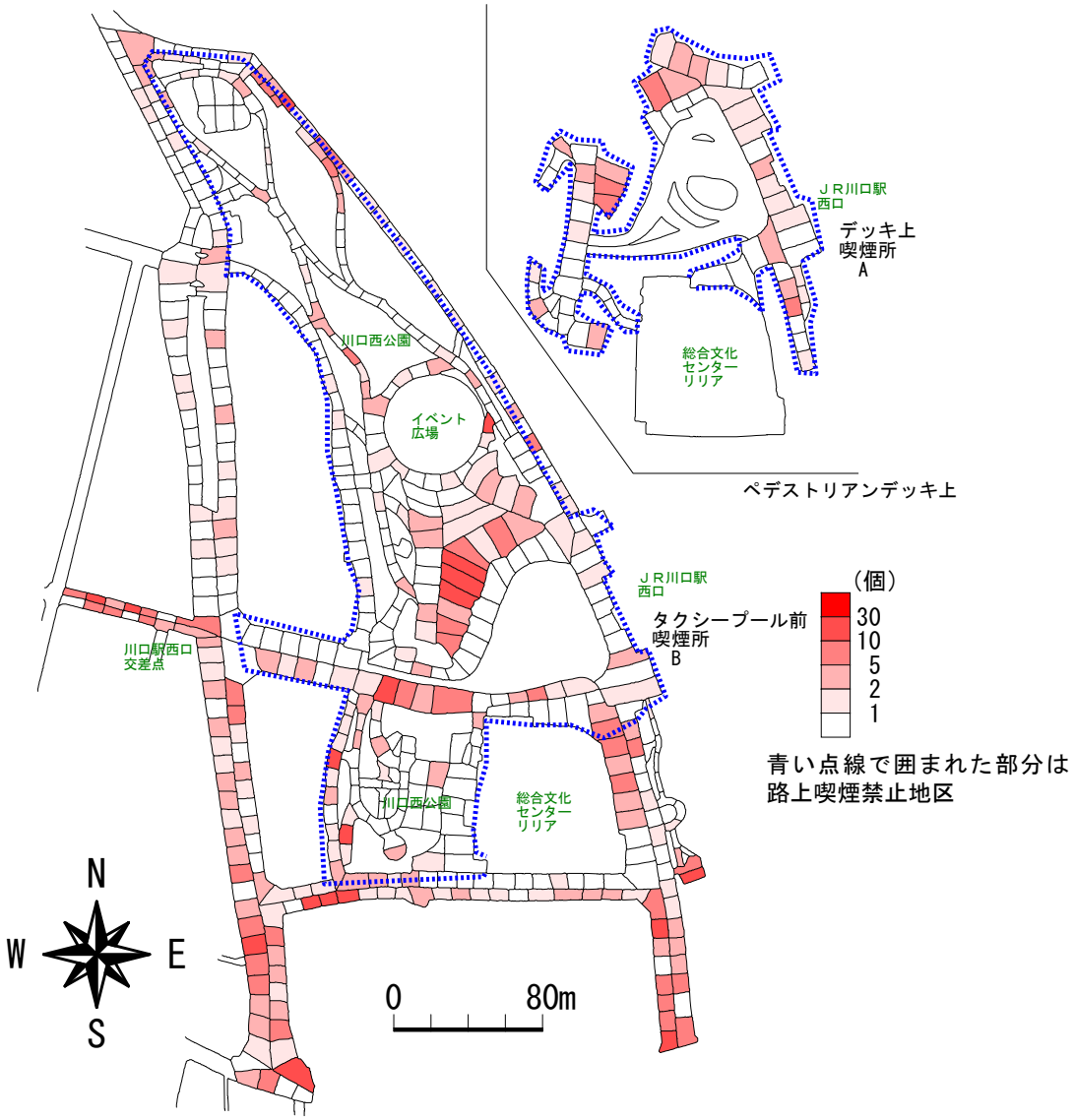


図表 2-19　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【川口駅西口】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 295 | 53.0% |
| 1-5 | 220 | 92.5% |
| 6-10 | 26 | 97.1% |
| 11-15 | 6 | 98.2% |
| 16-20 | 7 | 99.5% |
| 21-25 | 3 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31-35 | 0 | 100.0% |
| 36-40 | 0 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |



### （３）西川口駅東口

①散乱ごみの状況

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 4.6 個であったのに対し、平成 20 年度は 4.2 個、平成 17 年度は 6.9 個、平成 16 年度は 5.8 個であり、平成 20 年度を除き、過去の調査に比べて少なくなっている。休日でも、今回調査の平均が 5.6 個であったのに対し、平成 20 年度は 7.2 個、平成 17 年度は 10.8 個、平成 16 年度は 4.9 個であり、平成 16 年度を除き、過去の調査に比べて少なくなっている。（図表 2-8～9）。

今回の調査では、散乱ごみがまったくなかったブロックが、平日で 26.9%、1～5 個であったのが 44.0%、合わせて 70.9%と、他の地域に比べて散乱ごみが少ないブロックが少なくなっている（図表 2-20）。

休日では、散乱ごみがまったくなかったブロックが 22.5%、1～5 個であったのが 44.3%、合わせて 66.8%と他の地域に比べて、少なくなっている（図表 2-21）。

西川口駅は、他の調査地域に比べると、散乱ごみが多い地域となっている（図表 2-4～5）。また、路上部分＋植栽部分でも同様に散乱ごみは多い傾向がうかがわれる（図表 2-6～7）。西川口駅東口においても、行政による清掃が行われている。また、市民団体によるクリーン作戦が、東口と西口ともに月 1 回実施されている。今後、散乱ごみを防止するための啓発や市民による清掃活動への支援の一層の推進を検討する。

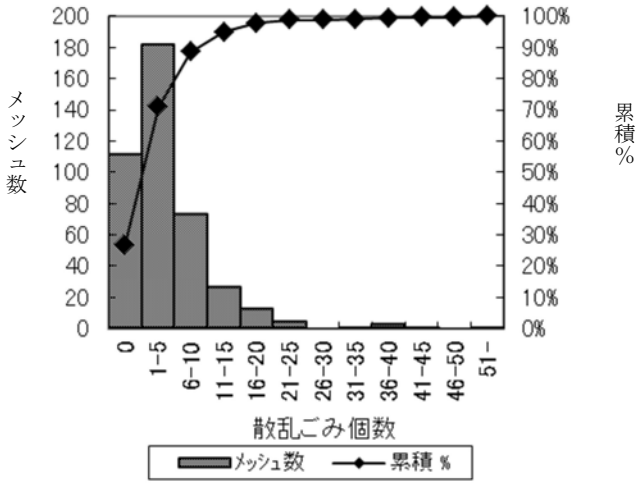
②散乱状況の著しい場所の推移

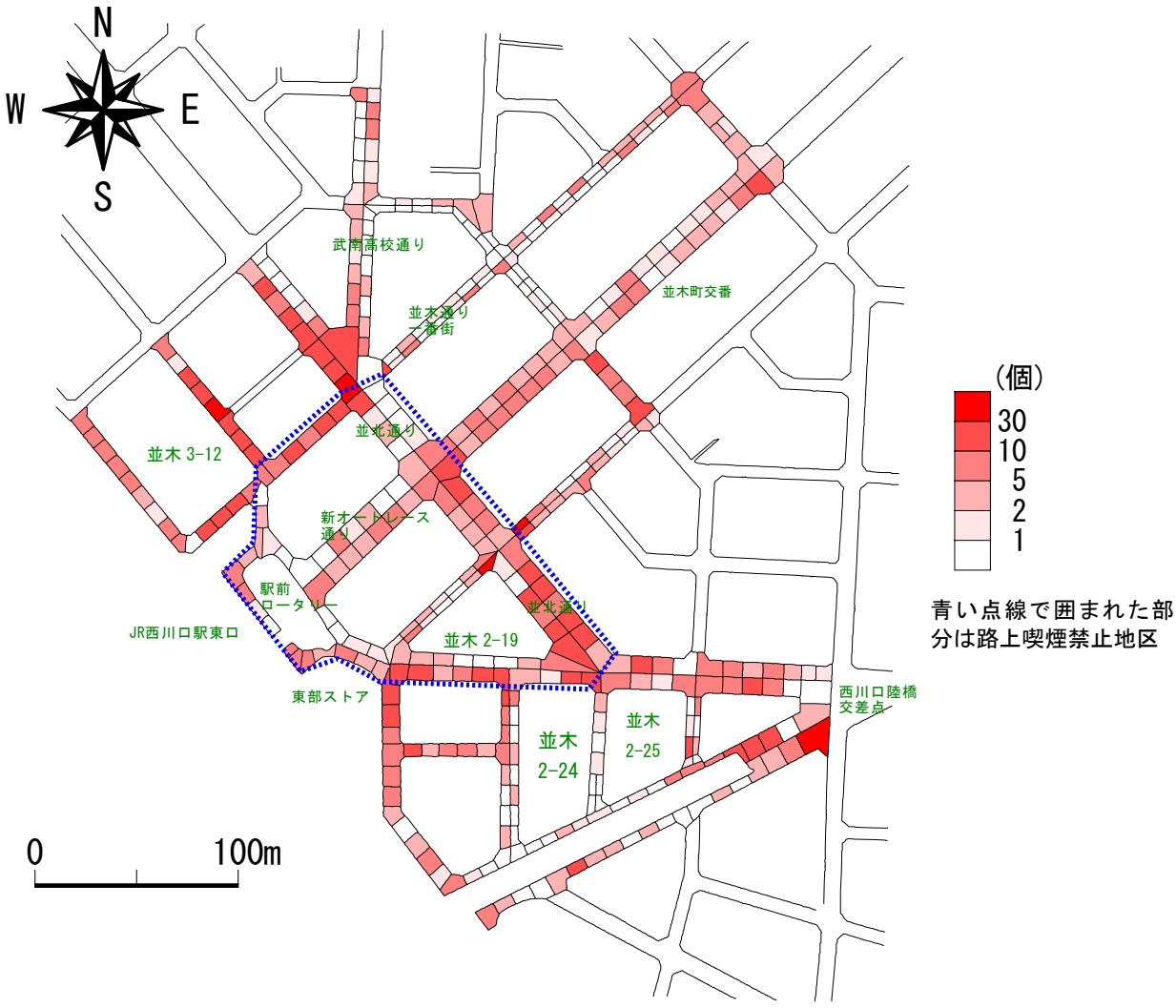
前回調査では、並木 2 丁目 24・25 番地北側付近、西川口陸橋交差点南側付近では散乱ごみが増加していると指摘されていた。今回調査では、並木 2 丁目 24・25 番地北側付近では、他の場所と散乱状況はあまり変わらないが、西川口陸橋交差点南側付近では相変わらず多い傾向にある。

一方、前回調査では、並木 3 丁目 12 番地北東側付近、並木 2 丁目 19 番地南西側付近、東武ストア西川口店裏側では散乱ごみが減少していると指摘されていた。今回調査では、他の場所と同程度の散乱が見られている。

図表 2-20　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分のみ）【西川口駅東口】

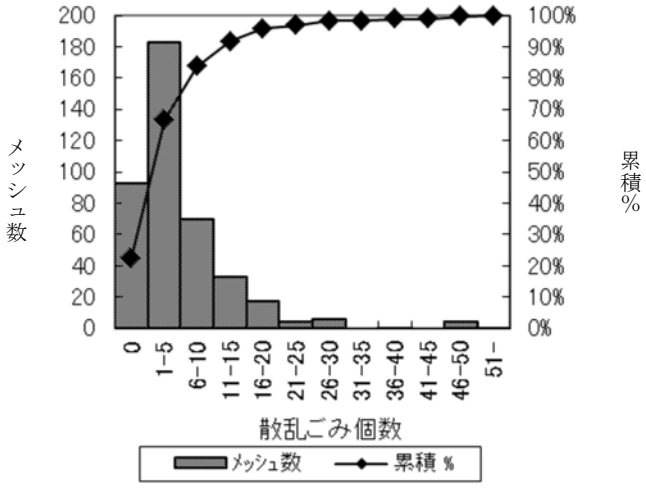
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 111 | 26.9% |
| 1-5 | 182 | 70.9% |
| 6-10 | 73 | 88.6% |
| 11-15 | 26 | 94.9% |
| 16-20 | 12 | 97.8% |
| 21-25 | 4 | 98.8% |
| 26-30 | 0 | 98.8% |
| 31-35 | 1 | 99.0% |
| 36-40 | 2 | 99.5% |
| 41-45 | 1 | 99.8% |
| 46-50 | 0 | 99.8% |
| 51- | 1 | 100.0% |

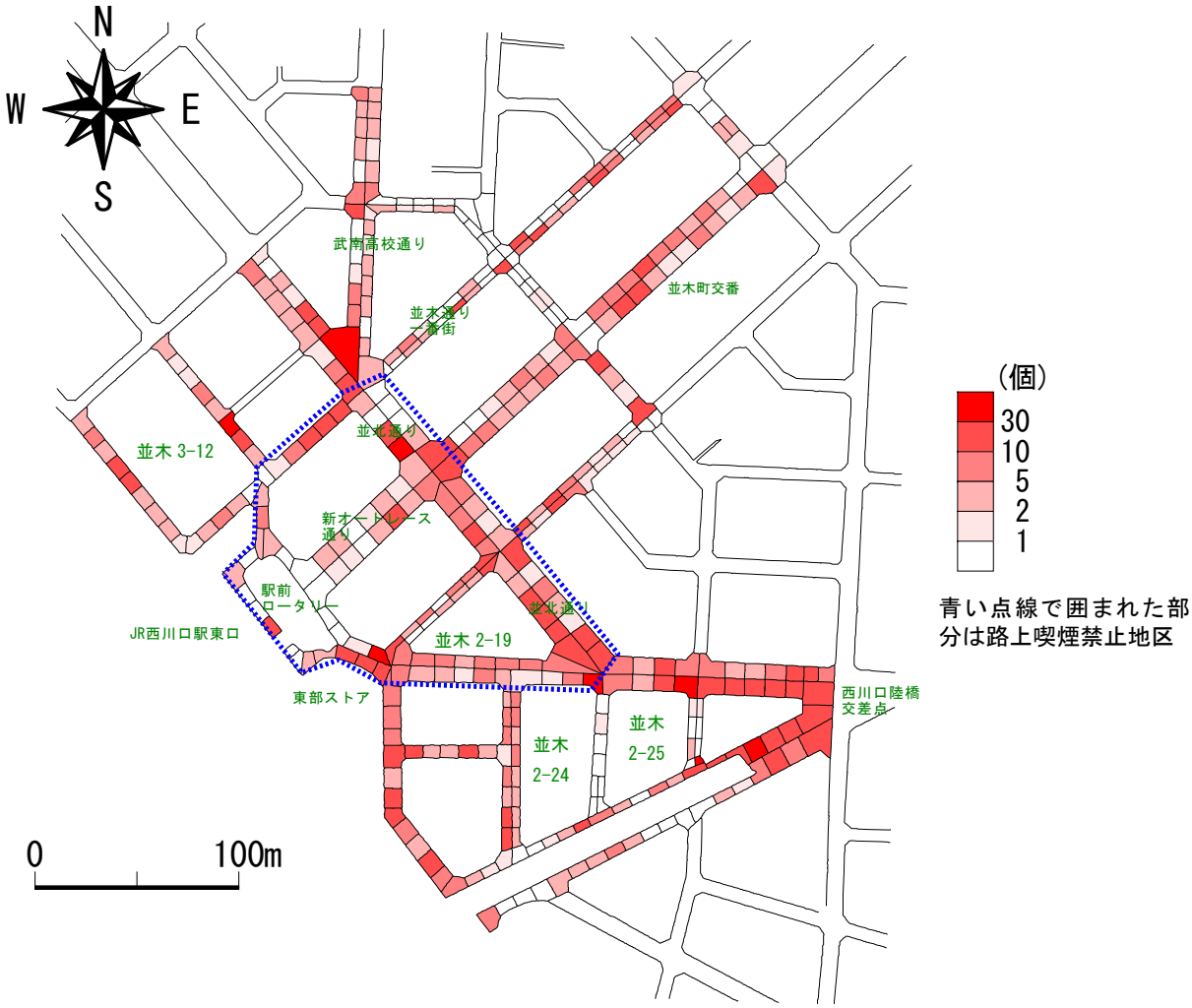


図表 2-21　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分のみ）【西川口駅東口】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 93 | 22.5% |
| 1-5 | 183 | 66.8% |
| 6-10 | 70 | 83.8% |
| 11-15 | 33 | 91.8% |
| 16-20 | 17 | 95.9% |
| 21-25 | 4 | 96.9% |
| 26-30 | 6 | 98.3% |
| 31-35 | 0 | 98.3% |
| 36-40 | 2 | 98.8% |
| 41-45 | 0 | 98.8% |
| 46-50 | 4 | 99.8% |
| 51- | 1 | 100.0% |

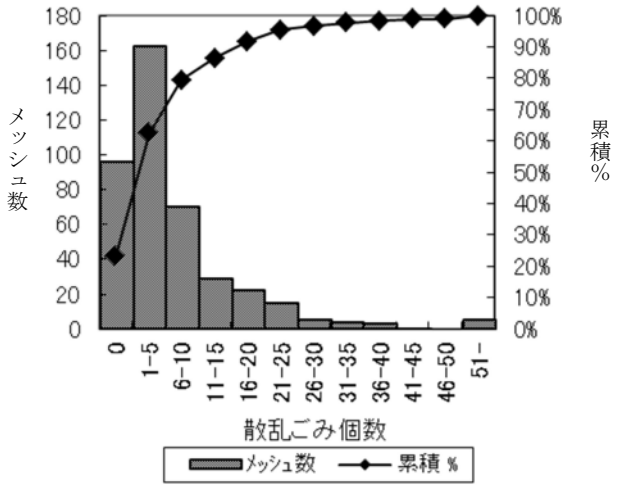


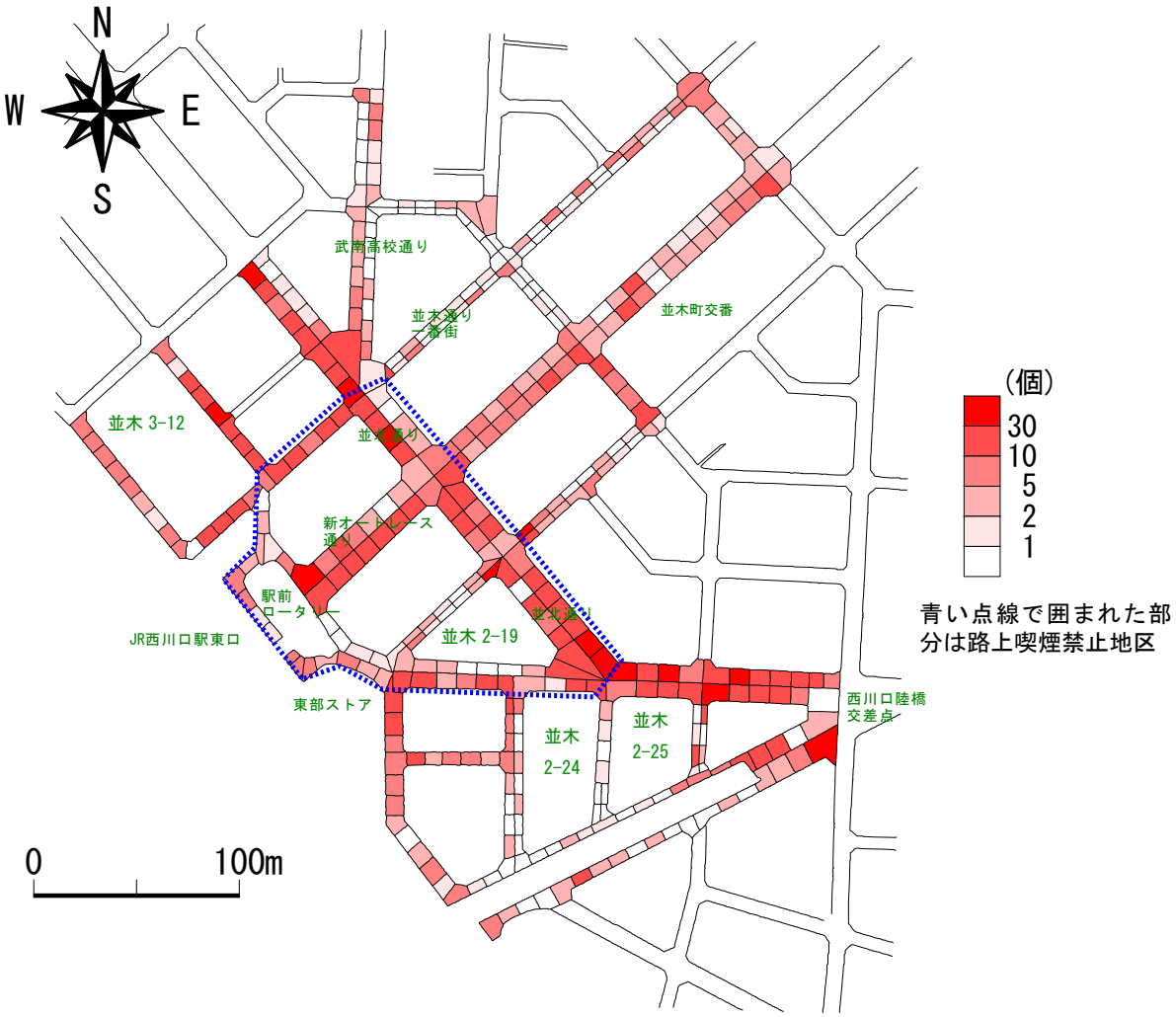




青い点線で囲まれた部分は路上喫煙禁止地区

図表 2-22　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【西川口駅東口】

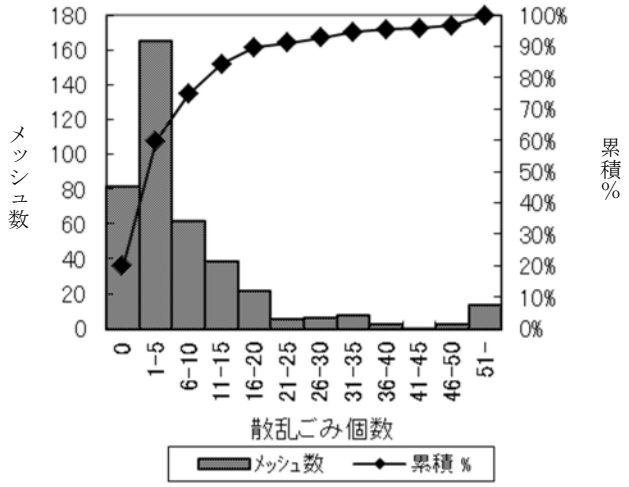
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 96 | 23.2% |
| 1-5 | 162 | 62.5% |
| 6-10 | 70 | 79.4% |
| 11-15 | 29 | 86.4% |
| 16-20 | 22 | 91.8% |
| 21-25 | 15 | 95.4% |
| 26-30 | 5 | 96.6% |
| 31-35 | 4 | 97.6% |
| 36-40 | 3 | 98.3% |
| 41-45 | 2 | 98.8% |
| 46-50 | 0 | 98.8% |
| 51- | 5 | 100.0% |

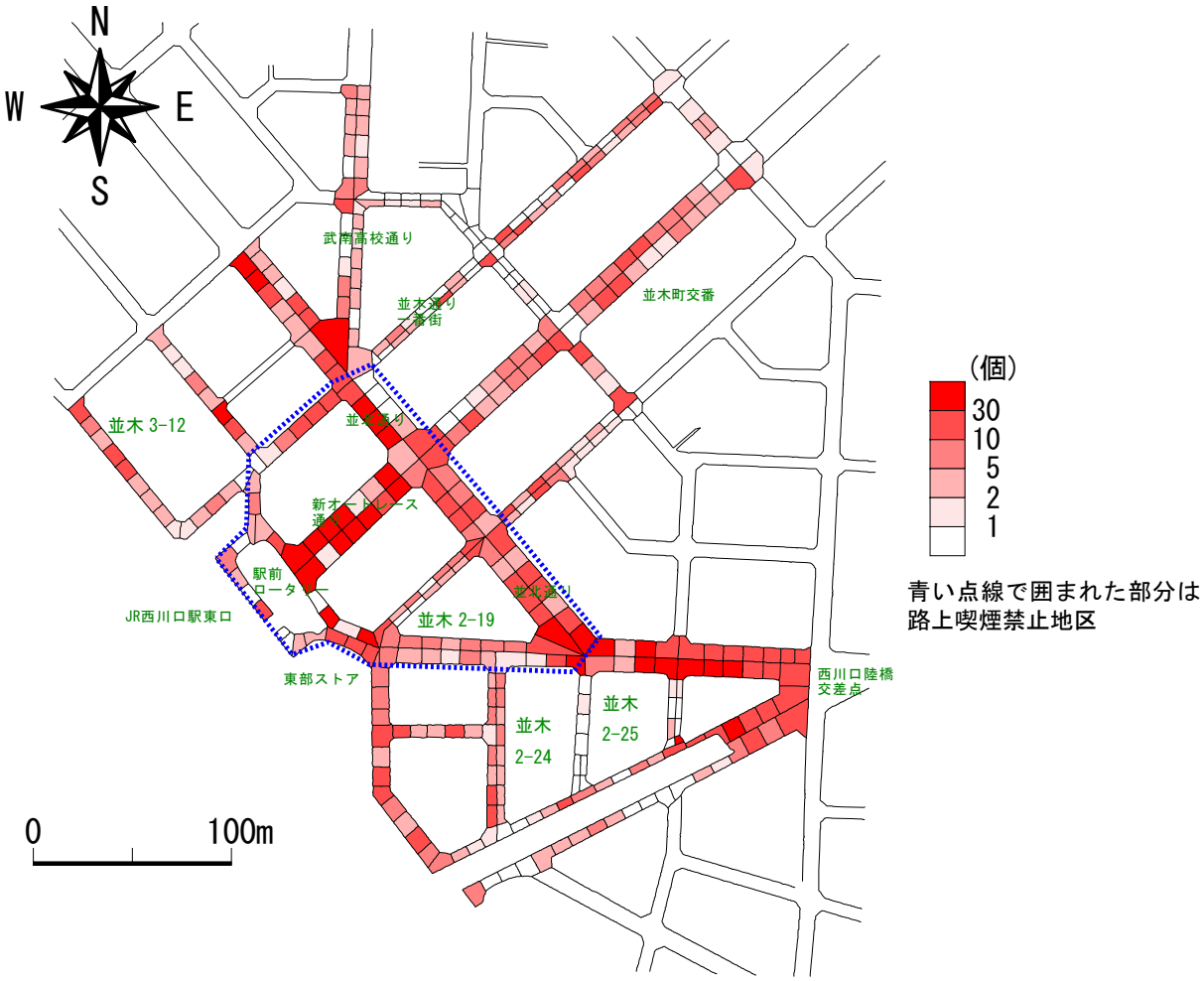


図表 2-23　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【西川口駅東口】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 82 | 19.9% |
| 1-5 | 165 | 59.8% |
| 6-10 | 62 | 74.8% |
| 11-15 | 39 | 84.3% |
| 16-20 | 22 | 89.6% |
| 21-25 | 6 | 91.0% |
| 26-30 | 7 | 92.7% |
| 31-35 | 8 | 94.7% |
| 36-40 | 3 | 95.4% |
| 41-45 | 2 | 95.9% |
| 46-50 | 3 | 96.6% |
| 51- | 14 | 100.0% |




青い点線で囲まれた部分は
路上喫煙禁止地区

## （４）西川口駅西口

①散乱ごみの状況

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 7.0 個であったのに対し、平成 20 年度は 9.2 個、平成 17 年度は 1.1 個、平成 16 年度は 6.9 個であり、平成 17 年度を除き、過去の調査に比べて少なくなっている。休日でも、今回調査の平均が 6.2 個であったのに対し、平成 20 年度は 10.0 個、平成 17 年度は 12.5 個、平成 16 年度は 14.9 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。（図表 2-8～9)。

今回の調査結果では、散乱ごみがまったくなかったブロックが、平日で 27.8%、1～5 個であったのが 37.7%、合わせて 65.5%となっており、他の地域に比べて散乱ごみが少ないブロックが少なくなっている（図表 2-24)。

休日では、散乱ごみがまったくなかったブロックが 29.4%、1～5 個であったのが 46.2%、合わせて 75.6%となっている（図表 2-25)。

西川口駅西口は、他の調査地域に比べると、散乱ごみが最も多い地域のひとつとなっている（図表 2-4～5)。また、路上部分＋植栽部分でも散乱ごみが多い傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。西川口駅西口でも、行政による清掃が頻繁に行われている。また、市民団体によるクリーン作戦が月１回実施されている。今後、散乱ごみを防止するための啓発や市民による清掃活動への支援の一層の推進を検討する。

②散乱状況の著しい場所の推移

前回調査の時点では、人通りの少ない路地は路上喫煙防止条例による路上喫煙禁止地区の指定、パトロール効果の範囲外となっており、依然と散乱ごみの堆積が解消されていないと指摘されていた。今回調査でも、路上喫煙禁止地区に指定されている場所は、指定されていない場所に比べて散乱ごみが少ない傾向が読み取れる。

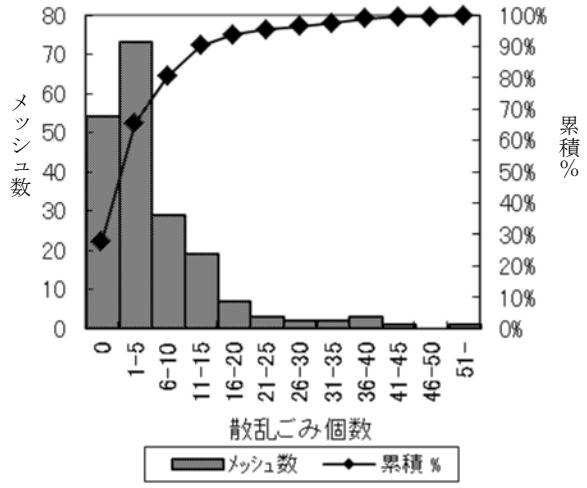
前回調査では、西川口１丁目 21 番地周辺の交差点（西川口駅西口交差点など３交差点）付近、西川口１丁目 2 番地南側付近では散乱ごみが増加しているとされていた。今回も同様の傾向にある。一方、西川口１丁目 9 番地北西側付近、西川口１丁目 3・5 番地南側付近においては、依然と散乱ごみが少ない状況を維持しているとされていた。これらの場所は、今回の調査でも比較的散乱が少ない傾向にある。

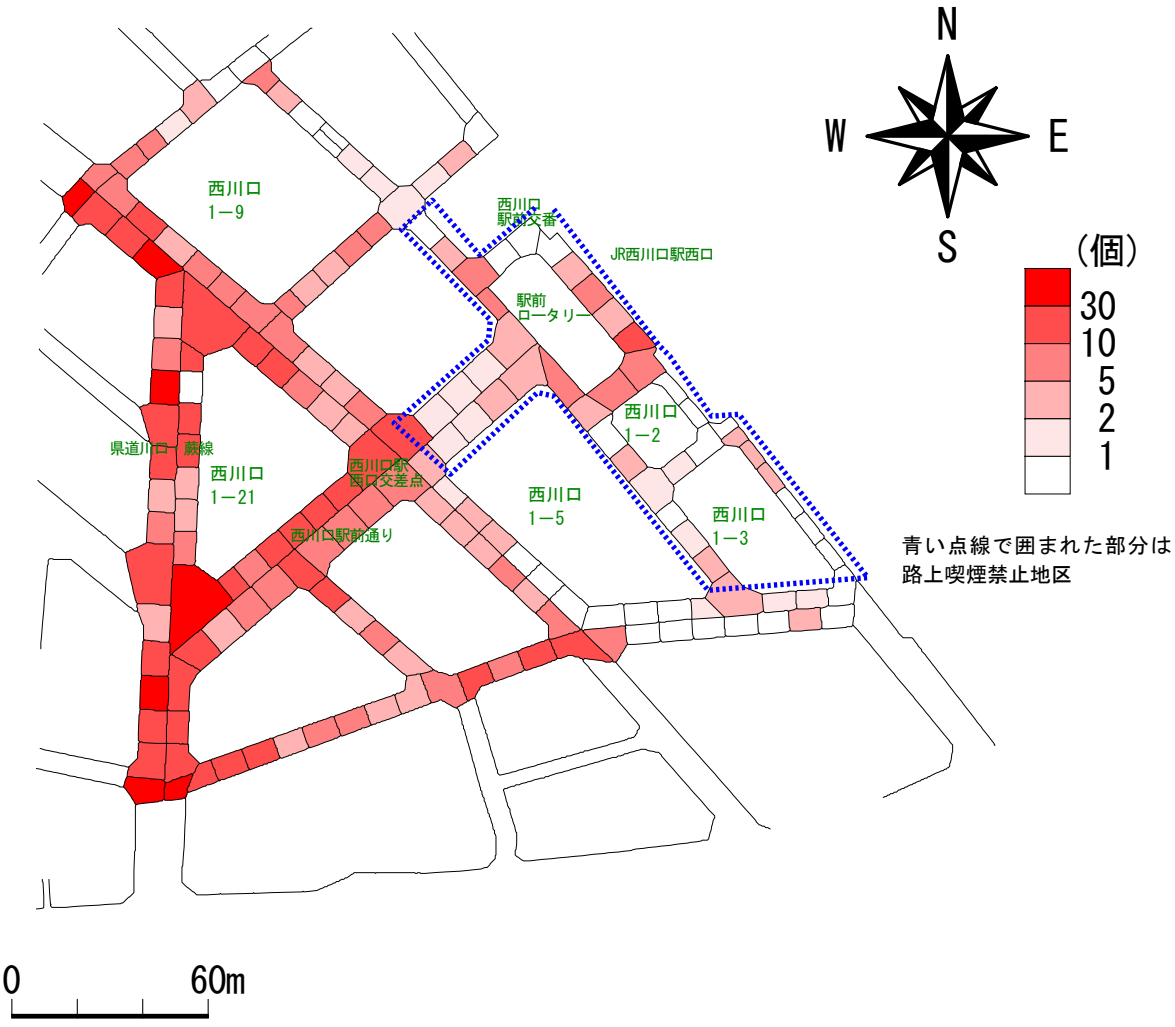
路上喫煙禁止の掲示

市民団体によるクリーン作戦ののぼり

図表 2-24　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分のみ）【西川口駅西口】

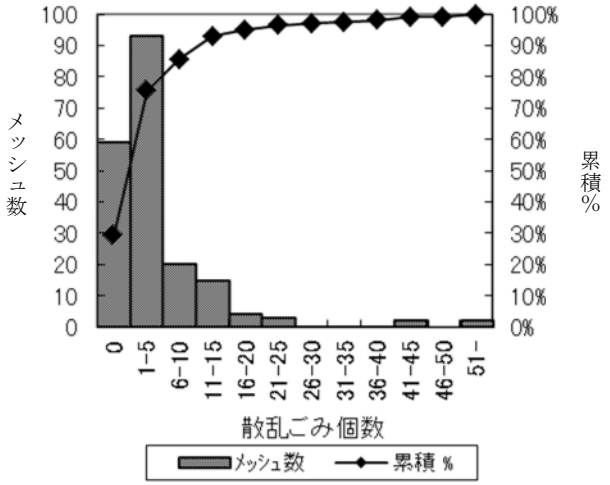
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 54 | 27.8% |
| 1-5 | 73 | 65.5% |
| 6-10 | 29 | 80.4% |
| 11-15 | 19 | 90.2% |
| 16-20 | 7 | 93.8% |
| 21-25 | 3 | 95.4% |
| 26-30 | 2 | 96.4% |
| 31-35 | 2 | 97.4% |
| 36-40 | 3 | 99.0% |
| 41-45 | 1 | 99.5% |
| 46-50 | 0 | 99.5% |
| 51- | 1 | 100.0% |

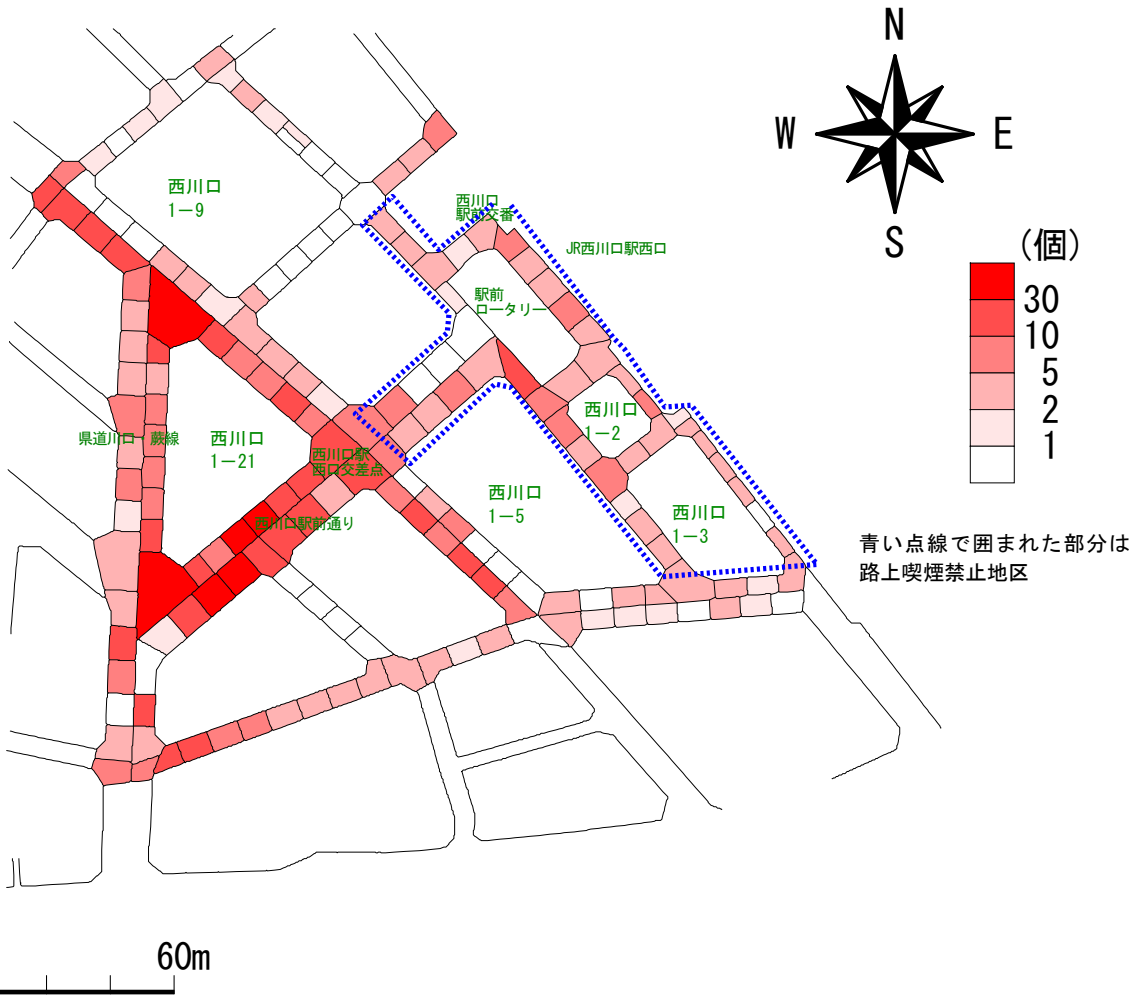


図表 2-25　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分）【西川口駅西口】

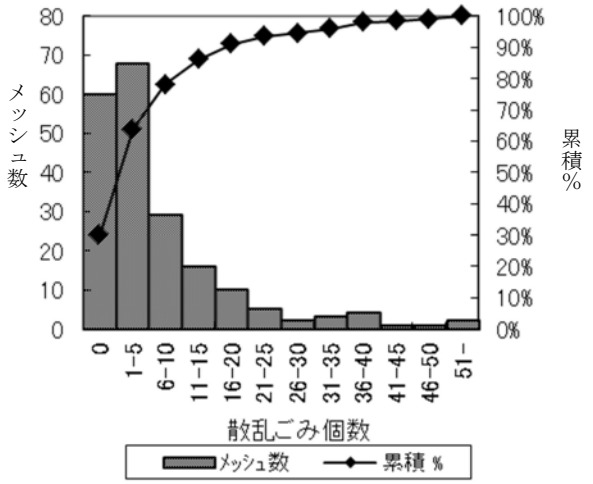
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 59 | 29.4% |
| 1-5 | 93 | 75.6% |
| 6-10 | 20 | 85.6% |
| 11-15 | 15 | 93.0% |
| 16-20 | 4 | 95.0% |
| 21-25 | 3 | 96.5% |
| 26-30 | 1 | 97.0% |
| 31-35 | 1 | 97.5% |
| 36-40 | 1 | 98.0% |
| 41-45 | 2 | 99.0% |
| 46-50 | 0 | 99.0% |
| 51- | 2 | 100.0% |

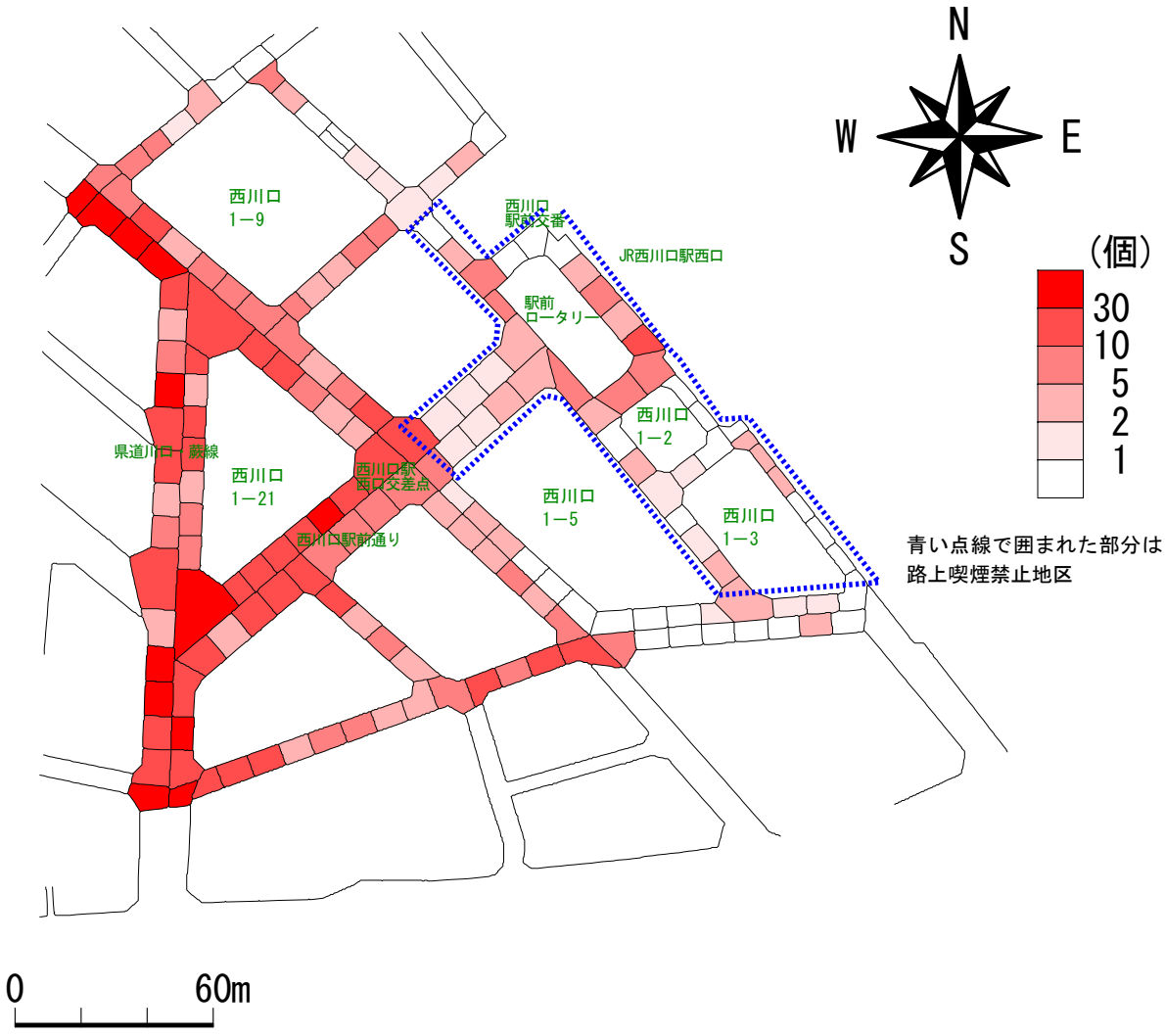


図表 2-26　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【西川口駅西口】

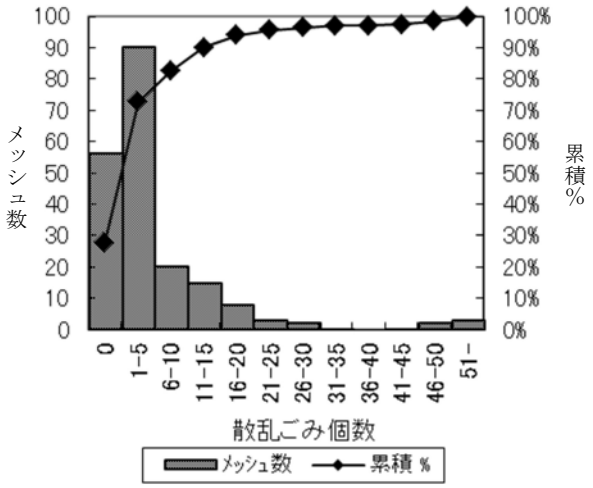
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 60 | 29.9% |
| 1-5 | 68 | 63.7% |
| 6-10 | 29 | 78.1% |
| 11-15 | 16 | 86.1% |
| 16-20 | 10 | 91.0% |
| 21-25 | 5 | 93.5% |
| 26-30 | 2 | 94.5% |
| 31-35 | 3 | 96.0% |
| 36-40 | 4 | 98.0% |
| 41-45 | 1 | 98.5% |
| 46-50 | 1 | 99.0% |
| 51- | 2 | 100.0% |

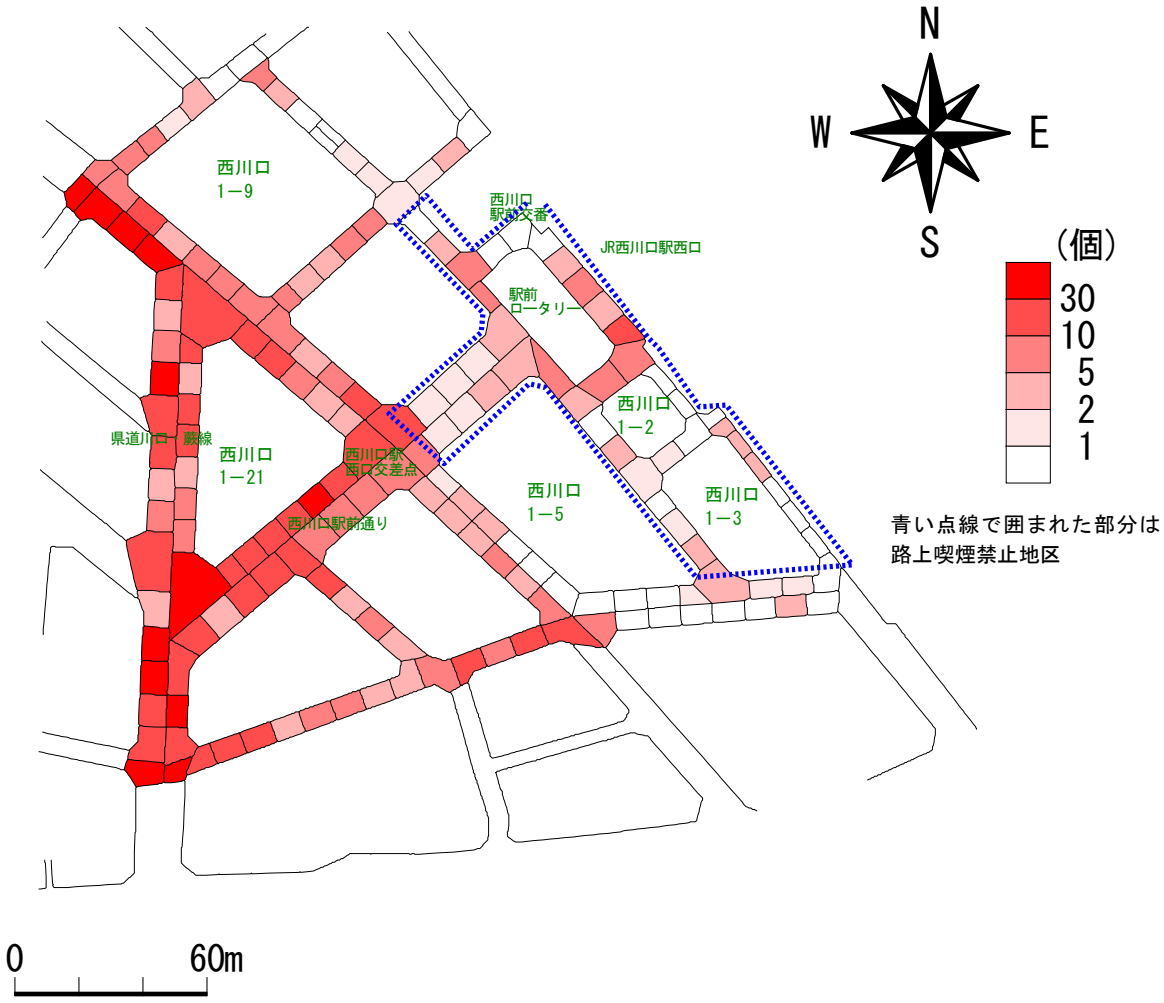


図表 2-27　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【西川口駅西口】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 56 | 27.9% |
| 1-5 | 90 | 72.6% |
| 6-10 | 20 | 82.6% |
| 11-15 | 15 | 90.0% |
| 16-20 | 8 | 94.0% |
| 21-25 | 3 | 95.5% |
| 26-30 | 2 | 96.5% |
| 31-35 | 1 | 97.0% |
| 36-40 | 0 | 97.0% |
| 41-45 | 1 | 97.5% |
| 46-50 | 2 | 98.5% |
| 51- | 3 | 100.0% |



## （５）蕨駅

①散乱ごみの状況

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 2.6 個であったのに対し、平成 20 年度は 7.2 個、平成 17 年度は 3.5 個、平成 16 年度は 7.4 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。休日でも、今回調査の平均が 3.6 個であったのに対し、平成 20 年度は 6.6 個、平成 17 年度は 7.0 個、平成 16 年度は 10.6 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。(図表 2-8～9)。

今回の調査結果では、散乱ごみがまったくなかったブロックが、平日で 40.1%、1～5 個であったのが 44.4%、散乱ごみが少ないブロックが合わせて 84.5%となっている（図表 2-28)。

休日では、散乱ごみがまったくなかったブロックが 27.6%、1～5 個であったのが 52.9%、合わせて 80.5%となっている（図表 2-29)。

蕨駅周辺は、他の調査地域に比べると、散乱ごみが比較的多い地域のひとつとなっている（図表 2-4～5)。また、路上部分＋植栽部分の散乱ごみでも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

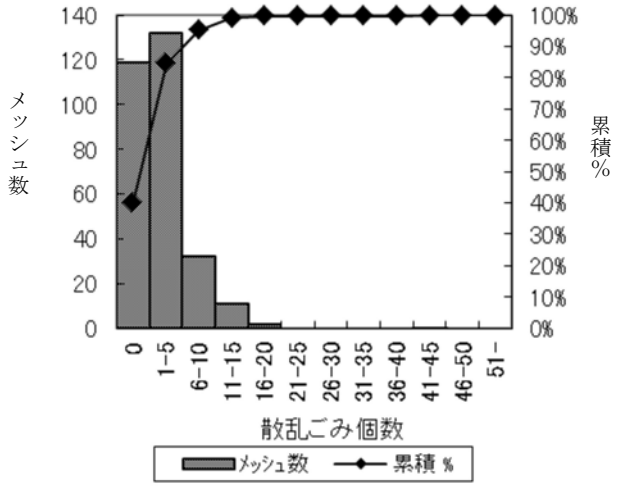
②散乱状況の著しい場所の推移

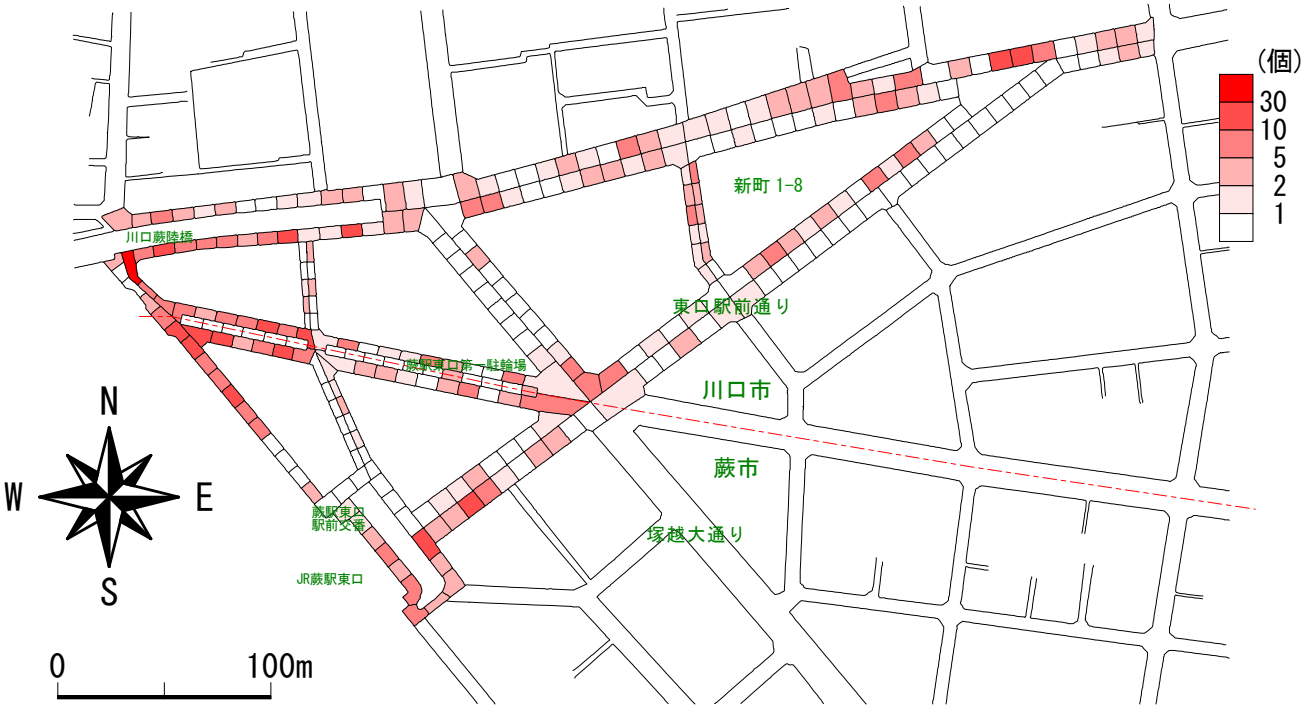
前回調査では、蕨駅東口第一駐輪場の西端付近、芝新町 1 丁目 8 番地北西側の交差点付近で散乱ごみが多かった。蕨駅東口第一駐輪場の西端付近は、今回の調査でも散乱ごみが多い場所となっている。また、前回調査では、線路沿いの道路付近、東駅前通りと塚越大通りの交差点付近においては、依然と散乱ごみが多い状況とされていた。この傾向も変わっていない。

一方で、前回調査では、塚越大通りのバス乗り場付近が、散乱ごみが少ない状況を維持しているとされた。この付近は、今回の調査でも散乱ごみが少ない傾向にあった。

図表 2-28　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分のみ）【蕨駅】

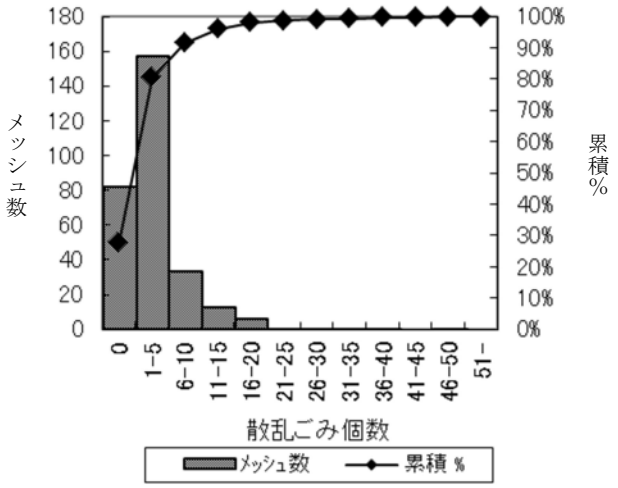
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 119 | 40.1% |
| 1-5 | 132 | 84.5% |
| 6-10 | 32 | 95.3% |
| 11-15 | 11 | 99.0% |
| 16-20 | 2 | 99.7% |
| 21-25 | 0 | 99.7% |
| 26-30 | 0 | 99.7% |
| 31-35 | 0 | 99.7% |
| 36-40 | 0 | 99.7% |
| 41-45 | 1 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

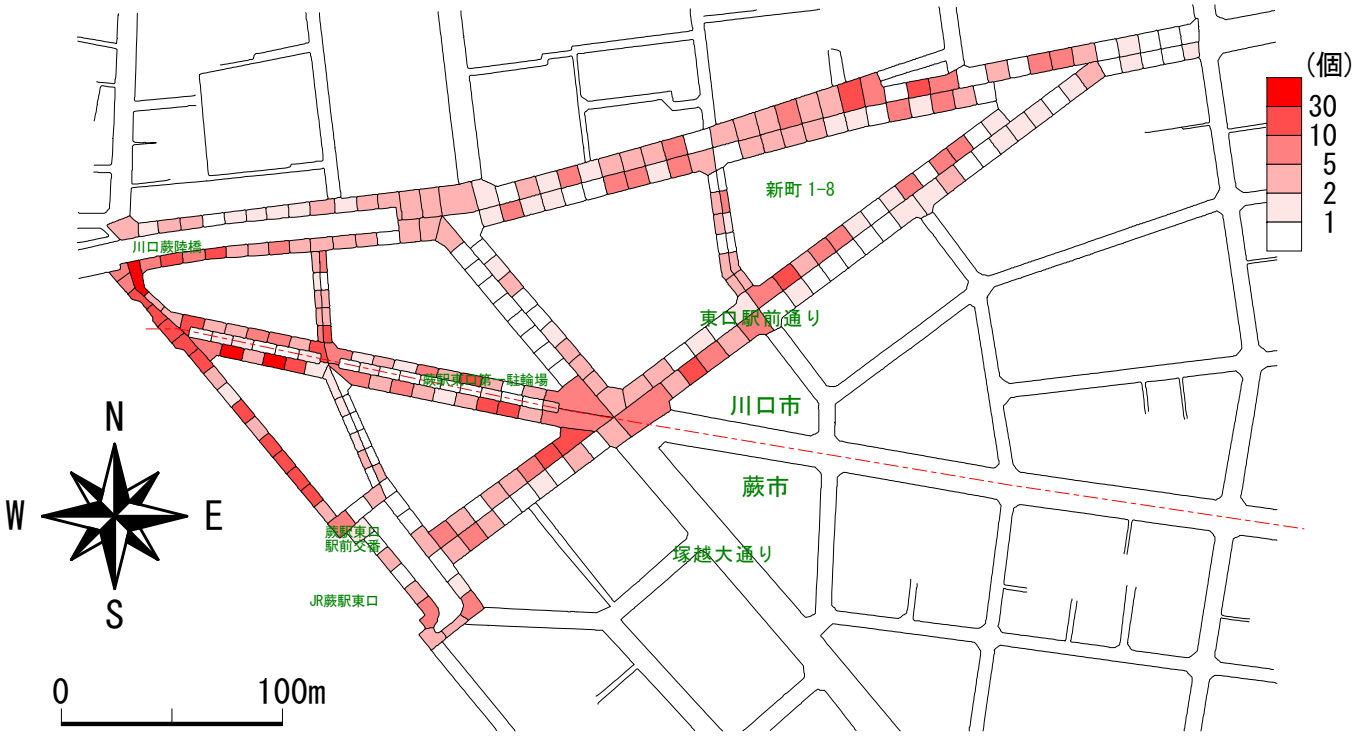


図表 2-29　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分のみ）【蕨駅】

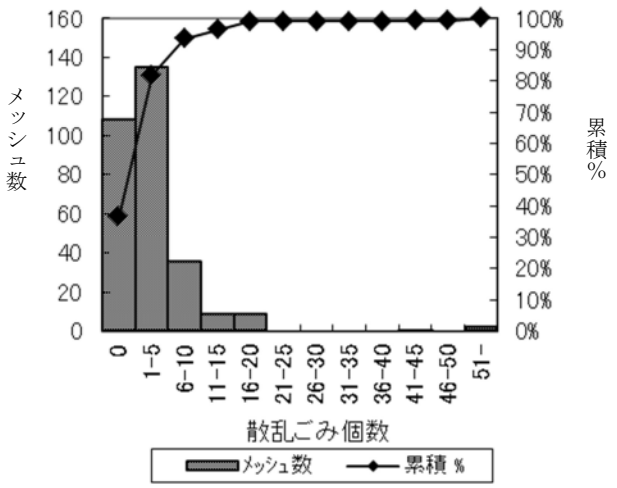
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 82 | 27.6% |
| 1-5 | 157 | 80.5% |
| 6-10 | 33 | 91.6% |
| 11-15 | 13 | 96.0% |
| 16-20 | 6 | 98.0% |
| 21-25 | 2 | 98.7% |
| 26-30 | 1 | 99.0% |
| 31-35 | 1 | 99.3% |
| 36-40 | 1 | 99.7% |
| 41-45 | 0 | 99.7% |
| 46-50 | 1 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

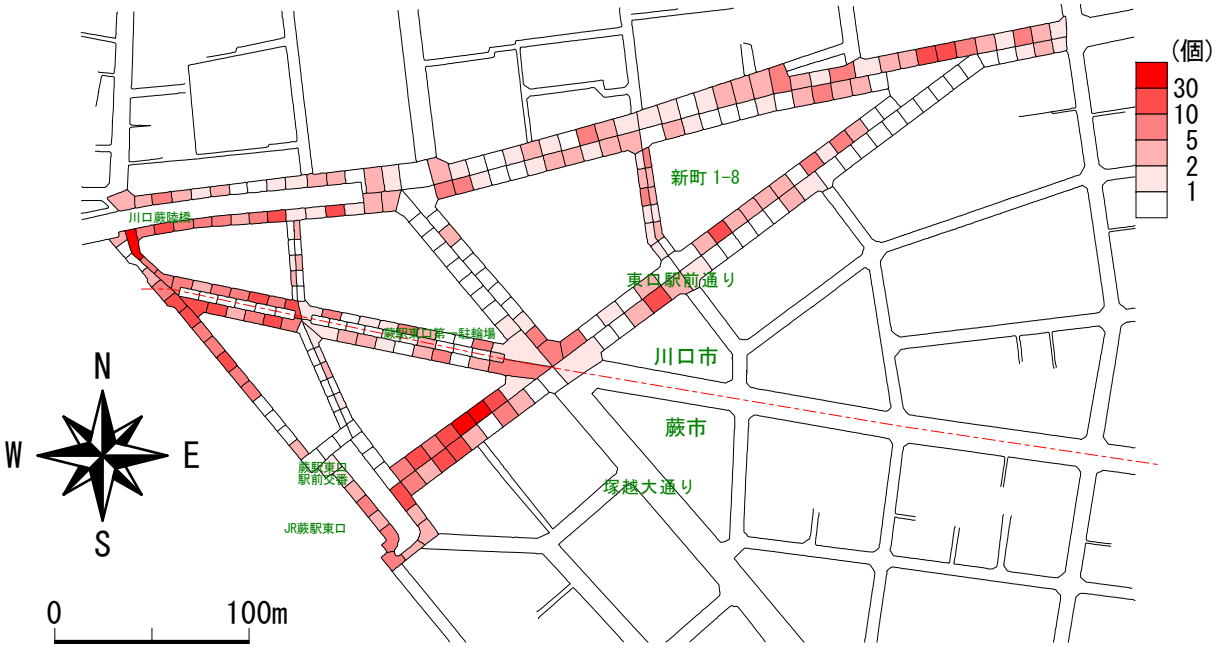


図表 2-30　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【蕨駅】

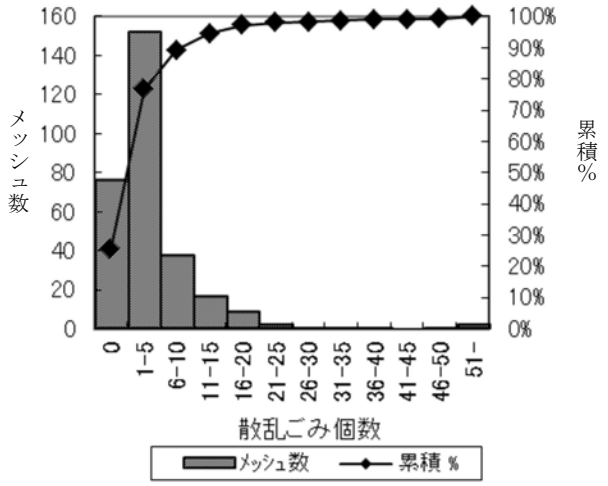
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 108 | 36.4% |
| 1-5 | 135 | 81.8% |
| 6-10 | 35 | 93.6% |
| 11-15 | 8 | 96.3% |
| 16-20 | 8 | 99.0% |
| 21-25 | 0 | 99.0% |
| 26-30 | 0 | 99.0% |
| 31-35 | 0 | 99.0% |
| 36-40 | 0 | 99.0% |
| 41-45 | 1 | 99.3% |
| 46-50 | 0 | 99.3% |
| 51- | 2 | 100.0% |

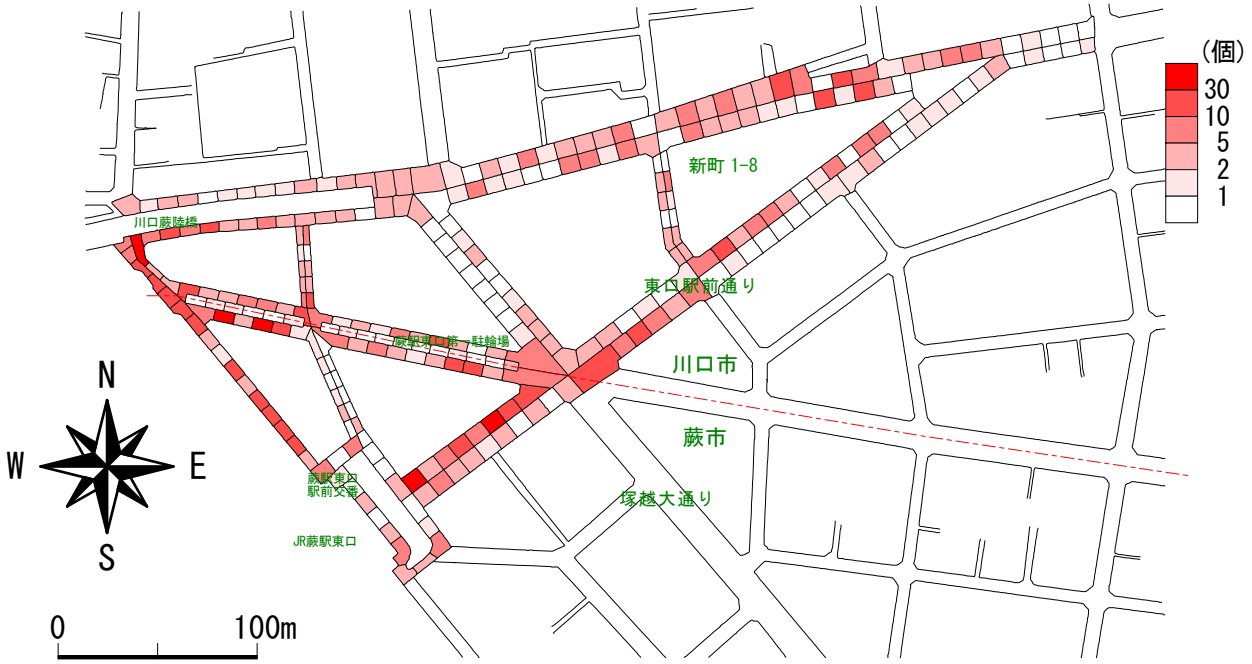


図表 2-31　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【蕨駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 76 | 25.6% |
| 1-5 | 152 | 76.8% |
| 6-10 | 37 | 89.2% |
| 11-15 | 16 | 94.6% |
| 16-20 | 8 | 97.3% |
| 21-25 | 2 | 98.0% |
| 26-30 | 1 | 98.3% |
| 31-35 | 1 | 98.7% |
| 36-40 | 1 | 99.0% |
| 41-45 | 0 | 99.0% |
| 46-50 | 1 | 99.3% |
| 51- | 2 | 100.0% |



## （６）東川口駅

①散乱ごみの状況

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 2.3 個であったのに対し、平成 20 年度は 6.5 個、平成 17 年度は 5.3 個、平成 16 年度は 2.5 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。休日でも、今回調査の平均が 2.9 個であったのに対し、平成 20 年度は 7.1 個、平成 17 年度は 7.2 個、平成 16 年度は 6.7 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。（図表 2-8～9)。

今回の調査では、散乱ごみがまったくなかったブロックが、平日で 40.5%、1～5 個であったのが 49.9%、散乱ごみが少ないブロックが合わせて 90.4%を占めている（図表 2-32)。

休日では、散乱ごみがまったくなかったブロックが 36.7%、1～5 個であったのが 46.3%、合わせて 83.0%を占めている（図表 2-33)。

東川口駅における散乱ごみは、他の調査地域に比べると、平均的な水準となっている（図表 2-4～5)。また、路上部分＋植栽部分の散乱ごみでも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。東川口駅も、行政による清掃が頻繁に行われている。こうした清掃の効果も手伝い、ほぼ平均的な水準となっている。

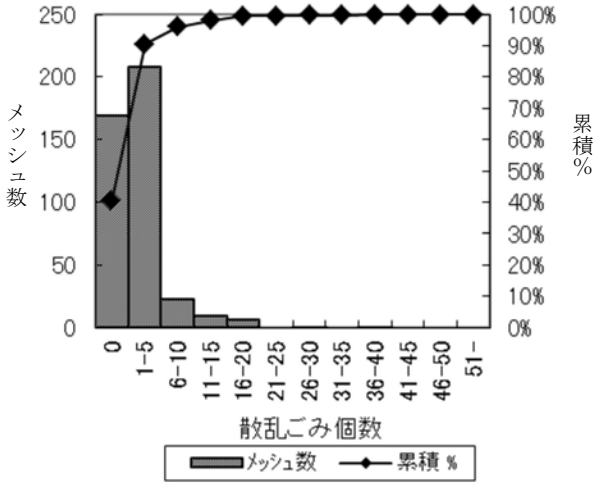
②散乱状況の著しい場所の推移

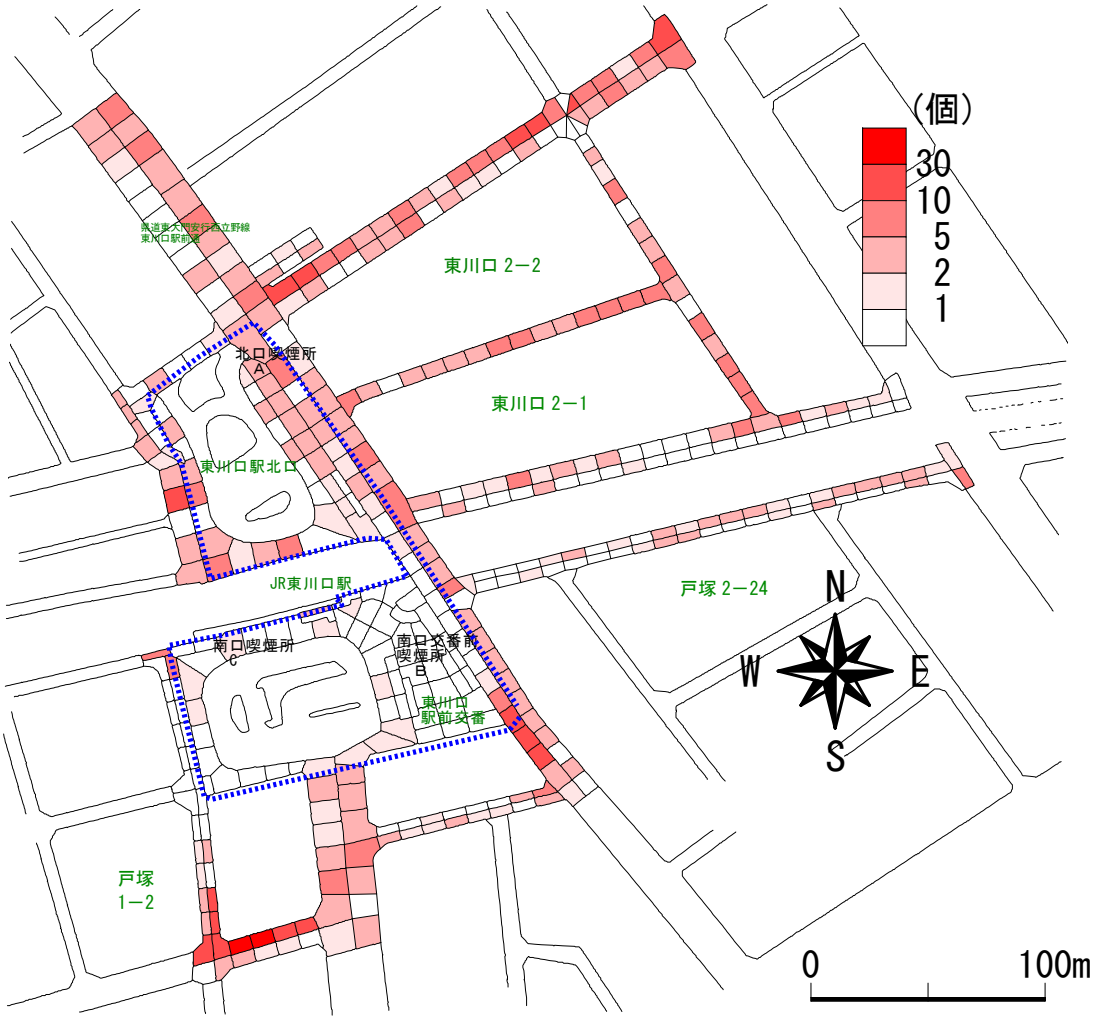
前回調査では、戸塚 1 丁目 2 番地西側・南側付近に散乱ごみが多いとされた。今回調査でも、この傾向は変わらなかった。東川口 2 丁目 1 番地北側付近も散乱ごみが多い状況とされたが、今回調査では改善が見られ、他の場所と大きく変わりはない状況であった。

前回調査で散乱ごみが少ない状況を維持しているとされた東川口 2 丁目 2 番地東側付近、戸塚 2 丁目 24 番地北側付近については、今回調査でも比較的散乱ごみが少なかった。

図表 2-32　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分のみ）【東川口駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 169 | 40.5% |
| 1-5 | 208 | 90.4% |
| 6-10 | 23 | 95.9% |
| 11-15 | 9 | 98.1% |
| 16-20 | 6 | 99.5% |
| 21-25 | 0 | 99.5% |
| 26-30 | 1 | 99.8% |
| 31-35 | 0 | 99.8% |
| 36-40 | 1 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

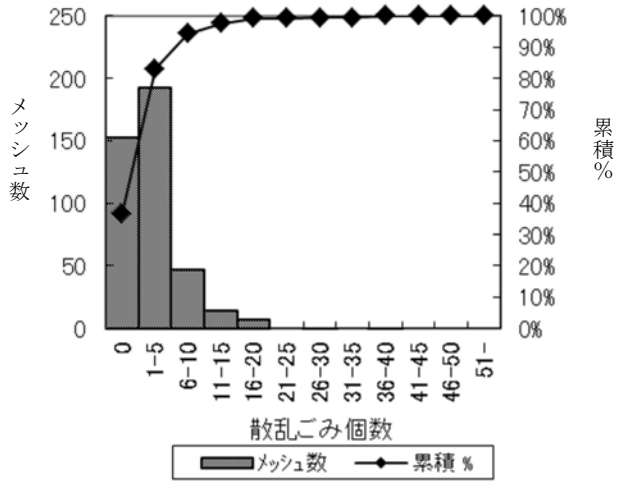


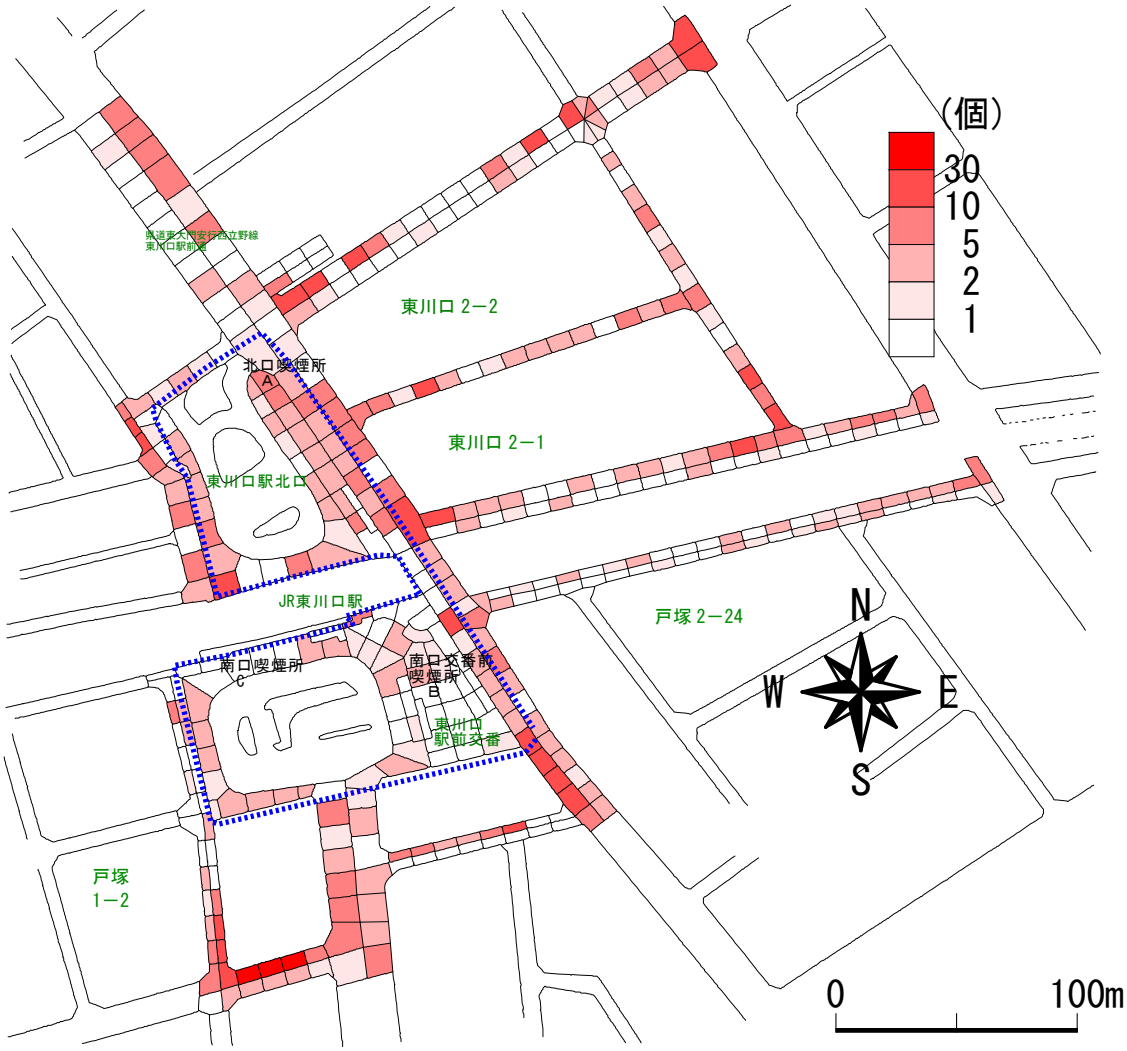




青い点線で囲まれた部分は
路上喫煙禁止地区

図表 2-33　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分のみ）【東川口駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 153 | 36.7% |
| 1-5 | 193 | 83.0% |
| 6-10 | 47 | 94.2% |
| 11-15 | 14 | 97.6% |
| 16-20 | 7 | 99.3% |
| 21-25 | 0 | 99.3% |
| 26-30 | 1 | 99.5% |
| 31-35 | 0 | 99.5% |
| 36-40 | 2 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |

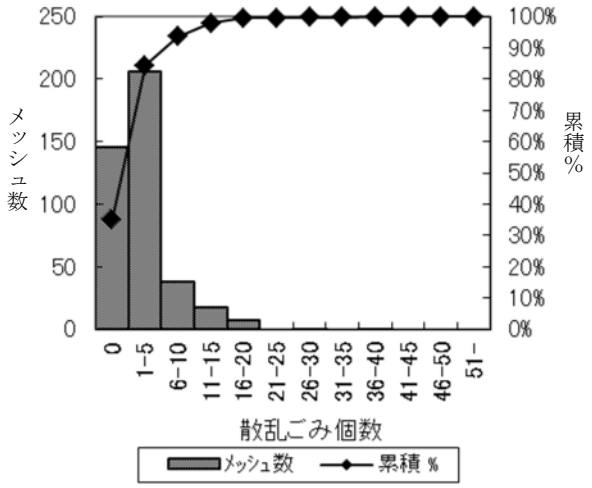


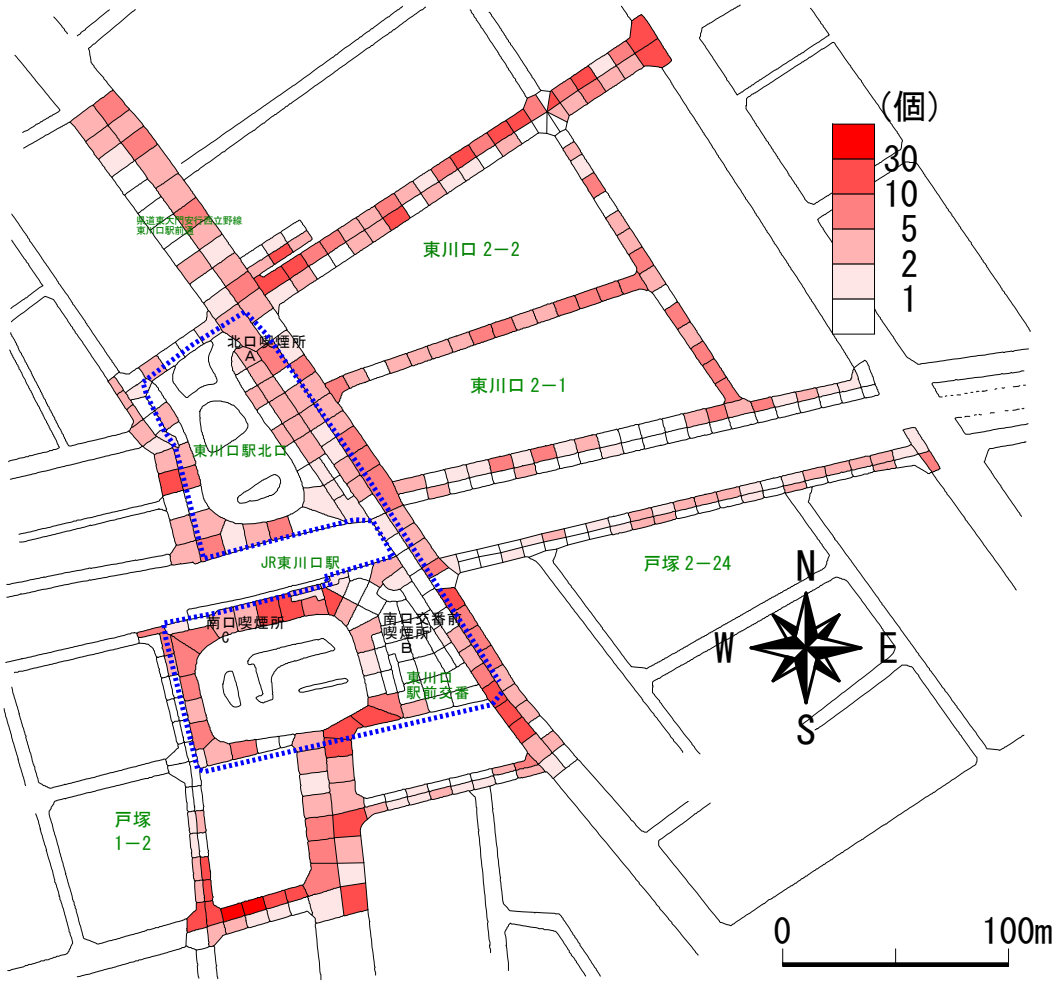




青い点線で囲まれた部分は
路上喫煙禁止地区

図表 2-34　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【東川口駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 146 | 35.0% |
| 1-5 | 206 | 84.4% |
| 6-10 | 38 | 93.5% |
| 11-15 | 18 | 97.8% |
| 16-20 | 7 | 99.5% |
| 21-25 | 0 | 99.5% |
| 26-30 | 1 | 99.8% |
| 31-35 | 0 | 99.8% |
| 36-40 | 1 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

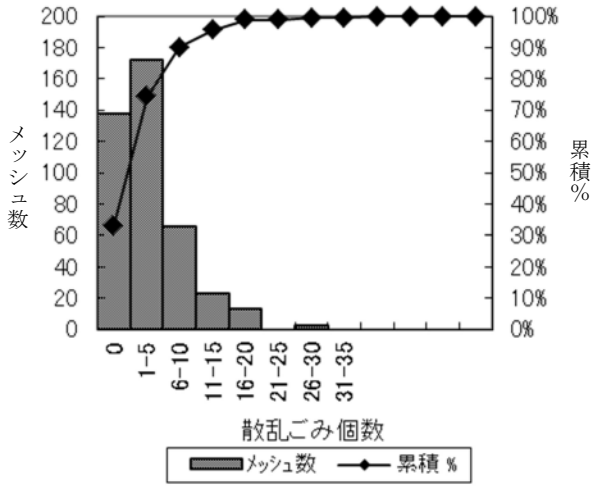


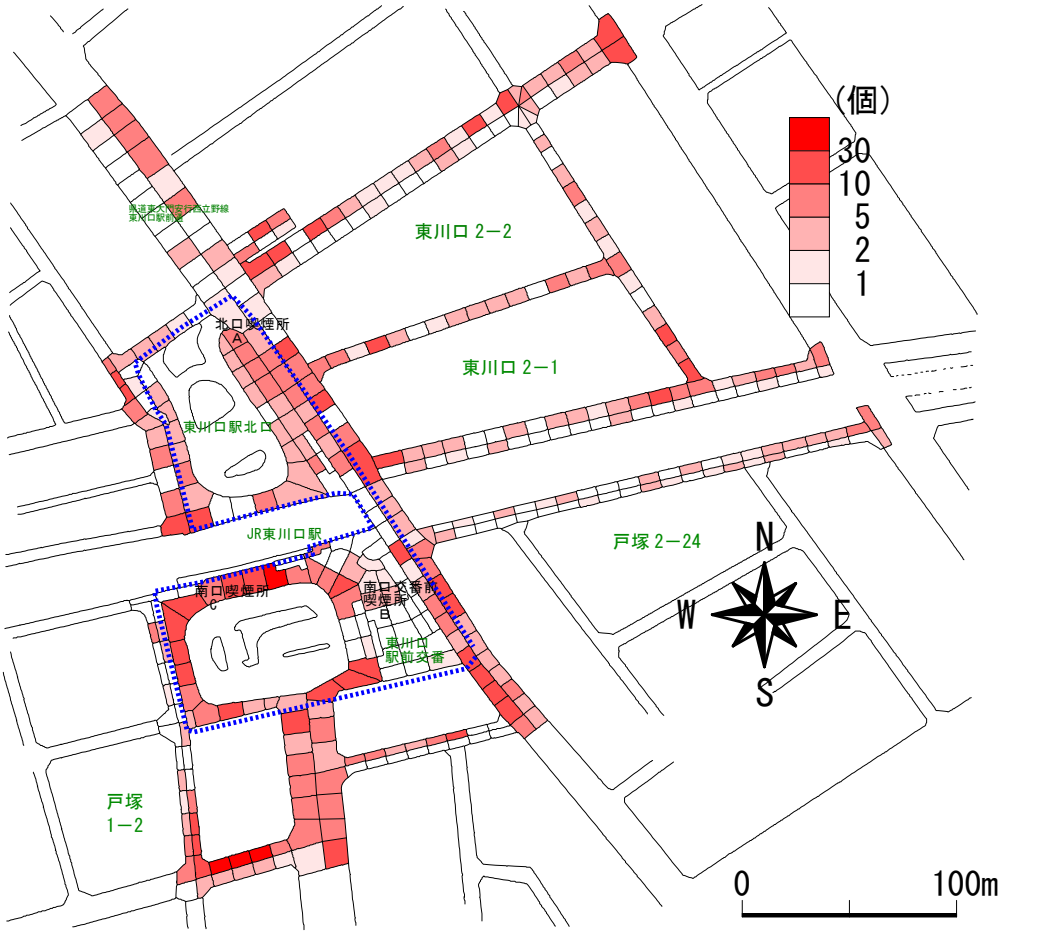




青い点線で囲まれた部分は
路上喫煙禁止地区

図表 2-35　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【東川口駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 138 | 33.1% |
| 1-5 | 172 | 74.3% |
| 6-10 | 66 | 90.2% |
| 11-15 | 23 | 95.7% |
| 16-20 | 13 | 98.8% |
| 21-25 | 0 | 98.8% |
| 26-30 | 3 | 99.5% |
| 31-35 | 0 | 99.5% |
| 36-40 | 2 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |




青い点線で囲まれた部分は
路上喫煙禁止地区

### （７）川口元郷駅

①散乱ごみの状況

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 3.0 個であったのに対し、平成 17 年度は 4.1 個、平成 16 年度は 2.5 個であった。休日では、今回調査の平均が 3.9 個であったのに対し、平成 17 年度は 4.2 個、平成 16 年度は 4.4 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。（図表 2-8～9)。

今回の調査結果では、散乱ごみがまったくなかったブロックが、平日で 27.2%、1～5 個であったのが 57.6%、散乱ごみが少ないブロックが合わせて 84.8%となっている（図表 2-36)。

休日では、散乱ごみがまったくなかったブロックが 27.2%、1～5 個であったのが 57.6%、合わせて 84.8%となっている（図表 2-37)。

川口元郷駅における散乱ごみは、他の調査地域に比べると、平均的な水準となっている（図表 2-4～5)。また、路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

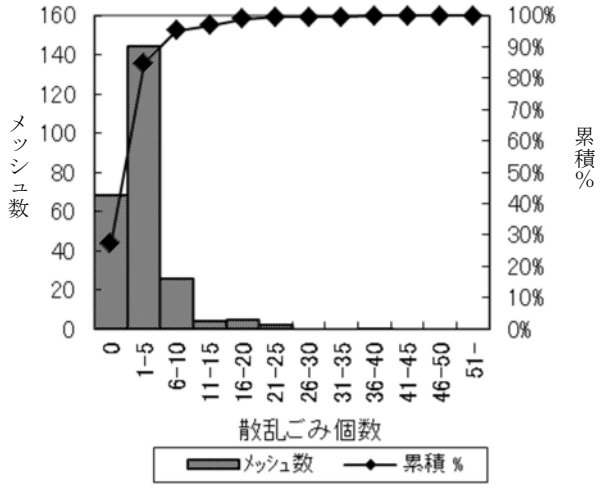
②散乱状況の著しい場所の推移

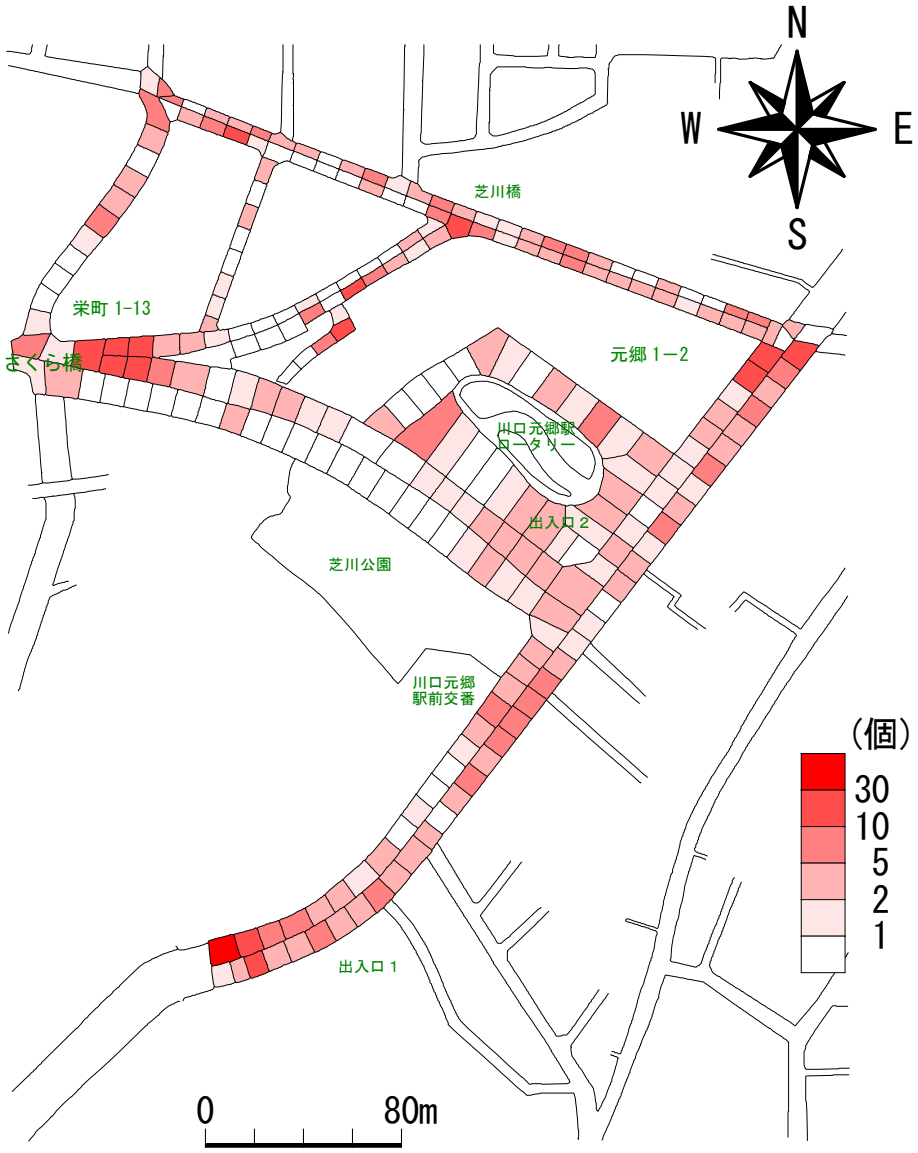
平成 20 年度は、川口元郷駅での調査を実施していないので、平成 17 年度調査と比較する。この調査では、ＳＲ線出入口１付近、交差点付近、駅北側の芝川橋付近で、清掃する機会に恵まれず散乱ごみの増加傾向にあるとされている。今回調査でも、これらの場所では、比較的、散乱ごみが多く見られている。

このほか、今回調査では、元郷１丁目 2 番地付近、栄町１丁目 13 番地での散乱ごみが比較的多くみられた。

図表 2-36　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分のみ）【川口元郷駅】

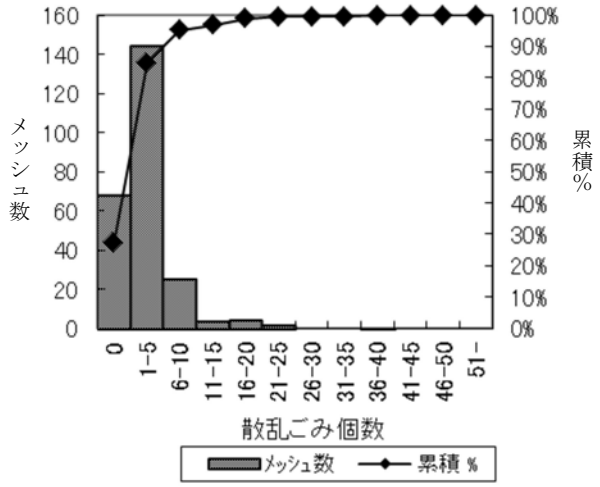
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 68 | 27.2% |
| 1-5 | 144 | 84.8% |
| 6-10 | 26 | 95.2% |
| 11-15 | 4 | 96.8% |
| 16-20 | 5 | 98.8% |
| 21-25 | 2 | 99.6% |
| 26-30 | 0 | 99.6% |
| 31-35 | 0 | 99.6% |
| 36-40 | 1 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

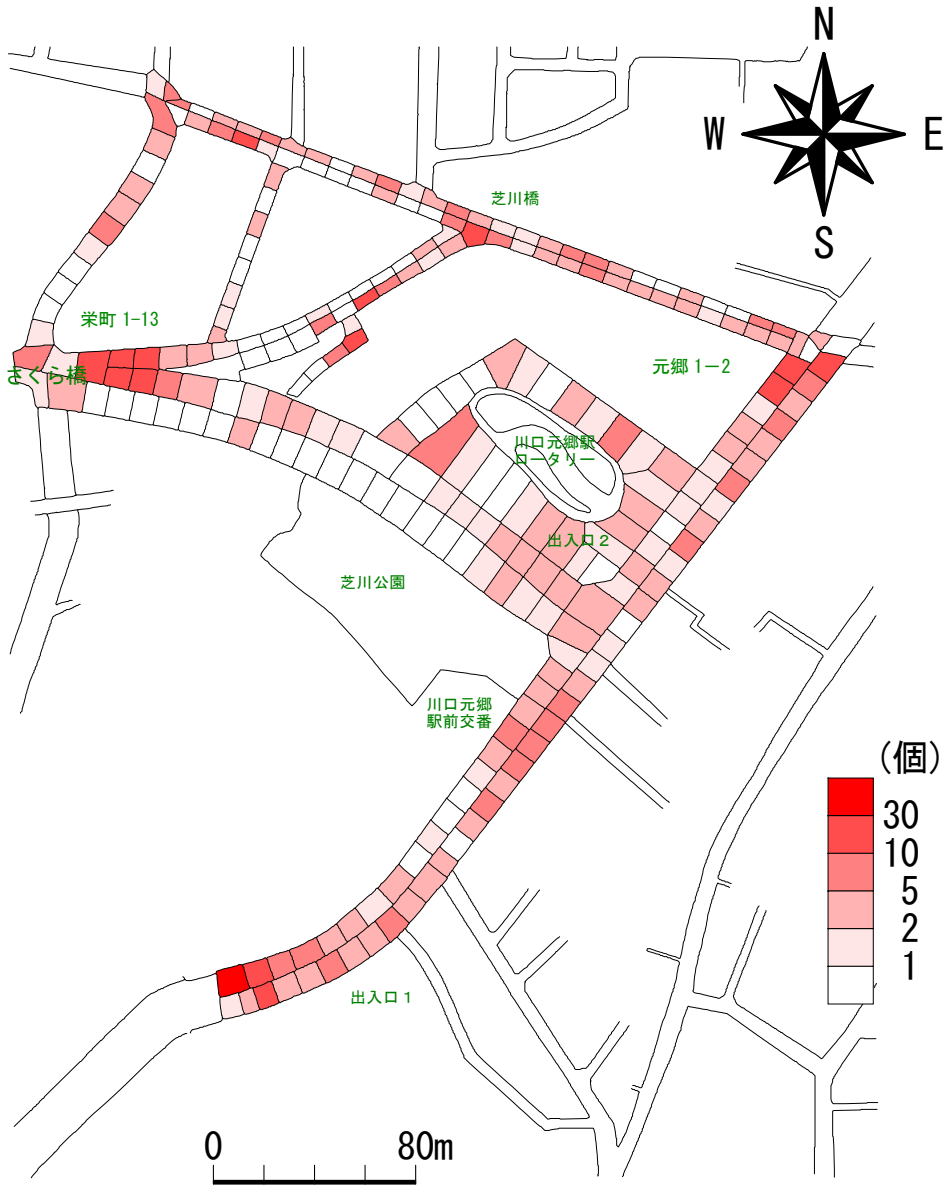


図表 2-37　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分のみ）【川口元郷駅】

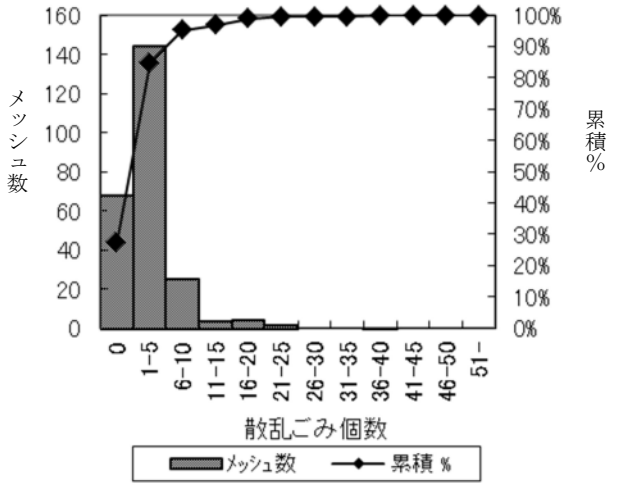
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 68 | 27.2% |
| 1-5 | 144 | 84.8% |
| 6-10 | 26 | 95.2% |
| 11-15 | 4 | 96.8% |
| 16-20 | 5 | 98.8% |
| 21-25 | 2 | 99.6% |
| 26-30 | 0 | 99.6% |
| 31-35 | 0 | 99.6% |
| 36-40 | 1 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

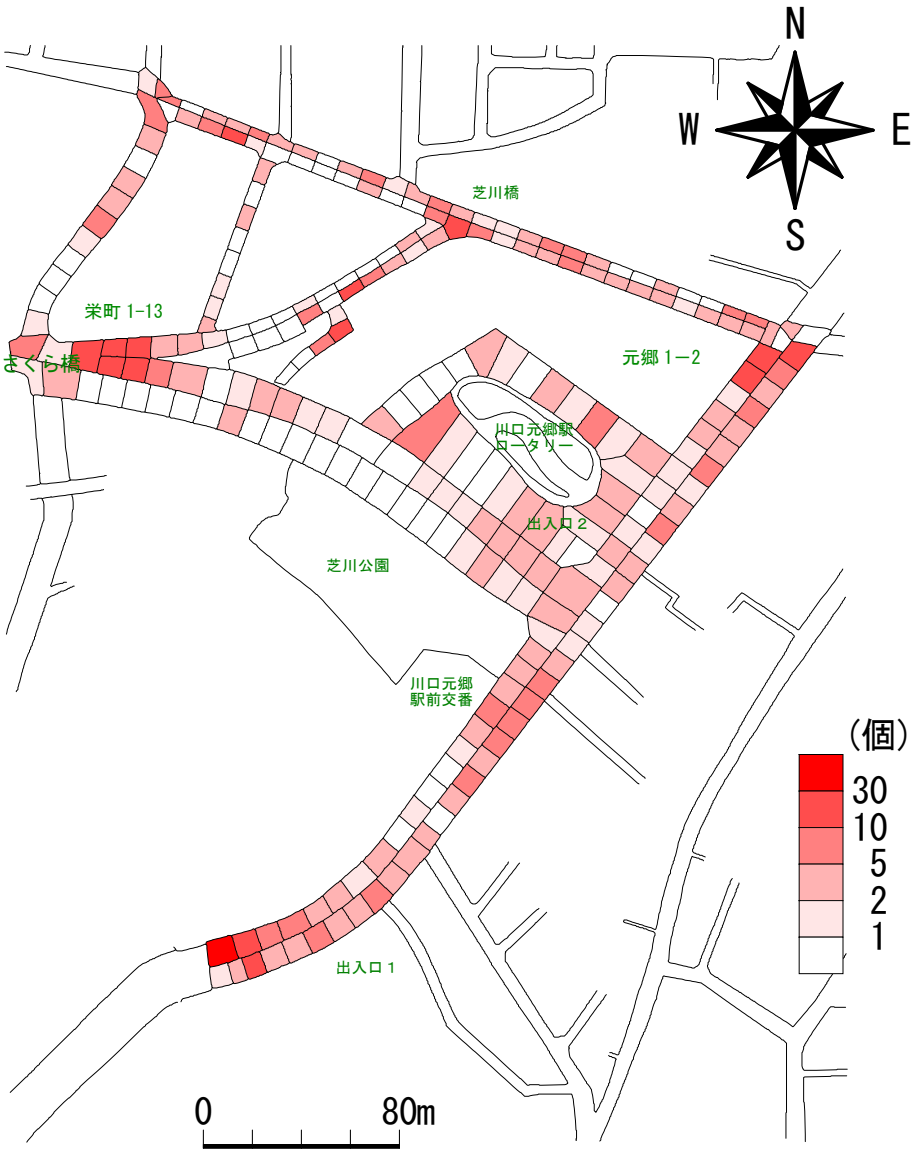


図表 2-38 散乱ごみの分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【川口元郷駅】

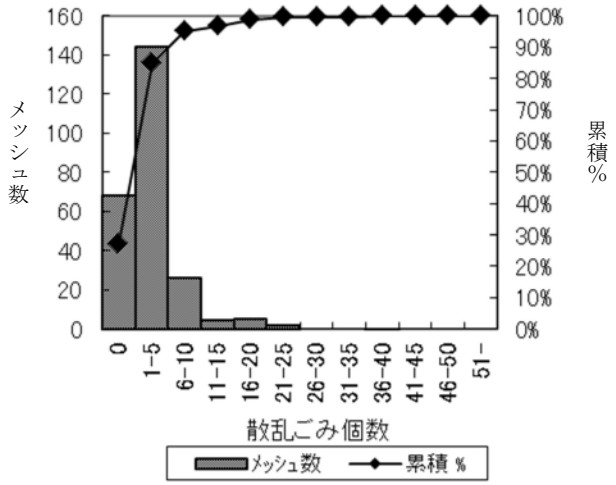
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 68 | 27.2% |
| 1-5 | 144 | 84.8% |
| 6-10 | 26 | 95.2% |
| 11-15 | 4 | 96.8% |
| 16-20 | 5 | 98.8% |
| 21-25 | 2 | 99.6% |
| 26-30 | 0 | 99.6% |
| 31-35 | 0 | 99.6% |
| 36-40 | 1 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

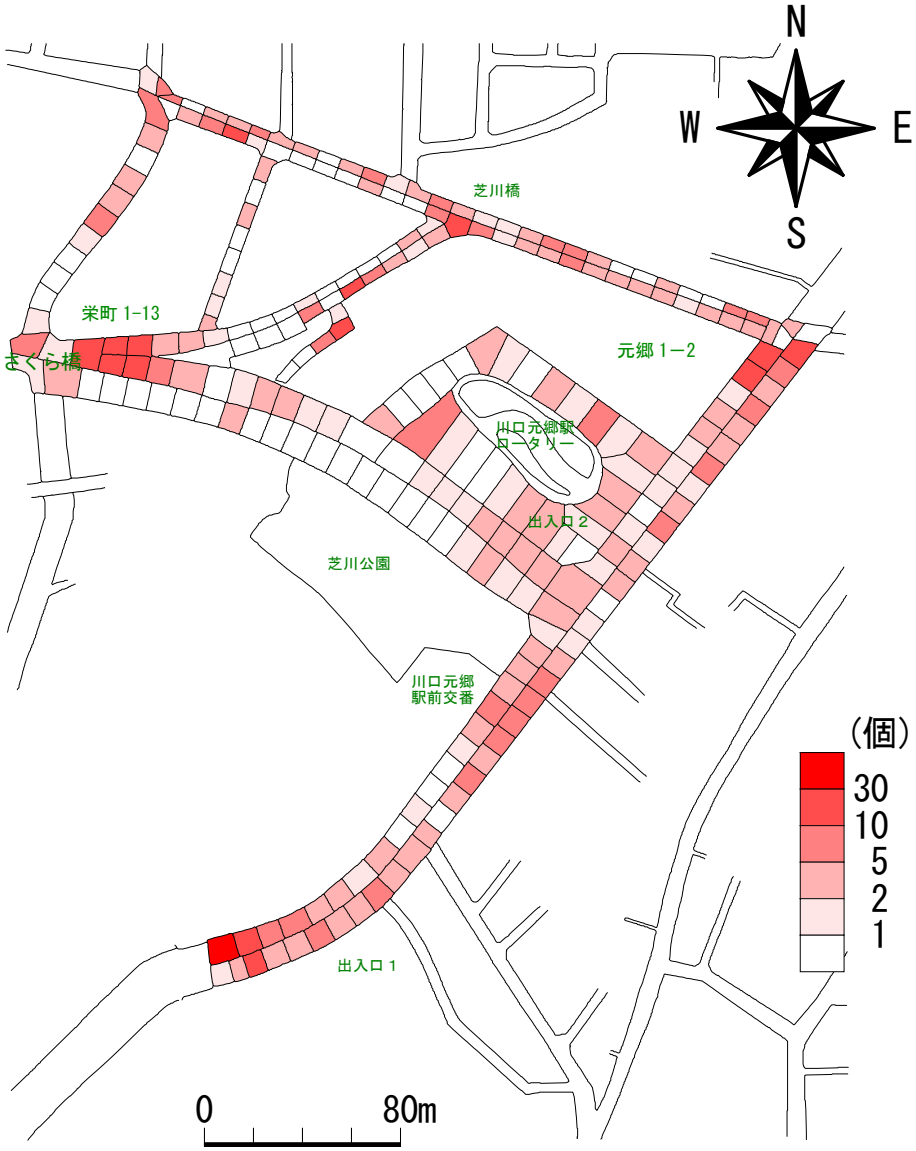


図表 2-39　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【川口元郷駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 68 | 27.2% |
| 1-5 | 144 | 84.8% |
| 6-10 | 26 | 95.2% |
| 11-15 | 4 | 96.8% |
| 16-20 | 5 | 98.8% |
| 21-25 | 2 | 99.6% |
| 26-30 | 0 | 99.6% |
| 31-35 | 0 | 99.6% |
| 36-40 | 1 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |



### （８）南鳩ヶ谷駅

①散乱ごみの状況

南鳩ヶ谷駅は、今回の調査から対象に加えられた地域であり、過去に比べられるデータがない。

今回の調査では、平日で、散乱ごみがまったくなかったブロックが、42.2%、1～5 個であったのが 52.4%で、散乱ごみが少ないブロックが合わせて 94.6%であった。散乱ごみが少ないブロックが多くなっている（図表 2-40)。

休日でも、散乱ごみがまったくなかったブロックが 61.2%、1～5 個であったのが 37.8%、合わせて 99.0%に達し、散乱ごみが少ないブロックが多くなっている（図表 2-41)。

南鳩ヶ谷駅における散乱ごみは、他の調査地域に比べると、最も少ない水準となっている（図表 2-4～5)。また、路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

②地域内での散乱状況

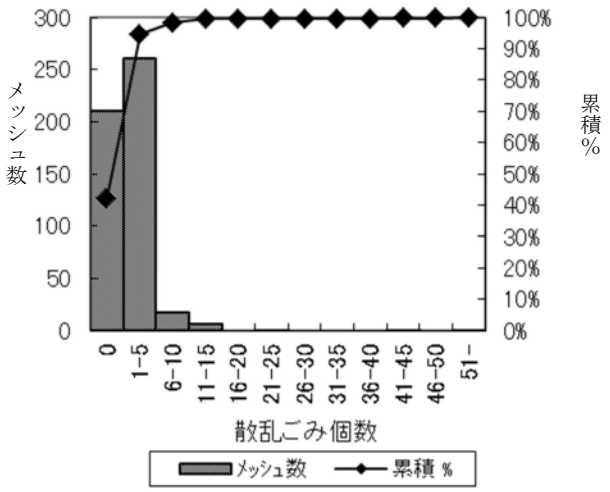
交通量が多いため、国道 122 号線と中居通りでの散乱が比較的多く、特にこれらの道路の交差点付近に多くなっていた。

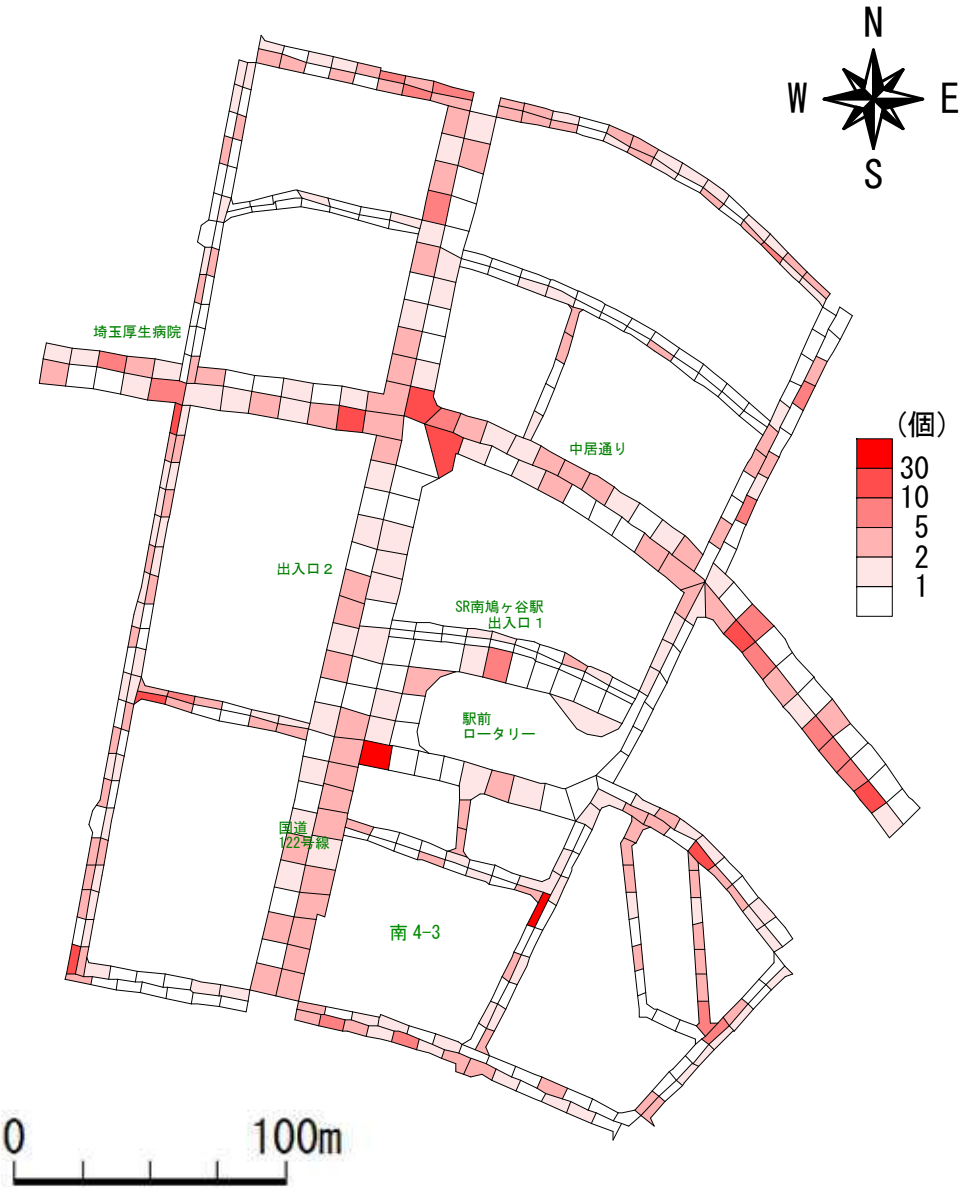
また、駅前ロータリー西側と南 4 丁目 3 番付近に散乱ごみが多い場所がみられた（図表 2-40)。駅前ロータリー西側に散乱ごみが多い理由は不明であるが、南 4 丁目 3 番付近に多い場所があった理由は、まとめて捨てられていたごみがあったためである。

人通りが少ない細い道は、比較的、散乱ごみが少なくなっている。

図表 2-40　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分のみ）【南鳩ヶ谷駅】

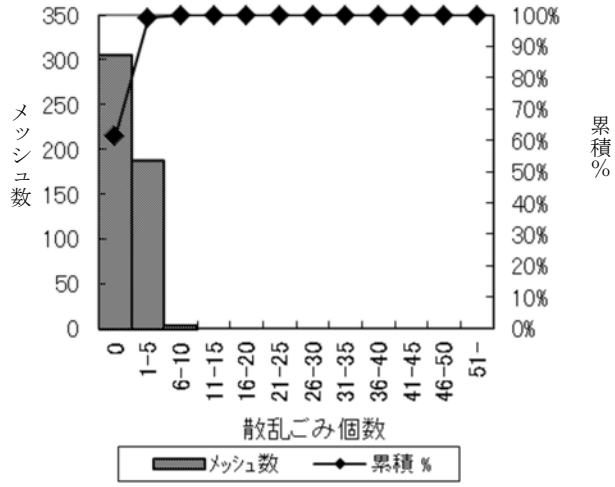
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 210 | 42.2% |
| 1-5 | 261 | 94.6% |
| 6-10 | 18 | 98.2% |
| 11-15 | 6 | 99.4% |
| 16-20 | 0 | 99.4% |
| 21-25 | 1 | 99.6% |
| 26-30 | 0 | 99.6% |
| 31-35 | 0 | 99.6% |
| 36-40 | 0 | 99.6% |
| 41-45 | 1 | 99.8% |
| 46-50 | 0 | 99.8% |
| 51- | 1 | 100.0% |

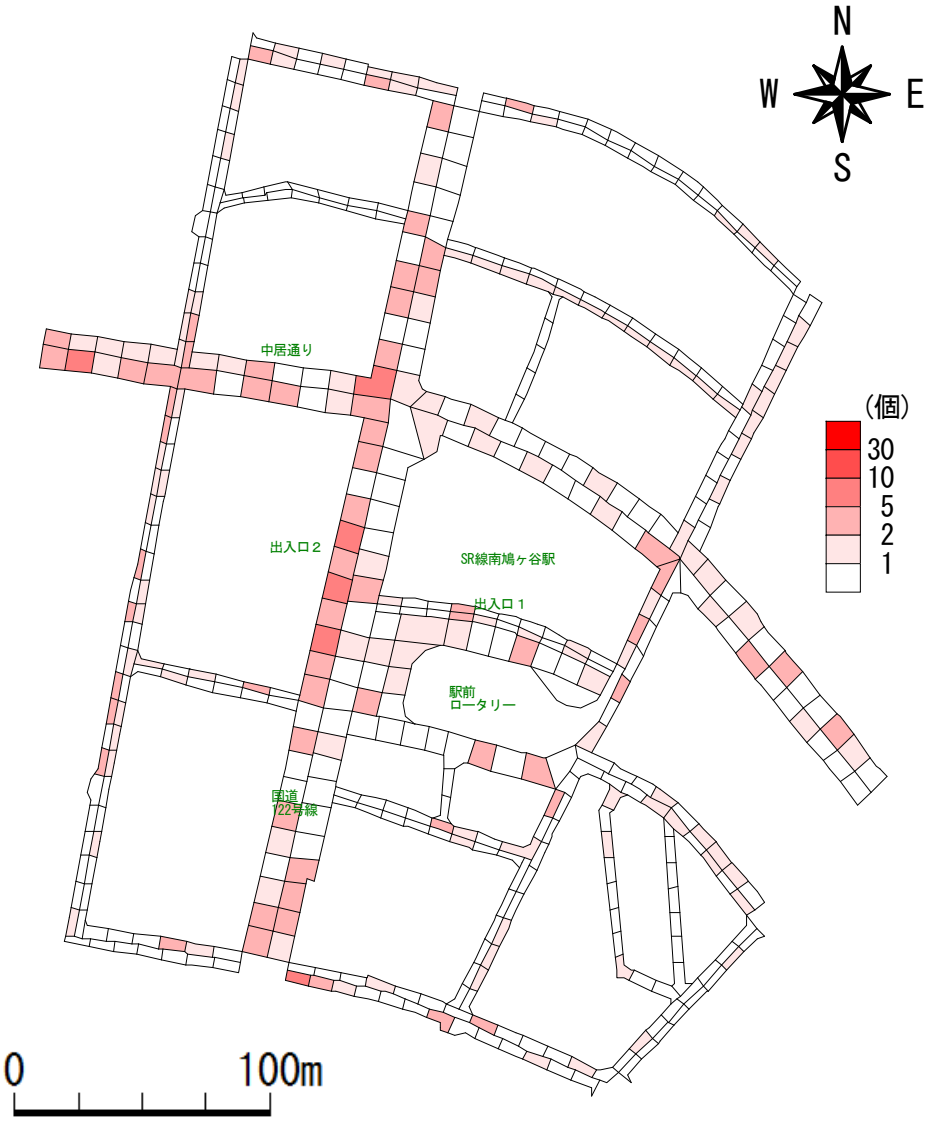


図表 2-41　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分のみ）【南鳩ヶ谷駅】

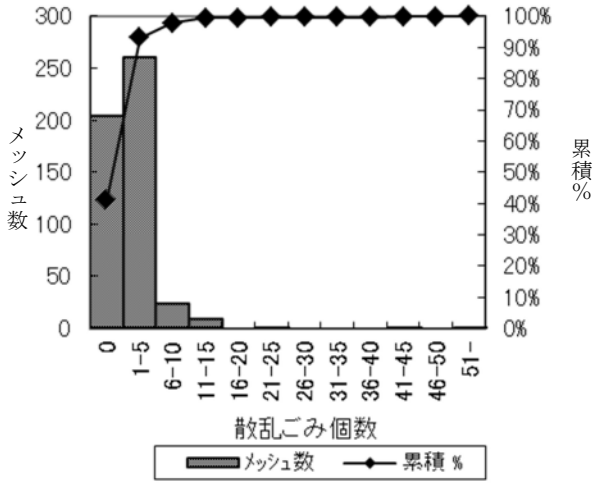
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 305 | 61.2% |
| 1-5 | 188 | 99.0% |
| 6-10 | 5 | 100.0% |
| 11-15 | 0 | 100.0% |
| 16-20 | 0 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31-35 | 0 | 100.0% |
| 36-40 | 0 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

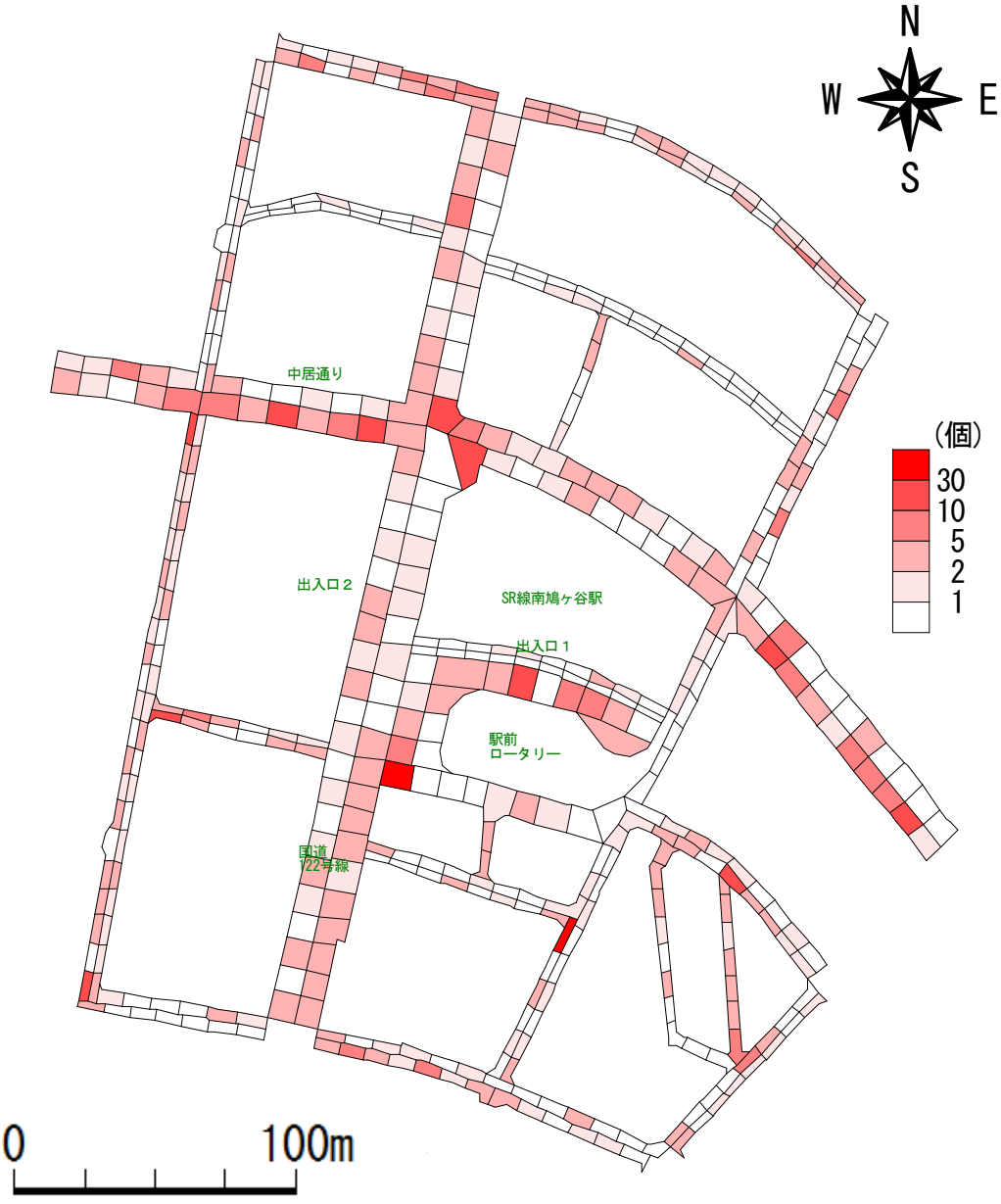


図表 2-42　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【南鳩ヶ谷駅】

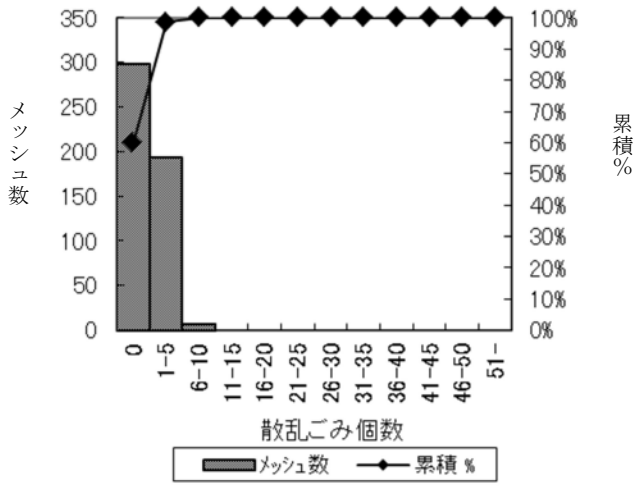
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 204 | 41.0% |
| 1-5 | 260 | 93.2% |
| 6-10 | 23 | 97.8% |
| 11-15 | 8 | 99.4% |
| 16-20 | 0 | 99.4% |
| 21-25 | 1 | 99.6% |
| 26-30 | 0 | 99.6% |
| 31-35 | 0 | 99.6% |
| 36-40 | 0 | 99.6% |
| 41-45 | 1 | 99.8% |
| 46-50 | 0 | 99.8% |
| 51- | 1 | 100.0% |

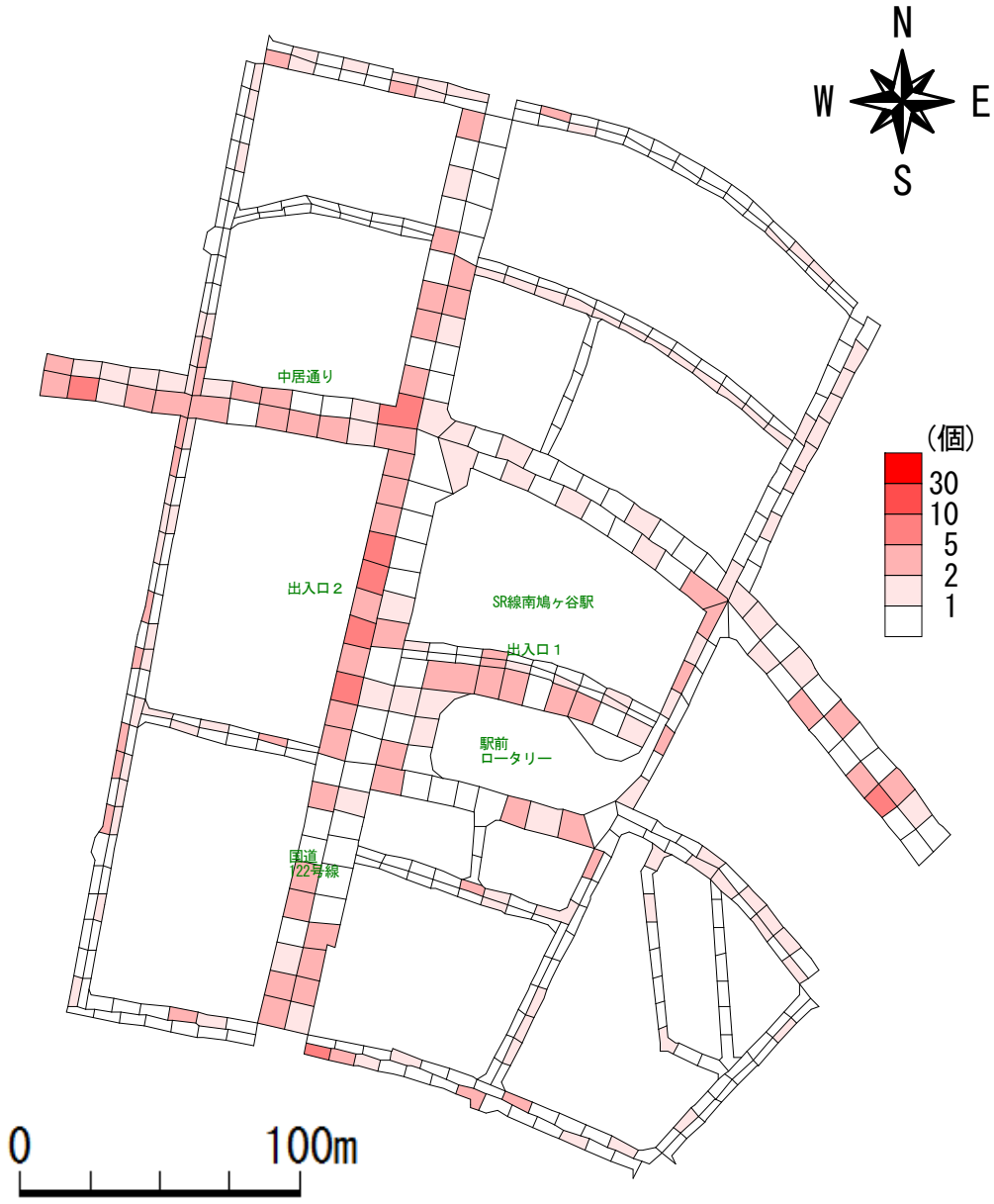


図表 2-43　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【南鳩ヶ谷駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 298 | 59.8% |
| 1-5 | 193 | 98.6% |
| 6-10 | 7 | 100.0% |
| 11-15 | 0 | 100.0% |
| 16-20 | 0 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31-35 | 0 | 100.0% |
| 36-40 | 0 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |



## （９）鳩ヶ谷駅

①散乱ごみの状況

鳩ヶ谷駅は、今回の調査から対象に加えられた地域であり、過去に比べられるデータがない。

今回の調査では、平日で、散乱ごみがまったくなかったブロックが、48.3%、1～5 個であったのが 46.9%と、散乱ごみが少ないブロックが合わせて 95.2%を占めている（図表 2-44)。

休日では、散乱ごみがまったくなかったブロックが 48.3%、1～5 個であったのが 46.3%と合わせて 94.6%に達している（図表 2-45)。

鳩ヶ谷駅における散乱ごみは、他の調査地域に比べると、最も少ない水準となっている(図表 2-4～5)。路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

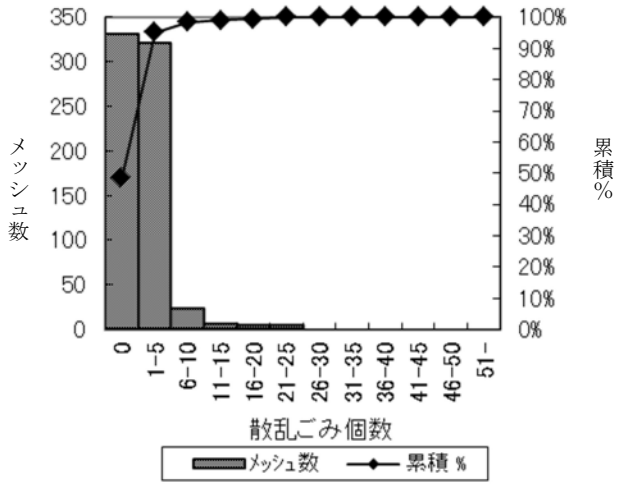
②地域内での散乱状況

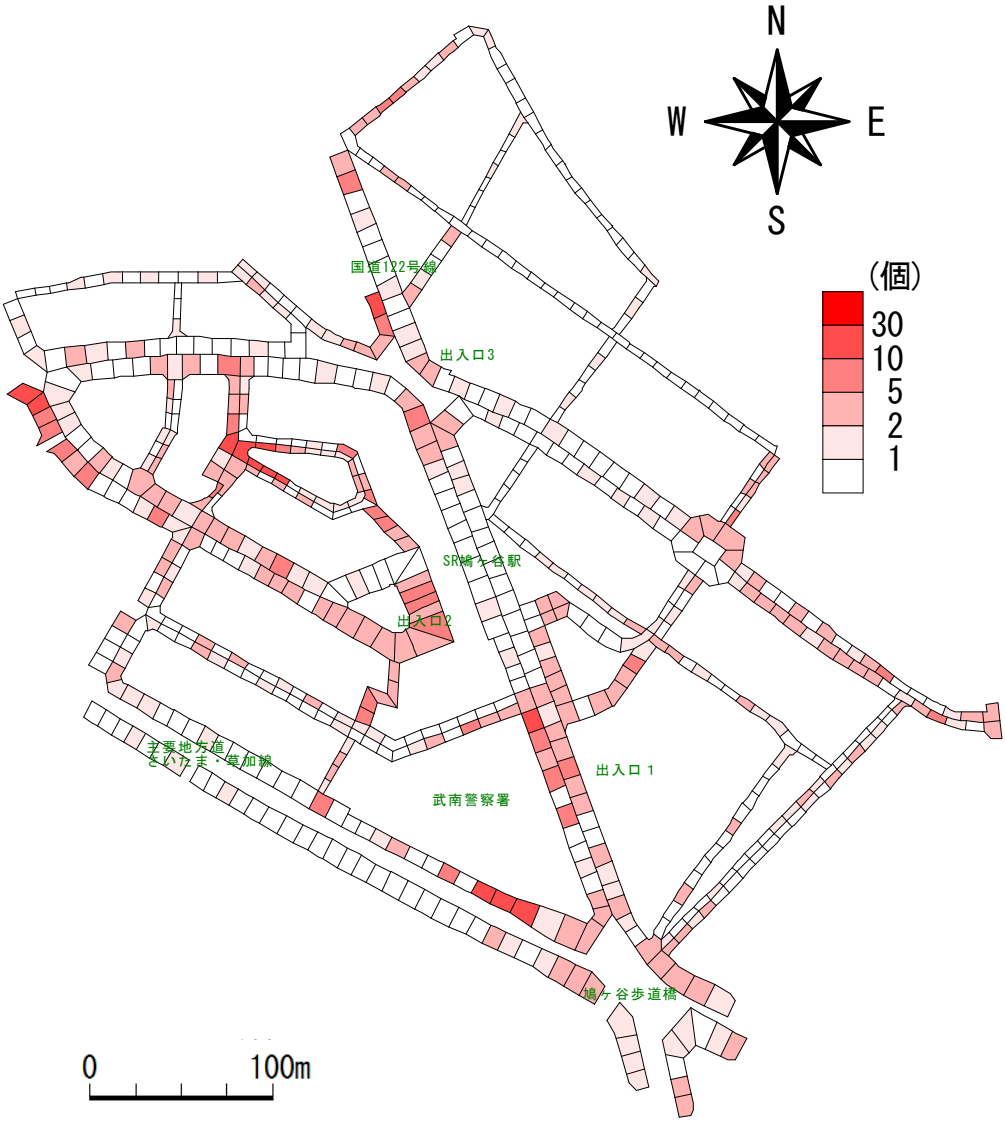
鳩ヶ谷駅から東に向かってのエリアに、比較的、散乱ごみが多くなっている。この付近は、戸建て住宅が多く建っている地域である。充分の清掃が行き届いていないことが原因のひとつと考えられる。

国道 122 号線や主要地方道さいたま・草加線のような交通量が多い道路に比較的散乱ごみが多く、細くて、交通量が少ない生活道路は散乱ごみが少ない傾向にある。

図表 2-44　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分のみ）【鳩ヶ谷駅】

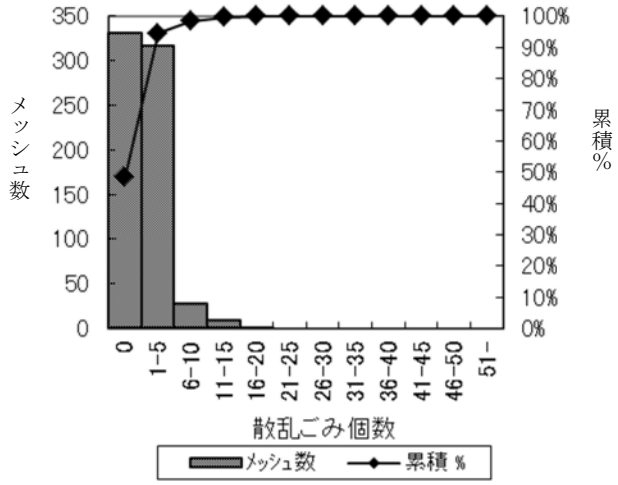
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 331 | 48.3% |
| 1-5 | 321 | 95.2% |
| 6-10 | 22 | 98.4% |
| 11-15 | 5 | 99.1% |
| 16-20 | 3 | 99.6% |
| 21-25 | 3 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31-35 | 0 | 100.0% |
| 36-40 | 0 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

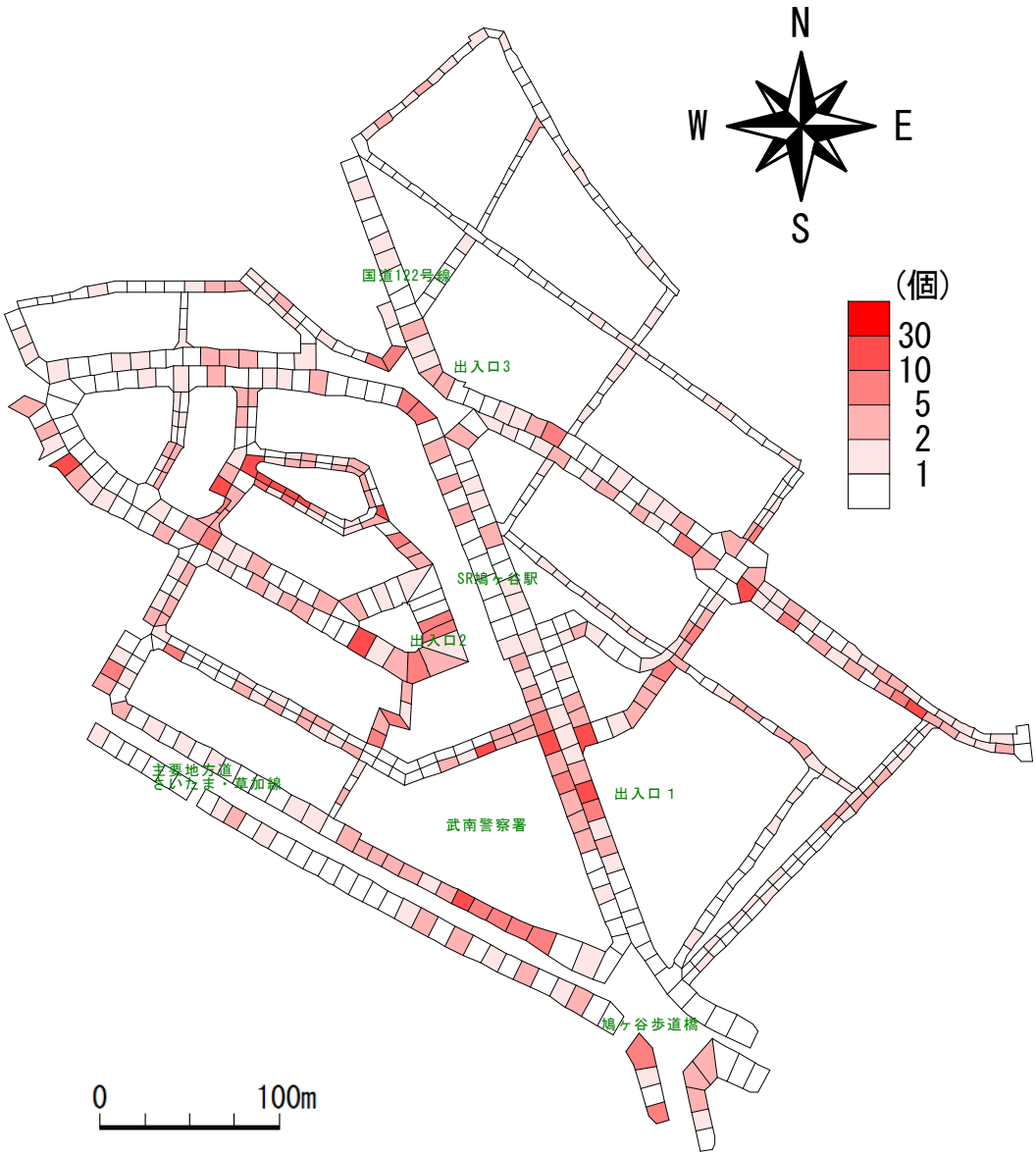


図表 2-45　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分のみ）【鳩ヶ谷駅】

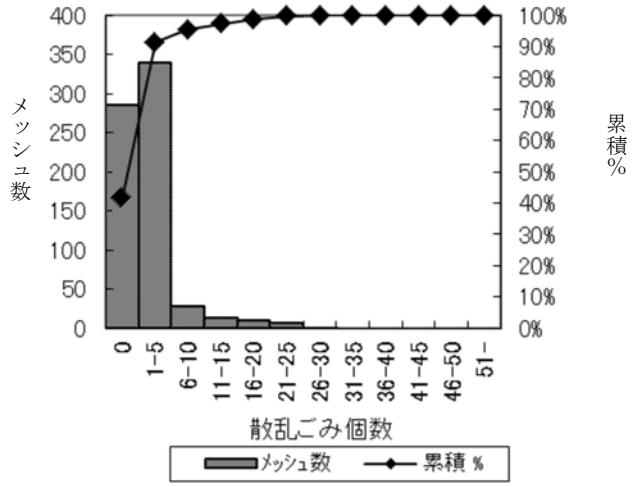
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 331 | 48.3% |
| 1-5 | 317 | 94.6% |
| 6-10 | 27 | 98.5% |
| 11-15 | 8 | 99.7% |
| 16-20 | 2 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31-35 | 0 | 100.0% |
| 36-40 | 0 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

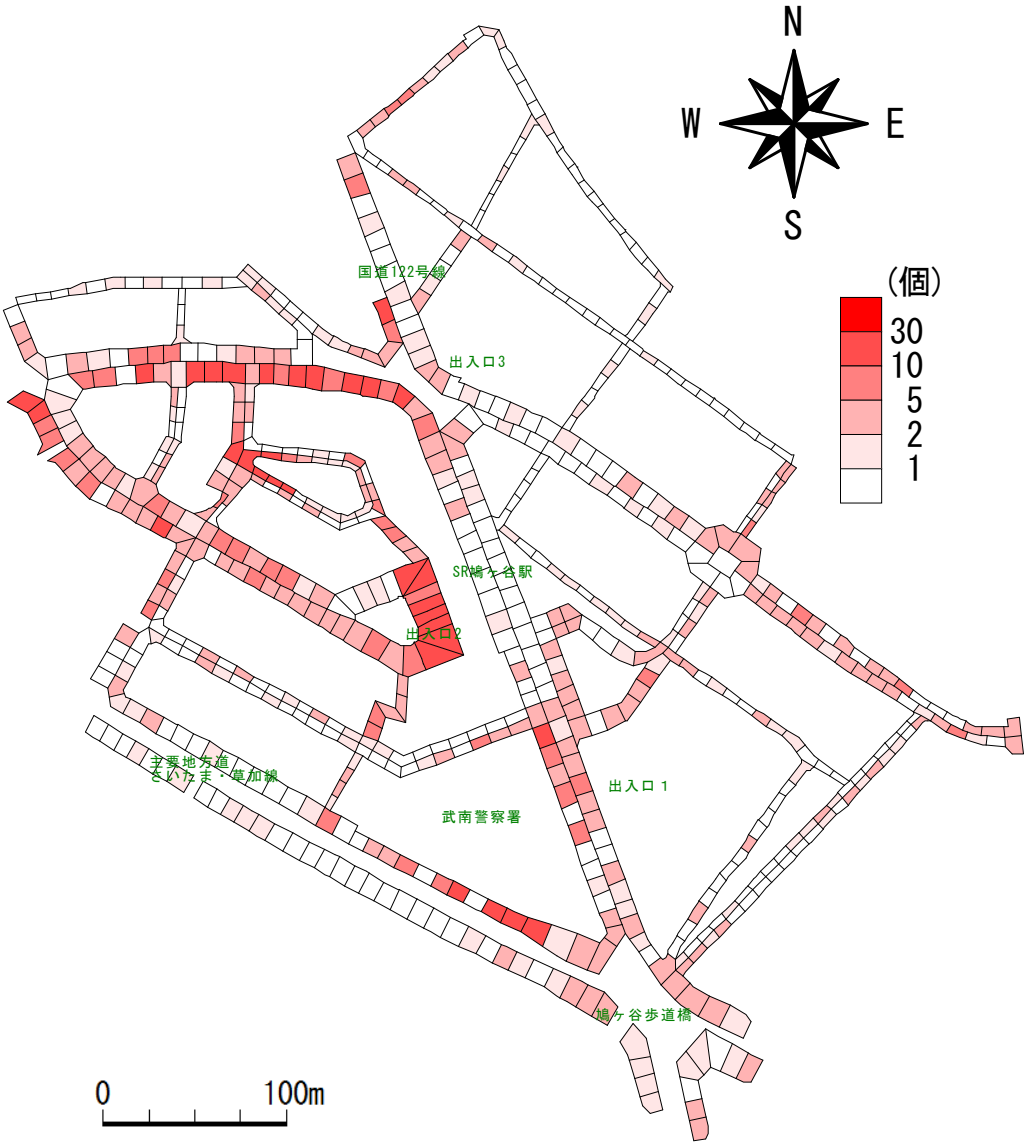


図表 2-46　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【鳩ヶ谷駅】

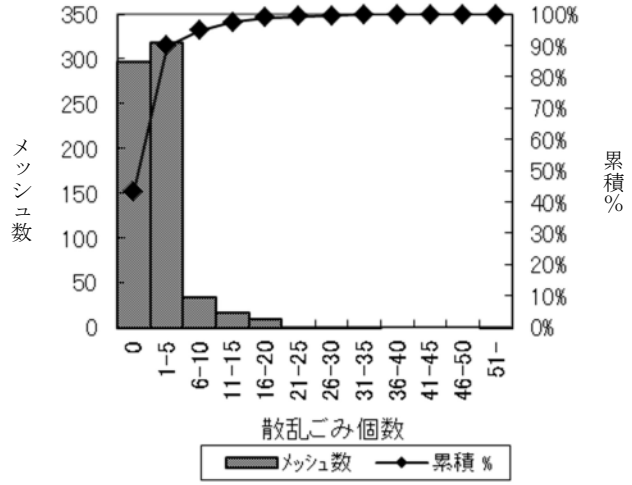
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 285 | 41.6% |
| 1-5 | 340 | 91.2% |
| 6-10 | 28 | 95.3% |
| 11-15 | 13 | 97.2% |
| 16-20 | 10 | 98.7% |
| 21-25 | 7 | 99.7% |
| 26-30 | 2 | 100.0% |
| 31-35 | 0 | 100.0% |
| 36-40 | 0 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

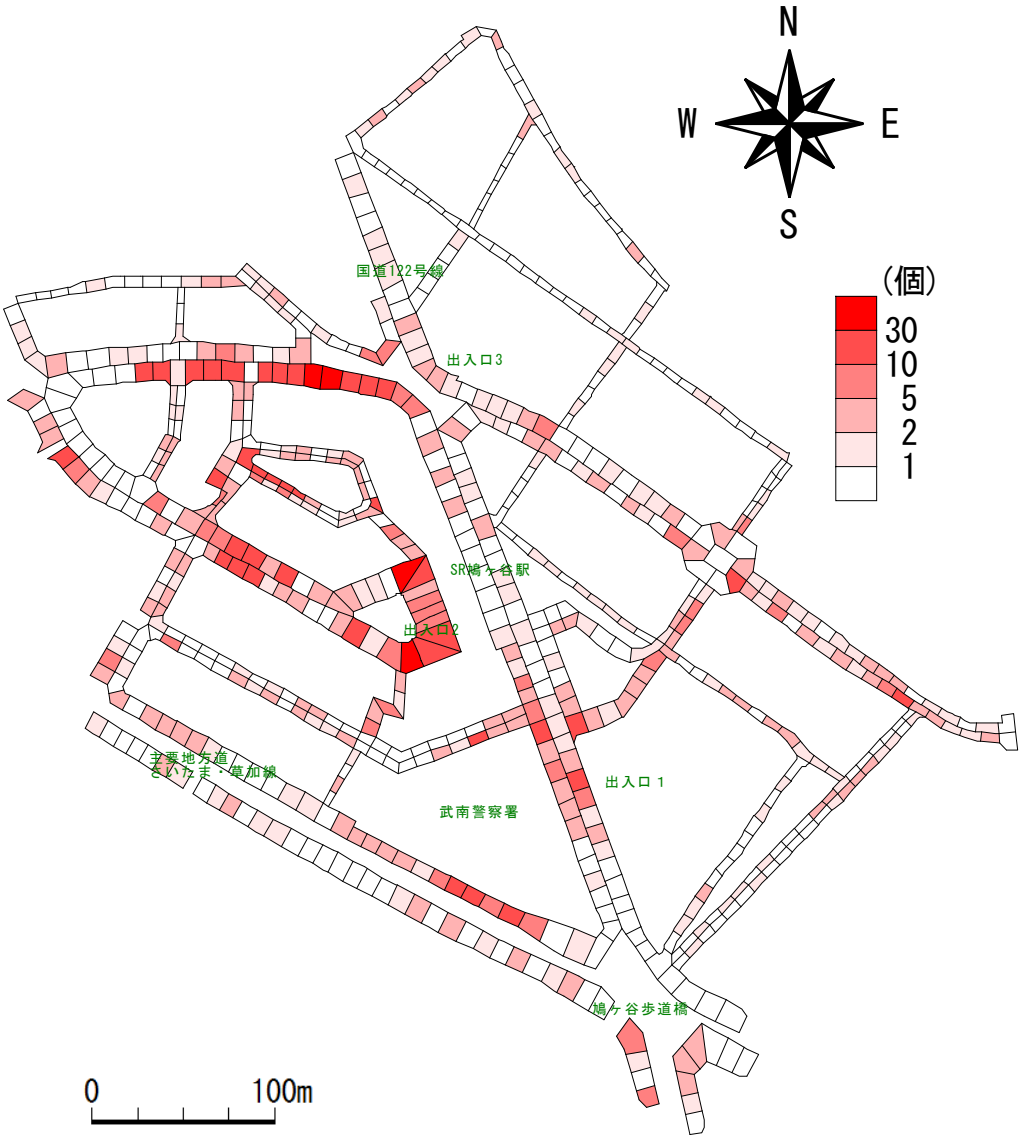


図表 2-47　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【鳩ヶ谷駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 297 | 43.4% |
| 1-5 | 318 | 89.8% |
| 6-10 | 34 | 94.7% |
| 11-15 | 18 | 97.4% |
| 16-20 | 11 | 99.0% |
| 21-25 | 2 | 99.3% |
| 26-30 | 1 | 99.4% |
| 31-35 | 3 | 99.9% |
| 36-40 | 0 | 99.9% |
| 41-45 | 0 | 99.9% |
| 46-50 | 0 | 99.9% |
| 51- | 1 | 100.0% |



## （１０）新井宿駅

①散乱ごみの状況

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 4.8 個であったのに対し、平成 17 年度は 5.0 個、平成 16 年度は 8.5 個であった。休日では、今回調査の平均が 7.1 個であったのに対し、平成 17 年度は 6.6 個、平成 16 年度は 9.8 個であり、過去の調査から明らかな減少は認められない。（図表 2-8～9)。

今回の調査では、散乱ごみがまったくなかったブロックが、平日で 15.1%、1～5 個であったのが 54.6%、合わせて 69.7%であった。散乱ごみの数が多い 10ｍあたり 6 個以上の区間は 30%に及んでいる（図表 2-48)。

休日では、散乱ごみがまったくなかったブロックが 7.9%、1～5 個であったのが 48.0%、合わせて 55.9%にとどまっており、10ｍあたり 6 個以上の区間は 40%を超えている（図表 2-49)。

新井宿駅における散乱ごみは、他の調査地域に比べると、比較的高い水準であった（図表 2-4～5)。路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

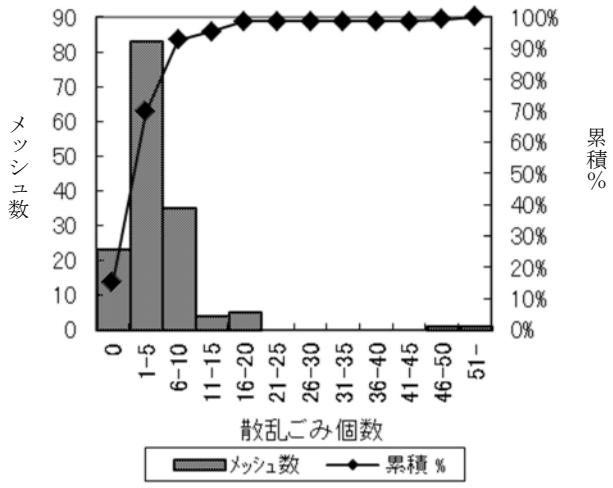
②散乱状況の著しい場所の推移

平成 20 年度は、新井宿駅での調査を実施していないので、平成 17 年度の調査と比較する。この調査では、ＳＲ線出入口２付近、西側の交差点付近等の散乱ごみが漸減傾向にあるとしている。

今回の調査では、調査地域全体にわたって散乱がみられる。

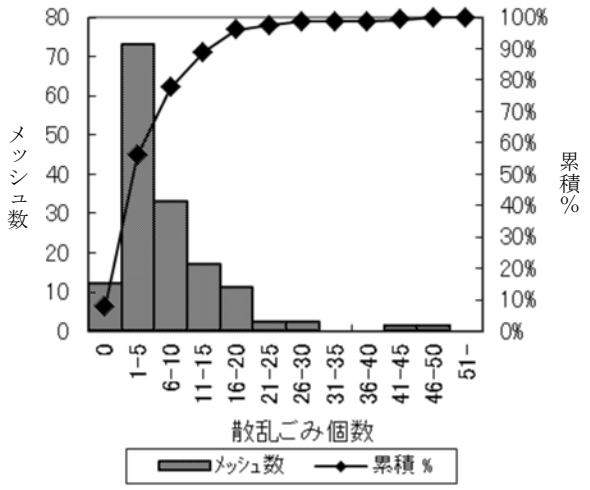
図表 2-48　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分のみ）【新井宿駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 23 | 15.1% |
| 1-5 | 83 | 69.7% |
| 6-10 | 35 | 92.8% |
| 11-15 | 4 | 95.4% |
| 16-20 | 5 | 98.7% |
| 21-25 | 0 | 98.7% |
| 26-30 | 0 | 98.7% |
| 31-35 | 0 | 98.7% |
| 36-40 | 0 | 98.7% |
| 41-45 | 0 | 98.7% |
| 46-50 | 1 | 99.3% |
| 51- | 1 | 100.0% |



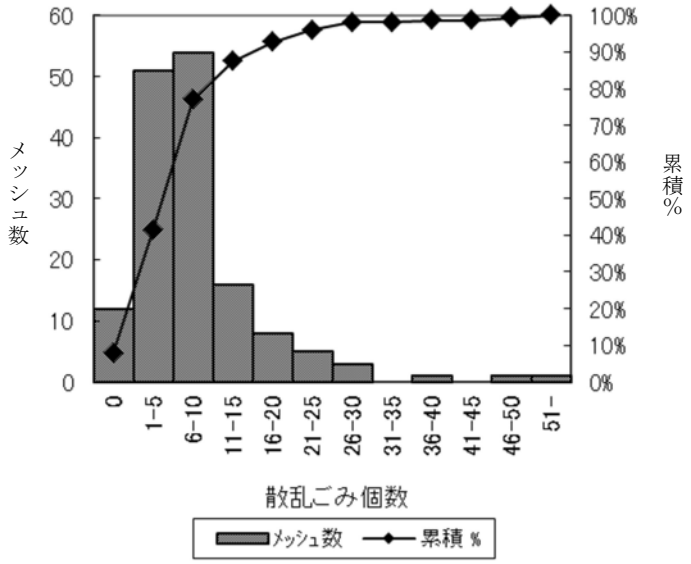
図表 2-49　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分のみ）【新井宿駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 12 | 7.9% |
| 1-5 | 73 | 55.9% |
| 6-10 | 33 | 77.6% |
| 11-15 | 17 | 88.8% |
| 16-20 | 11 | 96.1% |
| 21-25 | 2 | 97.4% |
| 26-30 | 2 | 98.7% |
| 31-35 | 0 | 98.7% |
| 36-40 | 0 | 98.7% |
| 41-45 | 1 | 99.3% |
| 46-50 | 1 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |



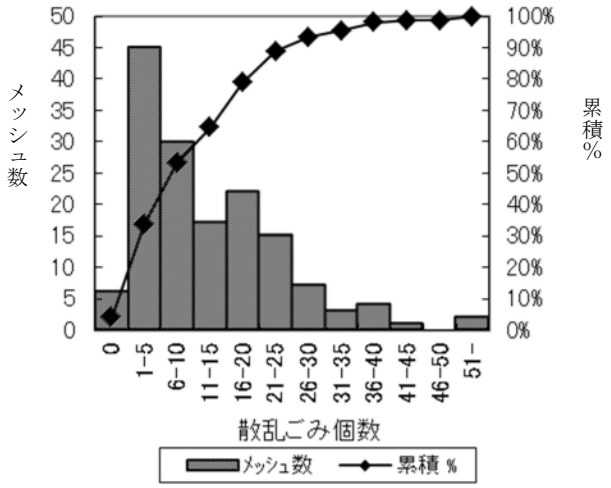
図表 2-50　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【新井宿駅】

| データ区間 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 12 | 7.9% |
| 1-5 | 51 | 41.4% |
| 6-10 | 54 | 77.0% |
| 11-15 | 16 | 87.5% |
| 16-20 | 8 | 92.8% |
| 21-25 | 5 | 96.1% |
| 26-30 | 3 | 98.0% |
| 31-35 | 0 | 98.0% |
| 36-40 | 1 | 98.7% |
| 41-45 | 0 | 98.7% |
| 46-50 | 1 | 99.3% |
| 51- | 1 | 100.0% |



図表 2-51　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【新井宿駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 6 | 3.9% |
| 1-5 | 45 | 33.6% |
| 6-10 | 30 | 53.3% |
| 11-15 | 17 | 64.5% |
| 16-20 | 22 | 78.9% |
| 21-25 | 15 | 88.8% |
| 26-30 | 7 | 93.4% |
| 31-35 | 3 | 95.4% |
| 36-40 | 4 | 98.0% |
| 41-45 | 1 | 98.7% |
| 46-50 | 0 | 98.7% |
| 51- | 2 | 100.0% |



## （１１）戸塚安行駅

①散乱ごみの状況

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 2.4 個であったのに対し、平成 17 年度は 2.5 個、平成 16 年度は 0.5 個であった。休日では、今回調査の平均が 1.9 個であったのに対し、平成 17 年度は 5.1 個、平成 16 年度は 1.9 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。（図表 2-8～9)。

今回の調査結果では、散乱ごみがまったくなかったブロックが、平日で 39.2%、1～5 個であったのが 44.7%、散乱ごみが少ないブロックが合わせて 83.9%を占めている（図表 2-52)。

休日では、散乱ごみがまったくなかったブロックが 38.2%、1～5 個であったのが 53.0%、合わせて 91.2%を占めている（図表 2-53)。

戸塚安行駅における散乱ごみは、他の調査地域に比べると、平均的な水準であった（図表 2-4～5)。また、路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

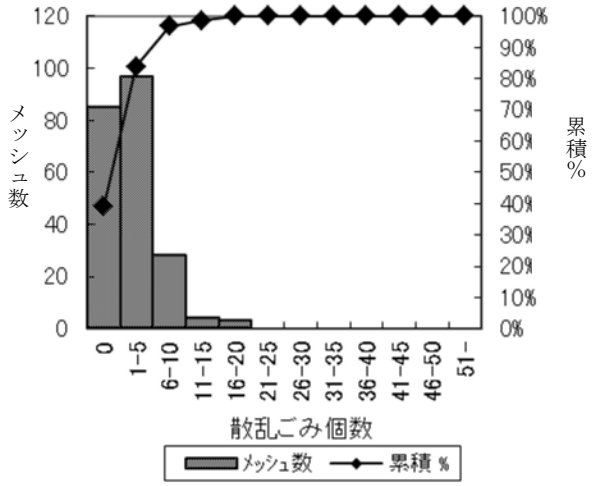
②散乱状況の著しい場所の推移

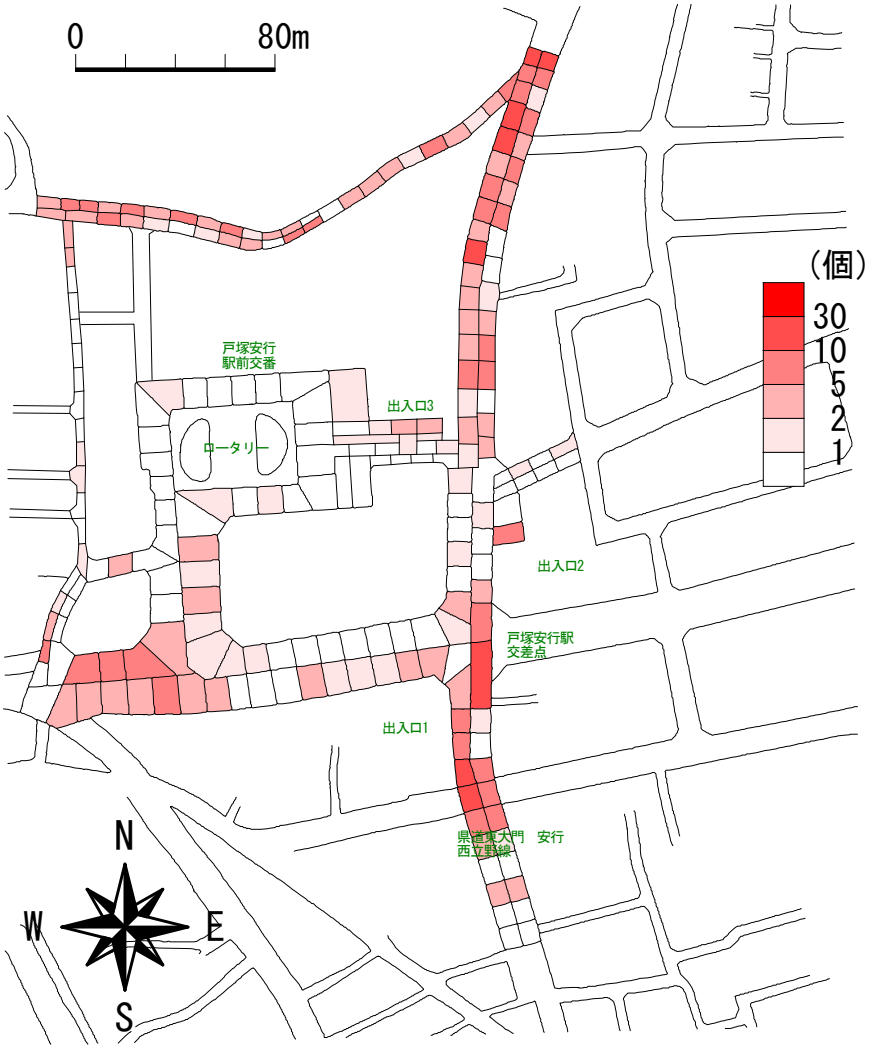
平成 20 年度は、戸塚安行駅での調査を実施していないので、平成 17 年度の調査と比較する。

平成 17 年度調査では、ＳＲ線出入口周辺やロータリー付近で散乱がやや拡大傾向にあるとされたが、全体にクリーンなエリアが多いと述べている。今回の調査でも、駅前ロータリー周辺では散乱ごみが少なく、歩道や通行量が少ない生活道路での散乱ごみも、比較的少ない。県道東大門・安行・西立野線をはじめとする主要道路で散乱ごみが多い。

図表 2-52　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分のみ）【戸塚安行駅】

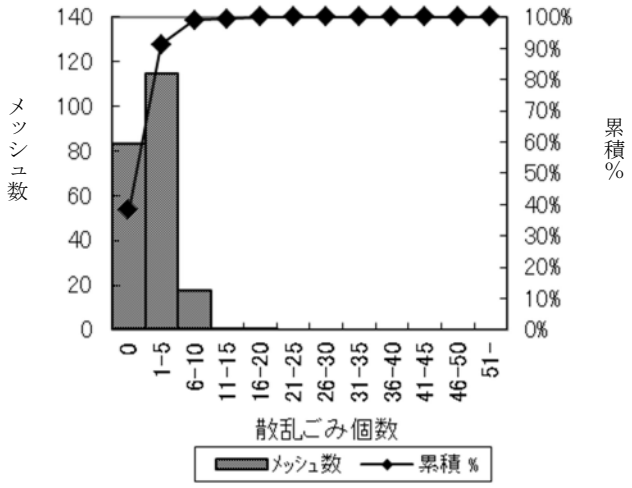
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 85 | 39.2% |
| 1-5 | 97 | 83.9% |
| 6-10 | 28 | 96.8% |
| 11-15 | 4 | 98.6% |
| 16-20 | 3 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31-35 | 0 | 100.0% |
| 36-40 | 0 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

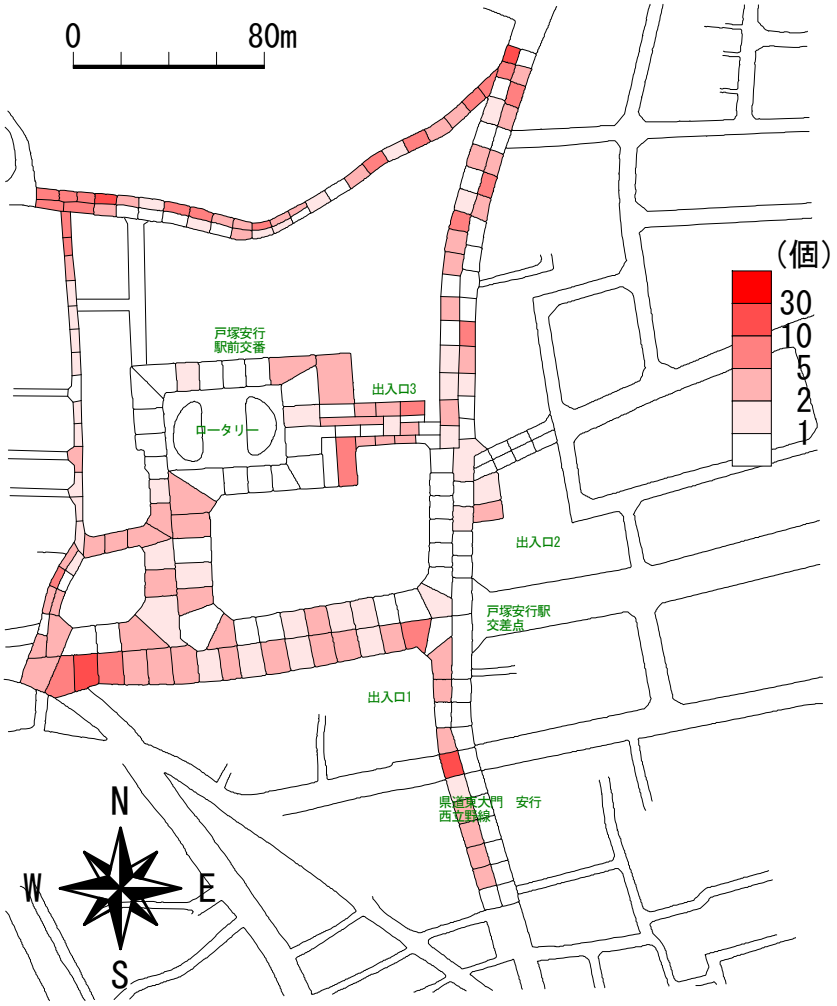


図表 2-53　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分のみ）【戸塚安行駅】

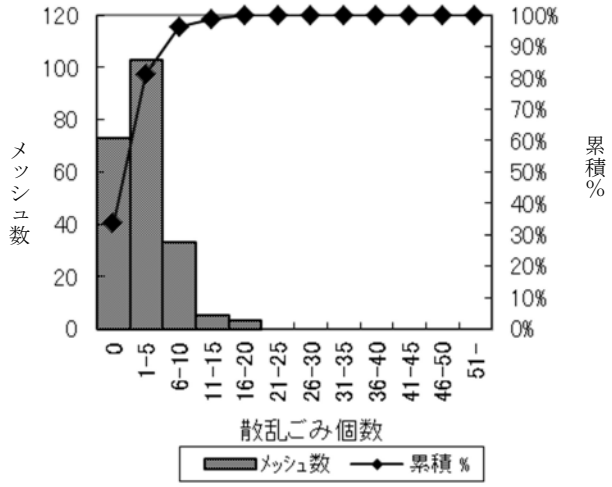
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 83 | 38.2% |
| 1-5 | 115 | 91.2% |
| 6-10 | 17 | 99.1% |
| 11-15 | 1 | 99.5% |
| 16-20 | 1 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31-35 | 0 | 100.0% |
| 36-40 | 0 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

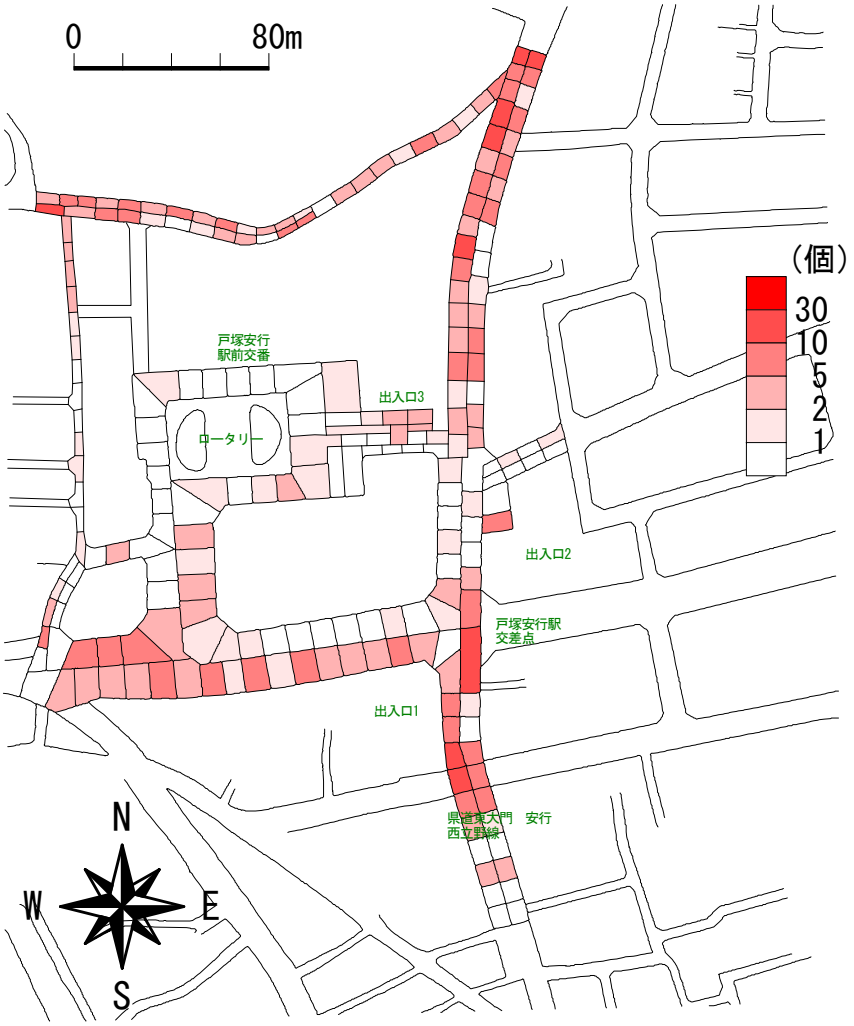


図表 2-54　散乱ごみの分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【戸塚安行駅】

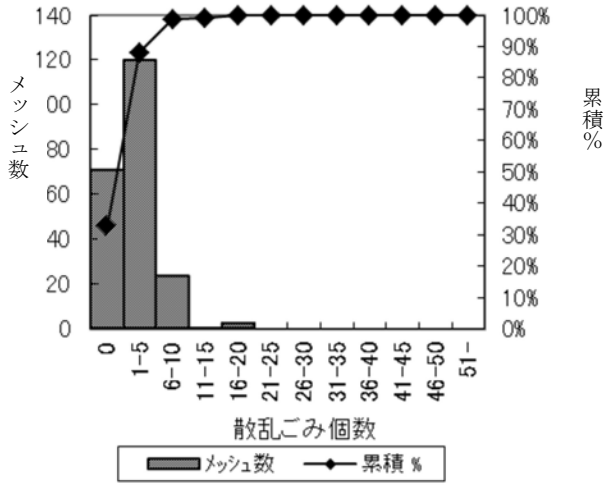
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 73 | 33.6% |
| 1-5 | 103 | 81.1% |
| 6-10 | 33 | 96.3% |
| 11-15 | 5 | 98.6% |
| 16-20 | 3 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31-35 | 0 | 100.0% |
| 36-40 | 0 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |

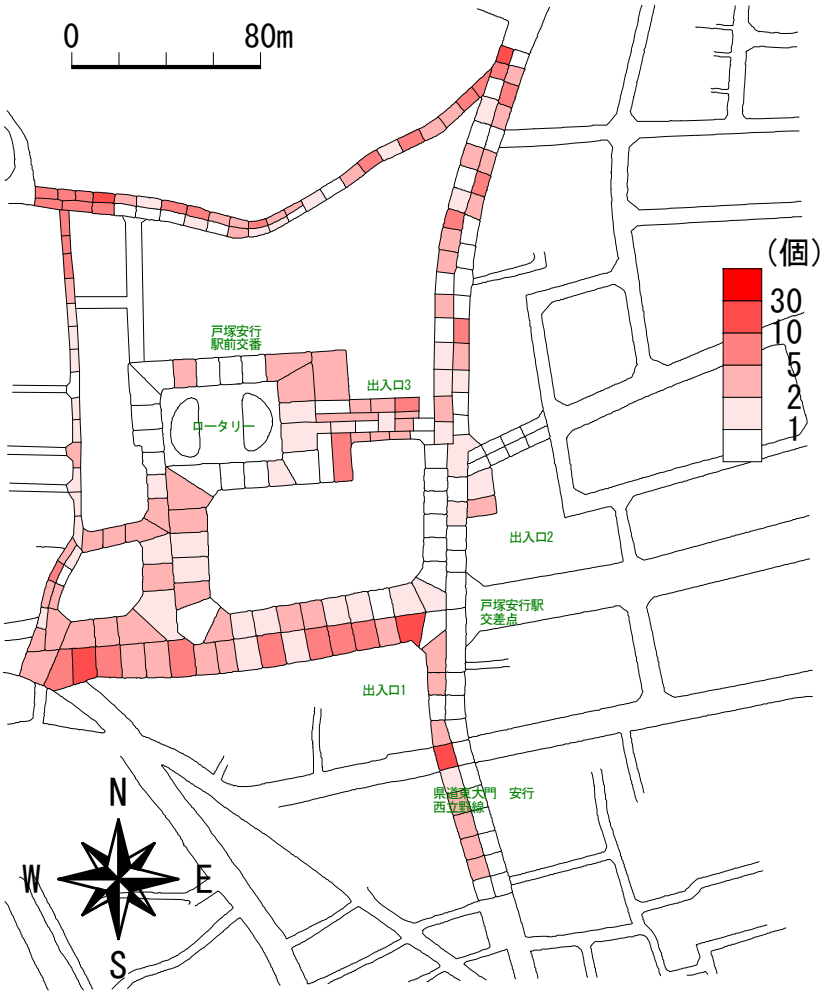


図表 2-55　散乱ごみの分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【戸塚安行駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 71 | 32.7% |
| 1-5 | 120 | 88.0% |
| 6-10 | 23 | 98.6% |
| 11-15 | 1 | 99.1% |
| 16-20 | 2 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31-35 | 0 | 100.0% |
| 36-40 | 0 | 100.0% |
| 41-45 | 0 | 100.0% |
| 46-50 | 0 | 100.0% |
| 51- | 0 | 100.0% |



## ２－４．地域別のたばこの吸い殻個数の集計結果及び分析

各調査地域内の散乱ごみの中で特にたばこの吸い殻が多い場所、少ない場所、全くない場所がどの程度の割合であるかを、地域別の散乱ごみ個数と同様に度数分布で分析した。

また、たばこの吸い殻の個数データを地図上に示した。

今回の調査では、たばこの吸い殻の個数が 10m当たり 6 個以上のエリアを「たばこの吸い殻の多い場所」とした。そして、たばこの吸い殻が 5 個以下のエリアと 6 個以上のエリアの割合を考察した。

なお、調査の分析には、基本的に植栽部分を含めない歩道上のごみ個数をデータとして使用した。

### （１）川口駅東口

①たばこの吸い殻の分布

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回の調査の平均が 1.1 個であったのに対し、平成 20 年度は 3.9 個、平成 17 年度は 2.2 個、平成 16 年度は 1.9 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。また、休日では、今回調査の平均が 1.0 個であったのに対し、平成 20 年度は 4.7 個、平成 17 年度は 2.4 個、平成 16 年度は 3.2 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。(図表 2-8～9)。

今回の調査結果では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが、平日で 61.3%、1～5 個であったのが 34.8%、合わせて 96.1%にのぼっている（図表 2-56)。休日では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが、62.1%、1～5 個であったのが 34.8%、たばこの吸い殻の散乱が少ないブロックが合わせて 96.9%にのぼっている（図表 2-57)。

川口駅東口は、他の調査地域に比べると、たばこの吸い殻の散乱が少ない地域といえる (図表 2-4～5)。また、路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

平成 24 年度から東口ペデストリアンデッキ上にあった２ヶ所の喫煙所を廃止した（調査地点 17 及び 18、図表 1-3 参照)。今回の調査では、かつて喫煙所が設置されていた場所での喫煙者がいるかどうかについて観察した。その結果、調査地点 17 での喫煙者はなく、調査地点 18 での喫煙者は 3 名であった。周辺でのたばこの吸い殻の散乱もほとんどない。

②散乱状況の著しい場所の推移

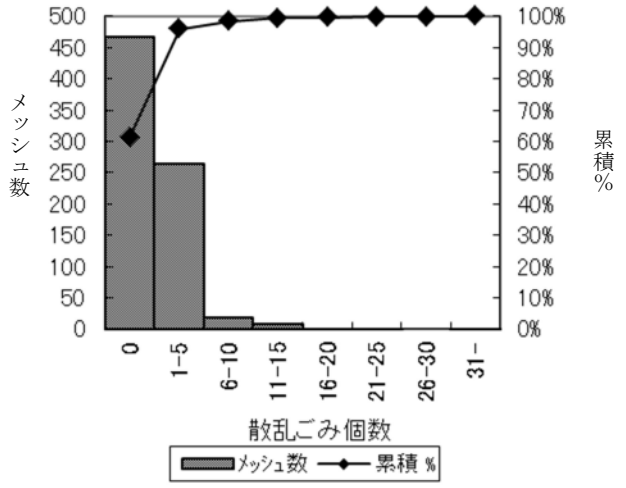
前回の平成 20 年度調査では、たばこの吸い殻は全体的に増加している一方で、「樹モール」川口銀座商店街付近、コミュニティプラザ付近では、少ない状況を維持されているとしている。今回調査でも、この傾向は維持されているといえる。

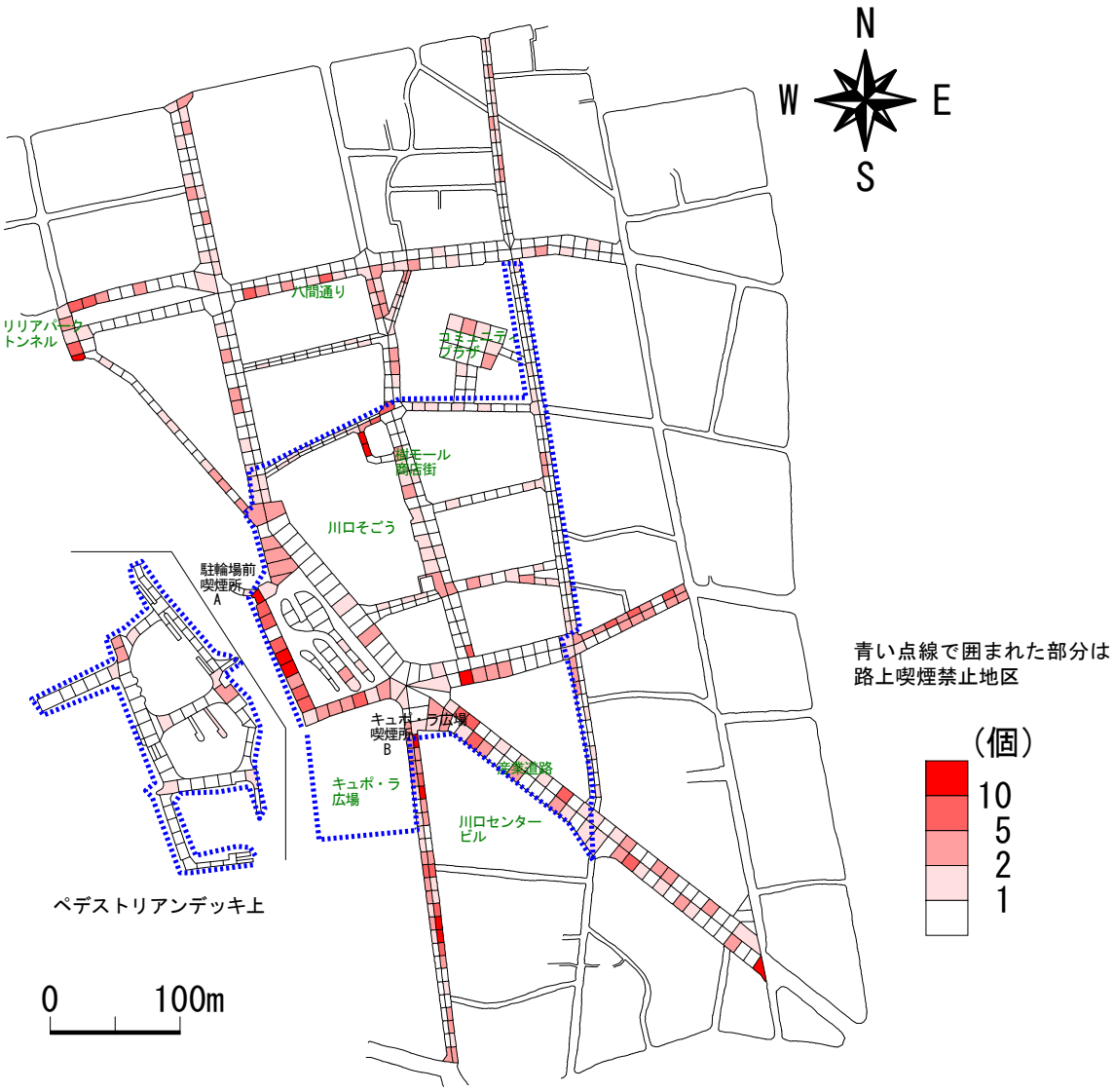
また、前回調査では、川口駅東口ロータリー植栽内については、タクシー運転手等による吸い殻の廃棄（携帯灰皿のたばこの吸い殻を捨てる）があり、たばこの吸い殻が増加した一因となっていると述べている。今回調査では、これらの場所で著しい散乱は見られなかった。

川口駅東口に設置されている２ヶ所の喫煙場所のうち、駐輪場前喫煙所の周辺には、比較的吸い殻の散乱がみられた。キュポ・ラ広場に設置された喫煙所の回りの歩道では 10mあたり１～２個程度と比較的少なかった。清掃の実施や喫煙所の設置が効果をあげていると考えられる。

図表 2-56 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分のみ）【川口駅東口】

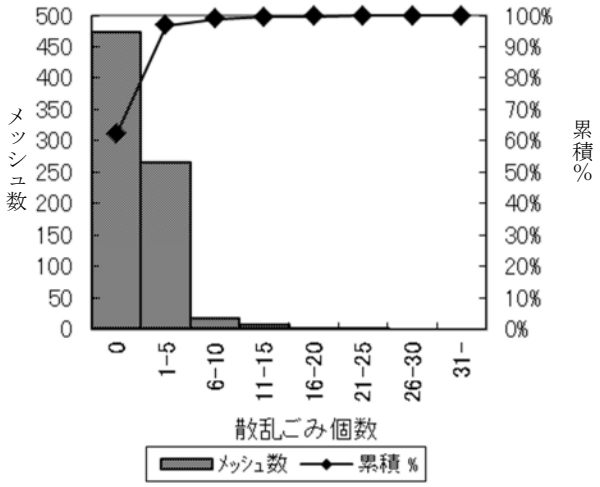
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 467 | 61.3% |
| 1-5 | 265 | 96.1% |
| 6-10 | 18 | 98.4% |
| 11-15 | 8 | 99.5% |
| 16-20 | 2 | 99.7% |
| 21-25 | 1 | 99.9% |
| 26-30 | 0 | 99.9% |
| 31- | 1 | 100.0% |

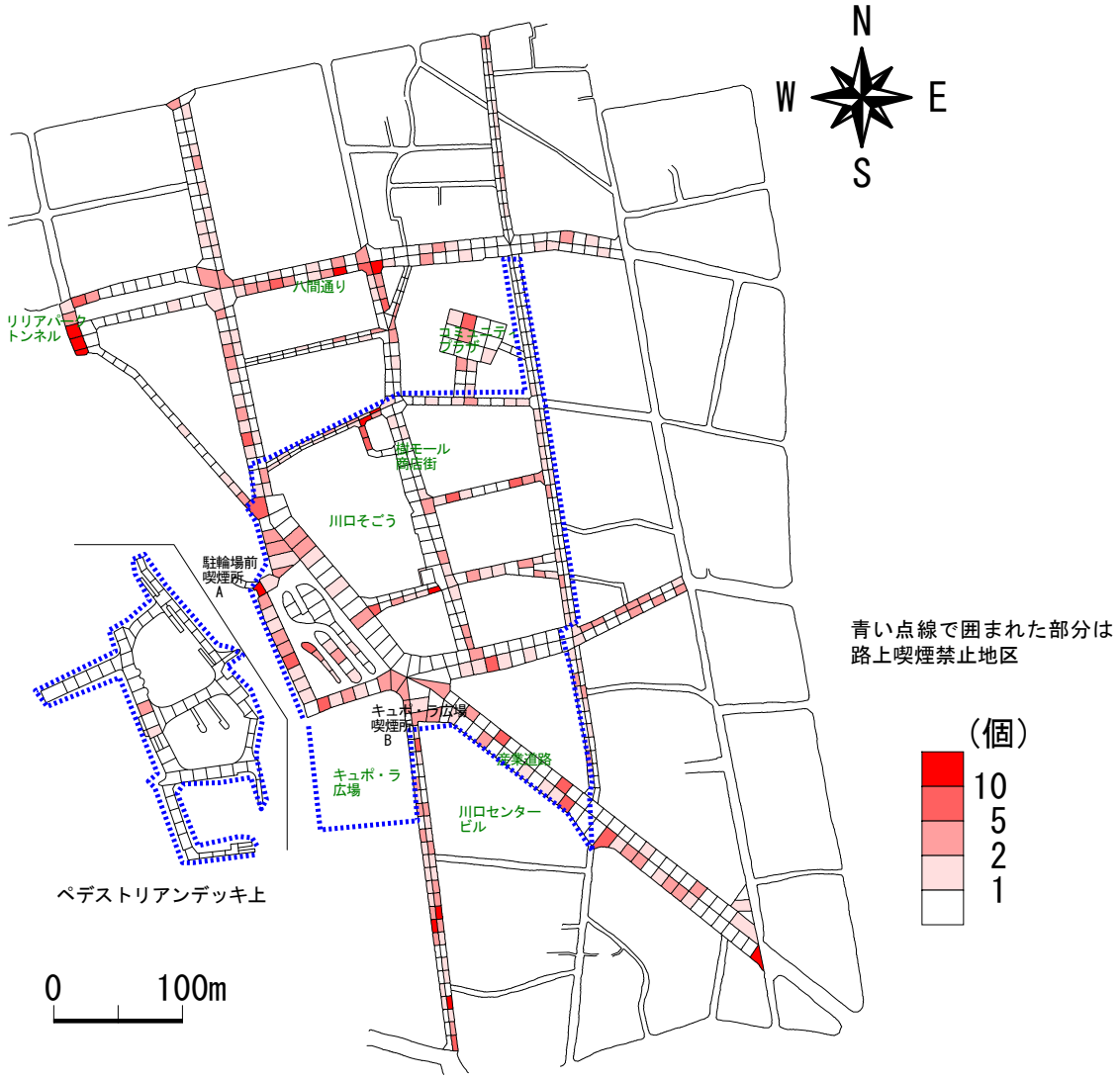


図表 2-57 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分のみ）【川口駅東口】

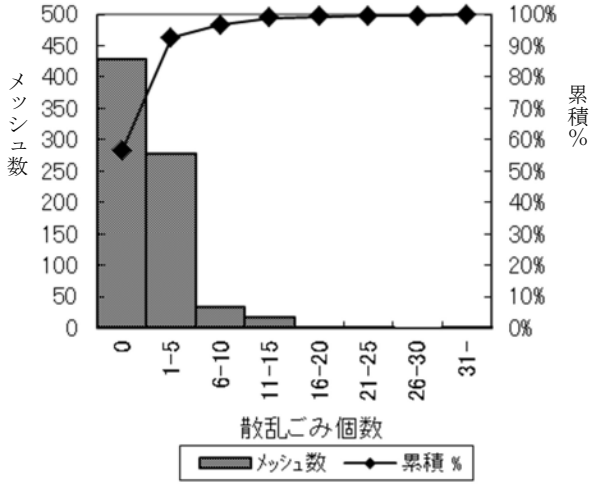
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 473 | 62.1% |
| 1-5 | 265 | 96.9% |
| 6-10 | 15 | 98.8% |
| 11-15 | 6 | 99.6% |
| 16-20 | 1 | 99.7% |
| 21-25 | 2 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

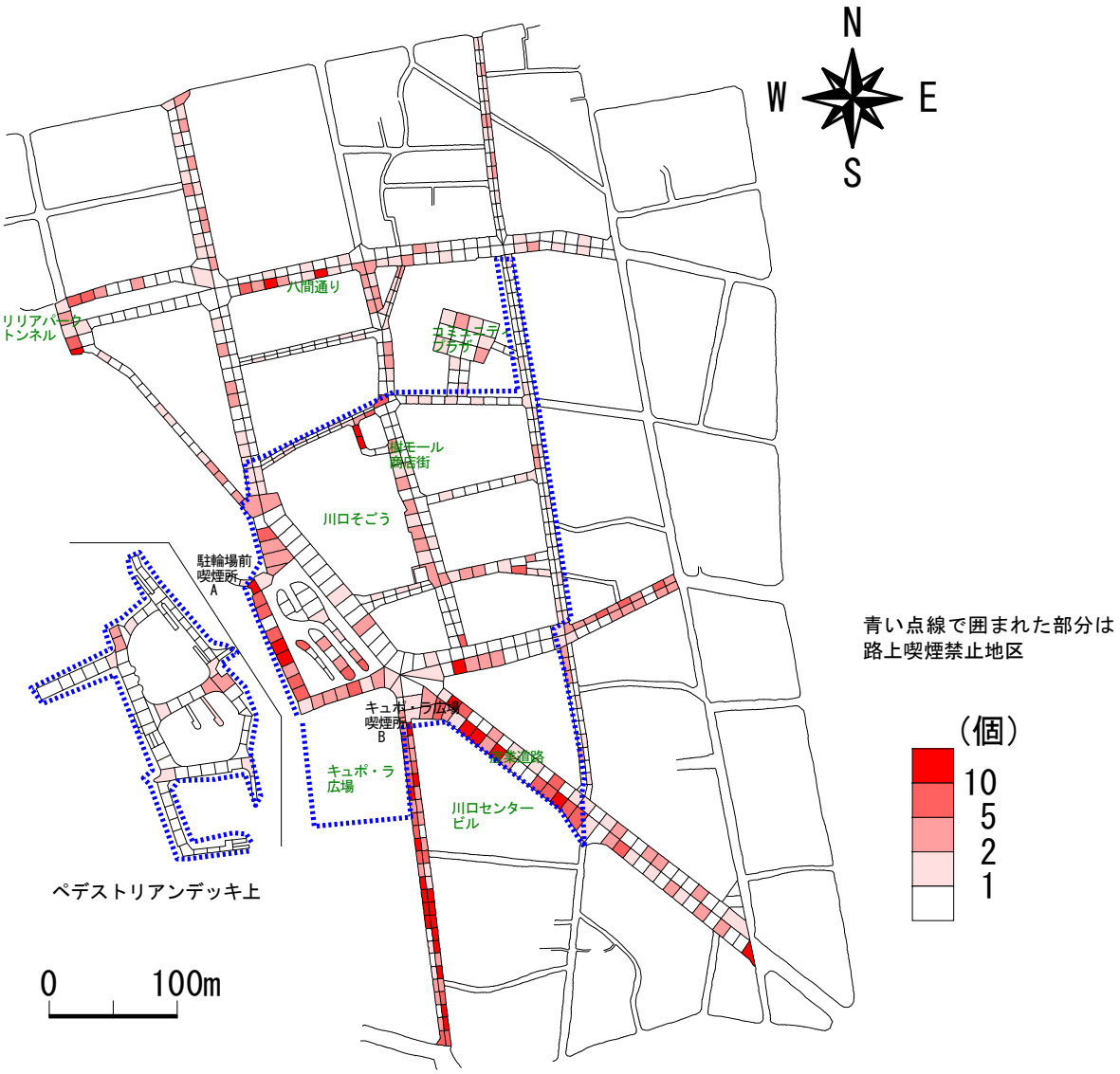


図表 2-58 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【川口駅東口】

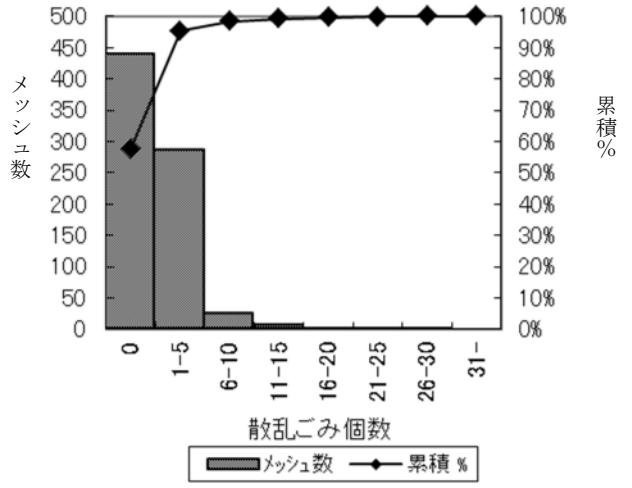
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 429 | 56.3% |
| 1-5 | 277 | 92.7% |
| 6-10 | 31 | 96.7% |
| 11-15 | 16 | 98.8% |
| 16-20 | 3 | 99.2% |
| 21-25 | 2 | 99.5% |
| 26-30 | 0 | 99.5% |
| 31- | 4 | 100.0% |

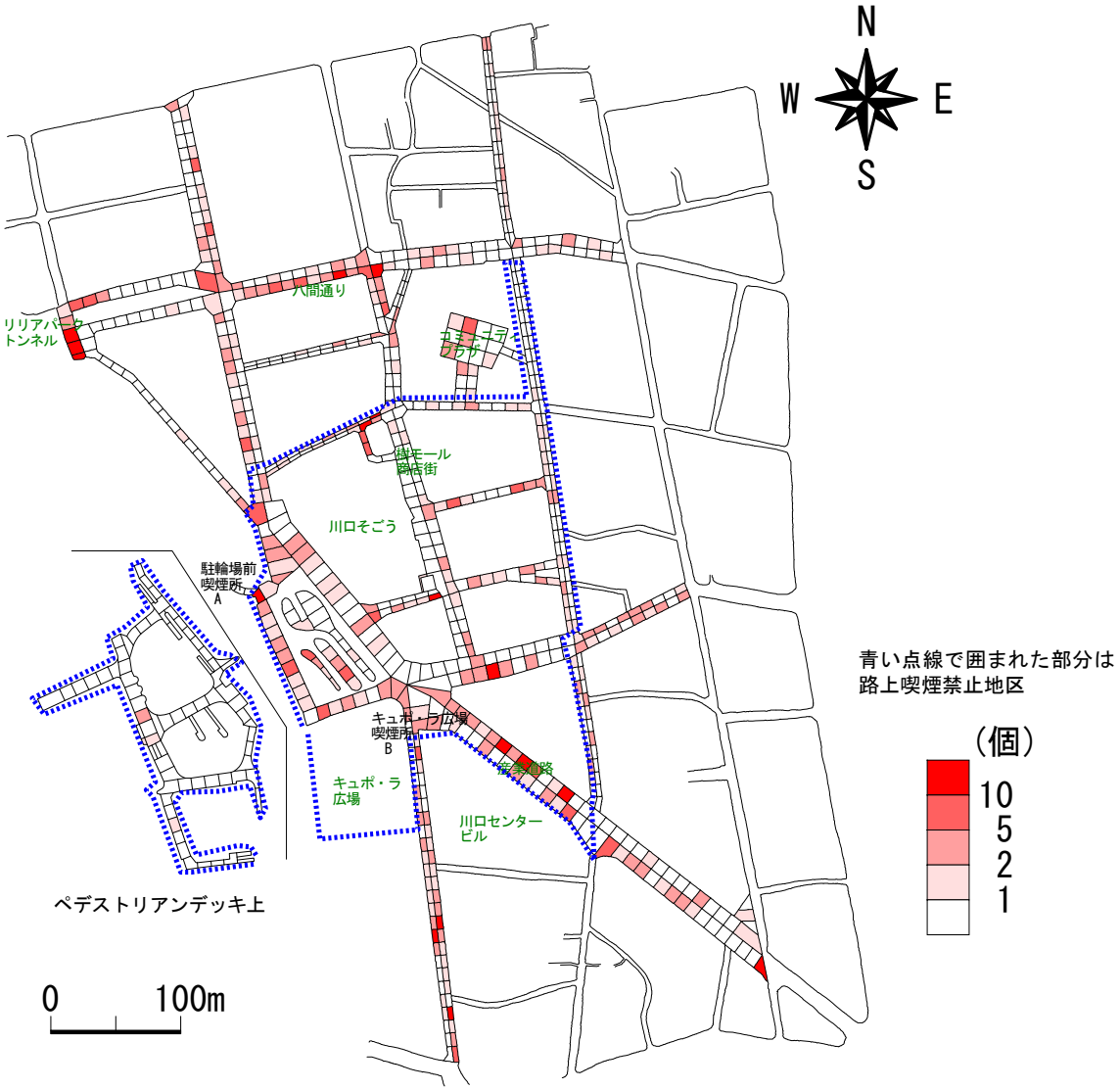


図表 2-59 たばこの吸い殻みの分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【川口駅東口】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 440 | 57.7% |
| 1-5 | 287 | 95.4% |
| 6-10 | 24 | 98.6% |
| 11-15 | 6 | 99.3% |
| 16-20 | 2 | 99.6% |
| 21-25 | 2 | 99.9% |
| 26-30 | 1 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |



## （２）川口駅西口

①たばこの吸い殻の分布

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 0.7 個であったのに対し、平成 20 年度は 1.4 個、平成 17 年度は 0.6 個、平成 16 年度は 1.8 個であり、平成 17 年度を除き、過去の調査に比べて少なくなっている。また、休日でも、今回調査の平均が 0.5 個であったのに対し、平成 20 年度は 1.0 個、平成 17 年度は 0.8 個、平成 16 年度は 1.6 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。（図表 2－8～9)。

今回の調査結果では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが、平日で 74.5%、1～5 個であったのが 22.3%、合わせて 96.8%にのぼっている（図表 2-60)。

休日では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが 77.4%、1～5 個であったのが 21.2%、合わせて 98.6%にのぼっている（図表 2-61)。

川口駅西口は、他の調査地域に比べると、たばこの吸い殻の散乱が最も少ない地域のひとつといえる(図表 2-4～5 参照)。また、路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

②散乱状況の著しい場所の推移

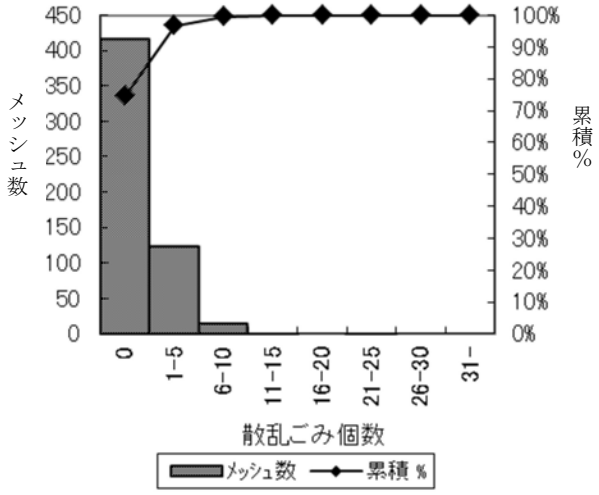
平成 20 年度の調査では、川口駅西口交差点西側付近、ペデストリアンデッキの一部ではたばこの吸い殻が増加しているという指摘があった。今回調査では、これらの場所で著しくたばこの吸い殻の散乱が多いとはいえなかった。

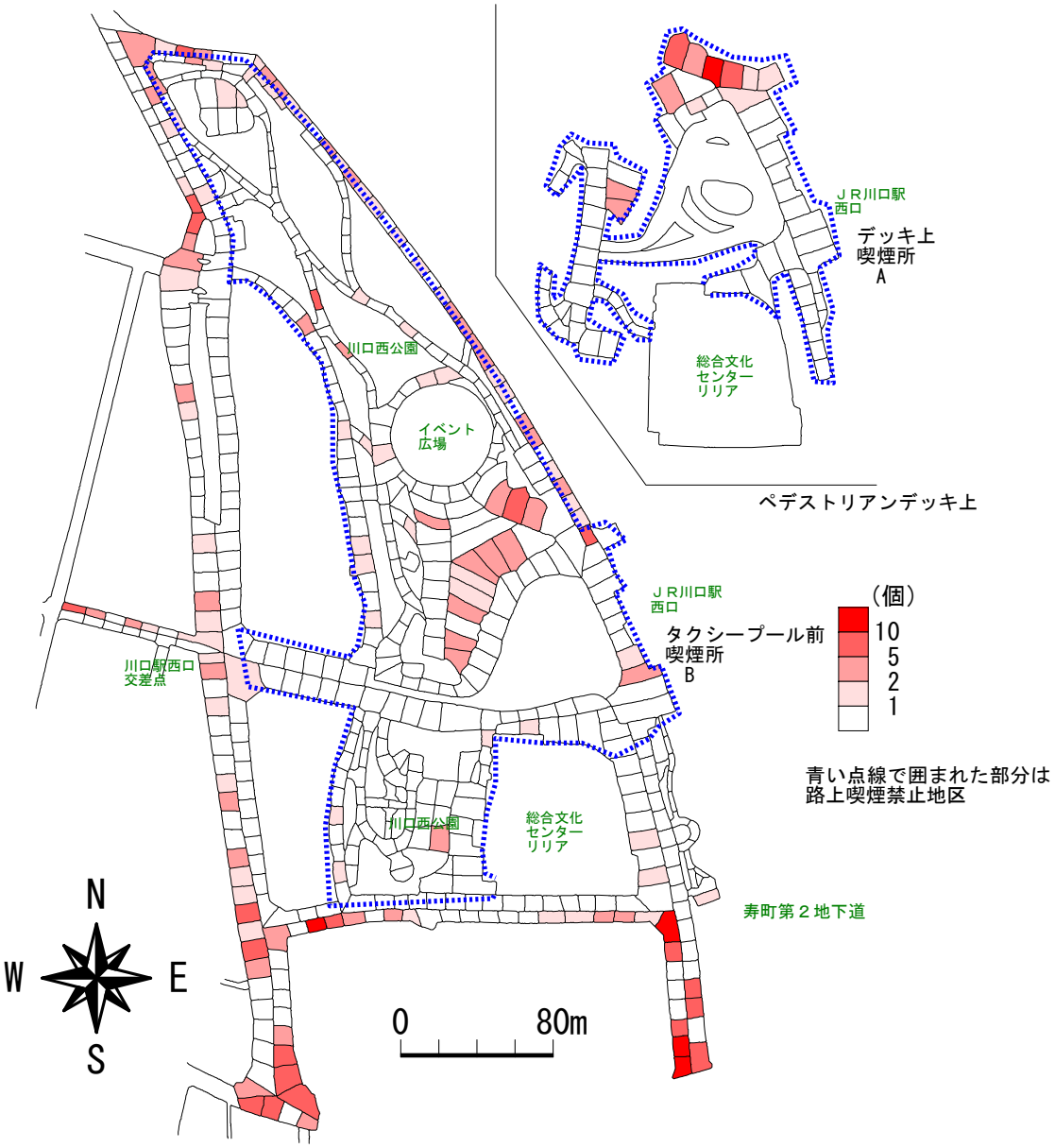
一方、前回調査では、川口西公園イベント広場付近、寿町第２地下道西交差点付近ではたばこの吸い殻が減少していると指摘されている。今回の調査では、川口西公園イベント広場では、たばこの吸い殻の散乱があまりみられなかったが、寿町第２地下道西交差点付近では、散乱が多く見られた。

川口駅西口に設置されている２ヶ所の喫煙場所の周辺では、たばこの吸い殻の散乱はあまりみられなかった。この地域では、高い頻度の清掃の実施や喫煙所の設置が効果をあげていると考えられる（図表 2-60～61)。

図表 2-60 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分のみ）【川口駅西口】

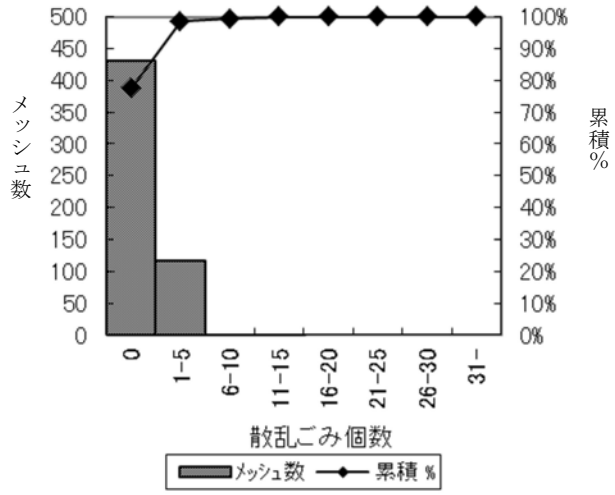
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 415 | 74.5% |
| 1-5 | 124 | 96.8% |
| 6-10 | 15 | 99.5% |
| 11-15 | 2 | 99.8% |
| 16-20 | 0 | 99.8% |
| 21-25 | 1 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

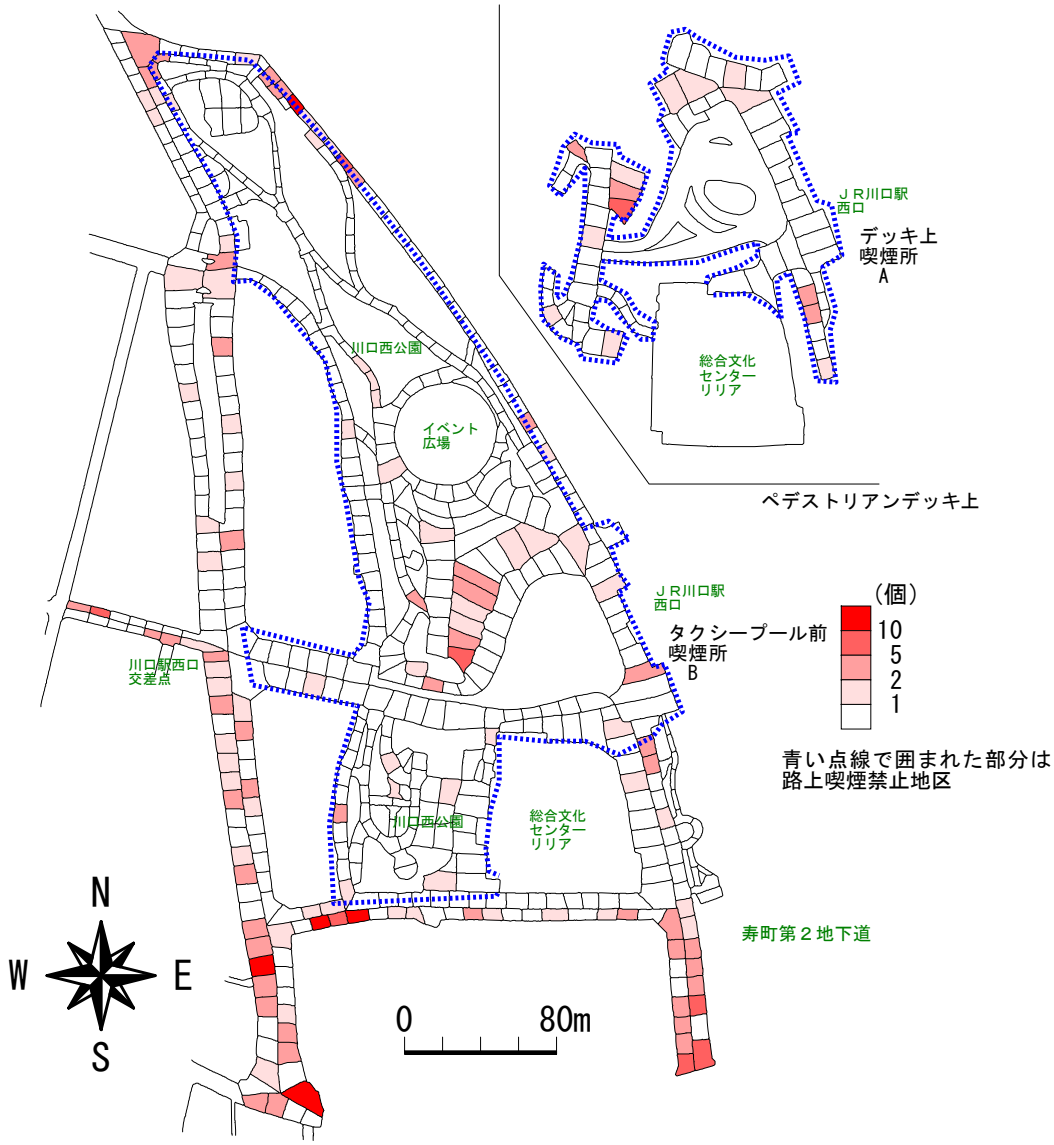


図表 2-61 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分のみ）【川口駅西口】

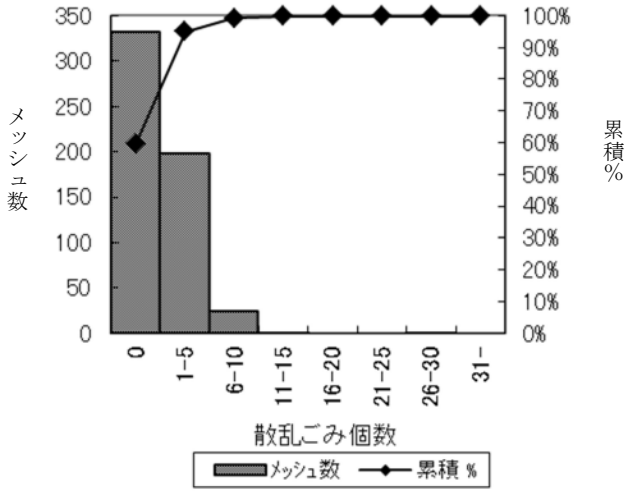
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 431 | 77.4% |
| 1-5 | 118 | 98.6% |
| 6-10 | 4 | 99.3% |
| 11-15 | 4 | 100.0% |
| 16-20 | 0 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

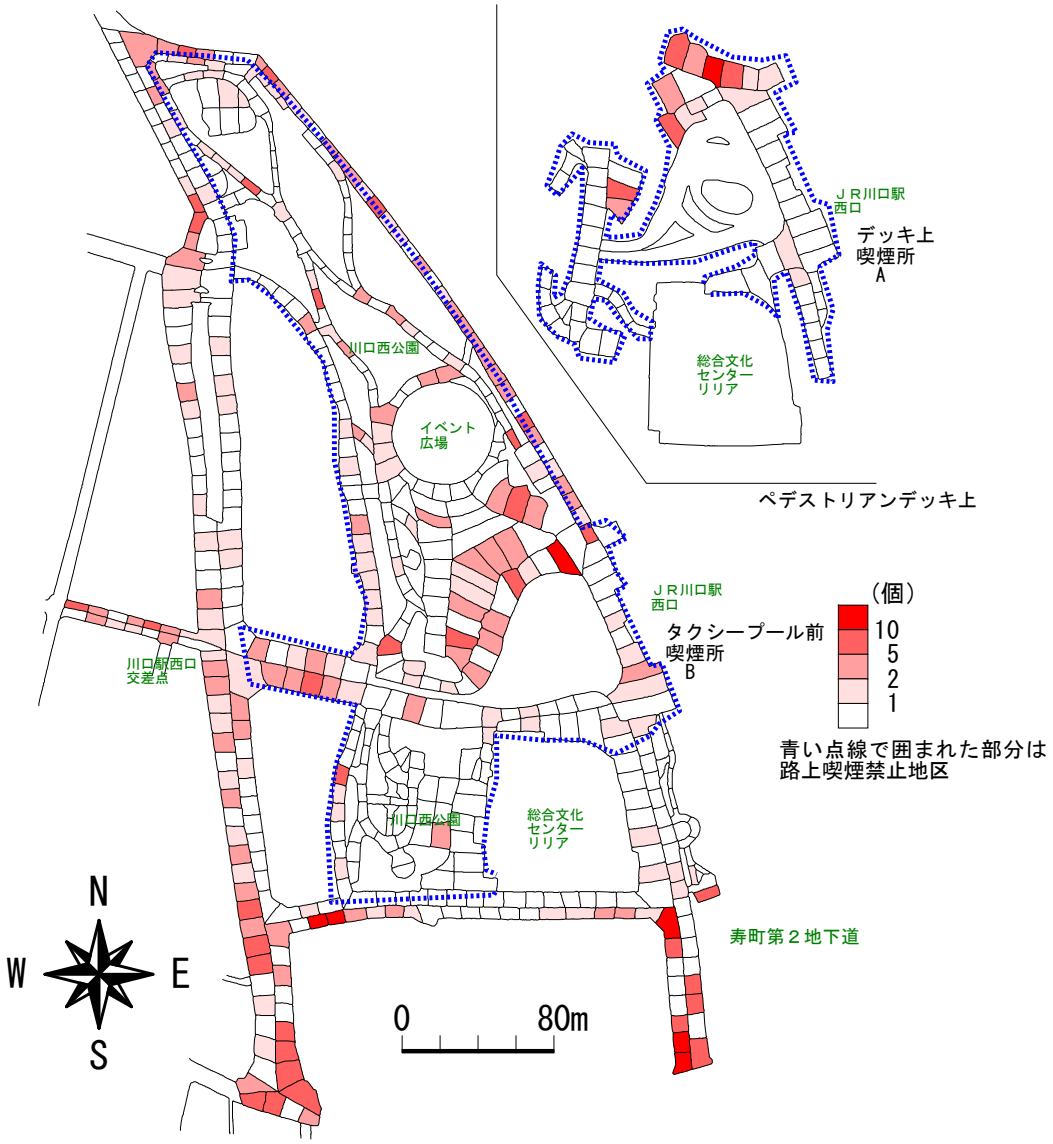


図表 2-62 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【川口駅西口】

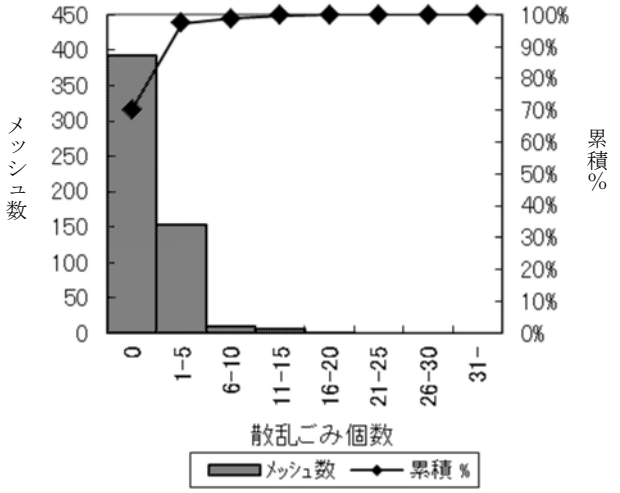
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 332 | 59.6% |
| 1-5 | 197 | 95.0% |
| 6-10 | 24 | 99.3% |
| 11-15 | 3 | 99.8% |
| 16-20 | 0 | 99.8% |
| 21-25 | 0 | 99.8% |
| 26-30 | 1 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

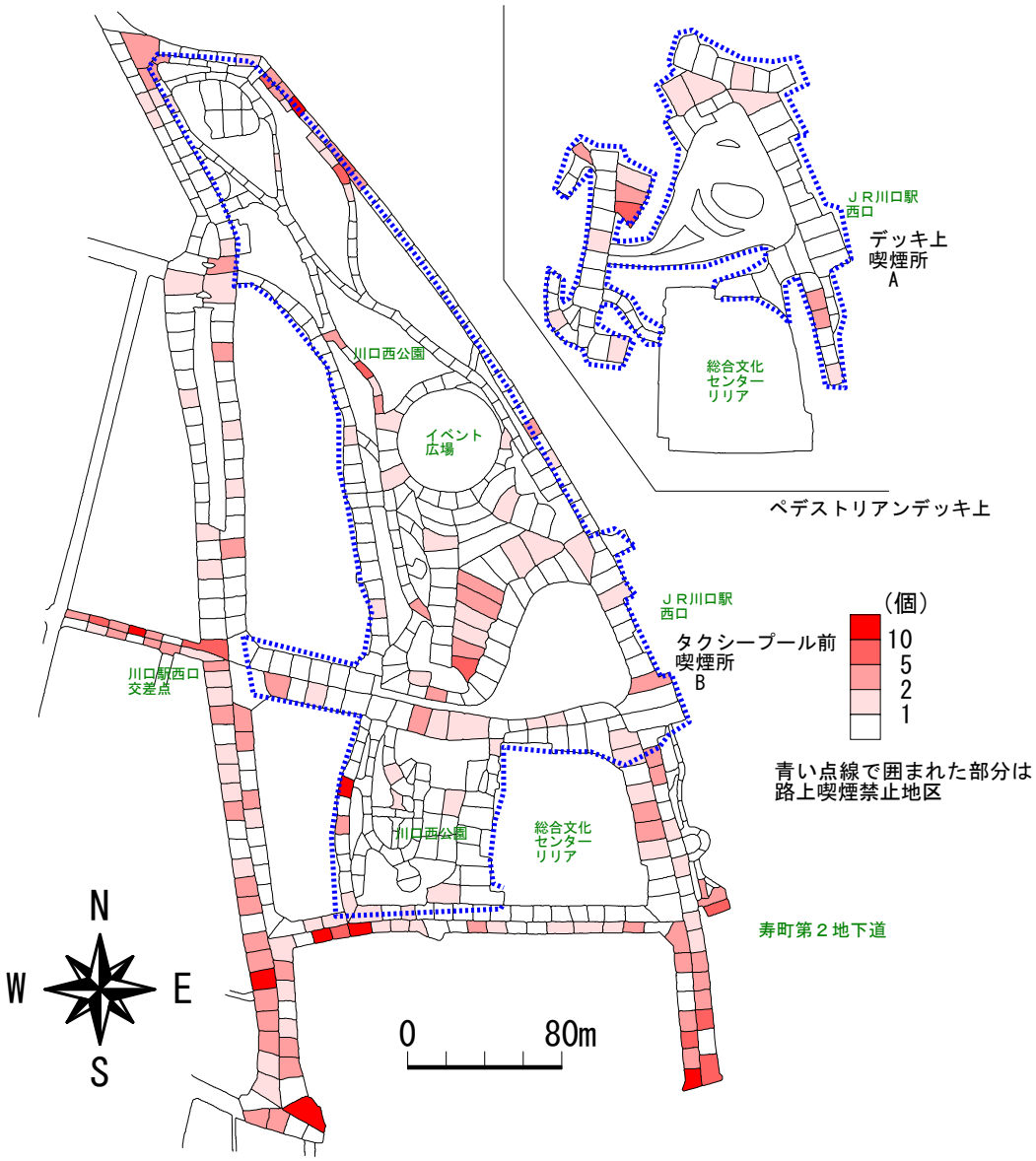


図表 2-63 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【川口駅西口】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 391 | 70.2% |
| 1-5 | 152 | 97.5% |
| 6-10 | 8 | 98.9% |
| 11-15 | 5 | 99.8% |
| 16-20 | 1 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |



### （３）西川口駅東口

①たばこの吸い殻の分布

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 3.1 個であったのに対し、平成 20 年度は 2.0 個、平成 17 年度は 3.9 個、平成 16 年度は 3.4 個であり、平成 20 年度を除き、過去の調査に比べて少なくなっている。休日でも、今回調査の平均が 3.4 個であったのに対し、平成 20 年度は 4.3 個、平成 17 年度は 6.4 個、平成 16 年度は 3.3 個であり、平成 16 年度を除き、過去の調査に比べて少なくなっている。（図表 2-8～9）。

今回の調査では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが、平日で 38.7%、1～5 個であったのが 44.1%、合わせて 82.8%がたばこの吸い殻の散乱が少ないブロックであったが、比較的たばこの吸い殻の散乱が多い 6～10 個のブロックが 11.1%であった（図表 2-64）。

休日では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが 31.0%、1～5 個であったのが 50.4%、合わせて 81.4%がたばこの吸い殻の散乱が少ないブロックであったが、比較的たばこの吸い殻が多い 6～10 個であったのが 11.6%であった（図表 2-65）。

西川口東口は、他の調査地域に比べると、たばこの吸い殻の散乱が多い地域となっている（図表 2-4～5）。また、路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7）。

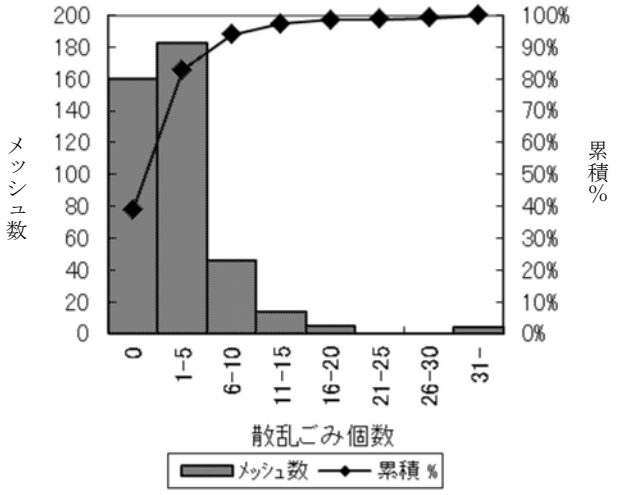
②散乱状況の著しい場所の推移

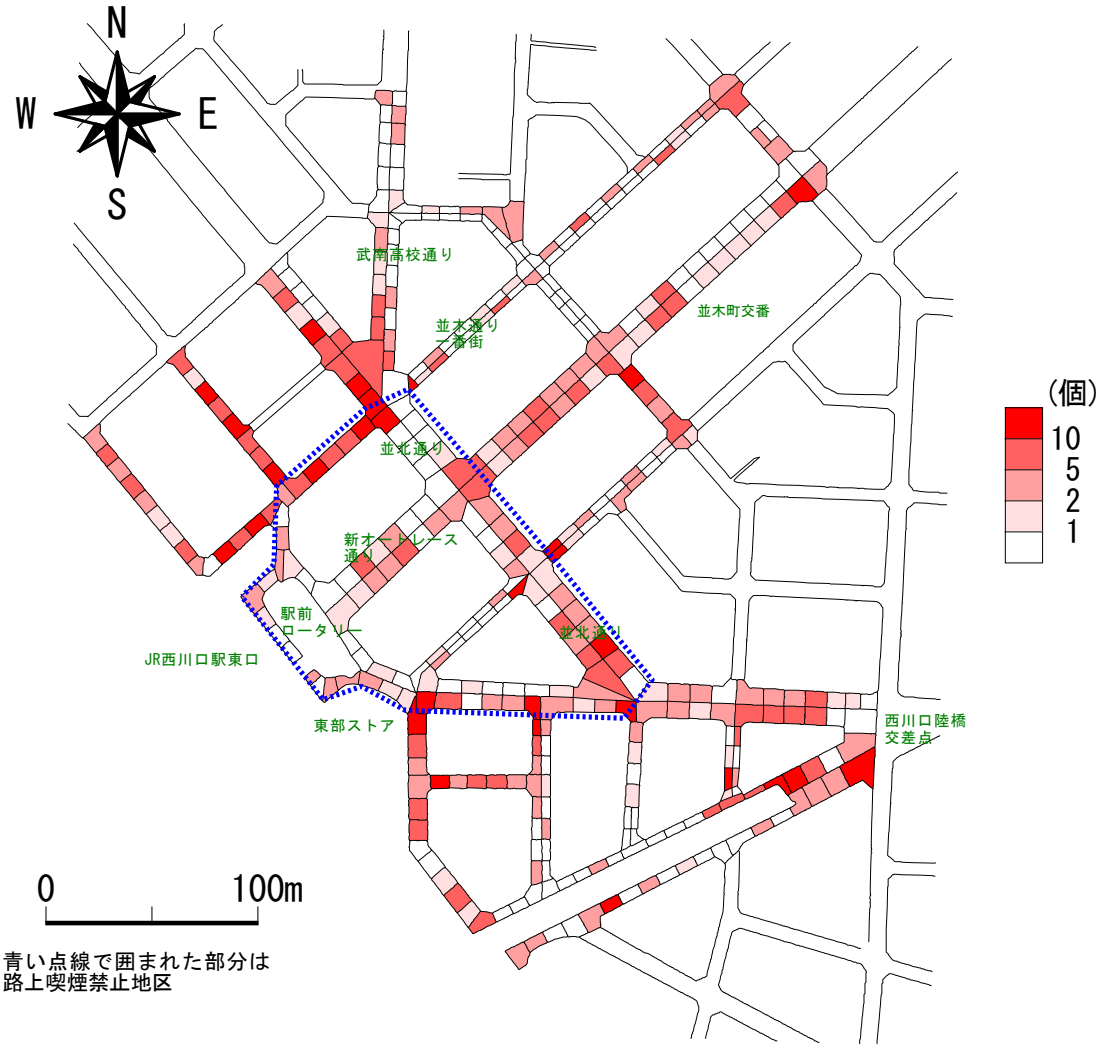
前回調査では、西川口駅東口交差点、西川口陸橋交差点南側付近でたばこの吸い殻が増加していると指摘されている。今回調査でも、これらの場所での吸い殻の散乱は比較的多かった。

一方、前回調査では、並木町交番交差点付近ではたばこの吸い殻が減少していると指摘されている。今回調査でも比較的、たばこの吸い殻の散乱が少なかった（図表 2-64～65）。

図表 2-64 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分のみ）【西川口駅東口】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 160 | 38.7% |
| 1-5 | 182 | 82.8% |
| 6-10 | 46 | 93.9% |
| 11-15 | 14 | 97.3% |
| 16-20 | 5 | 98.5% |
| 21-25 | 1 | 98.8% |
| 26-30 | 1 | 99.0% |
| 31- | 4 | 100.0% |

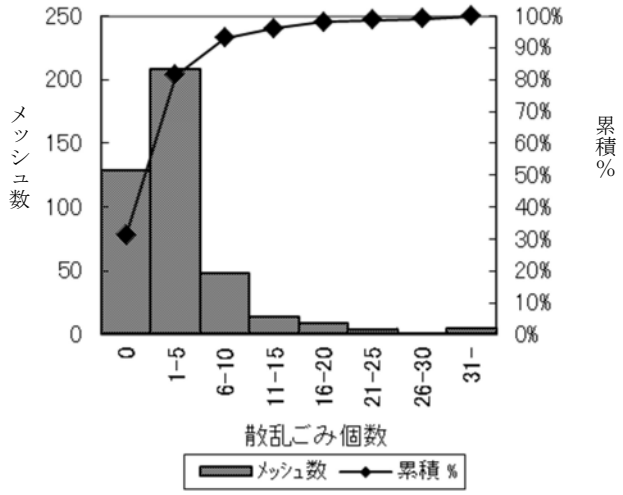


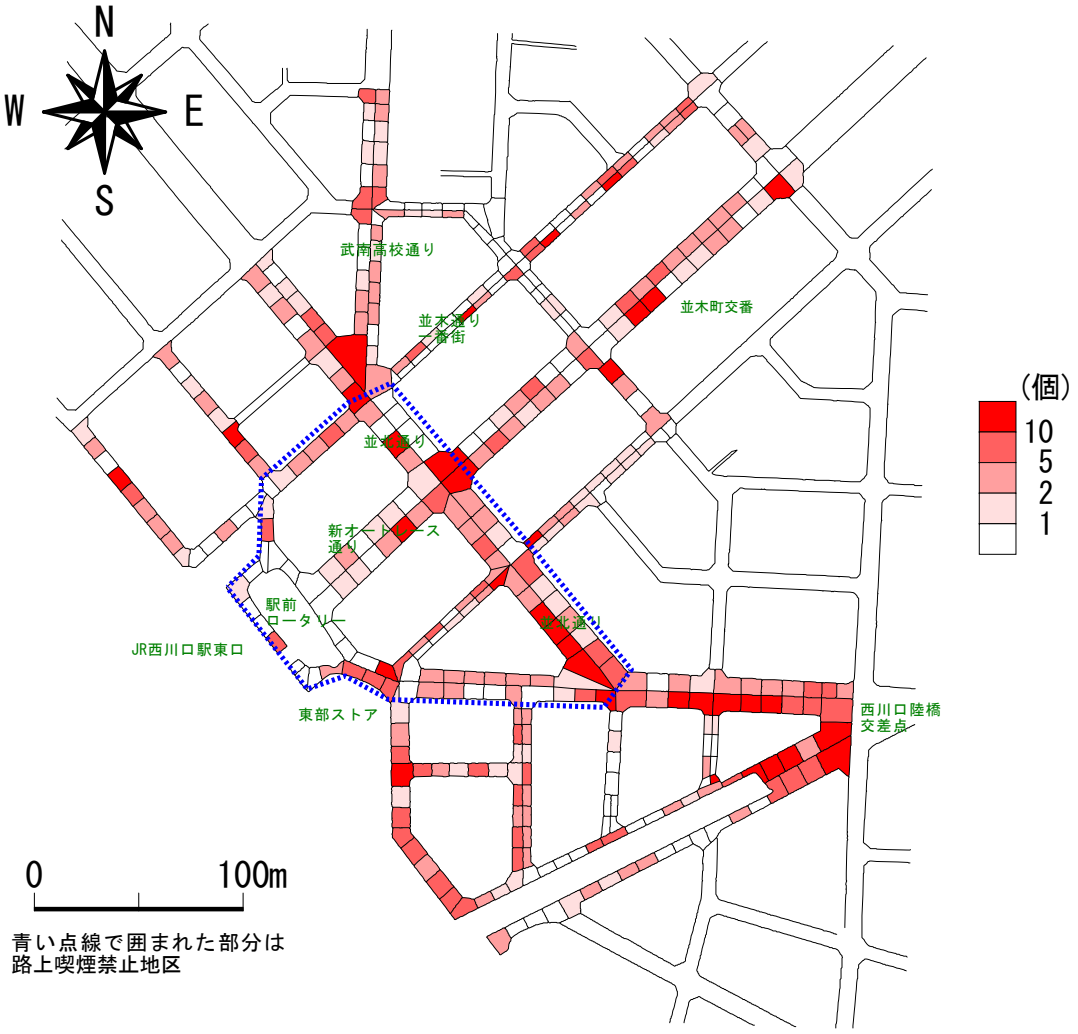




青い点線で囲まれた部分は
路上喫煙禁止地区

図表 2-65 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分のみ）【西川口駅東口】

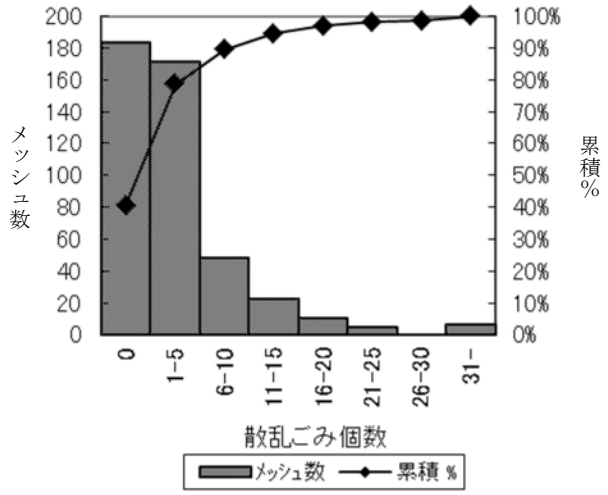
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 128 | 31.0% |
| 1-5 | 208 | 81.4% |
| 6-10 | 48 | 93.0% |
| 11-15 | 13 | 96.1% |
| 16-20 | 8 | 98.1% |
| 21-25 | 3 | 98.8% |
| 26-30 | 1 | 99.0% |
| 31- | 4 | 100.0% |

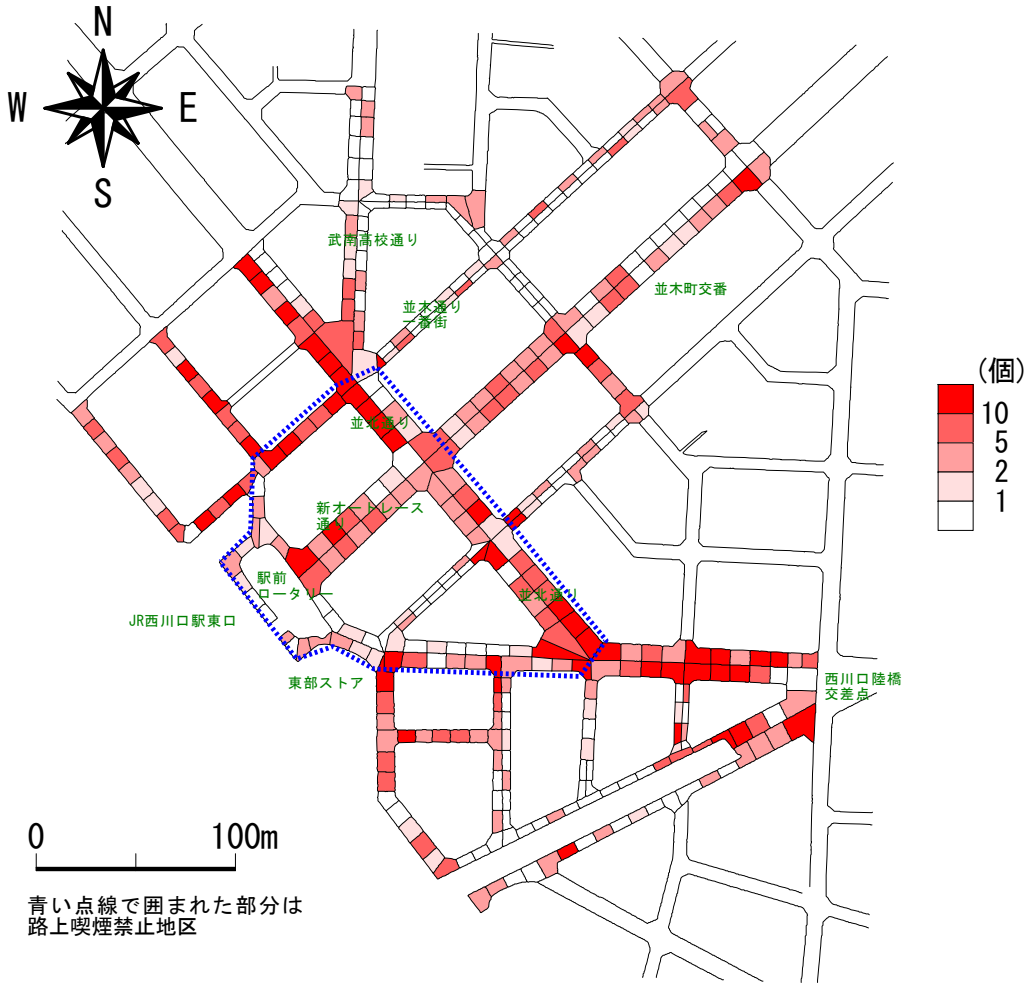


図表 2-66 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【西川口駅東口】

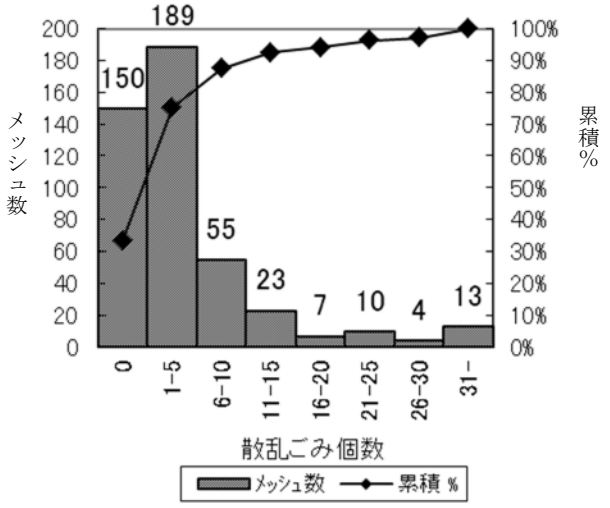
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 183 | 40.6% |
| 1-5 | 171 | 78.5% |
| 6-10 | 49 | 89.4% |
| 11-15 | 23 | 94.5% |
| 16-20 | 11 | 96.9% |
| 21-25 | 5 | 98.0% |
| 26-30 | 2 | 98.4% |
| 31- | 7 | 100.0% |

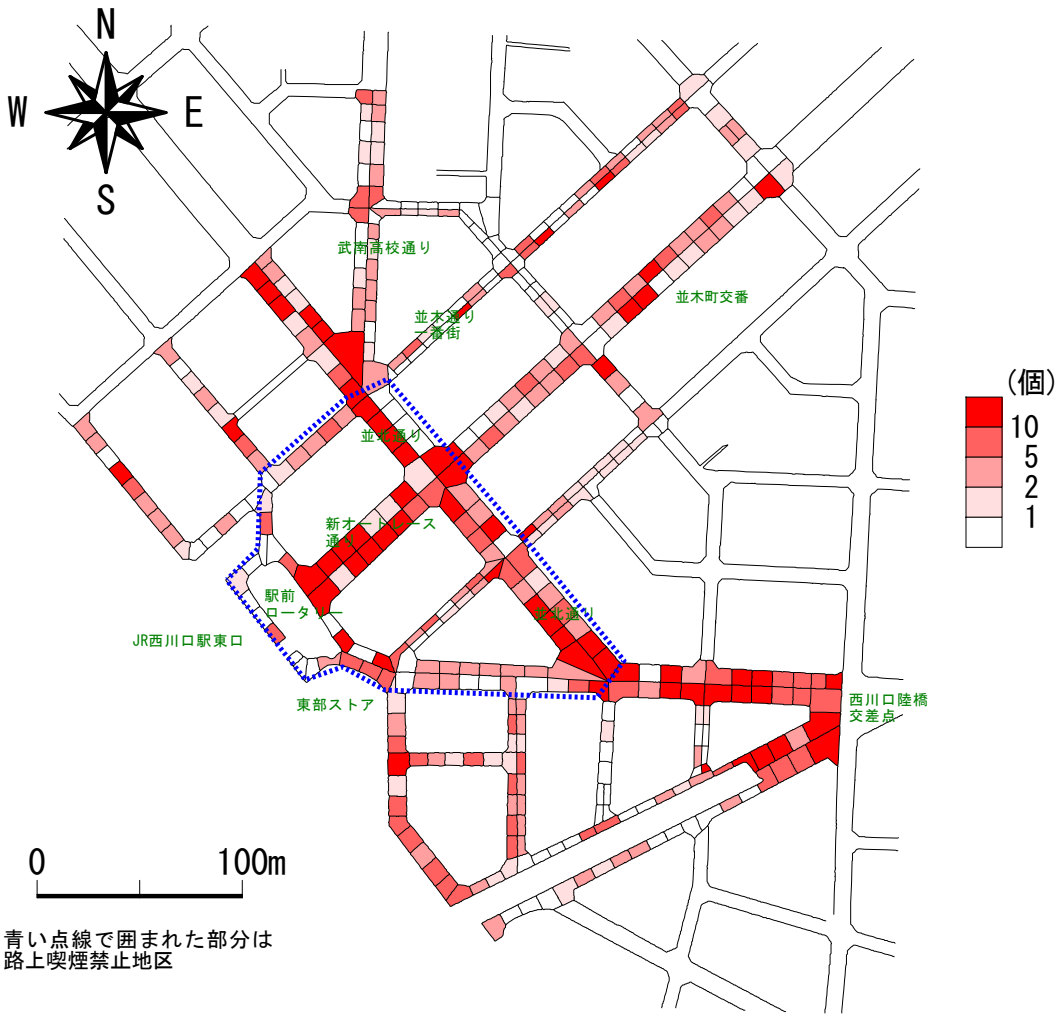


図表 2-67 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【西川口駅東口】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 150 | 33.3% |
| 1-5 | 189 | 75.2% |
| 6-10 | 55 | 87.4% |
| 11-15 | 23 | 92.5% |
| 16-20 | 7 | 94.0% |
| 21-25 | 10 | 96.2% |
| 26-30 | 4 | 97.1% |
| 31- | 13 | 100.0% |



### （４）西川口駅西口

①たばこの吸い殻の分布

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 3.6 個であったのに対し、平成 20 年度は 6.4 個、平成 17 年度は 0.6 個、平成 16 年度は 3.8 個であり、平成 17 年度を除き、過去の調査に比べて少なくなっている。休日でも、今回調査の平均が 3.7 個であったのに対し、平成 20 年度は 7.1 個、平成 17 年度は 7.5 個、平成 16 年度は 7.5 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。（図表 2－8～9）。

今回の調査結果では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが、平日で 33.5%、1～5 個であったのが 44.5%で、たばこの吸い殻の散乱が少ないブロックは、合わせて 78.0%にとどまっている。（図表 2-68）。

休日では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが 28.9%、1～5 個であったのが 55.5%で、たばこの吸い殻の散乱が少ないブロックは合わせて 84.4%がであった（図表 2-69）。

西川口駅西口は、他の調査地域に比べると、たばこの吸い殻が最も多い地域のひとつとなっている（図表 2-4～5）。また、路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～７）。

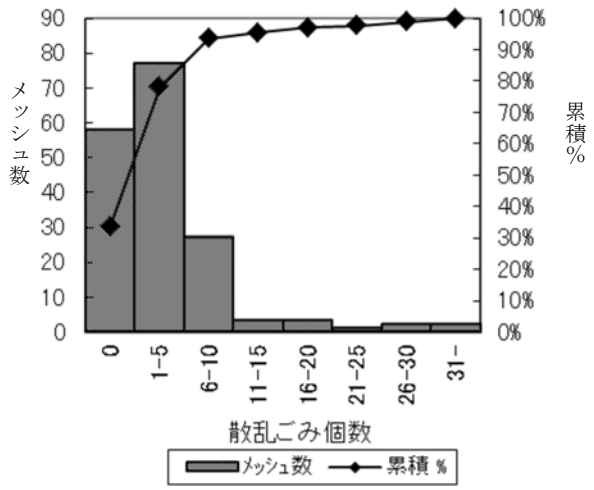
②散乱状況の著しい場所の推移

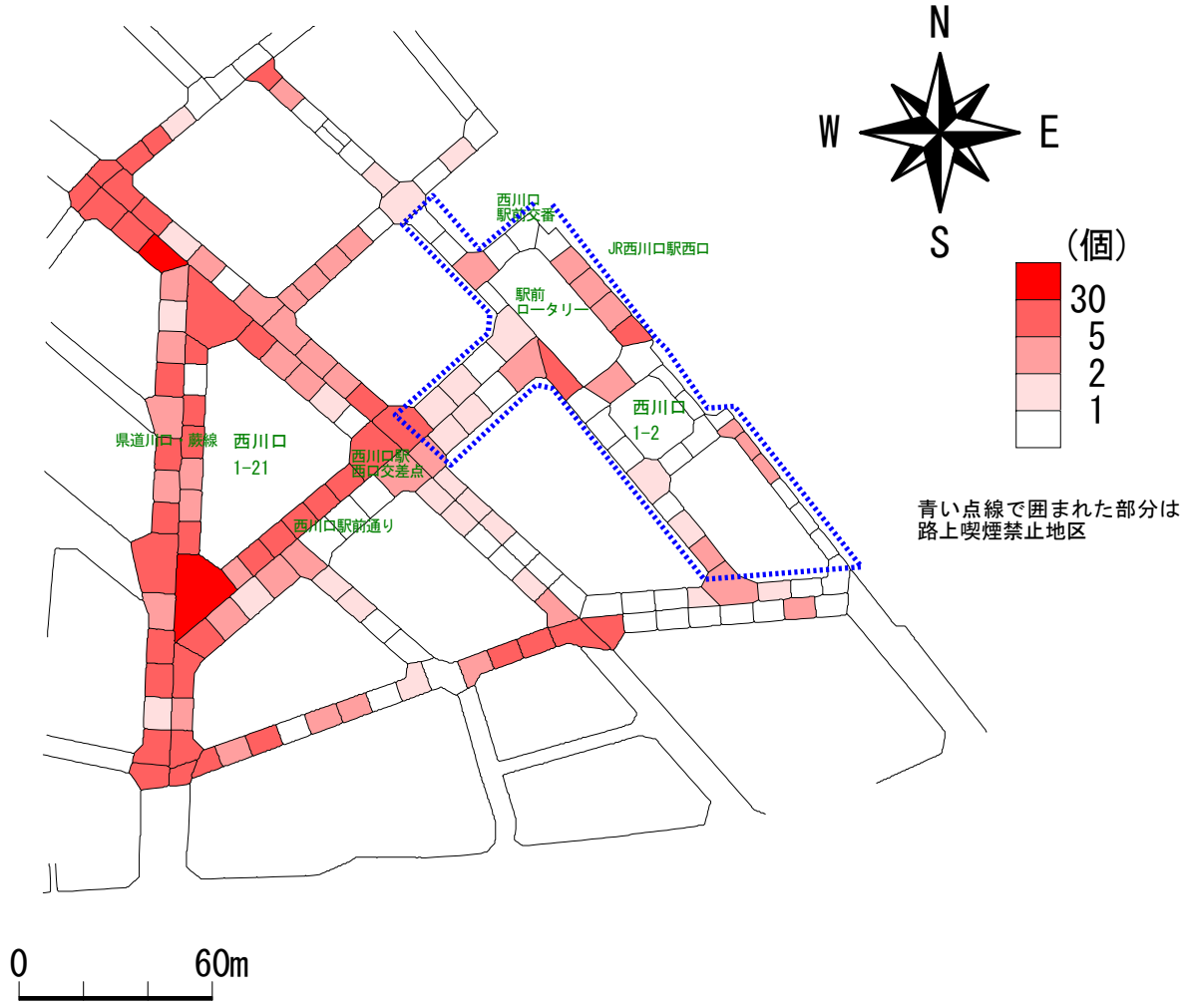
前回調査では、西川口 1 丁目 21 番地周辺の交差点（西川口駅西口交差点など３交差点）付近、西川口 1 丁目 2 番地南側付近ではたばこの吸い殻が増加していると指摘されていた。今回の調査では、西川口 1 丁目 21 番地周辺の交差点で多くのたばこの吸い殻の散乱がみられたが、西川口 1 丁目 2 番地南側付近では吸い殻の散乱はあまりみられなかった（図表 2-68～69）。

たばこの散乱状況

図表 2-68 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分のみ）【西川口駅西口】

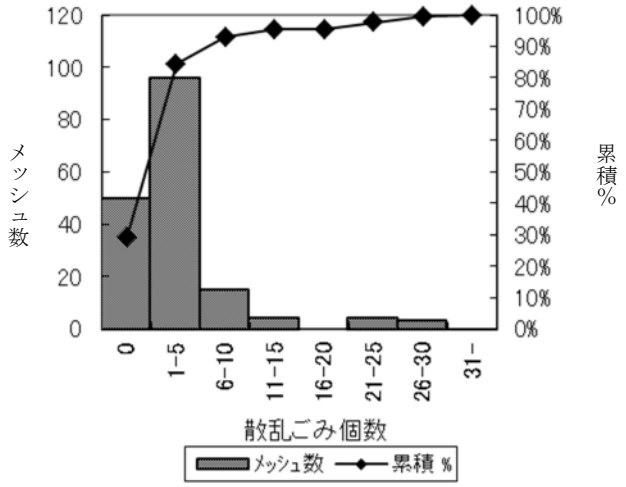
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 58 | 33.5% |
| 1-5 | 77 | 78.0% |
| 6-10 | 27 | 93.6% |
| 11-15 | 3 | 95.4% |
| 16-20 | 3 | 97.1% |
| 21-25 | 1 | 97.7% |
| 26-30 | 2 | 98.8% |
| 31- | 2 | 100.0% |

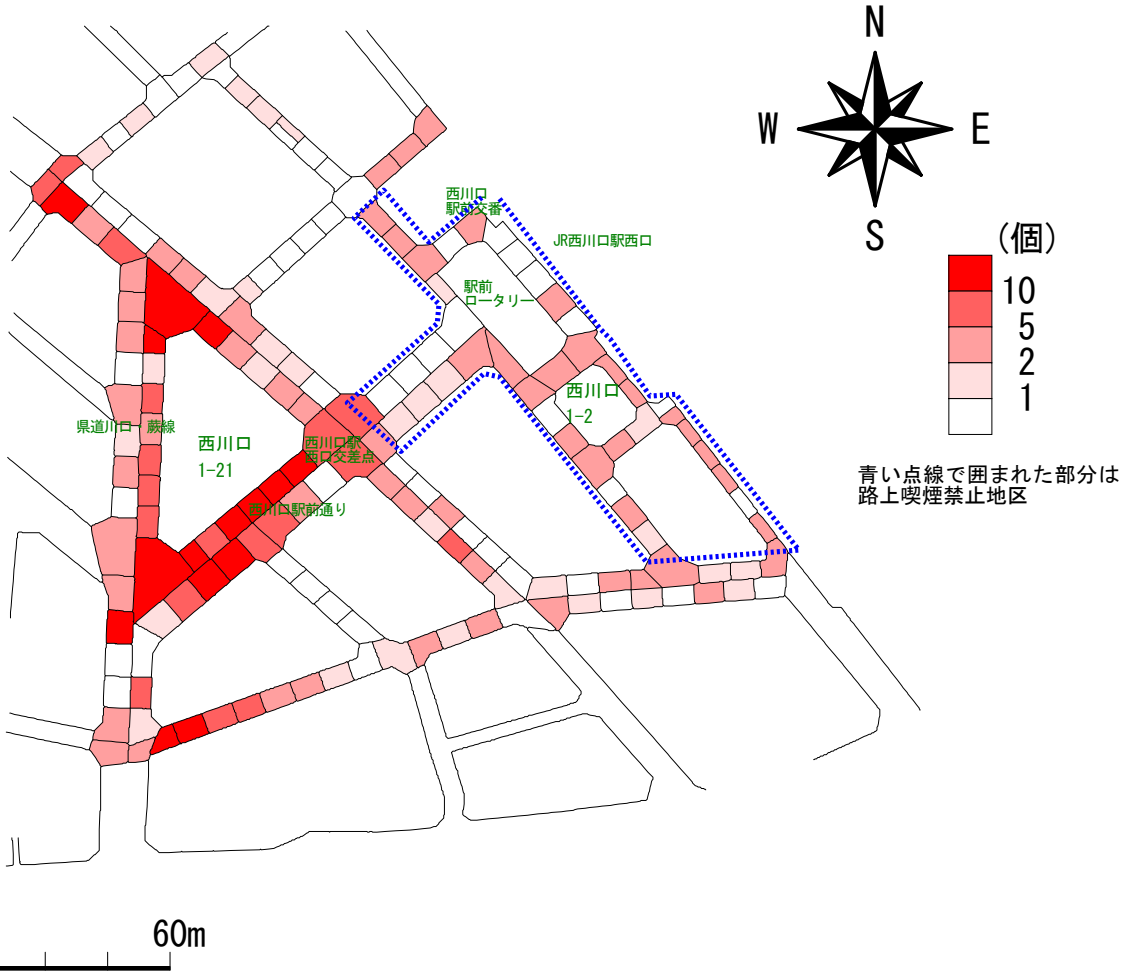


図表 2-69 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分のみ）【西川口駅西口】

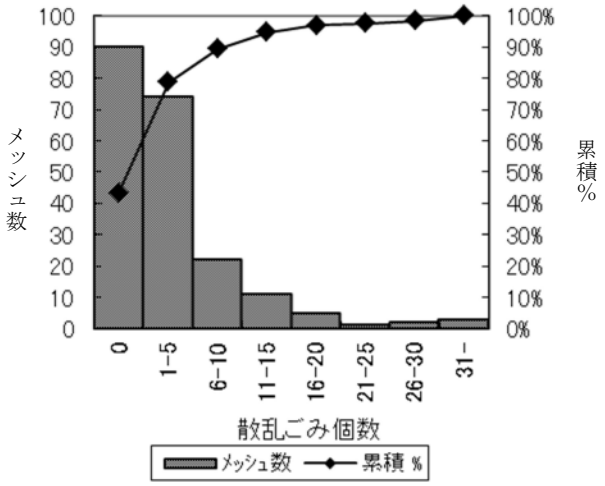
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 50 | 28.9% |
| 1-5 | 96 | 84.4% |
| 6-10 | 15 | 93.1% |
| 11-15 | 4 | 95.4% |
| 16-20 | 0 | 95.4% |
| 21-25 | 4 | 97.7% |
| 26-30 | 3 | 99.4% |
| 31- | 1 | 100.0% |

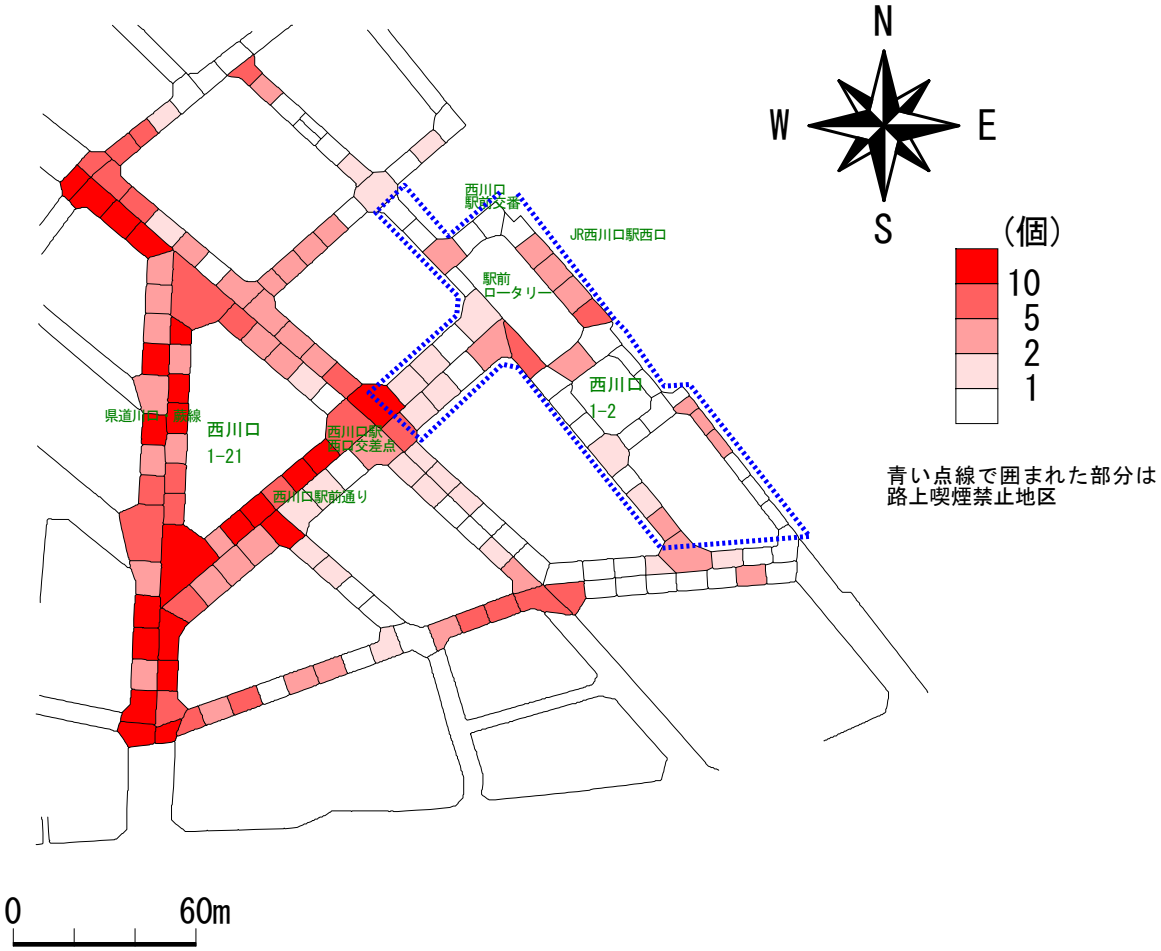


図表 2-70 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【西川口駅西口】

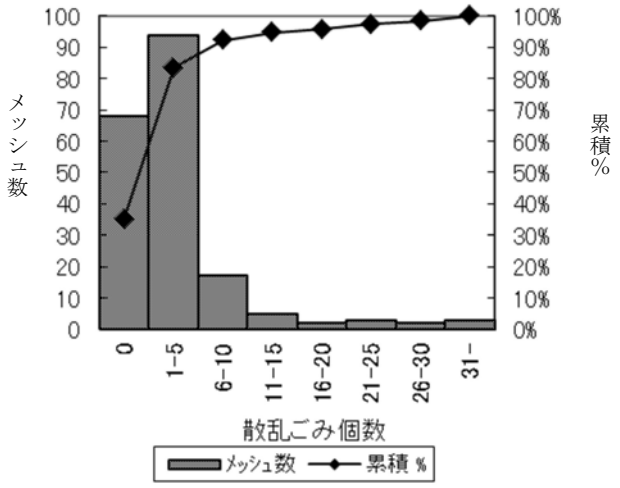
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 90 | 43.3% |
| 1-5 | 74 | 78.8% |
| 6-10 | 22 | 89.4% |
| 11-15 | 11 | 94.7% |
| 16-20 | 5 | 97.1% |
| 21-25 | 1 | 97.6% |
| 26-30 | 2 | 98.6% |
| 31- | 3 | 100.0% |

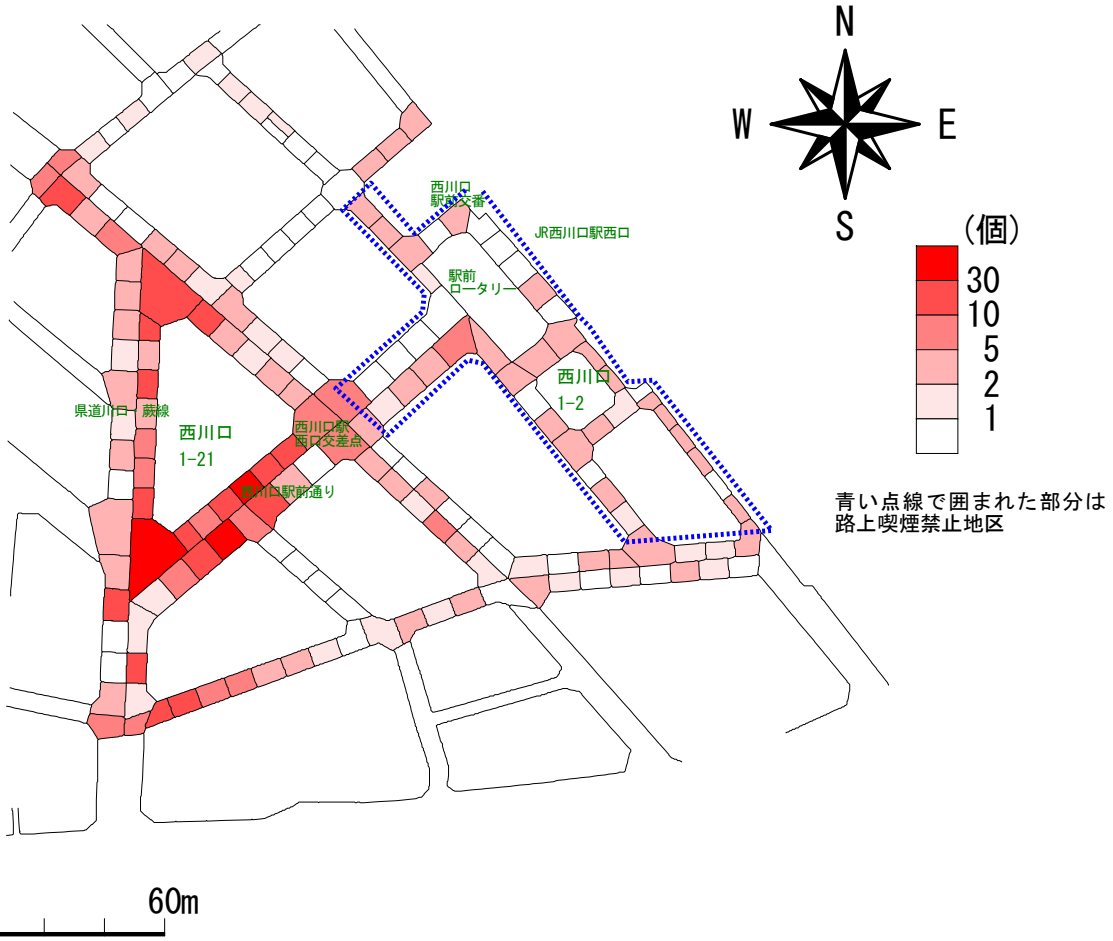


図表 2-71 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【西川口駅西口】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 68 | 35.1% |
| 1-5 | 94 | 83.5% |
| 6-10 | 17 | 92.3% |
| 11-15 | 5 | 94.8% |
| 16-20 | 2 | 95.9% |
| 21-25 | 3 | 97.4% |
| 26-30 | 2 | 98.5% |
| 31- | 3 | 100.0% |



## （５）蕨駅

①たばこの吸い殻の分布

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 1.9 個であったのに対し、平成 20 年度は 4.6 個、平成 17 年度は 2.6 個、平成 16 年度は 4.2 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。休日でも、今回調査の平均が 2.4 個であったのに対し、平成 20 年度は 4.3 個、平成 17 年度は 4.5 個、平成 16 年度は 6.9 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。（図表 2-8～9)。

今回の調査結果では、たばこの吸い殻がまったくなかったブロックが、平日で 47.1%、1～5 個であったのが 42.1%、合わせて 89.2%がたばこの吸い殻の散乱が少ないブロックであった（図表 2-72)。

休日では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが、平日で 36.7%、1～5 個であったのが 49.5%と、合わせて 86.2%がたばこの吸い殻の散乱が少ないブロックであった（図表 2-73)。

蕨駅周辺は、他の調査地域に比べると、たばこの吸い殻の散乱が比較的多い地域のひとつとなっている（図表 2-4～5)。また、路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

②散乱状況の著しい場所の推移

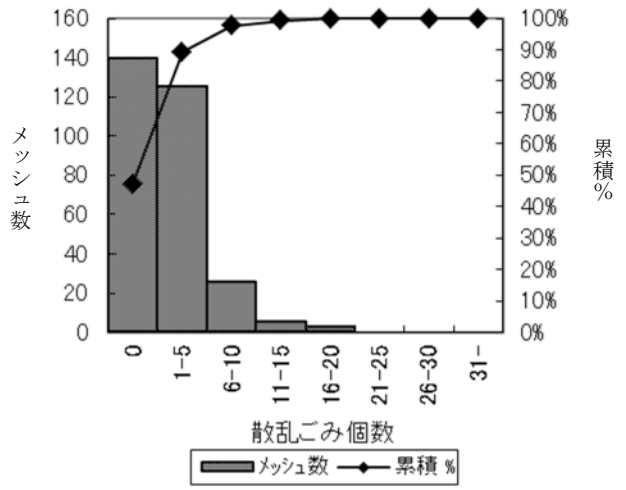
前回調査では、線路沿いの道路付近においては、たばこの吸い殻が多く、蕨駅東口第一駐輪場の西端付近、芝新町 1 丁目 4 番地北側付近ではたばこの吸い殻が増加しているとされた。

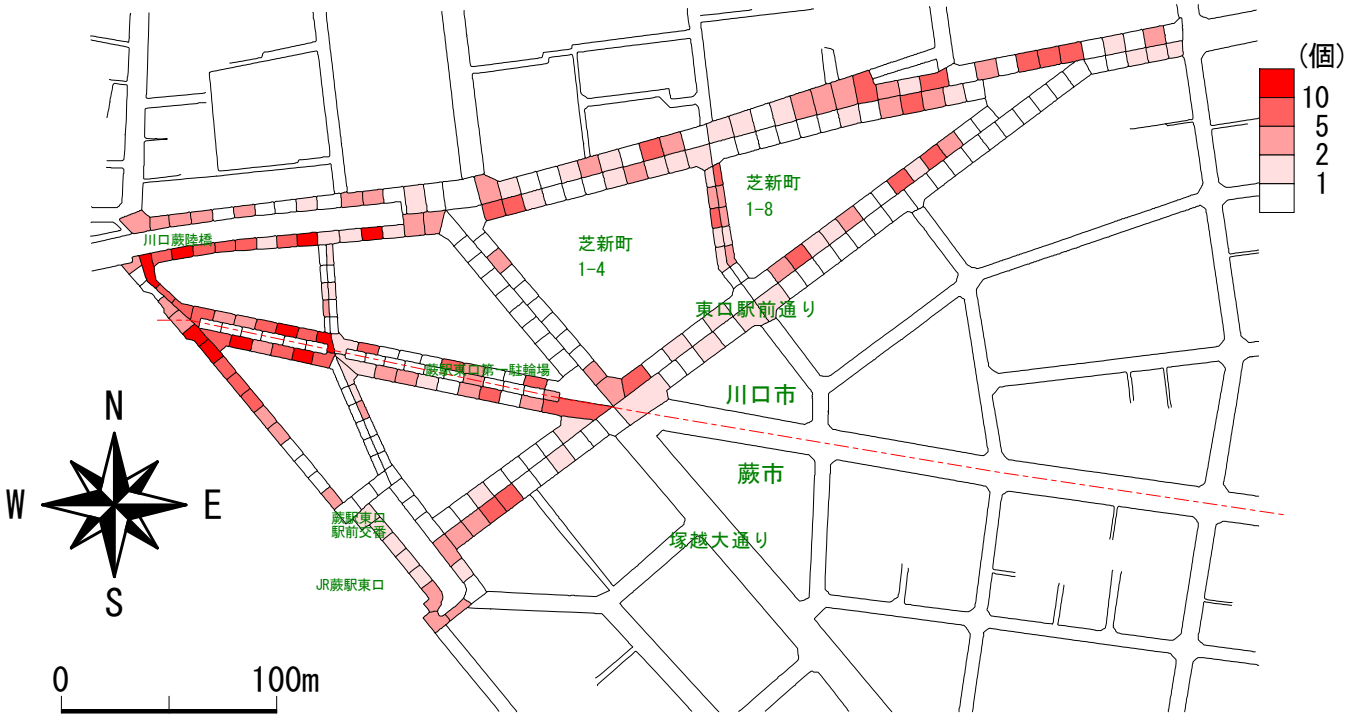
今回の調査では、蕨駅東口第一駐輪場の西端付近や県道蕨・鳩ヶ谷線の蕨・川口陸橋付近にたばこの吸い殻の散乱が多かった。このあたりは、自転車駐輪場となっているため、捨てられやすいとともに、清掃がしにくい環境にあるといえる。

一方で、前回調査で、川口蕨陸橋の側道付近、塚越大通りのバス乗り場付近、芝新町 1 丁目 8 番地南東側の東口駅前通り付近においてはたばこの吸い殻が少ないと指摘された。今回の調査では、塚越大通りのバス乗り場付近では、たばこの吸い殻が少なかった。川口蕨陸橋の側道付近、芝新町 1 丁目 8 番地南東側の東口駅前通り付近では、比較的多かった（図表 2-72～73)。

図表 2-72 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分のみ）【蕨駅】

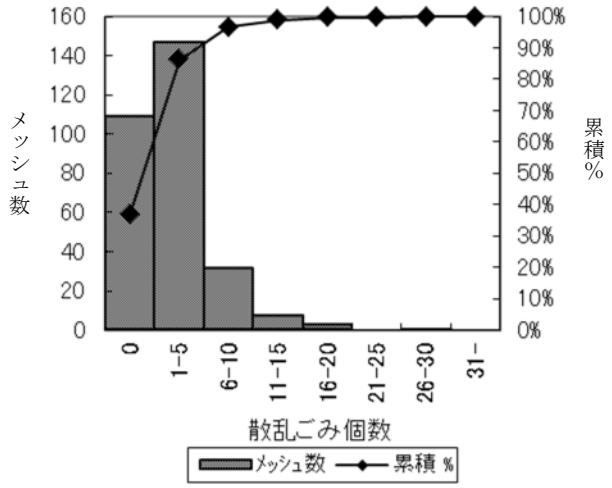
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 140 | 47.1% |
| 1-5 | 125 | 89.2% |
| 6-10 | 25 | 97.6% |
| 11-15 | 5 | 99.3% |
| 16-20 | 2 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

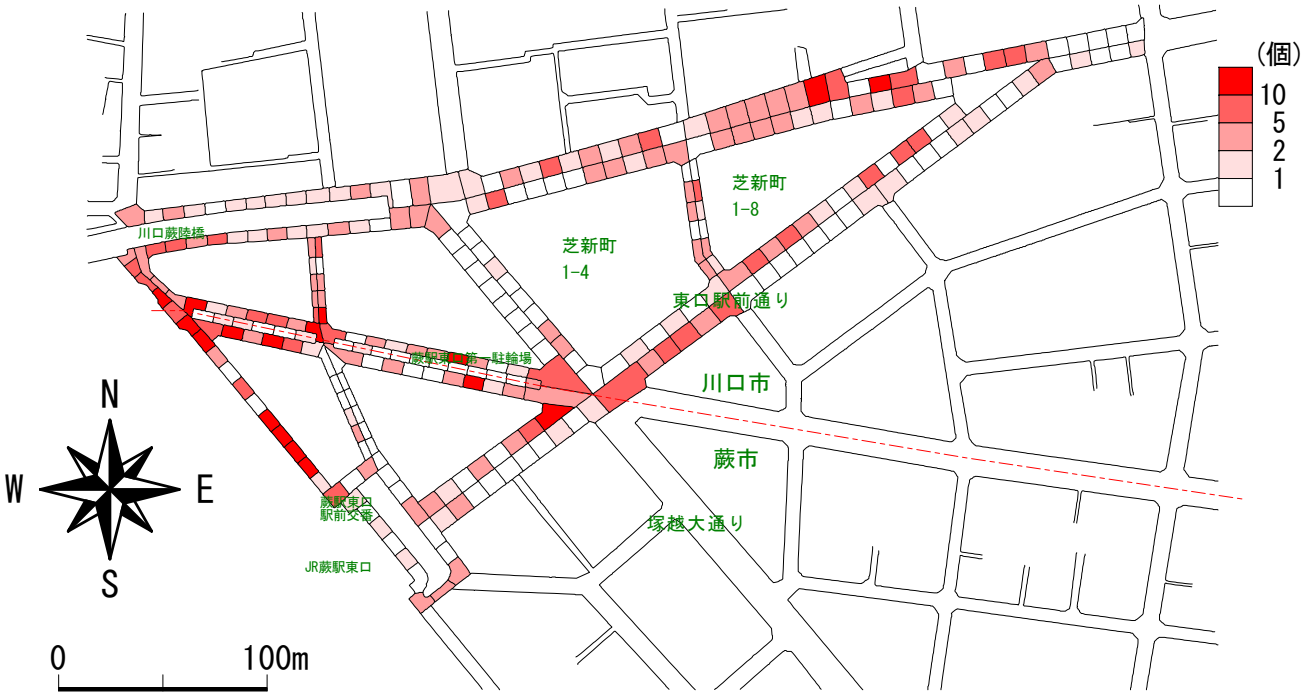


図表 2-73 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分のみ）【蕨駅】

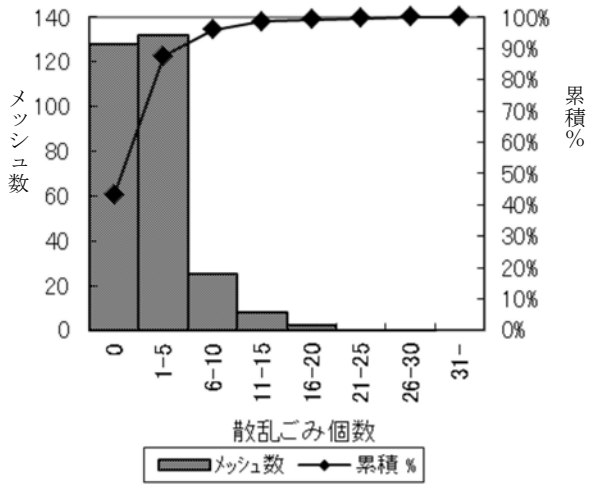
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 109 | 36.7% |
| 1-5 | 147 | 86.2% |
| 6-10 | 31 | 96.6% |
| 11-15 | 7 | 99.0% |
| 16-20 | 2 | 99.7% |
| 21-25 | 0 | 99.7% |
| 26-30 | 1 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

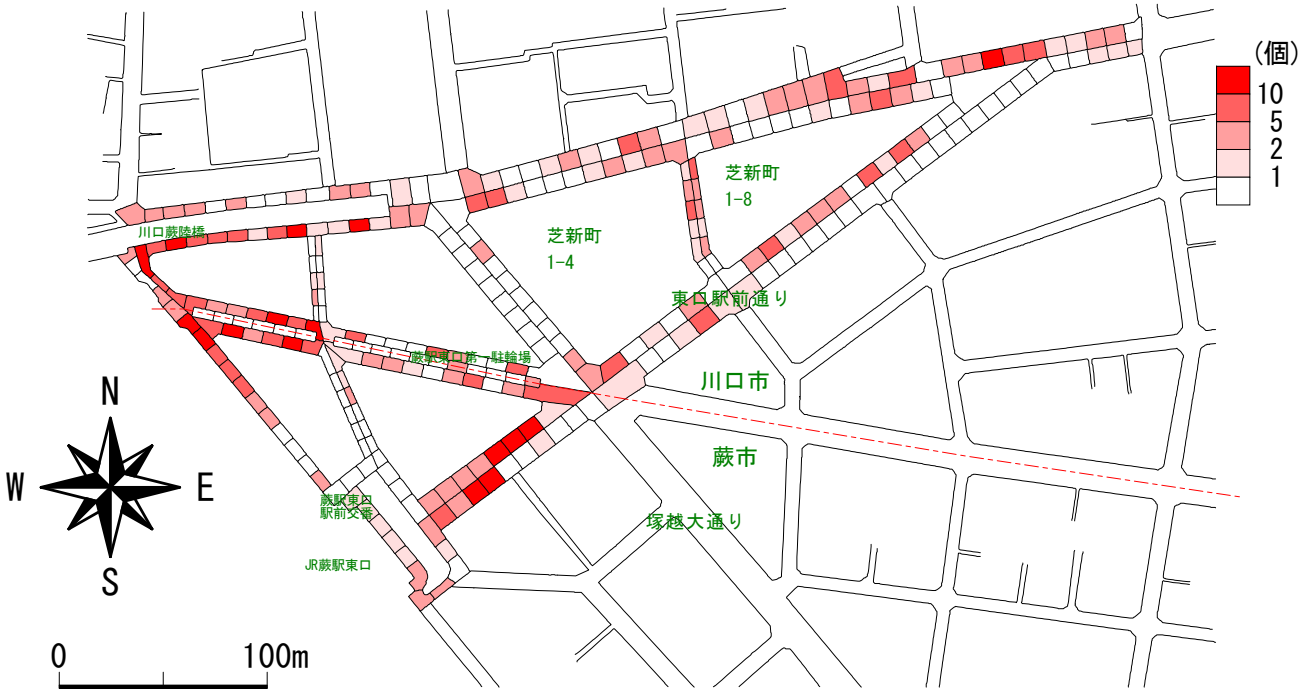


図表 2-74 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【蕨駅】

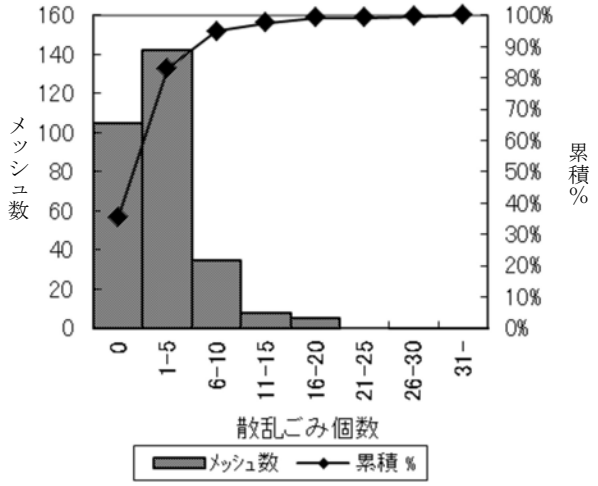
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 128 | 43.1% |
| 1-5 | 132 | 87.5% |
| 6-10 | 25 | 96.0% |
| 11-15 | 8 | 98.7% |
| 16-20 | 2 | 99.3% |
| 21-25 | 1 | 99.7% |
| 26-30 | 1 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

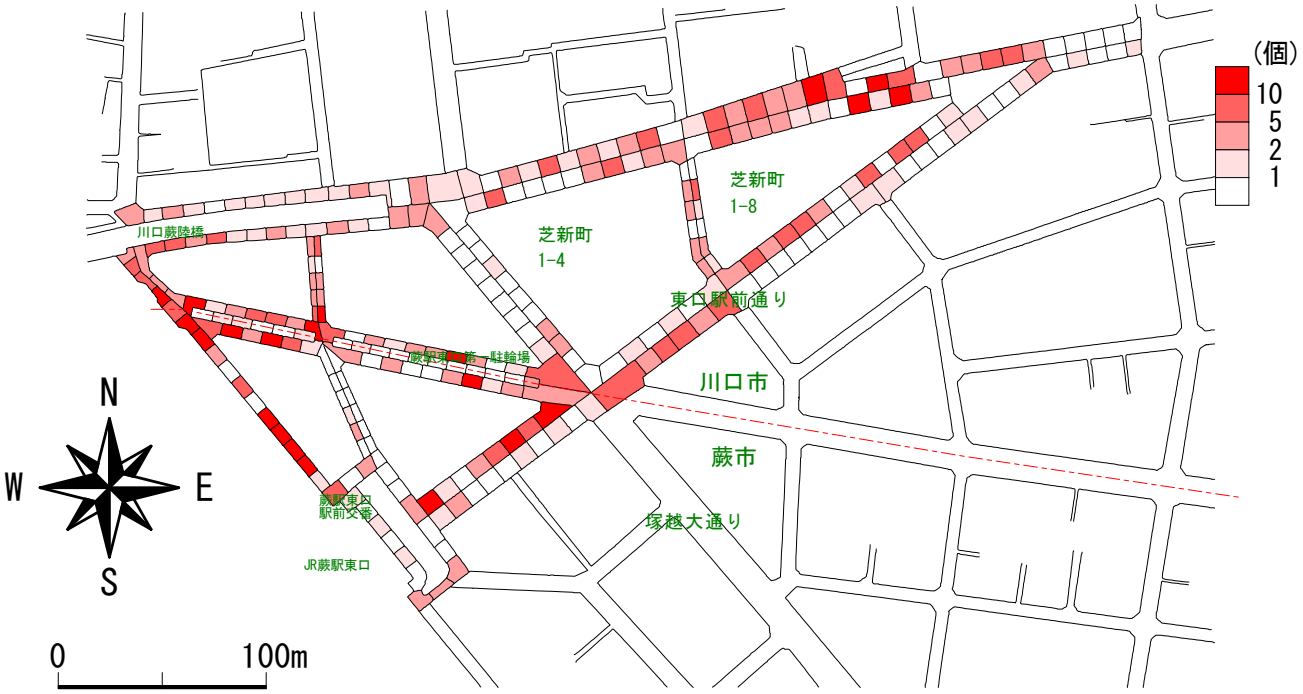


図表 2-75 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【蕨駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 105 | 35.4% |
| 1-5 | 142 | 83.2% |
| 6-10 | 35 | 94.9% |
| 11-15 | 8 | 97.6% |
| 16-20 | 5 | 99.3% |
| 21-25 | 0 | 99.3% |
| 26-30 | 1 | 99.7% |
| 31- | 1 | 100.0% |



## （６）東川口駅

①たばこの吸い殻の分布

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 1.8 個であったのに対し、平成 20 年度は 4.6 個、平成 17 年度は 3.7 個、平成 16 年度は 1.7 個であり、平成 16 年度を除き、過去の調査に比べて少なくなっている。休日でも、今回調査の平均が 2.1 個であったのに対し、平成 20 年度は 5.0 個、平成 17 年度は 5.0 個、平成 16 年度は 4.2 個であり、過去の調査に比べて少なくなっている。（図表 2-8～9）。

今回の調査結果では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが、平日で 48.0%、1～5 個であったのが 44.6%と、たばこの吸い殻が少ないブロックが合わせて 92.6%であった（図表 2-76）。休日では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが 47.5%、1～5 個であったのが 40.5%と合わせて 88.0%であった（図表 2-77）。

東川口駅におけるたばこの吸い殻の散乱は、他の調査地域に比べると、平均的な水準となっている（図表 2-4～5）。また、路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7）。

②散乱状況の著しい場所の推移

前回調査では、東川口 2 丁目 1 番地西側の交差点付近、東川口 2 丁目 1 番地東側付近ではたばこの吸い殻が増加しているとされた。また、戸塚 1 丁目 2 番地南西側付近においては、依然とたばこの吸い殻が多い状況とされた。今回調査では、このうち一方、戸塚 1 丁目 2 番地南西側付近において、継続して散乱しているたばこが多かった。

また、前回調査では、戸塚 1 丁目 1 番地付近、戸塚 2 丁目 24 番地北側付近においては、依然とたばこの吸い殻が少ない状況を維持しているとされている。これらの場所は、平成 24 年度の路上喫煙禁止地区の指定に伴い、今回調査でも比較的たばこの吸い殻が少なかった。

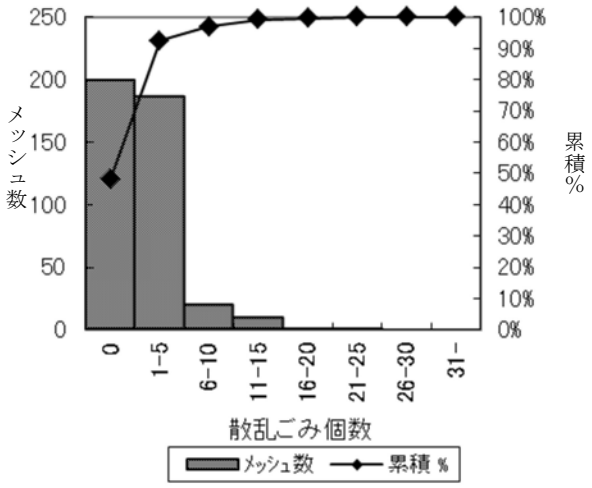
駅の南側出口付近では、前回の調査に比べたばこの吸い殻の散乱が少なかった。この付近は平成 24 年度の路上喫煙禁止地区の指定に伴い、指定喫煙所が設置されている。吸い殻の減少の要因のひとつとして、この効果があったことも考えられる。周辺は駅の北側では、喫煙所の周りにもたばこの吸い殻の散乱がみられた（図表 2-76～77）。

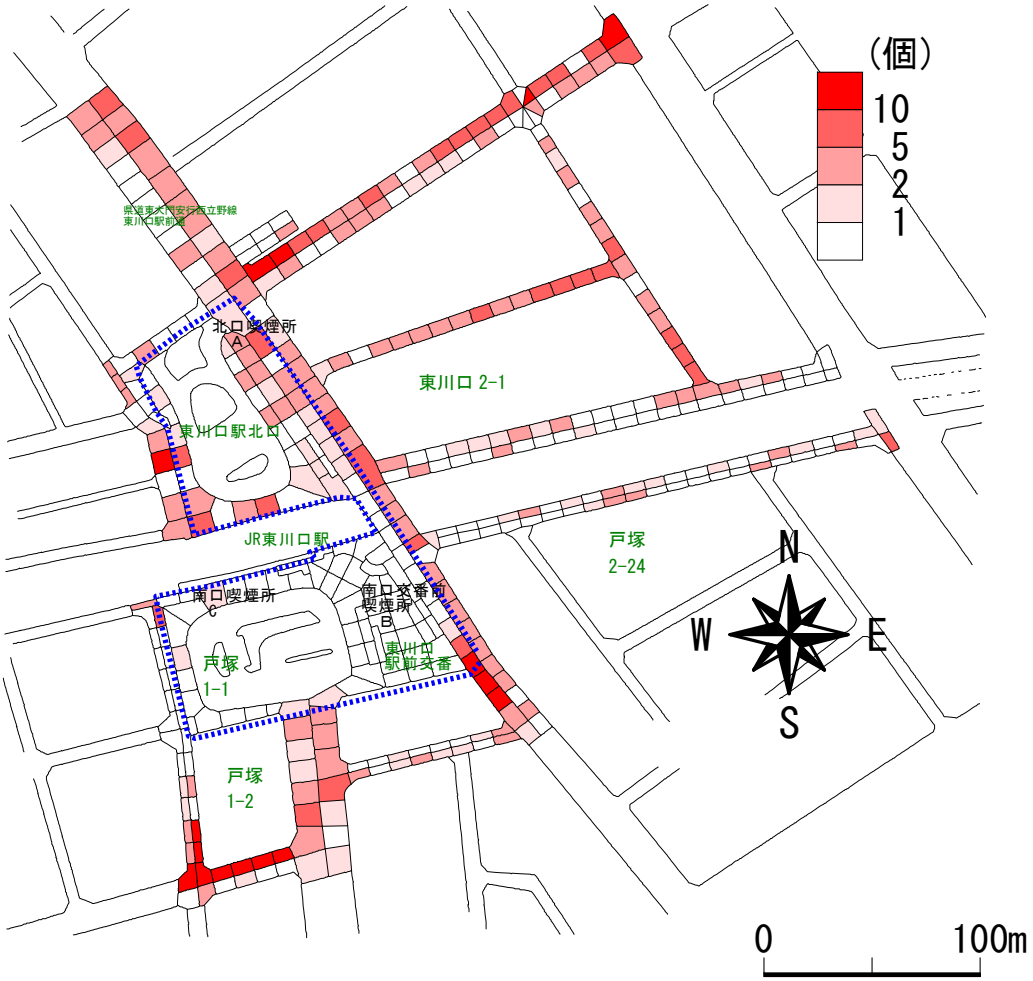
指定喫煙所

指定喫煙所に掲げられた掲示

図表 2-76 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分のみ）【東川口駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 200 | 48.0% |
| 1-5 | 186 | 92.6% |
| 6-10 | 19 | 97.1% |
| 11-15 | 9 | 99.3% |
| 16-20 | 2 | 99.8% |
| 21-25 | 1 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

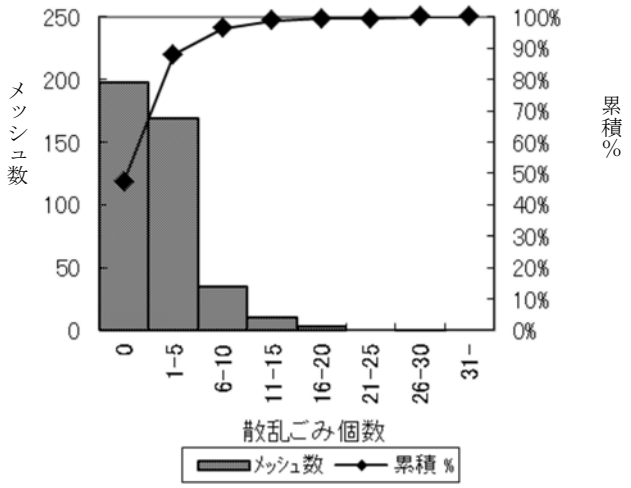


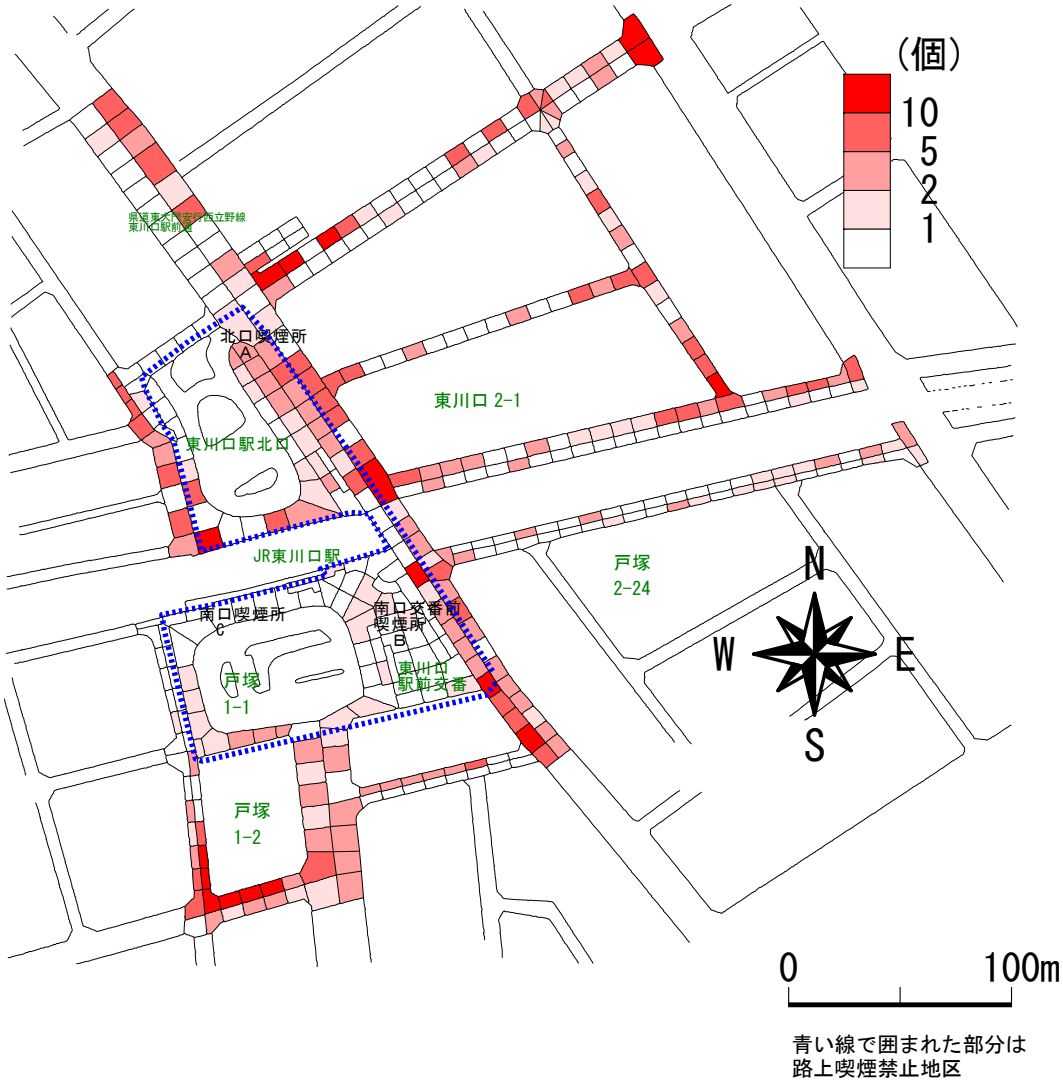




青い線で囲まれた部分は
路上喫煙禁止地区

図表 2-77 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分のみ）【東川口駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 198 | 47.5% |
| 1-5 | 169 | 88.0% |
| 6-10 | 35 | 96.4% |
| 11-15 | 10 | 98.8% |
| 16-20 | 3 | 99.5% |
| 21-25 | 0 | 99.5% |
| 26-30 | 2 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

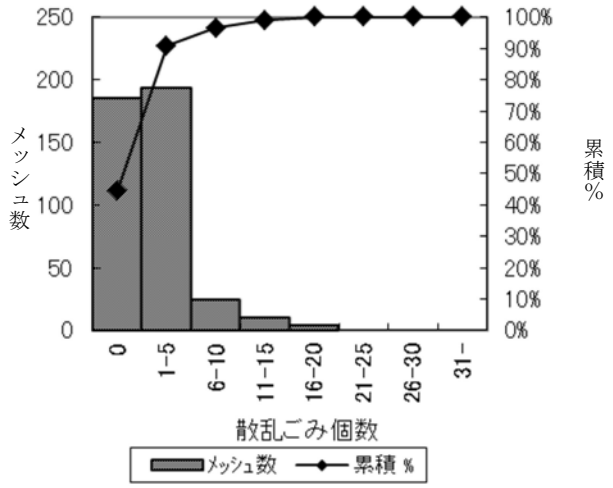


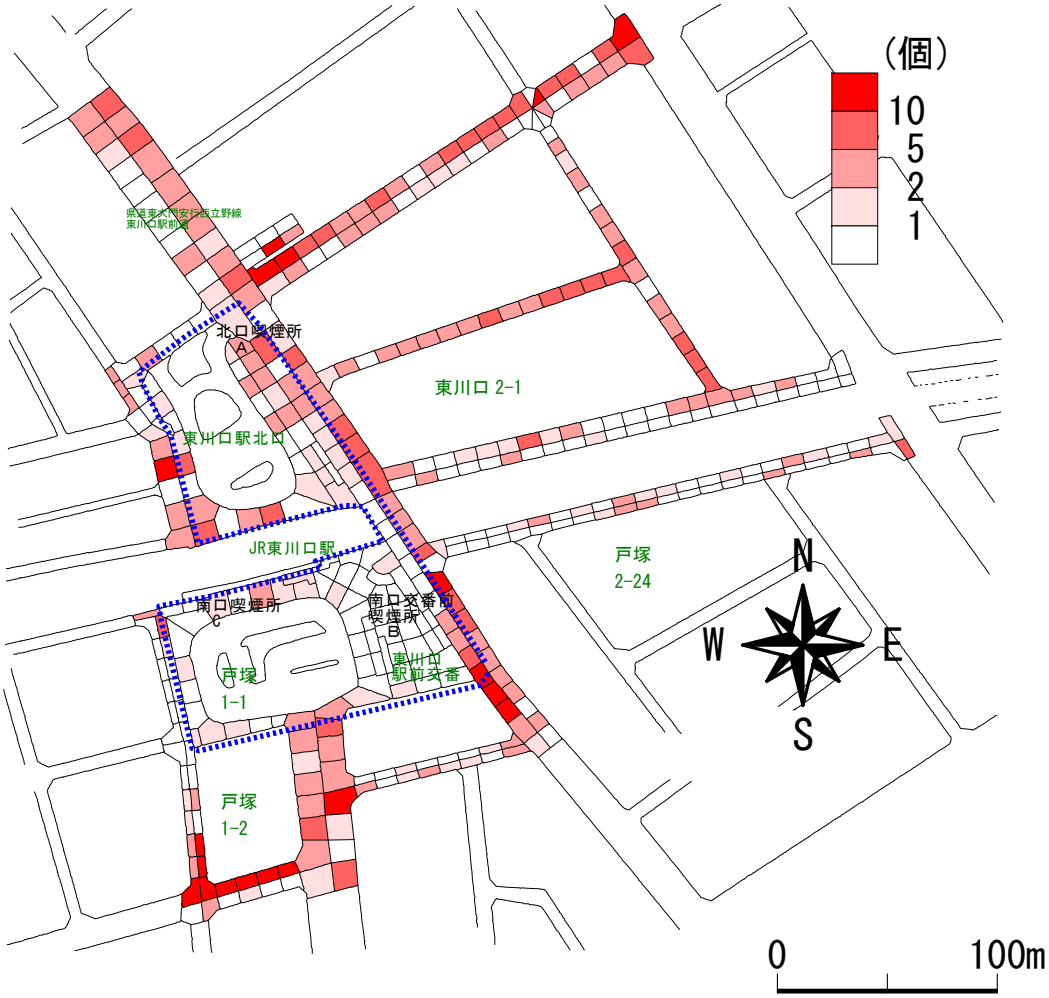




青い線で囲まれた部分は
路上喫煙禁止地区

図表 2-78 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【東川口駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 185 | 44.4% |
| 1-5 | 194 | 90.9% |
| 6-10 | 24 | 96.6% |
| 11-15 | 10 | 99.0% |
| 16-20 | 4 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

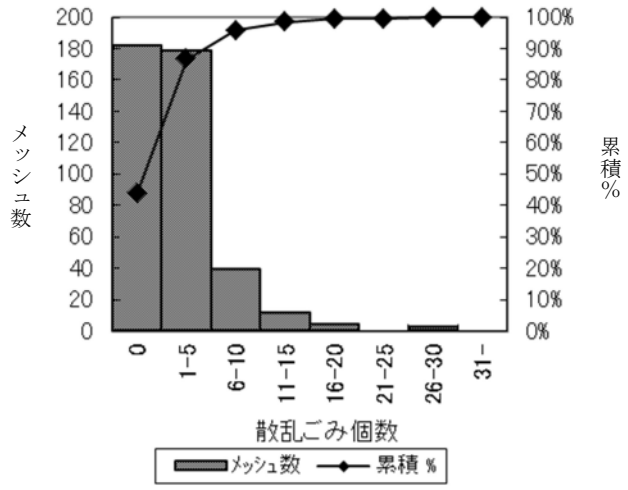


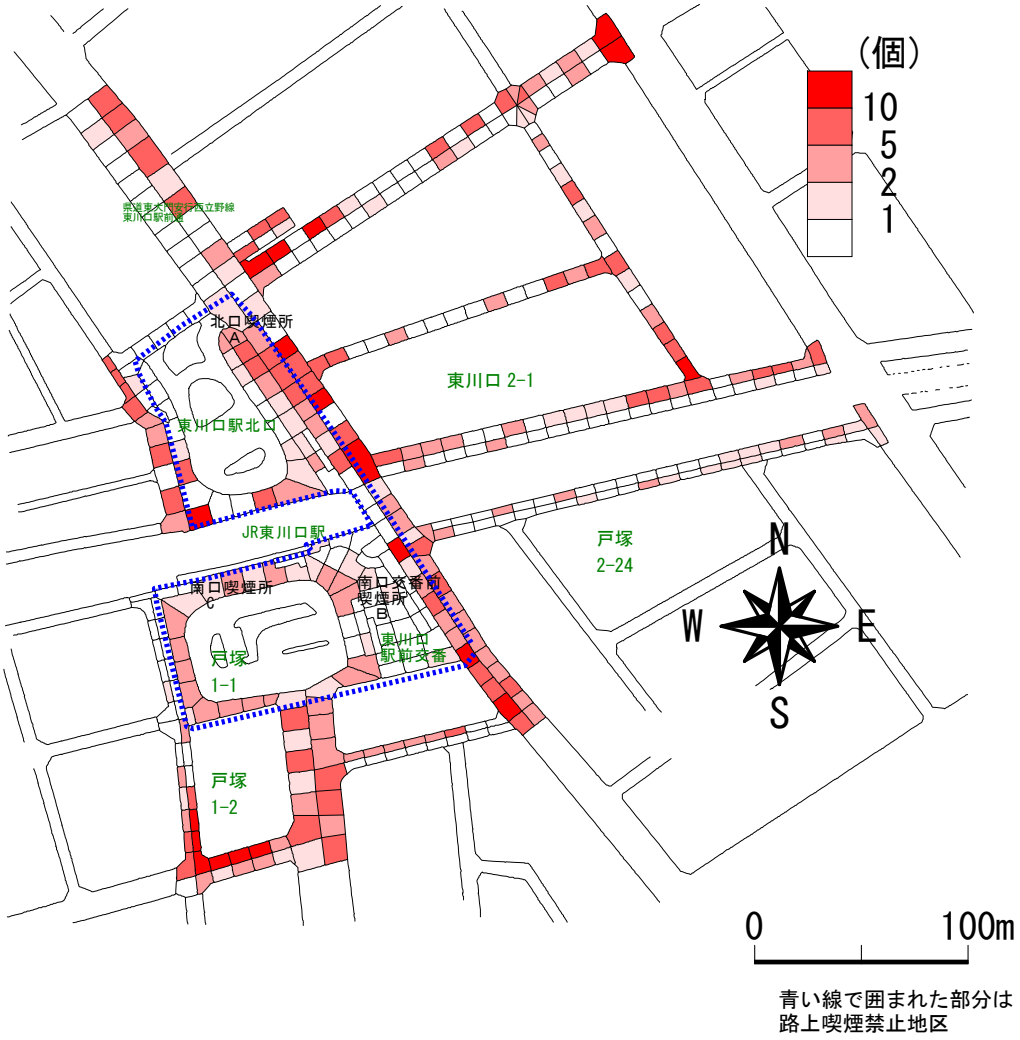




青い線で囲まれた部分は
路上喫煙禁止地区

図表 2-79 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【東川口駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 182 | 43.6% |
| 1-5 | 179 | 86.6% |
| 6-10 | 39 | 95.9% |
| 11-15 | 11 | 98.6% |
| 16-20 | 4 | 99.5% |
| 21-25 | 0 | 99.5% |
| 26-30 | 2 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |




青い線で囲まれた部分は
路上喫煙禁止地区

### （７）川口元郷駅

①たばこの吸い殻の分布

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 2.0 個であったのに対し、平成 17 年度は 2.6 個、平成 16 年度は 1.8 個であった。休日では、今回調査の平均が 2.8 個であったのに対し、平成 17 年度は 2.8 個、平成 16 年度は 3.2 個であった。(図表 2-8～9)。

今回の調査では、たばこの吸い殻がまったくなかったブロックが、平日で 38.4%、1～5 個であったのが 54.4%で、たばこの吸い殻が少ないブロックが合わせて 92.8%を占めている（図表 2-80)。

休日では、たばこの吸い殻がまったくなかったブロックが 45.6%、1～5 個であったのが 41.2%と合わせて 86.8%を占めている（図表 2-81)。

川口元郷駅におけるたばこの吸い殻は、他の調査地域に比べると、平均的な水準となっている（図表 2-4～5)。また、路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

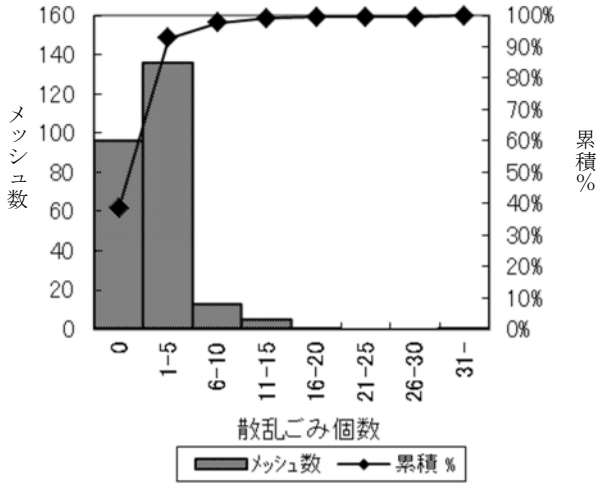
②散乱状況の著しい場所の推移

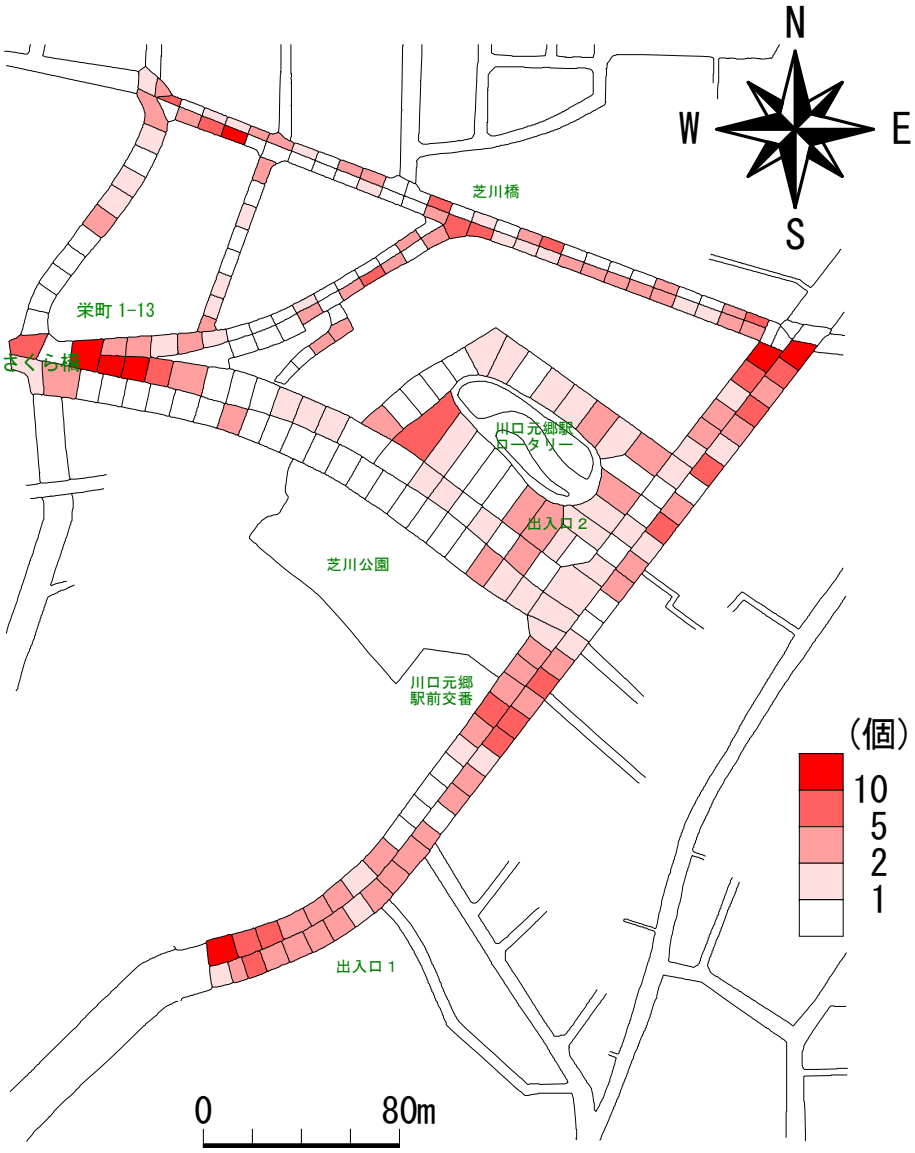
平成 20 年度は、川口元郷駅での調査を実施していないので、平成 17 年度の調査と比較する。この調査では、ＳＲ線出入口１付近、駅周辺の交差点付近でややたばこの吸い殻が多かったとされている。

今回調査では、この他に、栄町 1 丁目 13 番地南側での散乱が比較的多かった（図表 2-80～81)。

図表 2-80 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分のみ）【川口元郷駅】

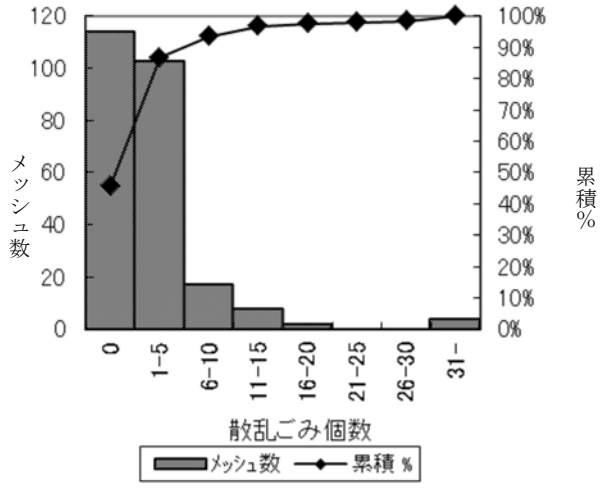
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 96 | 38.4% |
| 1-5 | 136 | 92.8% |
| 6-10 | 12 | 97.6% |
| 11-15 | 4 | 99.2% |
| 16-20 | 1 | 99.6% |
| 21-25 | 0 | 99.6% |
| 26-30 | 0 | 99.6% |
| 31- | 1 | 100.0% |

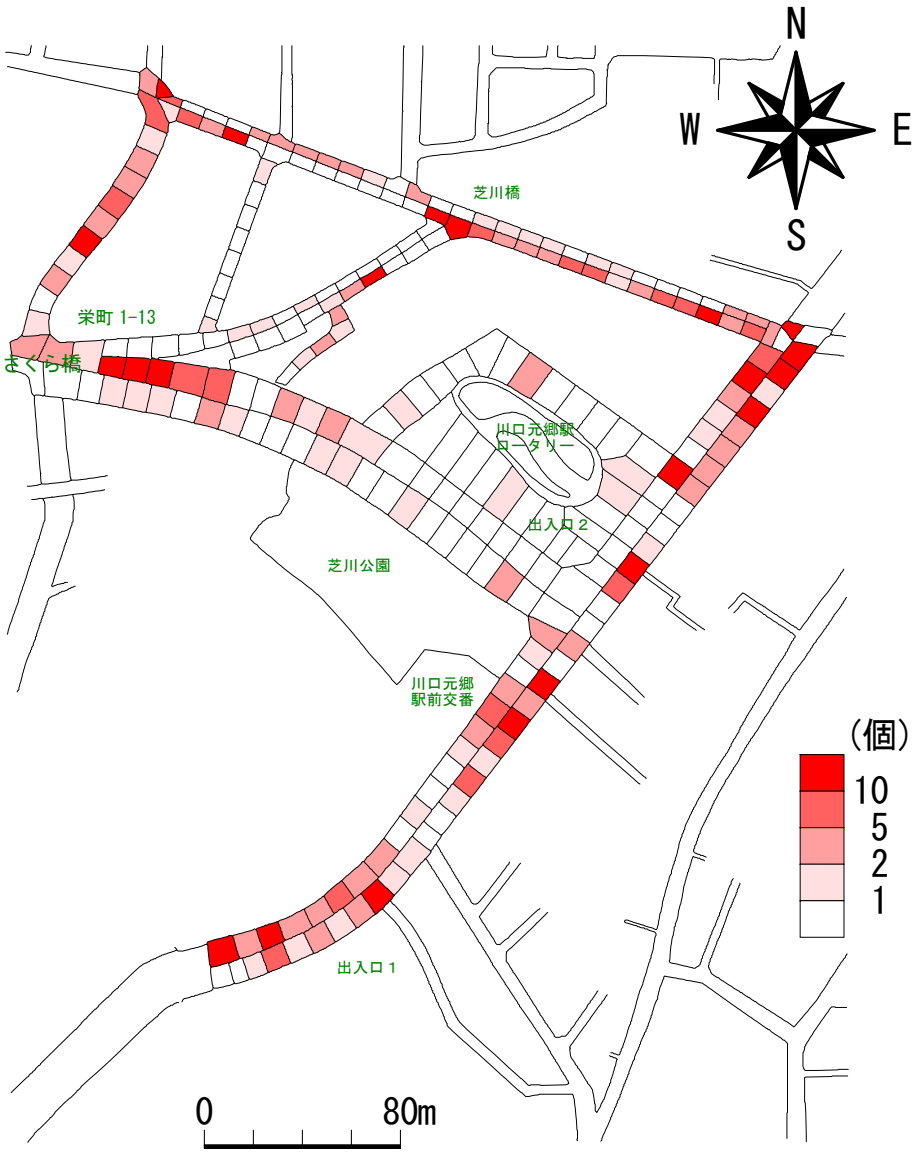


図表 2-81 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分のみ）【川口元郷駅】

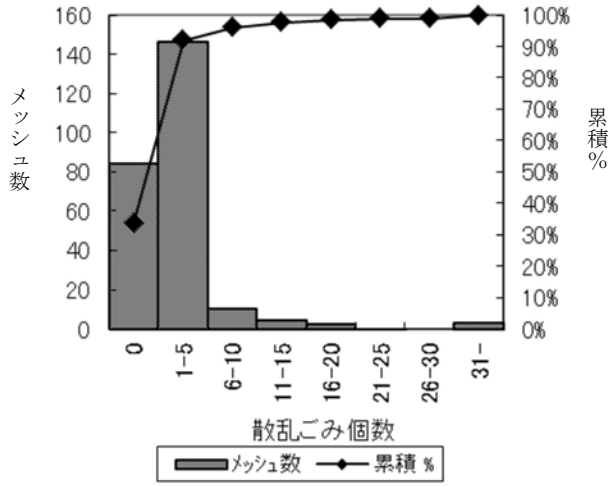
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 114 | 45.6% |
| 1-5 | 103 | 86.8% |
| 6-10 | 17 | 93.6% |
| 11-15 | 8 | 96.8% |
| 16-20 | 2 | 97.6% |
| 21-25 | 1 | 98.0% |
| 26-30 | 1 | 98.4% |
| 31- | 4 | 100.0% |

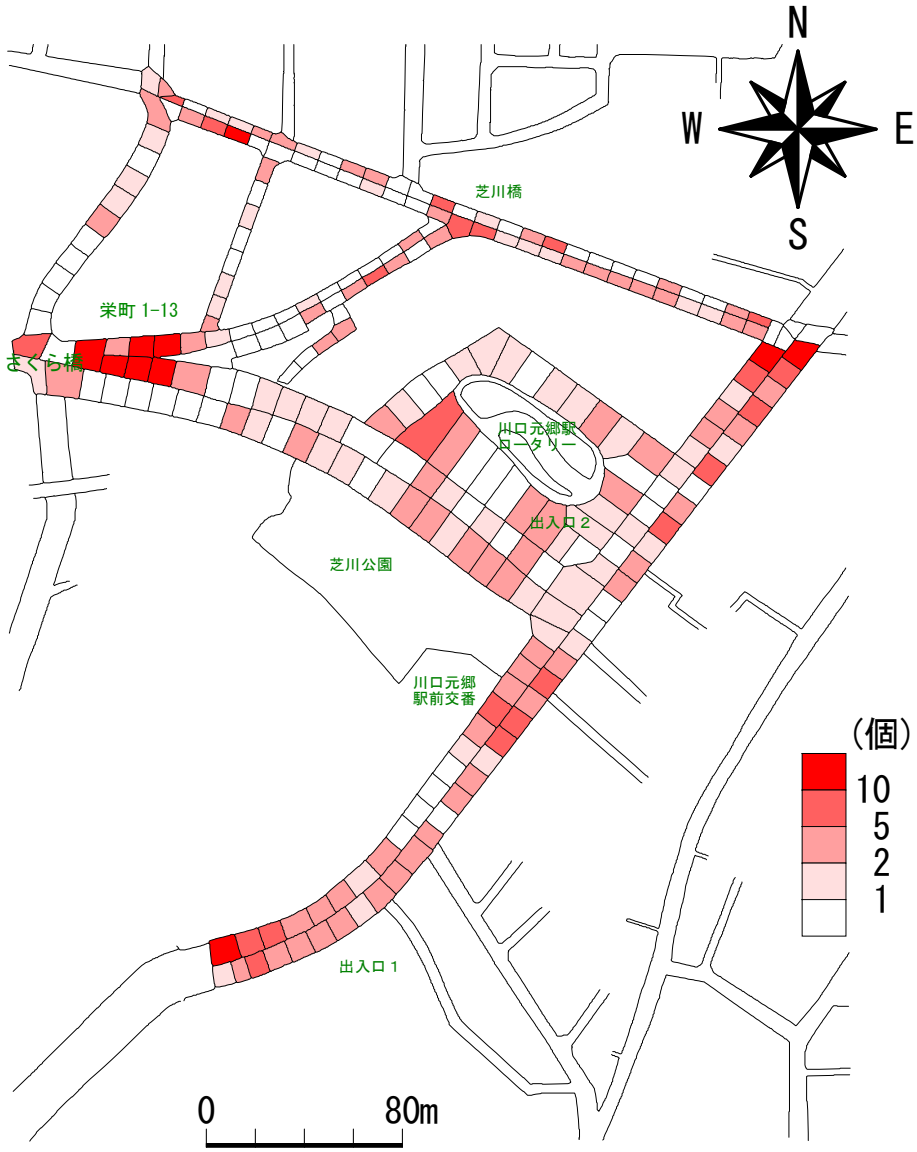


図表 2-82 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【川口元郷駅】

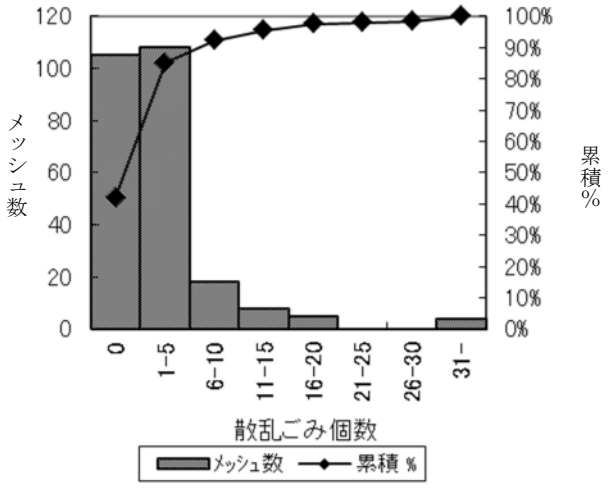
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 84 | 33.6% |
| 1-5 | 146 | 92.0% |
| 6-10 | 10 | 96.0% |
| 11-15 | 4 | 97.6% |
| 16-20 | 2 | 98.4% |
| 21-25 | 1 | 98.8% |
| 26-30 | 0 | 98.8% |
| 31- | 3 | 100.0% |

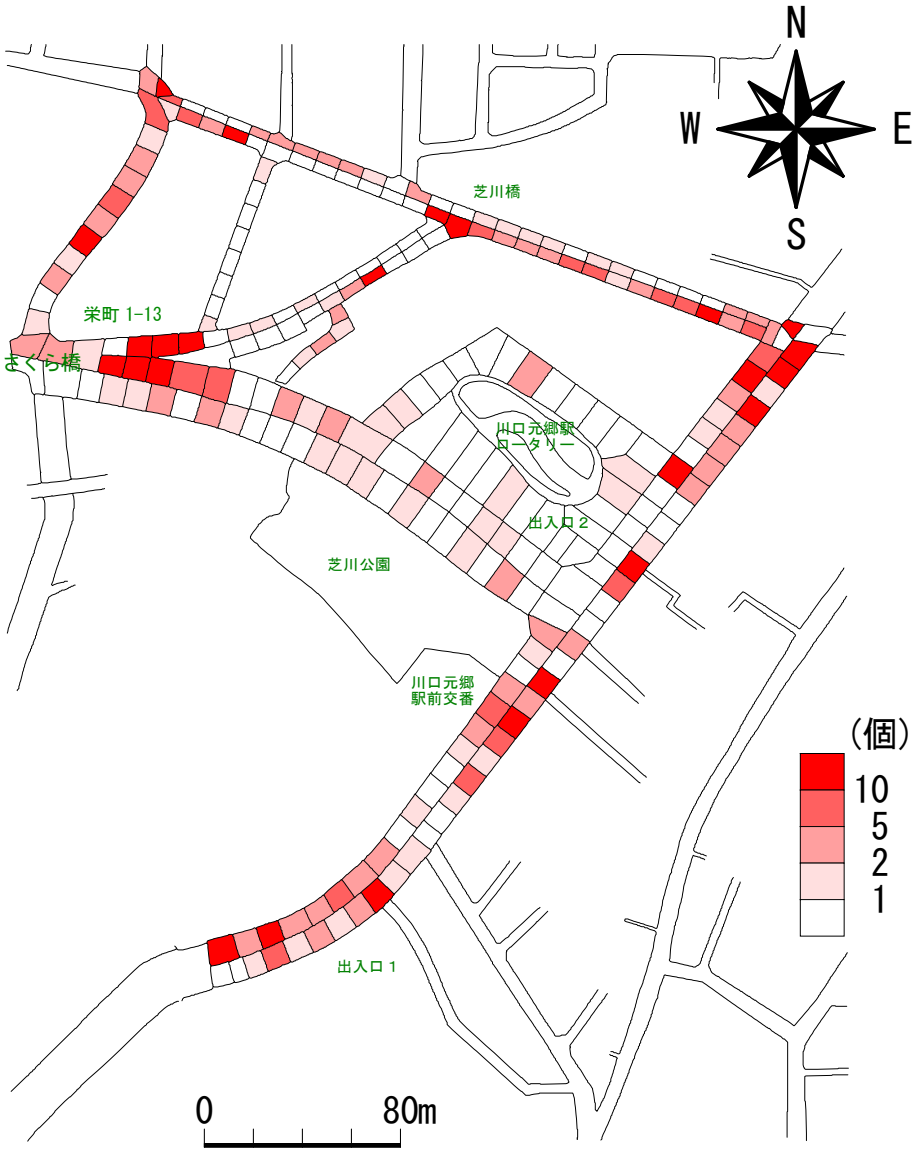


図表 2-83 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【川口元郷駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 105 | 42.0% |
| 1-5 | 108 | 85.2% |
| 6-10 | 18 | 92.4% |
| 11-15 | 8 | 95.6% |
| 16-20 | 5 | 97.6% |
| 21-25 | 1 | 98.0% |
| 26-30 | 1 | 98.4% |
| 31- | 4 | 100.0% |



### （８）南鳩ヶ谷駅

①たばこの吸い殻の分布

今回の調査では、たばこの吸い殻がまったくなかったブロックが、平日で 64.7%、1～5 個であったのが 32.9%、たばこの吸い殻が少ないブロックが合わせて 97.6%を占めている（図表 2-84)。

休日では、たばこの吸い殻がまったくなかったブロックが 71.7%、1～5 個であったのが 27.5%、合わせて 99.2%に達している（図表 2-85)。

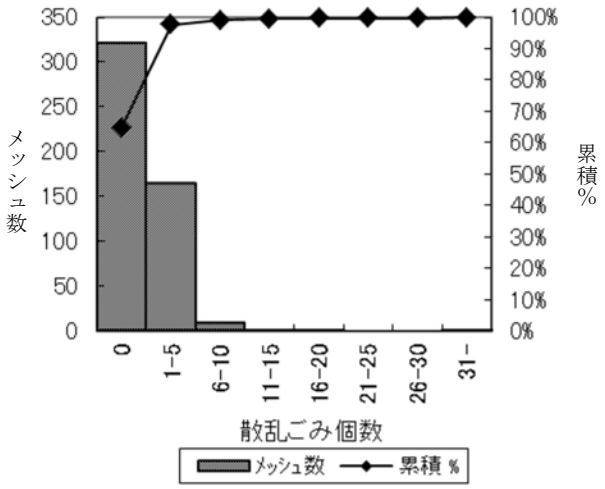
南鳩ヶ谷駅におけるたばこの吸い殻の散乱は、他の調査地域に比べると、最も低い水準となっている(図表 2-4～5)。また、路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

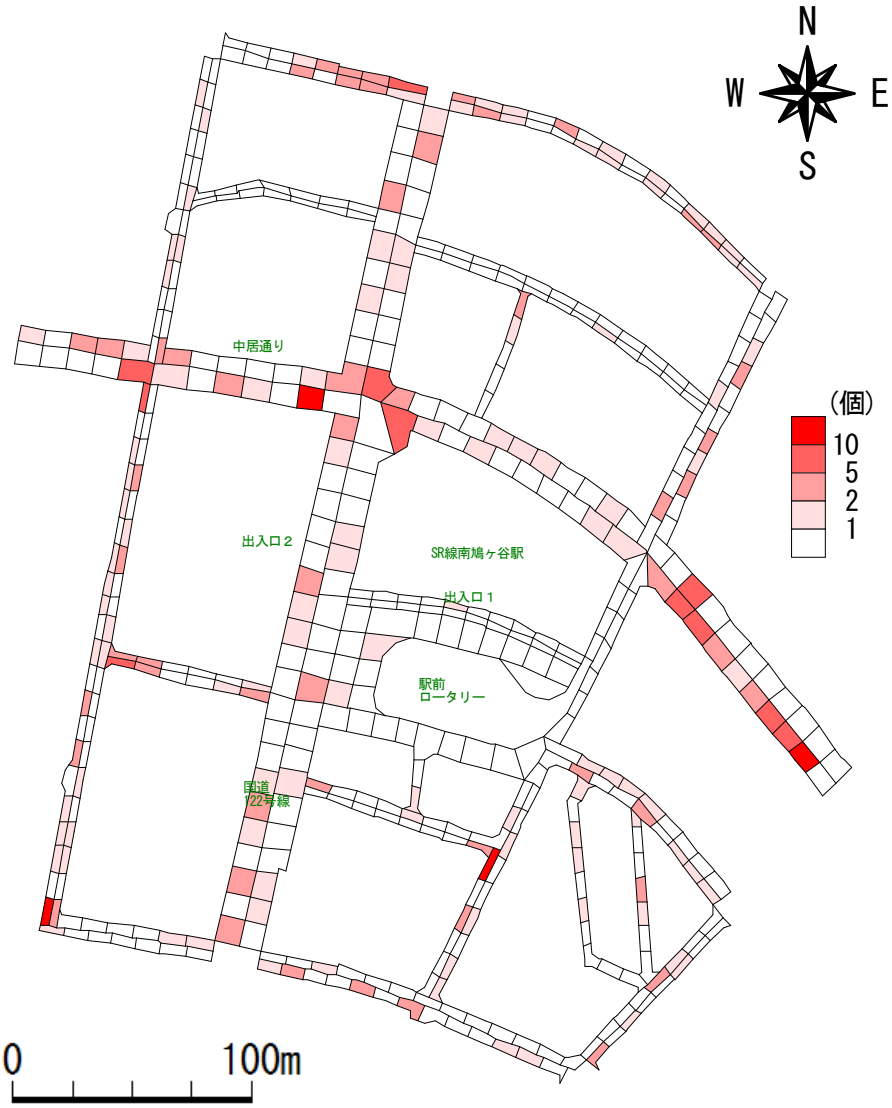
②地域内での散乱状況

南鳩ヶ谷駅は、今回の調査から対象となったので、過去に比べるべきデータがない。交通量が多い国道 122 号線と中居通りでの散乱が比較的多く、特にこれらの道路の交差点付近と中居通りの東部に散乱が多い。人通りが少ない細い道は、比較的、散乱が少なくなっている（図表 2-84～85)。

図表 2-84 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分のみ）【南鳩ヶ谷駅】

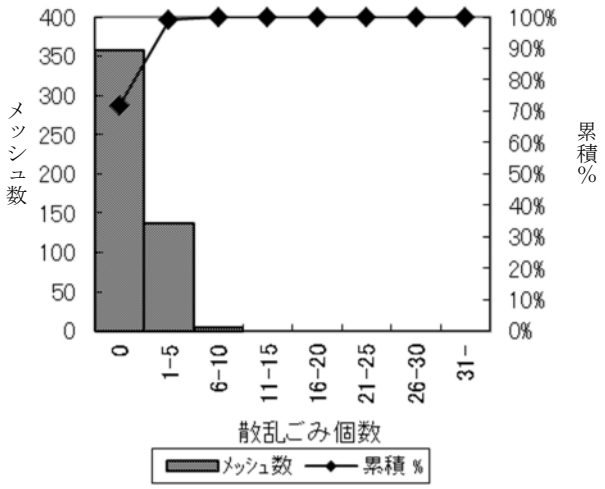
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 322 | 64.7% |
| 1-5 | 164 | 97.6% |
| 6-10 | 8 | 99.2% |
| 11-15 | 2 | 99.6% |
| 16-20 | 1 | 99.8% |
| 21-25 | 0 | 99.8% |
| 26-30 | 0 | 99.8% |
| 31- | 1 | 100.0% |

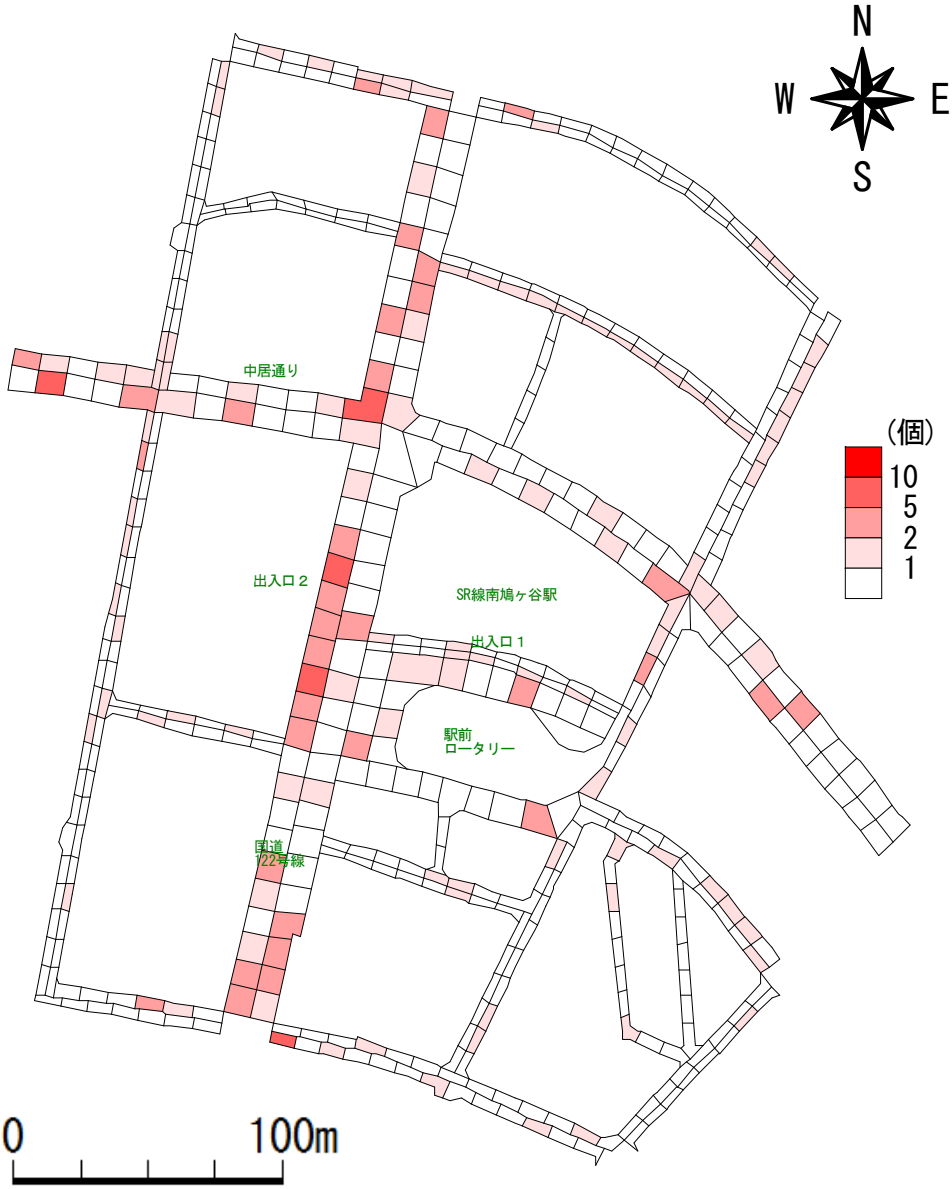


図表 2-85 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分のみ）【南鳩ヶ谷駅】

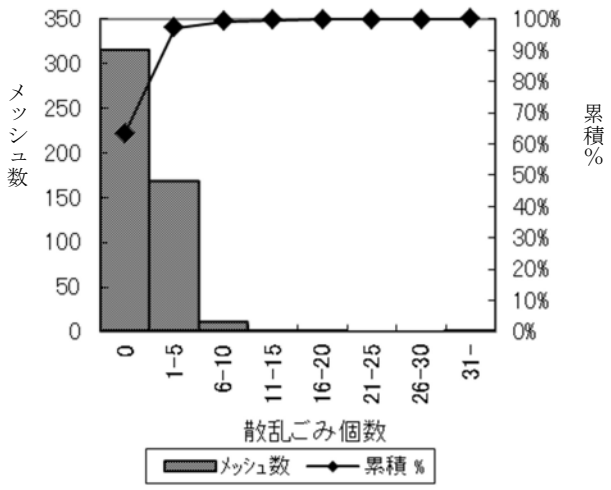
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 357 | 71.7% |
| 1-5 | 137 | 99.2% |
| 6-10 | 4 | 100.0% |
| 11-15 | 0 | 100.0% |
| 16-20 | 0 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

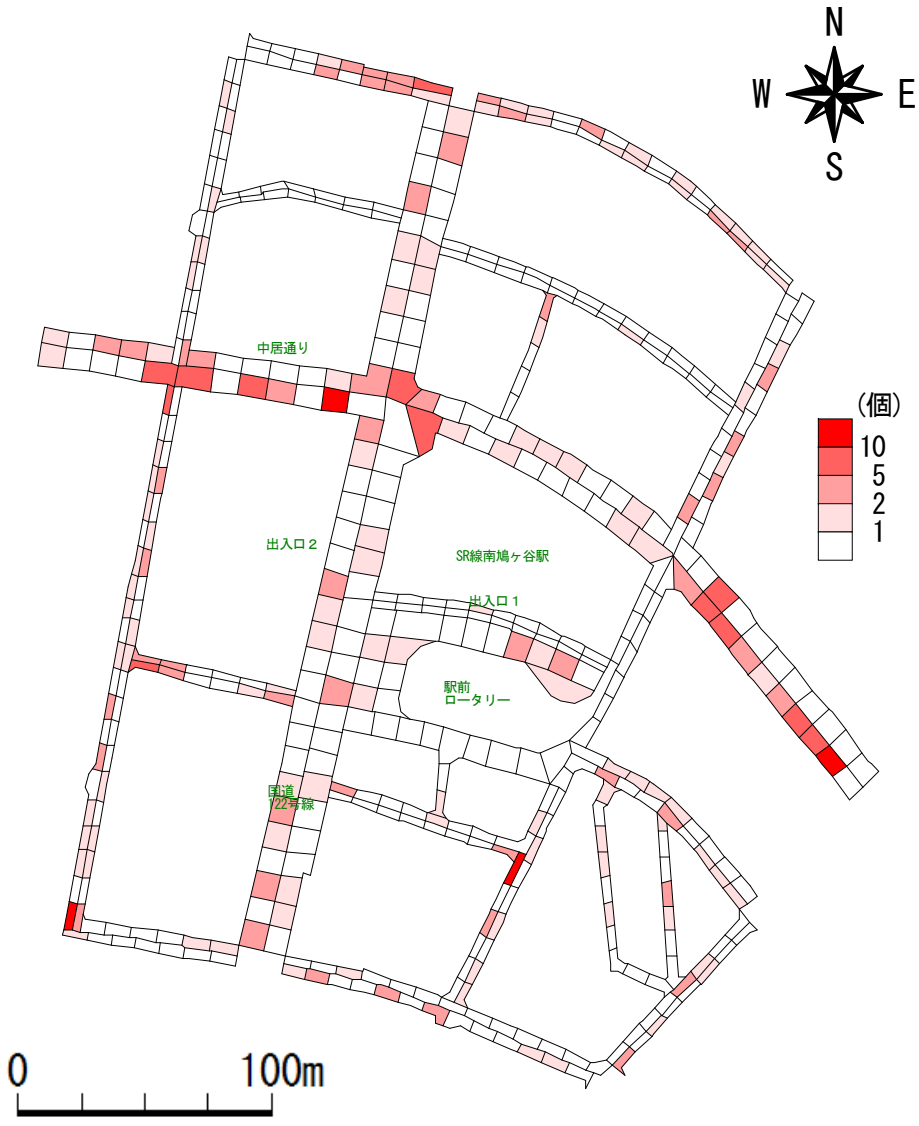


図表 2-86 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【南鳩ヶ谷駅】

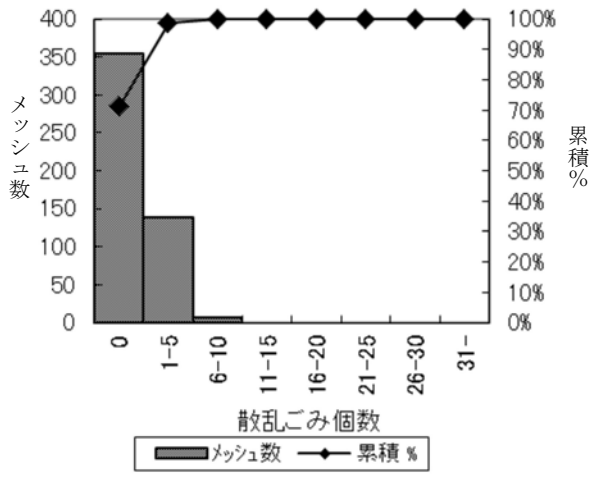
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 316 | 63.5% |
| 1-5 | 168 | 97.2% |
| 6-10 | 10 | 99.2% |
| 11-15 | 2 | 99.6% |
| 16-20 | 1 | 99.8% |
| 21-25 | 0 | 99.8% |
| 26-30 | 0 | 99.8% |
| 31- | 1 | 100.0% |

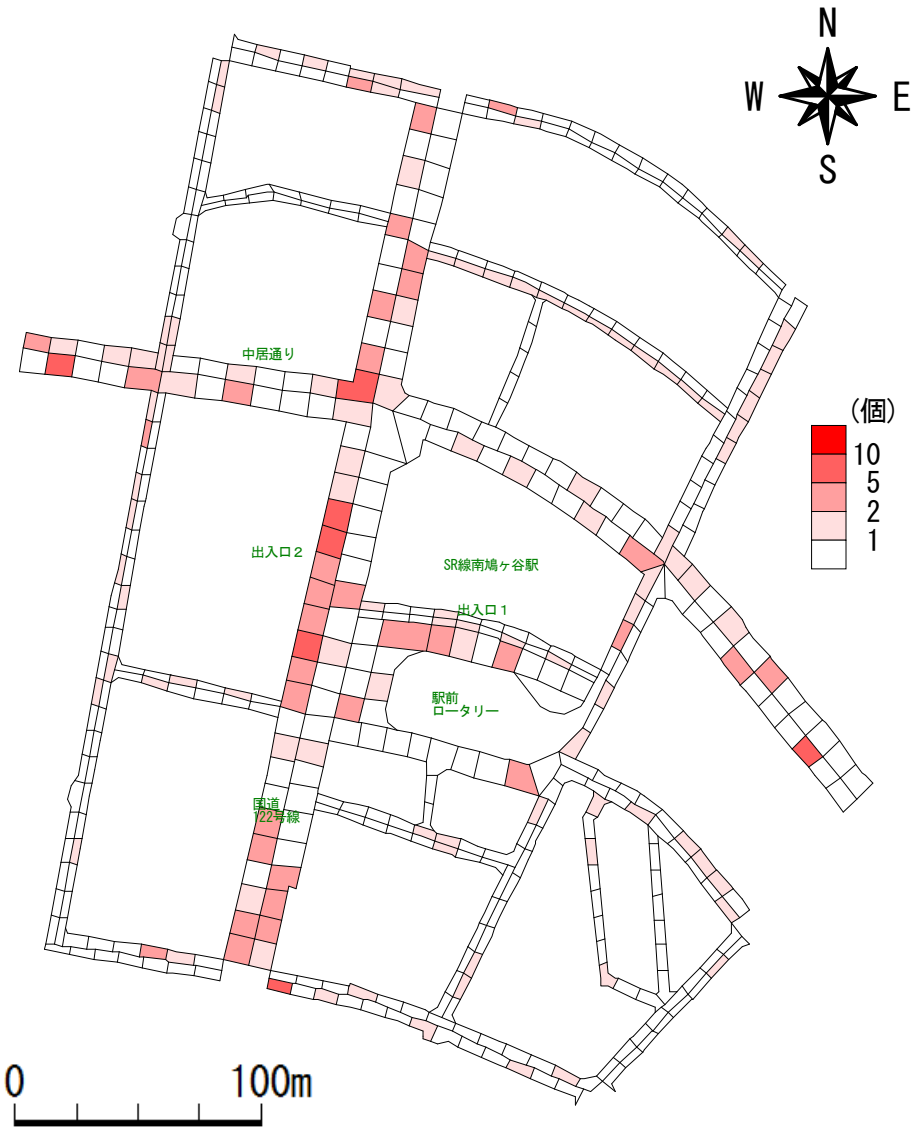


図表 2-87 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【南鳩ヶ谷駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 354 | 71.1% |
| 1-5 | 138 | 98.8% |
| 6-10 | 6 | 100.0% |
| 11-15 | 0 | 100.0% |
| 16-20 | 0 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |



### （９）鳩ヶ谷駅

①たばこの吸い殻の分布

今回の調査では、たばこの吸い殻がまったくなかったブロックが、平日で 58.4%、1～5 個であったのが 39.1%と、たばこの吸い殻が少ないブロックが合わせて 97.5%を占めている（図表 2-88)。

休日では､たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが 62.5%､1～5 個であったのが 35.3%、合わせて 97.8%に達している（図表 2-89)。

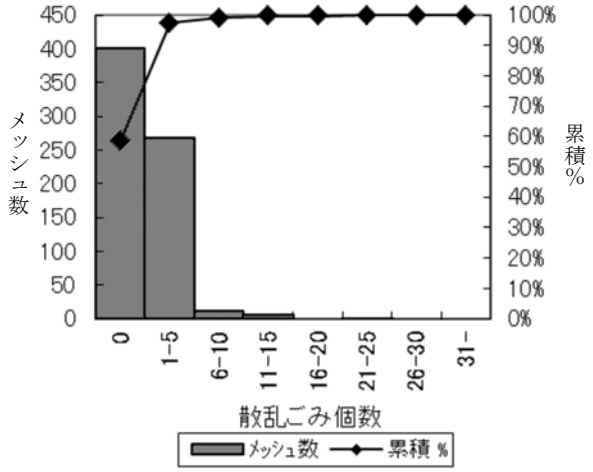
鳩ヶ谷駅は、他の調査地域に比べると、たばこの吸い殻の散乱が最も少ない地域のひとつとなっている（図表 2-4～5)。また、路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

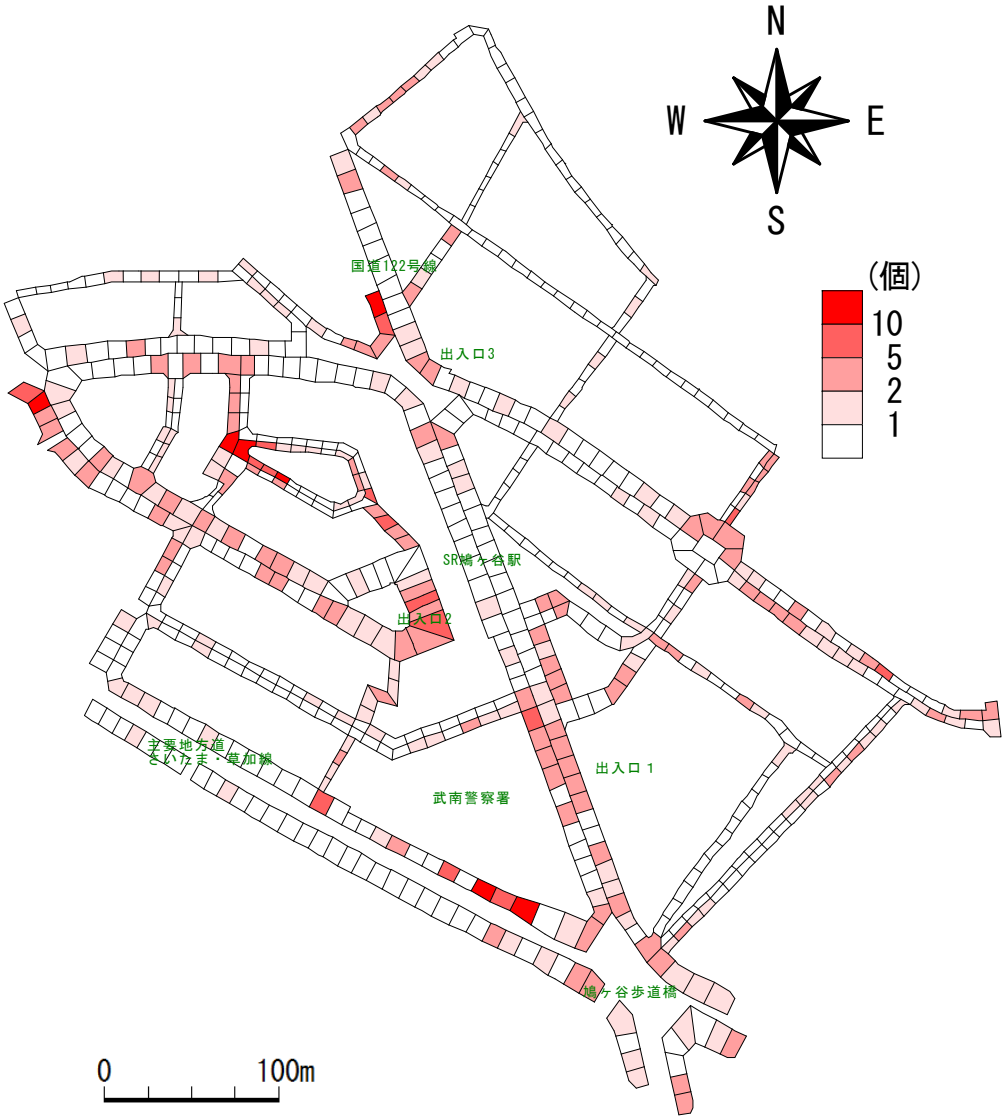
②地域内での散乱状況

鳩ヶ谷駅は、今回の調査から対象となったので、過去に比べるべきデータがない。鳩ヶ谷駅から東に向かってのエリアに、比較的、散乱が多くなっている。国道 122 号線や主要地方道さいたま・草加線の鳩ヶ谷歩道橋よりに、比較的、たばこの吸い殻の散乱が多い。道幅が狭く、交通量が少ない道はたばこの吸い殻が少ない傾向にある（図表 2-88～89)。

図表 2-88 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分のみ）【鳩ヶ谷駅】

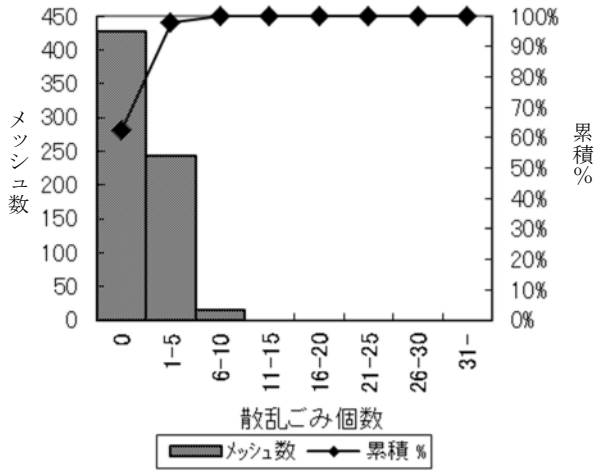
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 400 | 58.4% |
| 1-5 | 268 | 97.5% |
| 6-10 | 11 | 99.1% |
| 11-15 | 5 | 99.9% |
| 16-20 | 0 | 99.9% |
| 21-25 | 1 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

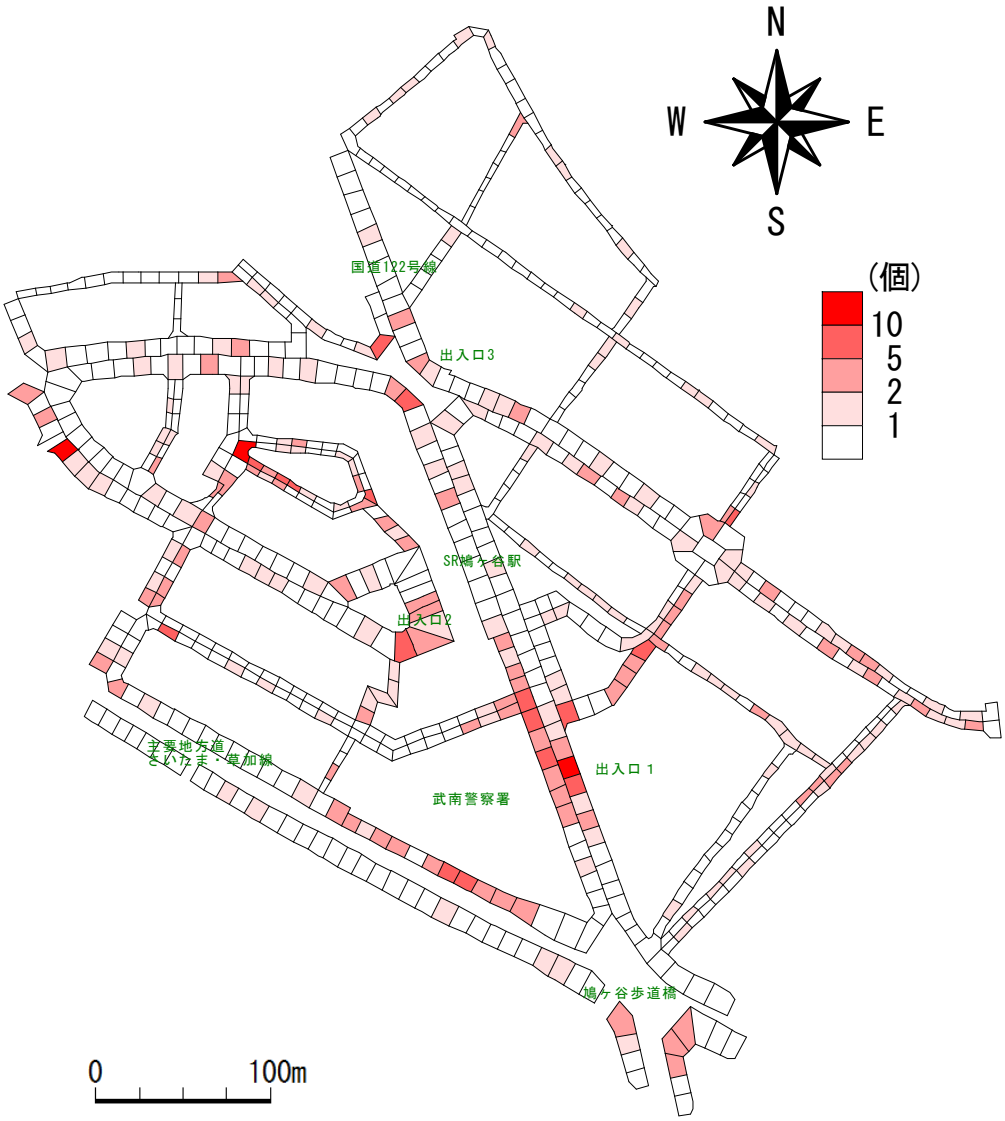


図表 2-89 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分のみ）【鳩ヶ谷駅】

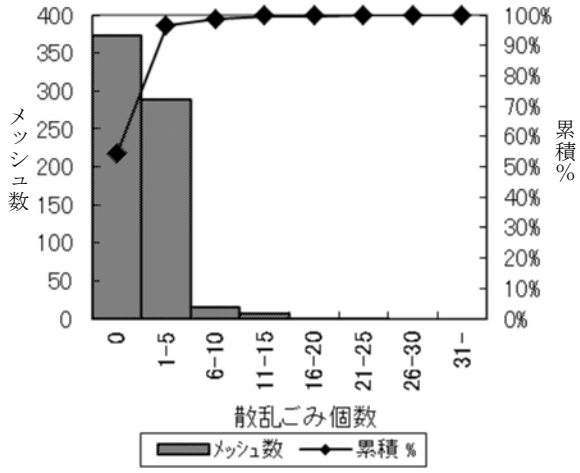
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 428 | 62.5% |
| 1-5 | 242 | 97.8% |
| 6-10 | 15 | 100.0% |
| 11-15 | 0 | 100.0% |
| 16-20 | 0 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

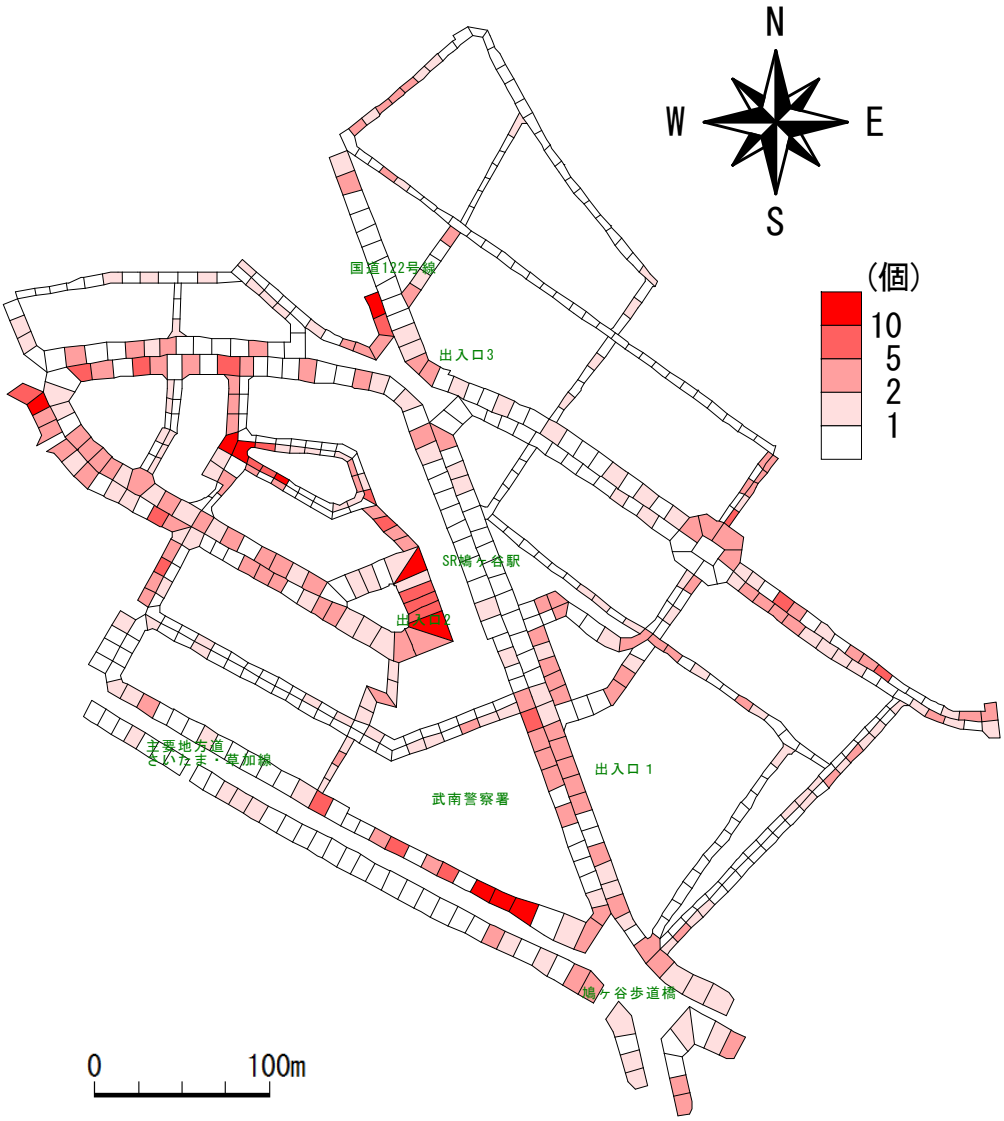


図表 2-90 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【鳩ヶ谷駅】

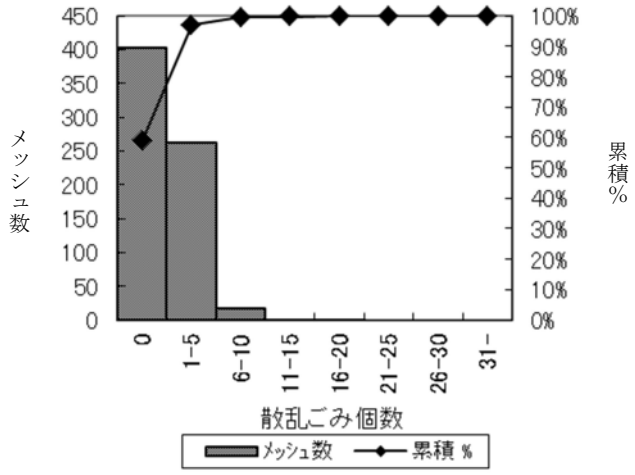
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 373 | 54.5% |
| 1-5 | 288 | 96.5% |
| 6-10 | 15 | 98.7% |
| 11-15 | 7 | 99.7% |
| 16-20 | 1 | 99.9% |
| 21-25 | 1 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

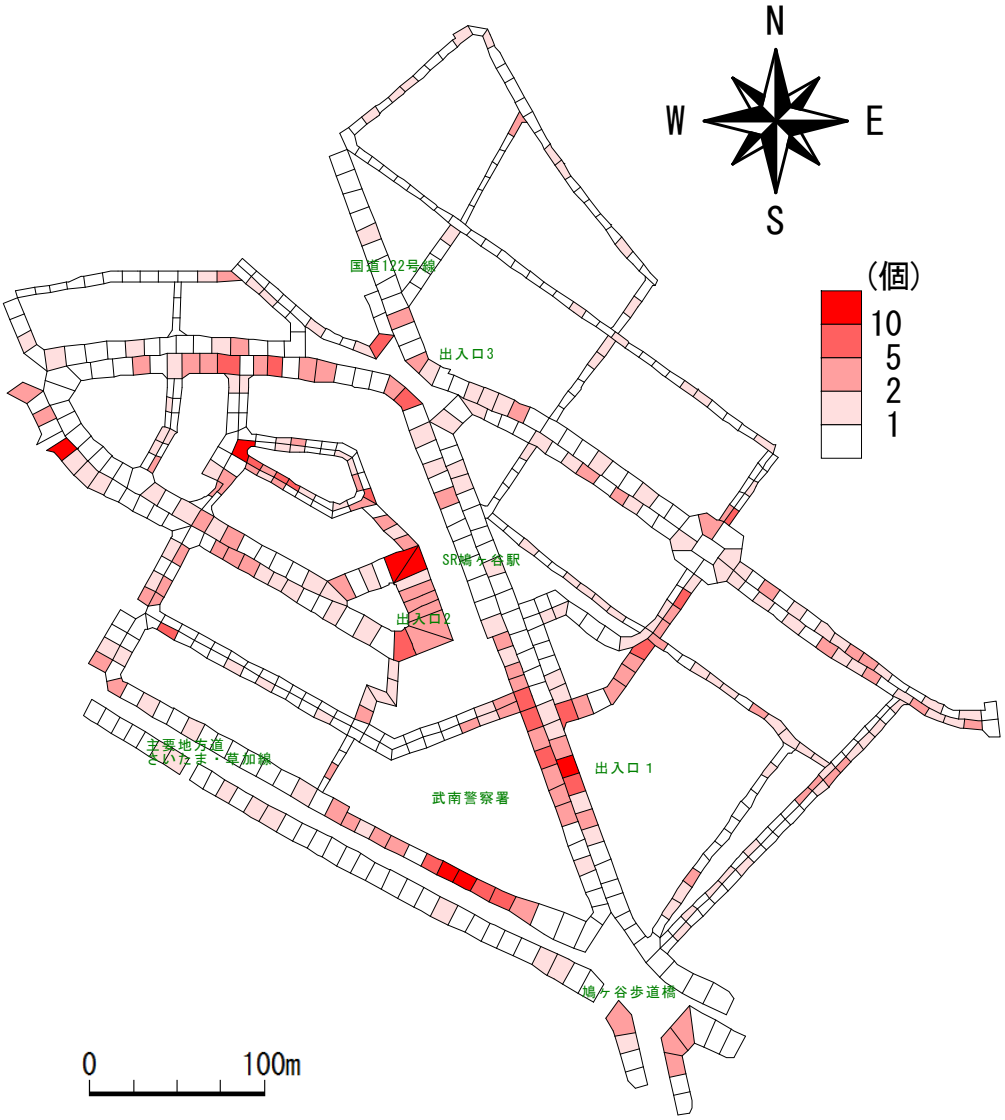


図表 2-91 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【鳩ヶ谷駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 403 | 58.8% |
| 1-5 | 262 | 97.1% |
| 6-10 | 17 | 99.6% |
| 11-15 | 2 | 99.9% |
| 16-20 | 1 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |



## （１０）新井宿駅

①たばこの吸い殻の分布

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 3.4 個であったのに対し、平成 17 年度は 3.1 個、平成 16 年度は 4.1 個であった。休日では、今回調査の平均が 4.5 個であったのに対し、平成 17 年度は 5.1 個、平成 16 年度は 5.1 個であった（図表 2-8～9)。

今回の調査結果では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが、平日で 23.0%、1～5 個であったのが 58.6%と、合わせて 81.6%にとどまり、約 2 割のブロックで 6 個以上のたばこの吸い殻の散乱があった（図表 2-92)。

休日では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが 13.2%、1～5 個であったのが 61.1%と、合わせて 74.3%であった（図表 2-93)。

新井宿駅におけるたばこの吸い殻の散乱は、他の調査地域に比べると、高い水準であった（図表 2-4～5)。また、路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

②散乱状況の著しい場所の推移

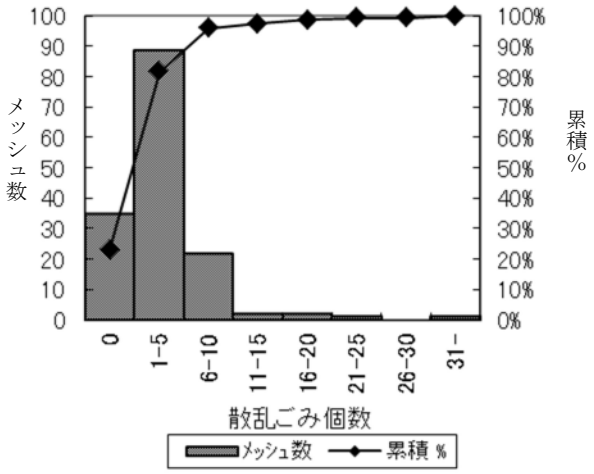
平成 20 年度は、新井宿駅での調査を実施していないので、平成 17 年度の調査と比較する。平成 17 年度調査では、駅の東・西の交差点付近で、たばこの吸い殻の堆積が多くみられると述べている。

今回の調査では、交差点付近だけでなく、バスターミナル付近、ＳＲ線出入口２付近の歩道等、調査地域全体にわたって散乱がみられる（図表 2-92～93)。

ポイ捨て防止キャンペーンの実施等の啓発活動を徹底して実施していく必要があると考えられる。

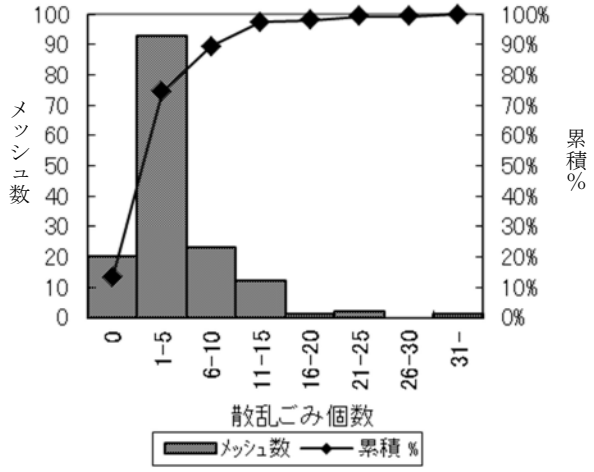
図表 2-92 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分のみ）【新井宿駅】

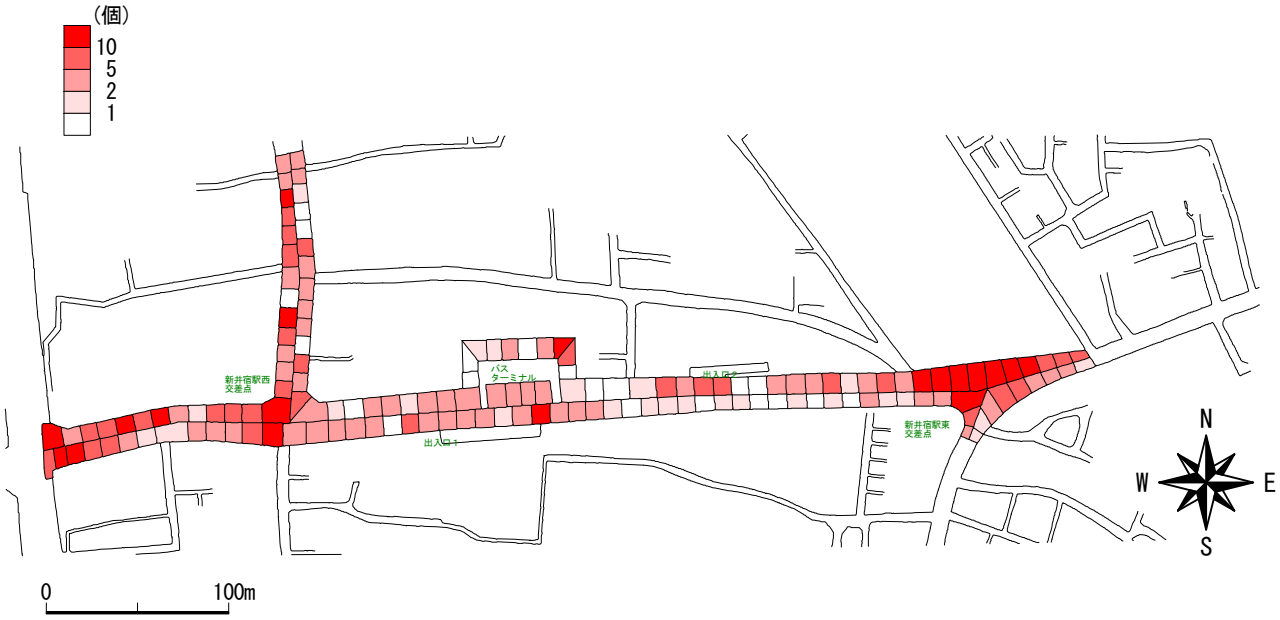
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 35 | 23.0% |
| 1-5 | 89 | 81.6% |
| 6-10 | 22 | 96.1% |
| 11-15 | 2 | 97.4% |
| 16-20 | 2 | 98.7% |
| 21-25 | 1 | 99.3% |
| 26-30 | 0 | 99.3% |
| 31- | 1 | 100.0% |



図表 2-93 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分のみ）【新井宿駅】

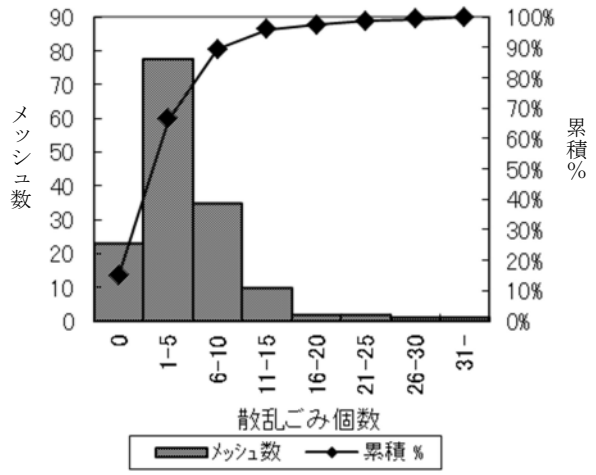
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 20 | 13.2% |
| 1-5 | 93 | 74.3% |
| 6-10 | 23 | 89.5% |
| 11-15 | 12 | 97.4% |
| 16-20 | 1 | 98.0% |
| 21-25 | 2 | 99.3% |
| 26-30 | 0 | 99.3% |
| 31- | 1 | 100.0% |



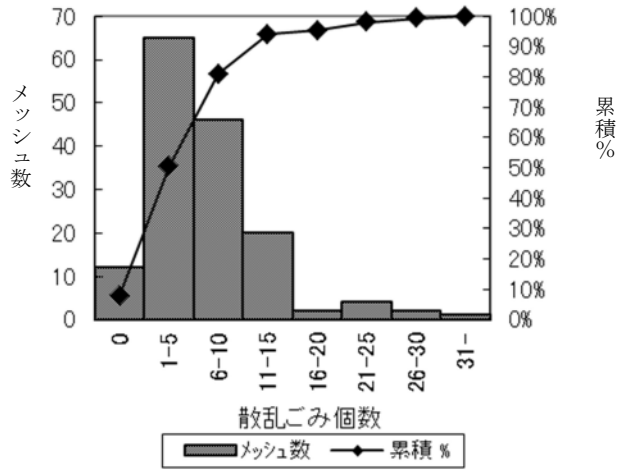
図表 2-94 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【新井宿駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 23 | 15.1% |
| 1-5 | 78 | 66.4% |
| 6-10 | 35 | 89.5% |
| 11-15 | 10 | 96.1% |
| 16-20 | 2 | 97.4% |
| 21-25 | 2 | 98.7% |
| 26-30 | 1 | 99.3% |
| 31- | 1 | 100.0% |



図表 2-95 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【新井宿駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 12 | 7.9% |
| 1-5 | 65 | 50.7% |
| 6-10 | 46 | 80.9% |
| 11-15 | 20 | 94.1% |
| 16-20 | 2 | 95.4% |
| 21-25 | 4 | 98.0% |
| 26-30 | 2 | 99.3% |
| 31- | 1 | 100.0% |



## （１１）戸塚安行駅

①たばこの吸い殻の分布

これまでの調査結果と今回調査を比較すると、平日では今回調査の平均が 1.6 個であったのに対し、平成 17 年度は 1.4 個、平成 16 年度は 0.2 個であった。休日では、今回調査の平均が 1.2 個であったのに対し、平成 17 年度は 3.0 個、平成 16 年度は 1.1 個となっている。(図表 2-8～9)。

今回の調査では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが、平日で 50.2%、1～5 個であったのが 42.0%、たばこの吸い殻の散乱が少ないブロックが合わせて 92.2%であった（図表 2-96)。

休日では、たばこの吸い殻の散乱がまったくなかったブロックが 52.1%、1～5 個であったのが 44.2%、合わせて 96.3%を占めている（図表 2-97)。

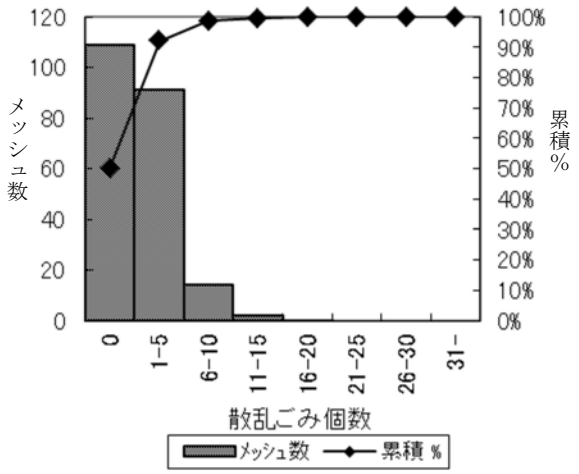
戸塚安行駅におけるたばこの吸い殻の散乱は、他の調査地域に比べると、比較的低い水準であった（図表 2-4～5)。路上部分＋植栽部分でも同様の傾向がうかがわれる（図表 2-6～7)。

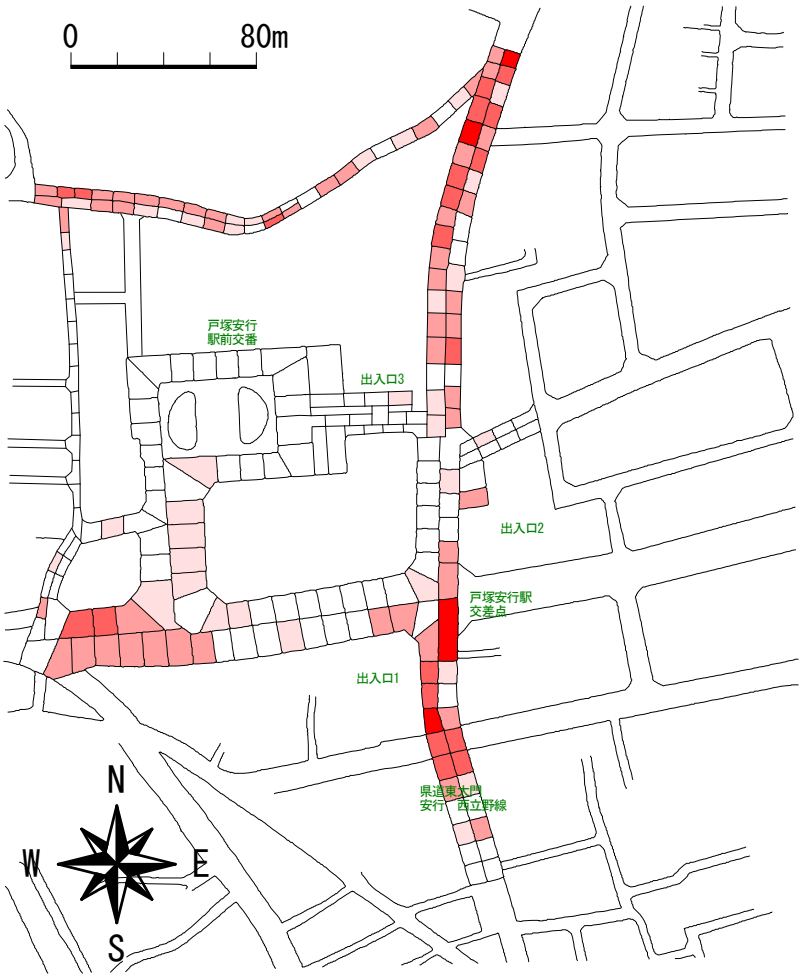
②散乱状況の著しい場所の推移

平成 17 年度に実施された調査では、駅出入口にたばこの吸い殻がみられたが、わずかに減少傾向にあったと指摘されている。今回の調査では、駅前ロータリー周辺の歩道の散乱量が少ない一方で、県道東大門・安行・西立野線沿いにたばこの吸い殻の散乱が多くみられた（図表 2-96～97)。

図表 2-96 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分のみ）【戸塚安行駅】

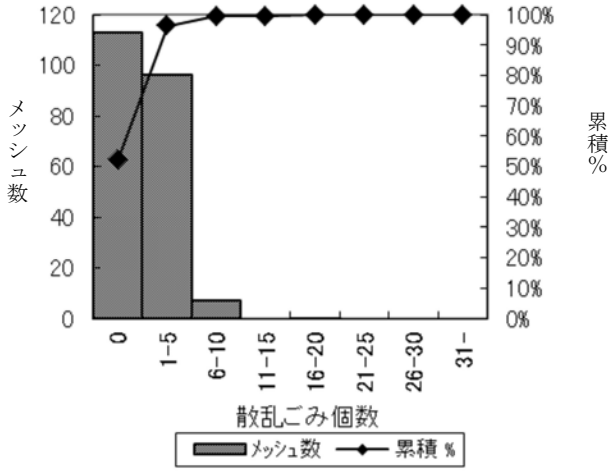
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 109 | 50.2% |
| 1-5 | 91 | 92.2% |
| 6-10 | 14 | 98.6% |
| 11-15 | 2 | 99.5% |
| 16-20 | 1 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

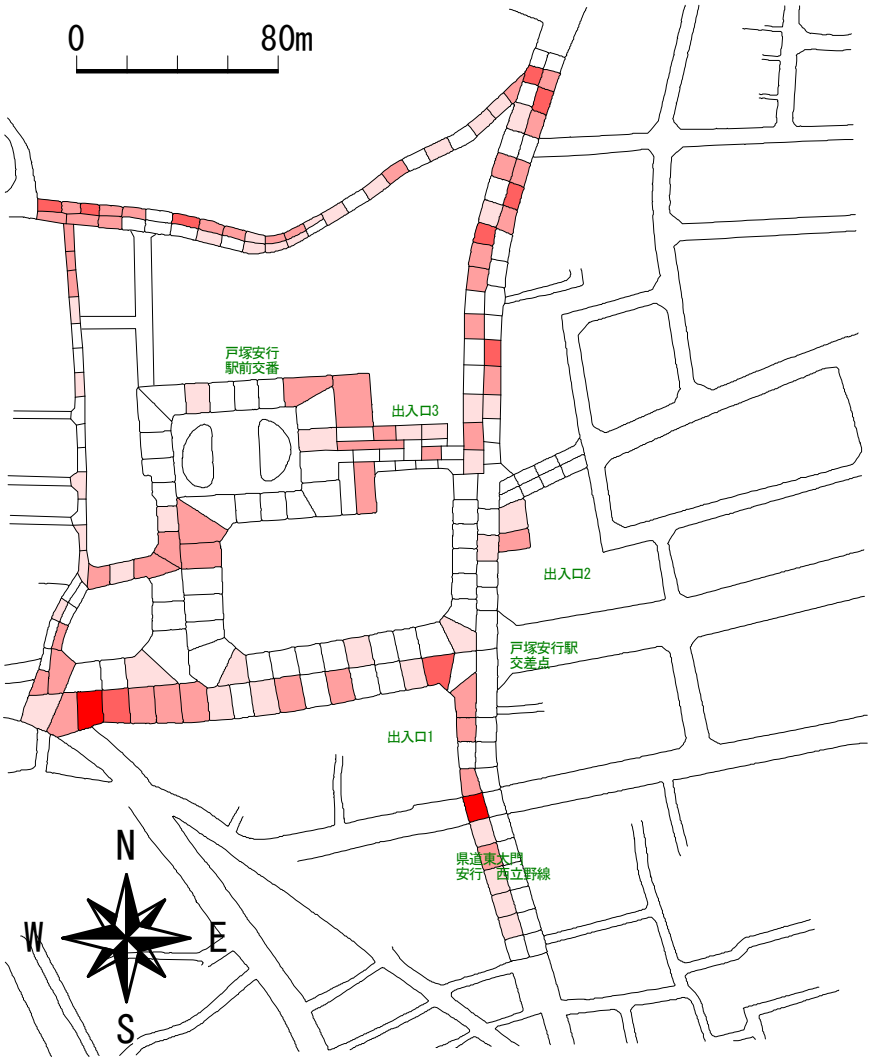


図表 2-97 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分のみ）【戸塚安行駅】

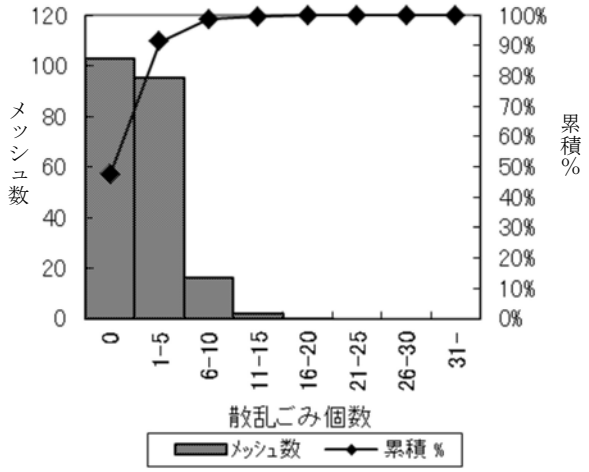
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 113 | 52.1% |
| 1-5 | 96 | 96.3% |
| 6-10 | 7 | 99.5% |
| 11-15 | 0 | 99.5% |
| 16-20 | 1 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

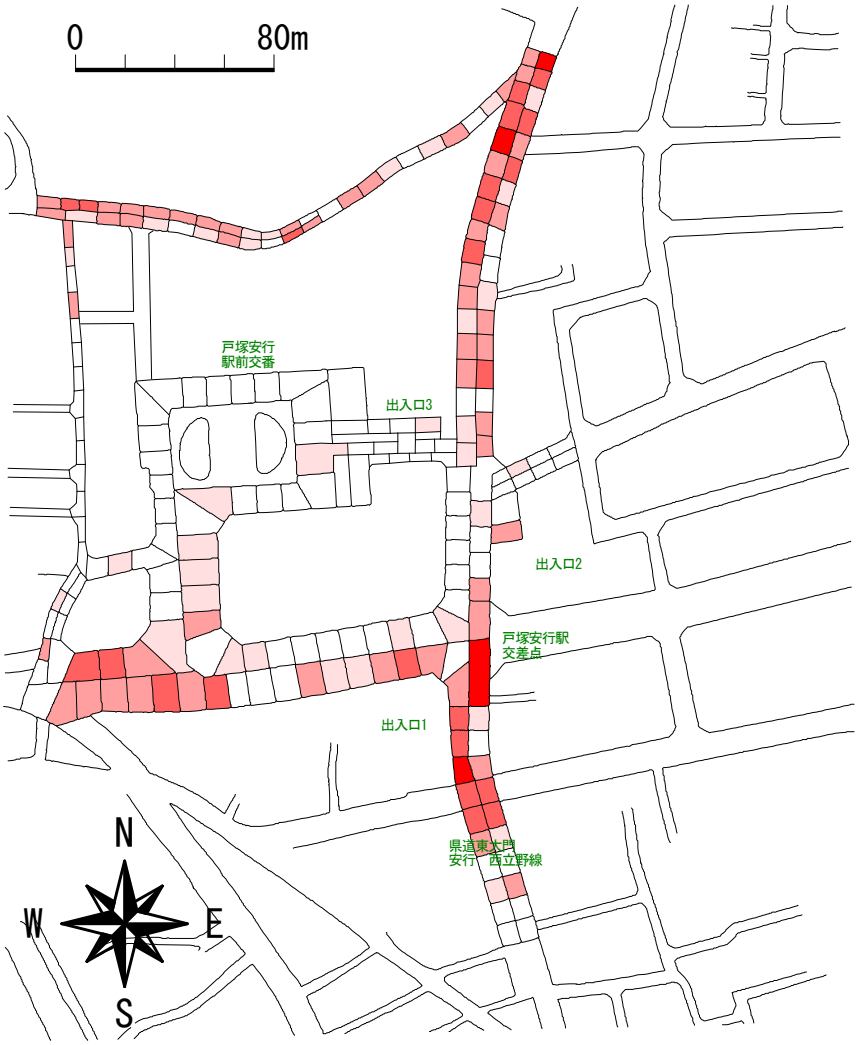


図表 2-98 たばこの吸い殻の分布状況（平日、路上部分＋植栽部分）【戸塚安行駅】

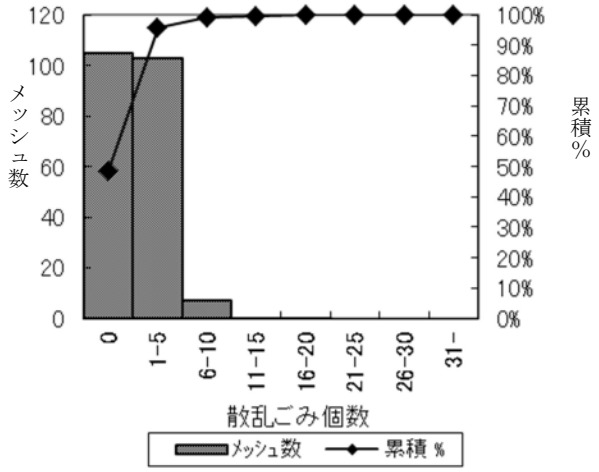
| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 103 | 47.5% |
| 1-5 | 95 | 91.2% |
| 6-10 | 16 | 98.6% |
| 11-15 | 2 | 99.5% |
| 16-20 | 1 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |

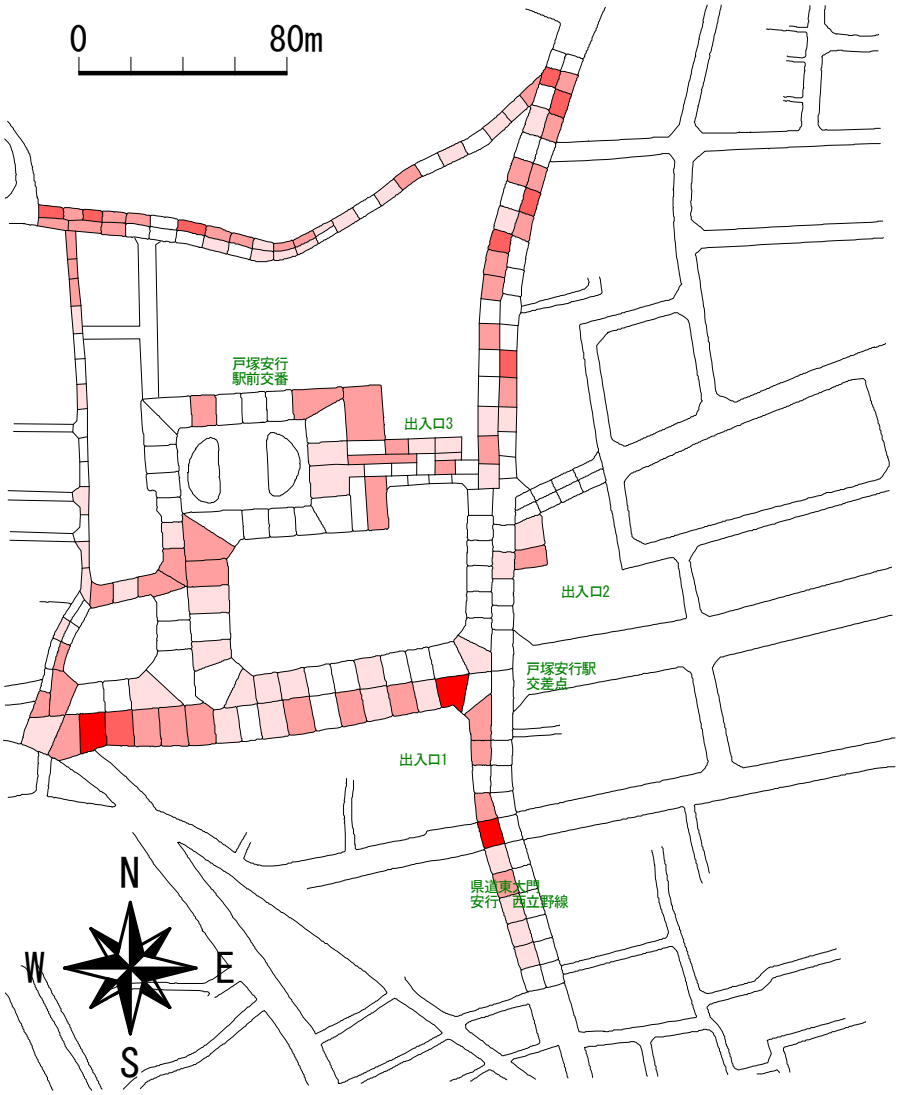


図表 2-99 たばこの吸い殻の分布状況（休日、路上部分＋植栽部分）【戸塚安行駅】

| 散乱ごみ個数 | ﾒｯｼｭ数 | 累積 % |
|---|---|---|
| 0 | 105 | 48.4% |
| 1-5 | 103 | 95.9% |
| 6-10 | 7 | 99.1% |
| 11-15 | 1 | 99.5% |
| 16-20 | 1 | 100.0% |
| 21-25 | 0 | 100.0% |
| 26-30 | 0 | 100.0% |
| 31- | 0 | 100.0% |



## ３．路上における喫煙状況の調査結果

### ３－１．平均喫煙者数の地域比較

平均歩行者数、平均自転車運転者数、平均喫煙者数、喫煙率（＝喫煙者数／（歩行者＋自転車運転者数））を図表 3-1 に示した。

平均歩行者数は、平日・休日とも川口駅東口が最も多く、次いで、平日・休日とも西川口駅東口が多い。

平均自転車運転者数は、平日・休日とも川口元郷駅が多い。

平均喫煙者数は、平日は蕨駅、西川口駅東口が 1 時間当たり 3.8 人、3.7 人と多く、休日は、蕨駅、東川口駅が 1 時間当たり 9.8 人、8.0 人と多い。

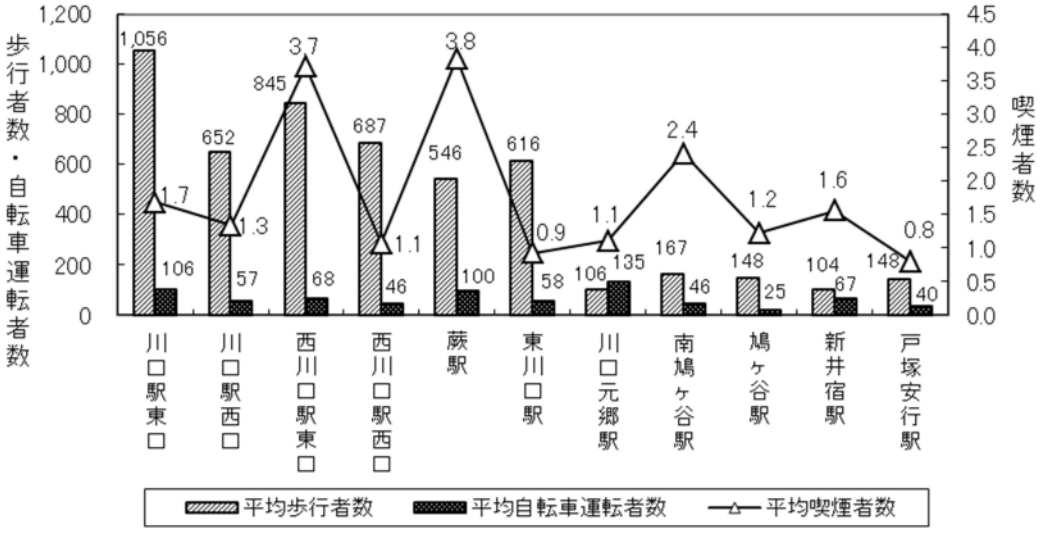
喫煙率は、通過した歩行者・自転車の数を分母にしているため、通過した歩行者・自転車が多くなり、喫煙者数が同じでも、喫煙率は低くなる。喫煙率は、平日では、南鳩ヶ谷駅が 1.1%と他の地域に比べて高かった。休日は蕨駅と南鳩ヶ谷駅がともに 1.8%と高かった。

図表 3-1 平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数のまとめ　（1 時間当たり平均）

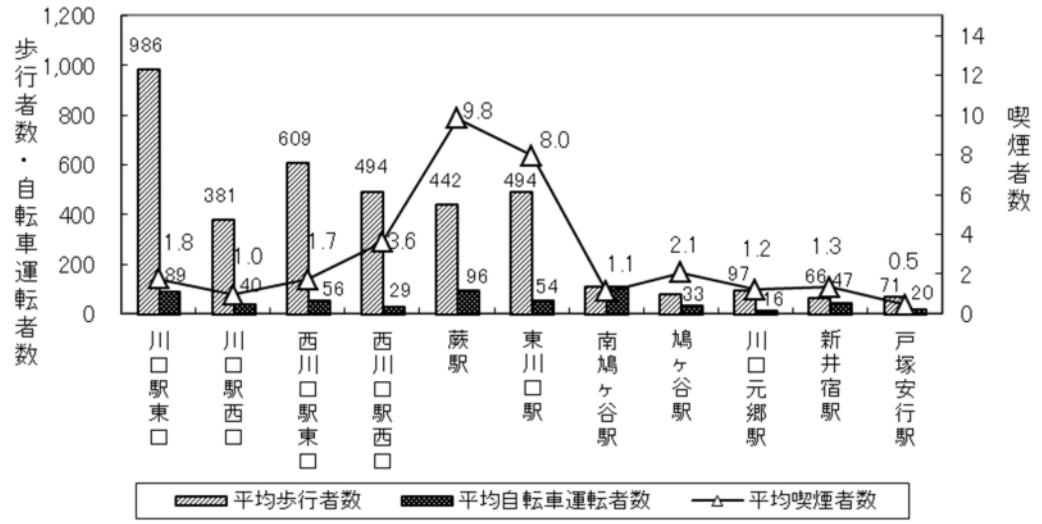
| | 調査地点数 | 平日 | | | | 休日 | | | | 参考：平均乗車人員※ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 平均歩行者数 | 平均自転車運転者数 | 平均喫煙者数 | 喫煙率 | 平均歩行者数 | 平均自転車運転者数 | 平均喫煙者数 | 喫煙率 | |
| 川口駅東口 | 19 | 1,055.9 | 106.0 | 1.7 | 0.1% | 986.4 | 88.8 | 1.8 | 0.2% | 79,150.0 |
| 川口駅西口 | 8 | 652.3 | 57.2 | 1.3 | 0.2% | 381.2 | 40.0 | 1.0 | 0.2% | |
| 西川口駅東口 | 7 | 845.3 | 67.9 | 3.7 | 0.4% | 609.0 | 56.4 | 1.7 | 0.3% | 51,497.0 |
| 西川口駅西口 | 5 | 686.8 | 46.4 | 1.1 | 0.1% | 493.7 | 28.9 | 3.6 | 0.7% | |
| 蕨駅 | 2 | 545.8 | 100.0 | 3.8 | 0.6% | 442.0 | 95.7 | 9.8 | 1.8% | 58,056.0 |
| 東川口駅 | 9 | 615.8 | 58.2 | 0.9 | 0.1% | 493.6 | 53.9 | 8.0 | 1.5% | 43,777.0 |
| 川口元郷駅 | 3 | 106.3 | 134.9 | 1.1 | 0.5% | 111.3 | 110.7 | 1.1 | 0.5% | 8,243.0 |
| 南鳩ヶ谷駅 | 4 | 166.7 | 46.1 | 2.4 | 1.1% | 80.1 | 33.3 | 2.1 | 1.8% | 6,010.0 |
| 鳩ヶ谷駅 | 6 | 148.3 | 24.6 | 1.2 | 0.7% | 97.1 | 16.4 | 1.2 | 1.1% | 9,030.0 |
| 新井宿駅 | 3 | 103.6 | 66.6 | 1.6 | 0.9% | 66.1 | 47.3 | 1.3 | 1.2% | 4,575.0 |
| 戸塚安行駅 | 5 | 147.6 | 39.9 | 0.8 | 0.4% | 70.5 | 20.3 | 0.5 | 0.5% | 6,202.0 |
| 全調査地平均 | 71 | 622.4 | 71.0 | 1.7 | 0.2% | 501.9 | 56.7 | 2.6 | 0.5% | |

※参考：ＪＲ東日本ＨＰ「各駅の乗車人員　　ＪＲ東日本エリア内の 1 日平均　2012 年度」
　　埼玉高速鉄道ＨＰ「経営状況・輸送状況」

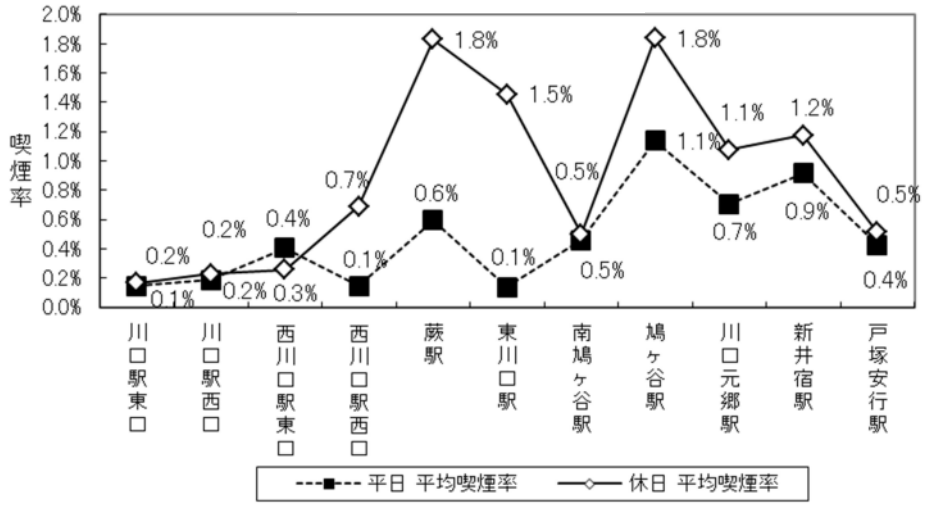
平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数のまとめ（平日）




平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数のまとめ（休日）




喫煙率のまとめ



## ３－２．喫煙率の推移

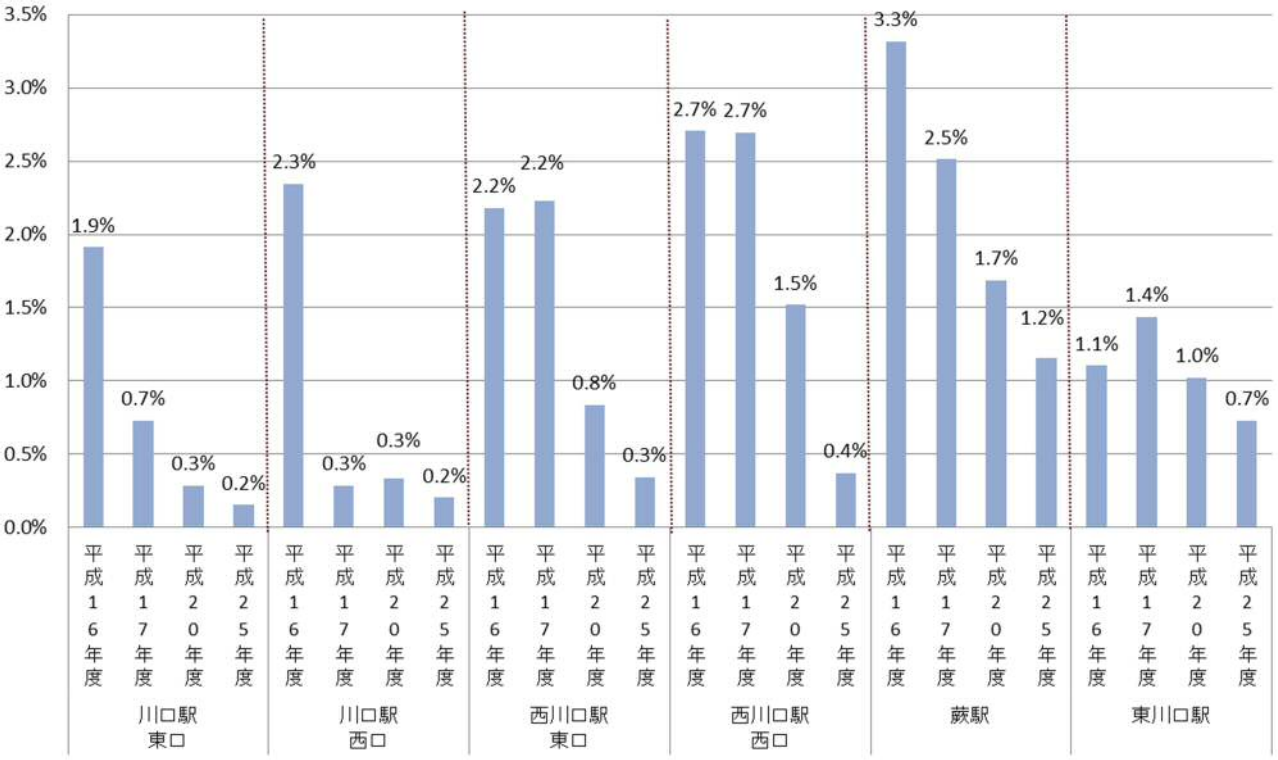
過去の調査を含めた平均歩行者・自転車運転者数、平均喫煙者数、喫煙率（＝喫煙者／（歩行者＋自転車運転者数））を以下の図表 3-2 に示した。

喫煙率をグラフにまとめたもの（平日・祝日平均）が図表 3-3～4 である。平成 16 年度の調査から継続して低減傾向にある。例えば、川口駅東口の場合、平成 16 年度調査では 1.9%であったが、平成 17 年度には 0.7%、平成 20 年度には 0.3%、今回の調査では 0.2%と継続して減少している（図表 3-3）。

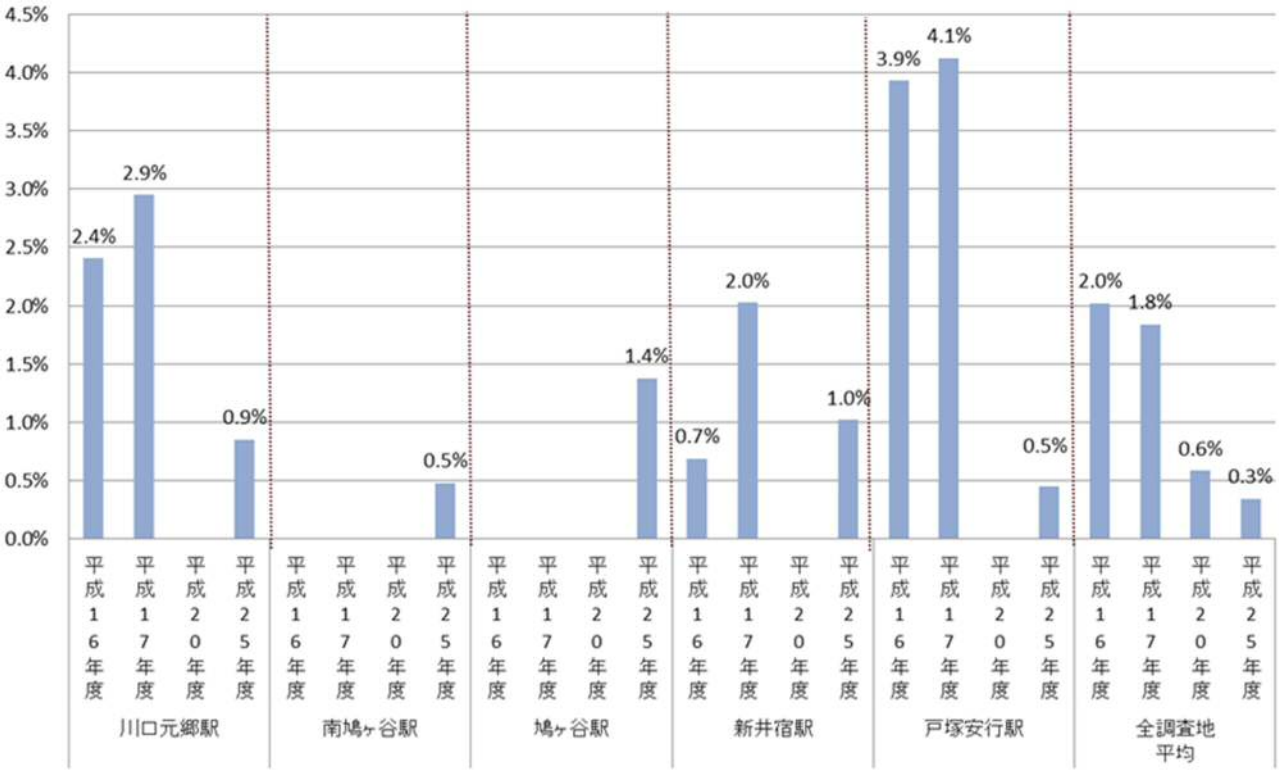
図表 3-2 各調査地域の平均歩行者・自転車数、喫煙者数、喫煙率

| | | 平日 | | | 休日 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 歩行者・自転車数 | 喫煙者数 | 喫煙率 | 歩行者・自転車数 | 喫煙者数 | 喫煙率 |
| 川口駅東口 | 平成16年度 | 1,814.0 | 35.0 | 1.9% | 1,430.0 | 27.0 | 1.9% |
| | 平成17年度 | 1,703.0 | 12.0 | 0.7% | 1,590.0 | 12.0 | 0.8% |
| | 平成20年度 | 1,628.0 | 4.0 | 0.2% | 1,515.0 | 5.0 | 0.3% |
| | 平成25年度 | 1,161.9 | 1.7 | 0.1% | 1,075.1 | 1.8 | 0.2% |
| 川口駅西口 | 平成16年度 | 882.0 | 24.0 | 2.7% | 698.0 | 13.0 | 1.9% |
| | 平成17年度 | 818.0 | 2.0 | 0.2% | 581.0 | 2.0 | 0.3% |
| | 平成20年度 | 848.0 | 3.0 | 0.4% | 646.0 | 2.0 | 0.3% |
| | 平成25年度 | 709.5 | 1.3 | 0.2% | 421.2 | 1.0 | 0.2% |
| 西川口駅東口 | 平成16年度 | 1,699.0 | 38.0 | 2.2% | 1,280.0 | 27.0 | 2.1% |
| | 平成17年度 | 739.0 | 11.0 | 1.5% | 652.0 | 20.0 | 3.1% |
| | 平成20年度 | 1,236.0 | 10.0 | 0.8% | 1,031.0 | 9.0 | 0.9% |
| | 平成25年度 | 913.1 | 3.7 | 0.4% | 665.3 | 1.7 | 0.3% |
| 西川口駅西口 | 平成16年度 | 1,112.0 | 31.0 | 2.8% | 847.0 | 22.0 | 2.5% |
| | 平成17年度 | 530.0 | 11.0 | 2.1% | 621.0 | 20.0 | 3.2% |
| | 平成20年度 | 830.0 | 13.0 | 1.6% | 685.0 | 10.0 | 1.5% |
| | 平成25年度 | 733.2 | 1.1 | 0.1% | 522.6 | 3.6 | 0.7% |
| 蕨駅 | 平成16年度 | 1,111.0 | 33.0 | 2.9% | 759.0 | 29.0 | 3.8% |
| | 平成17年度 | 453.0 | 10.0 | 2.2% | 343.0 | 10.0 | 2.9% |
| | 平成20年度 | 920.0 | 17.0 | 1.8% | 621.0 | 9.0 | 1.4% |
| | 平成25年度 | 645.8 | 3.8 | 0.6% | 537.7 | 9.8 | 1.8% |
| 東川口駅 | 平成16年度 | 945.0 | 8.0 | 0.8% | 503.0 | 8.0 | 1.6% |
| | 平成17年度 | 924.0 | 14.0 | 1.5% | 606.0 | 8.0 | 1.3% |
| | 平成20年度 | 843.0 | 7.0 | 0.8% | 626.0 | 8.0 | 1.3% |
| | 平成25年度 | 674.0 | 0.9 | 0.1% | 547.5 | 8.0 | 1.5% |
| 川口元郷駅 | 平成16年度 | 509.0 | 13.0 | 2.6% | 198.0 | 4.0 | 1.8% |
| | 平成17年度 | 304.0 | 10.0 | 3.3% | 137.0 | 3.0 | 2.2% |
| | 平成20年度 | | | | | | |
| | 平成25年度 | 172.9 | 1.2 | 0.7% | 113.4 | 1.2 | 1.1% |
| 南鳩ヶ谷駅 | 平成16年度 | | | | | | |
| | 平成17年度 | | | | | | |
| | 平成20年度 | | | | | | |
| | 平成25年度 | 241.2 | 1.1 | 0.5% | 222.0 | 1.1 | 0.5% |
| 鳩ヶ谷駅 | 平成16年度 | | | | | | |
| | 平成17年度 | | | | | | |
| | 平成20年度 | | | | | | |
| | 平成25年度 | 212.8 | 2.4 | 1.1% | 113.4 | 2.1 | 1.8% |
| 新井宿駅 | 平成16年度 | 1,073.0 | 7.0 | 0.6% | 231.0 | 2.0 | 1.0% |
| | 平成17年度 | 151.0 | 3.0 | 1.9% | 96.0 | 2.0 | 2.1% |
| | 平成20年度 | | | | | | |
| | 平成25年度 | 170.1 | 1.6 | 0.9% | 113.4 | 1.3 | 1.2% |
| 戸塚安行駅 | 平成16年度 | 217.0 | 9.0 | 4.2% | 63.0 | 2.0 | 2.7% |
| | 平成17年度 | 158.0 | 7.0 | 4.4% | 133.0 | 5.0 | 3.8% |
| | 平成20年度 | | | | | | |
| | 平成25年度 | 187.5 | 0.8 | 0.4% | 90.8 | 0.5 | 0.5% |
| 全調査地平均 | 平成16年度 | 1,242.0 | 25.0 | 2.0% | 885.0 | 18.0 | 2.0% |
| | 平成17年度 | 597.0 | 10.0 | 1.7% | 489.0 | 10.0 | 2.0% |
| | 平成20年度 | 1,194.0 | 7.0 | 0.6% | 1,024.0 | 6.0 | 0.6% |
| | 平成25年度 | 693.4 | 1.7 | 0.2% | 558.7 | 2.6 | 0.5% |

図表 3-3 喫煙率（平日・祝日平均）の変化（川口駅東口～東川口駅）

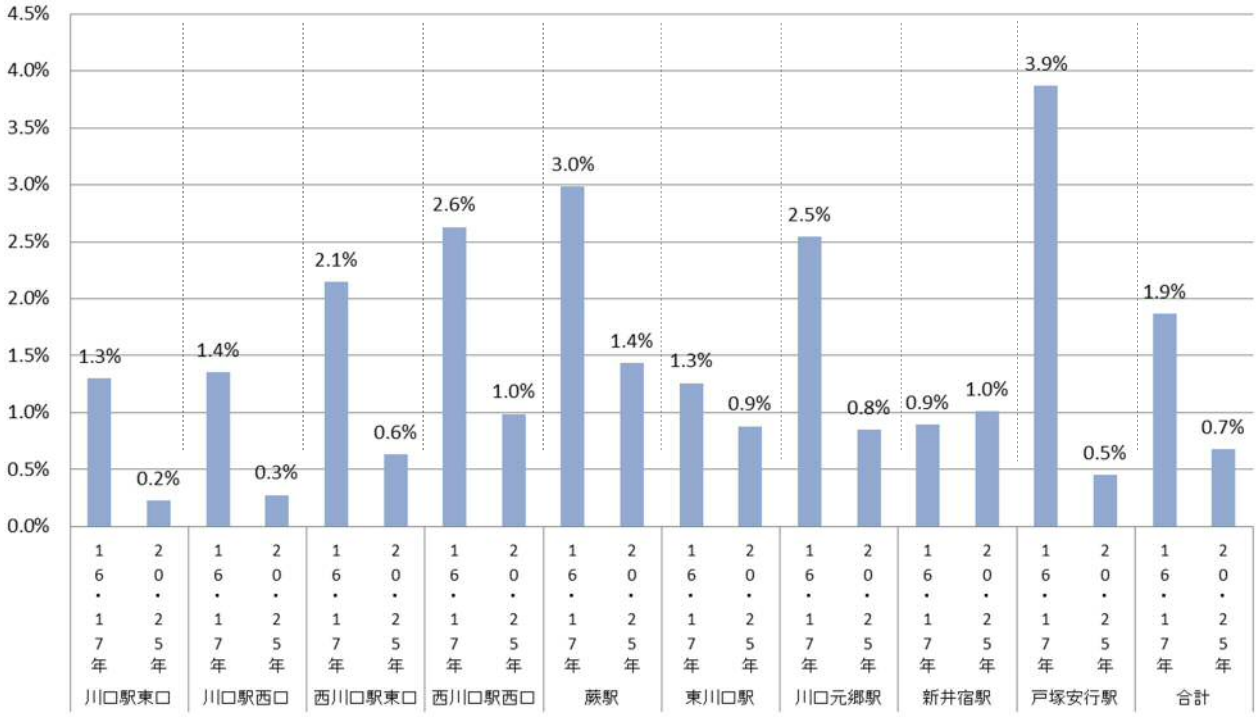



図表 3-3B 喫煙率（平日・祝日平均）の変化（南鳩ヶ谷駅～戸塚安行駅）



図表 3-3 で示した喫煙率の減少をよりわかりやすく示すために、平成 16 年度と平成 17 年度の平均と平成 20 年度と平成 25 年度の平均を表した図を作成した。新井宿駅を除いて、歩行しながら喫煙する人が減ってきていることがわかる。

**図表 3-4 喫煙率（平日・祝日平均）の変化**



## ３－３．地域別の集計結果及び分析

### （１）川口駅東口

①歩行者・自転車運転者･喫煙者の現状

川口駅東口での平均歩行者数は、平日・休日とも調査地点１２（ＪＲ川口駅入口・デッキ上）が、平日7,186 人／時、休日 6,069 人／時と最も多くなっている。

平均自転車運転者数は、調査地点６が平日 308 人／時、休日 249 人／時と最も多くなっている。

平均喫煙者数は、２箇所の喫煙所を除くと、平日は調査地点２が 5.3 人／時と多くなっている。休日は、調査地点２・１１・１３が最も多く、4.0～4.3 人／時であった。

喫煙率は、平日・休日ともに調査地点２が高く、1.4%・1.1%であった（図表 3-5)。

また、指定喫煙場所（２箇所）の利用者数は、喫煙場所Ａ（駐輪場前・地上階）が平日で 70 人／時、休日で 58 人／時であった。喫煙所Ｂ（キュポ・ラ広場）では、平日で 129 人／時、休日で 118 人／時であった（図表 3-6～7)。

昨年廃止された喫煙所２及び３で、立ち止まって喫煙している人はほとんどおらず。平日で 0 人／時・1 人／時であった。

②喫煙状況等の推移と考察

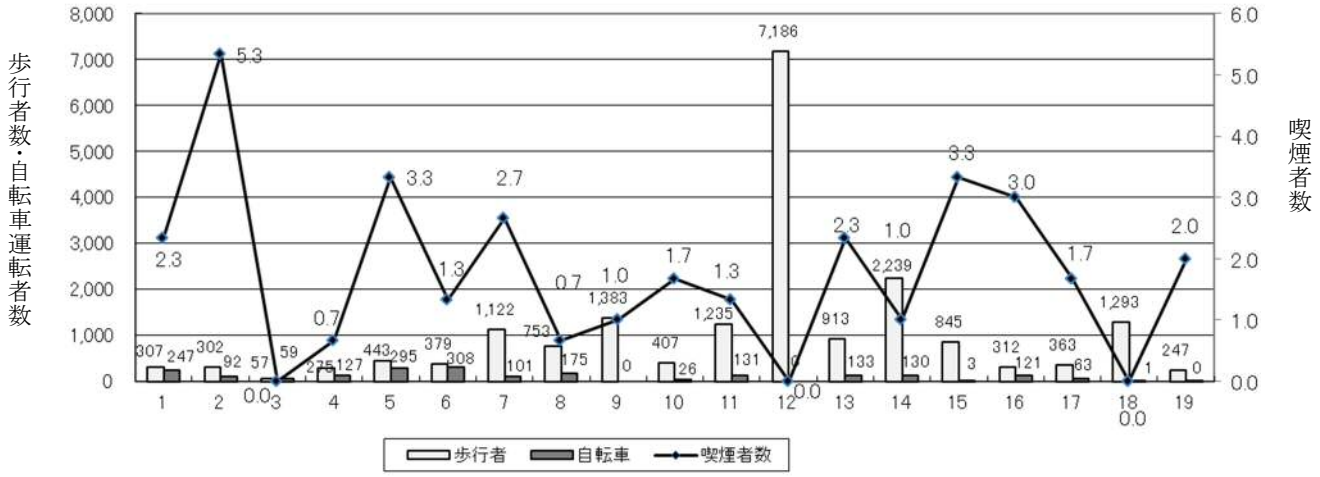
川口駅東口における喫煙率は、前回の平成 20 年度調査では、平日で 0.2%、休日で 0.3%だったが、今回調査では平日で 0.1%、休日で 0.2%と低下している（図表 3-2)。

喫煙所でたばこを吸うのではなく、駅に歩きながらたばこを吸い、喫煙所をたばこの吸い殻を捨てる場所として利用するケースもある。

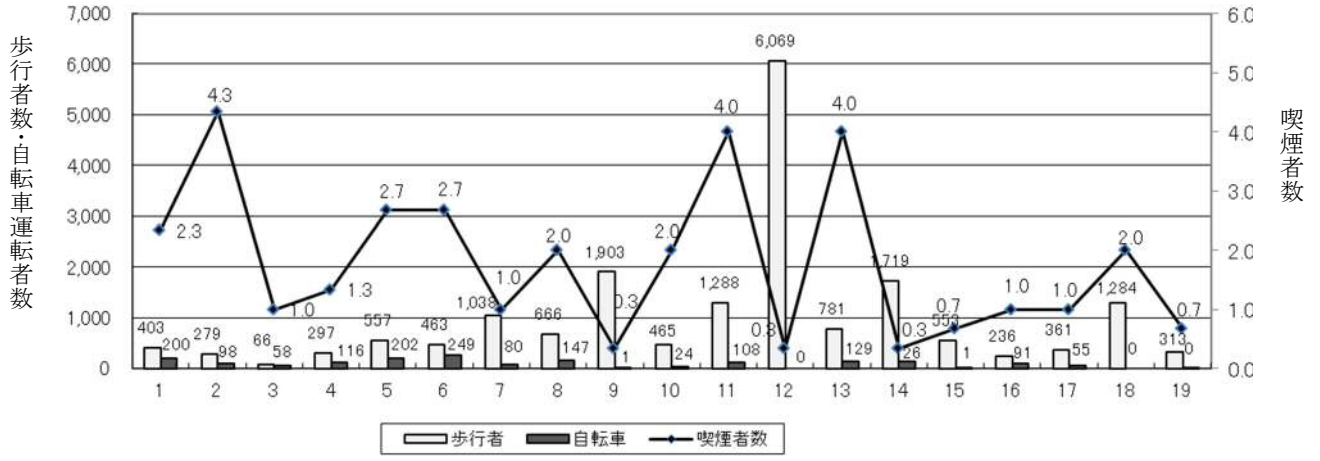
川口駅東口に設置された２か所の指定喫煙場所は、京浜東北線への乗車前・後に喫煙する場所として、よく利用されており、駅周辺の頻繁な清掃等と相まって、効果をあげていると考えられる。

図表 3-5 １時間当たり平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数【川口駅東口】

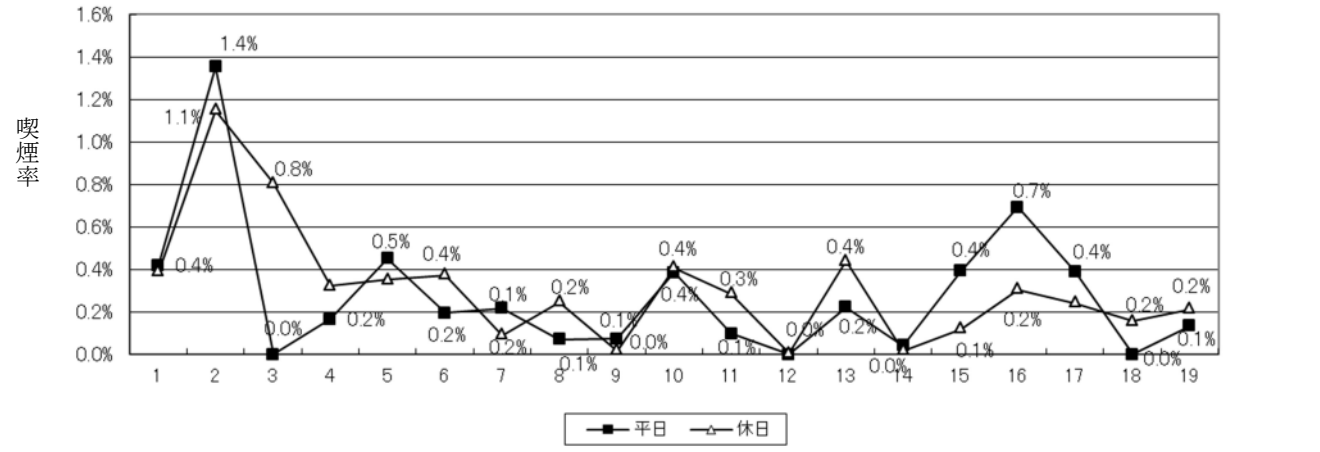
平日



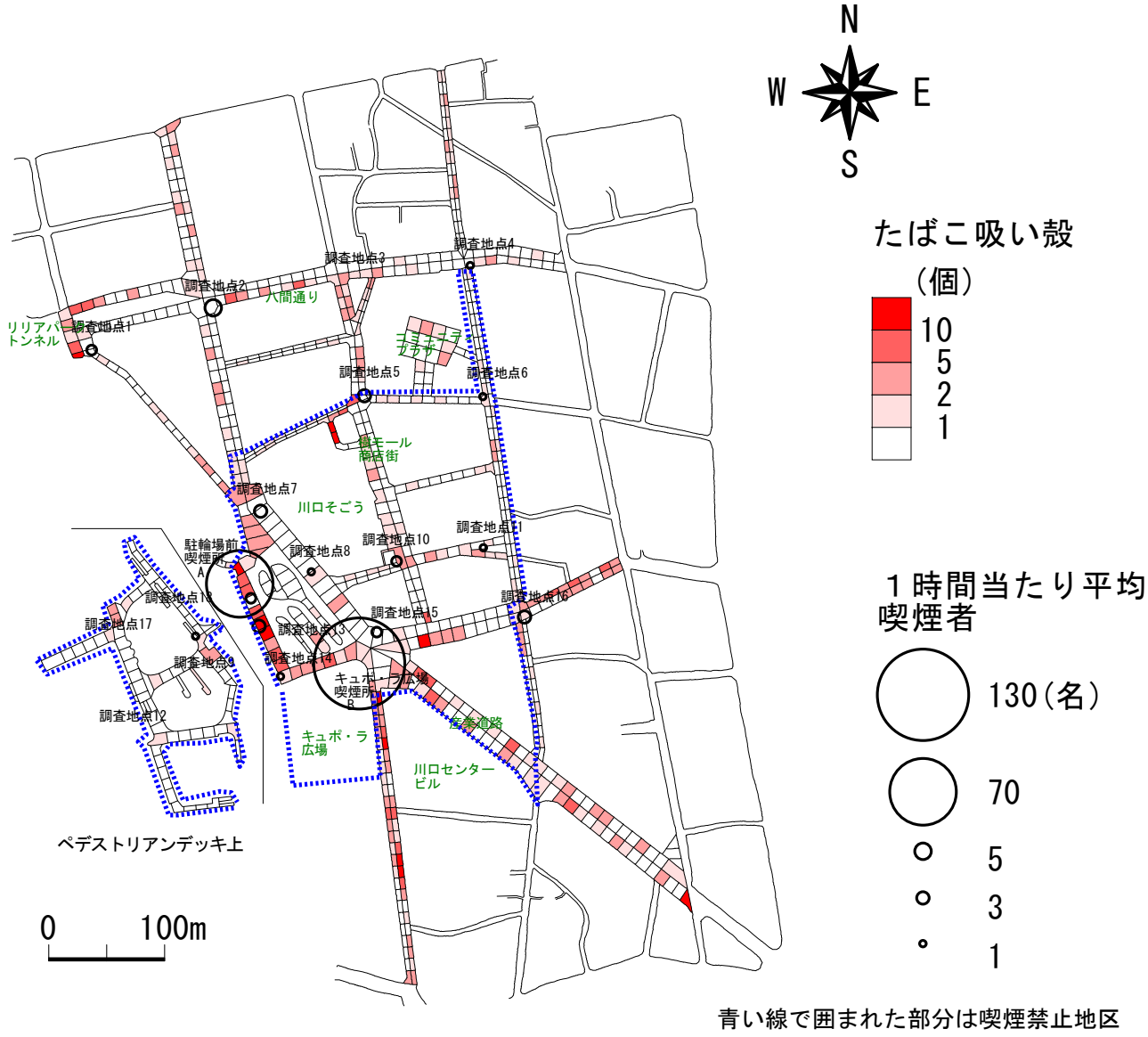

休日



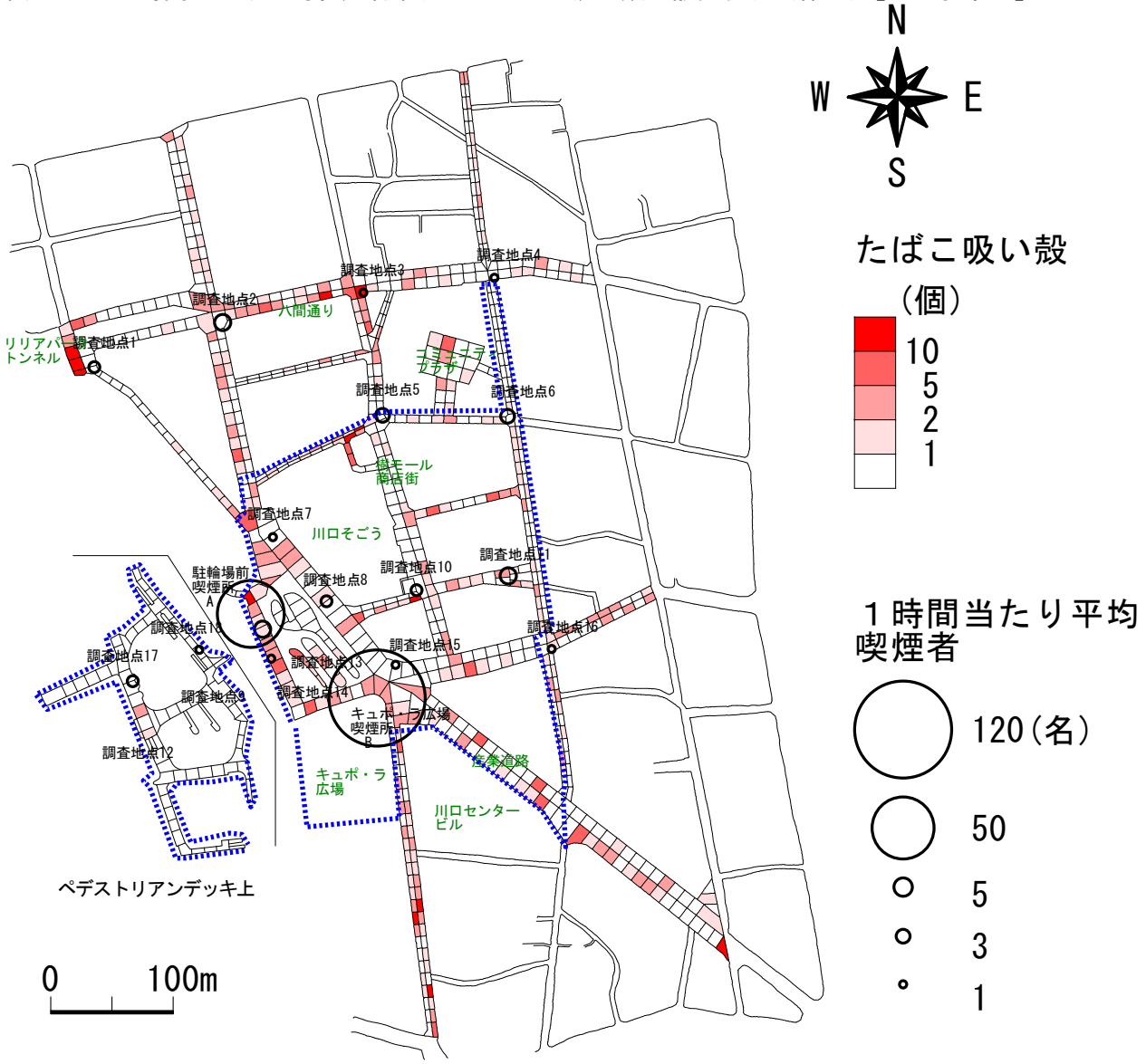

喫煙率



図表 3-6　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（平日）【川口駅東口】



図表 3-7　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（休日）【川口駅東口】




青い線で囲まれた部分は喫煙禁止地区

### （２）川口駅西口

①歩行者・自転車運転者･喫煙者の現状

川口駅西口での、平均歩行者数は、平日・休日とも調査地点１（ＪＲ川口駅入口・デッキ上）が、平日で 2,234 人／時、休日 860 人／時と最も多くなっている。

平均自転車運転者数は、調査地点７が平日 234 人／時、休日 139 人／時と最も多くなっている（図表 3-8)。

平均喫煙者数は、２箇所の喫煙所を除くと、平日は調査地点２が多く 6 人／時であった。休日は調査地点２と７が多く、それぞれ 2 人／時であった（図表 3-9～10)。

喫煙率は、平日は調査地点２が高く、2.1％であった。休日は調査地点８が高く、3.6％であった（図表 3-8)。

また、指定喫煙場所（２箇所）の利用者数は、喫煙場所Ａ（駅前・デッキ上）が平日で 76 人／時、休日で 56 人／時であった。喫煙所Ｂ（駅前・地上階）では、平日で 55 人／時、休日で 29 人／時であった（図表 3-9～10)。

②喫煙状況等の推移と考察

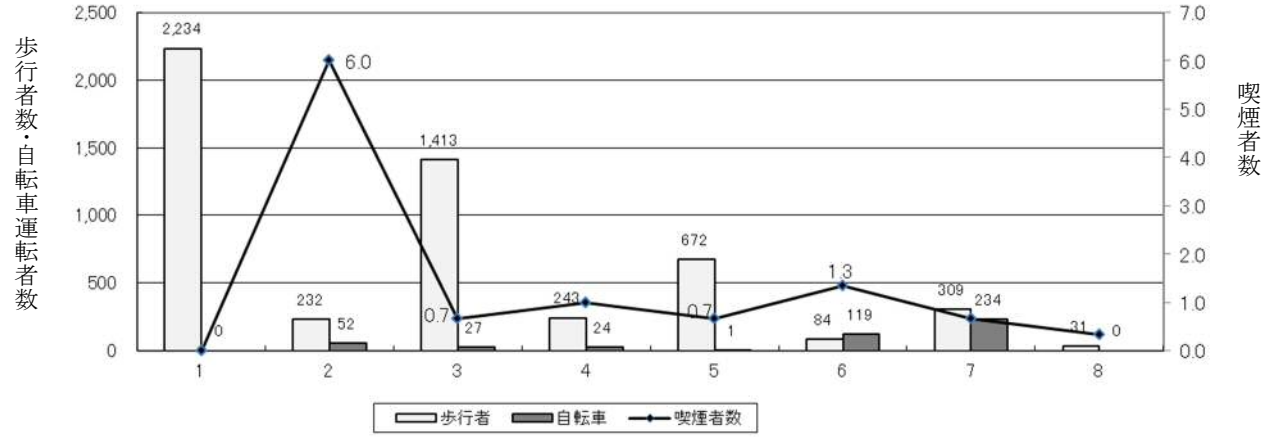
川口駅西口における喫煙率は、前回の平成 20 年度調査では、平日で 0.4％、休日で 0.3％だったが、今回調査では平日・休日ともに 0.2％と低下している（図表 3-2)。

川口駅西口に設置された２か所の指定喫煙場所は、京浜東北線への乗車前・後に喫煙する場所として、よく利用されている。駅周辺の頻繁な清掃等と相まって、効果をあげていると考えられる。

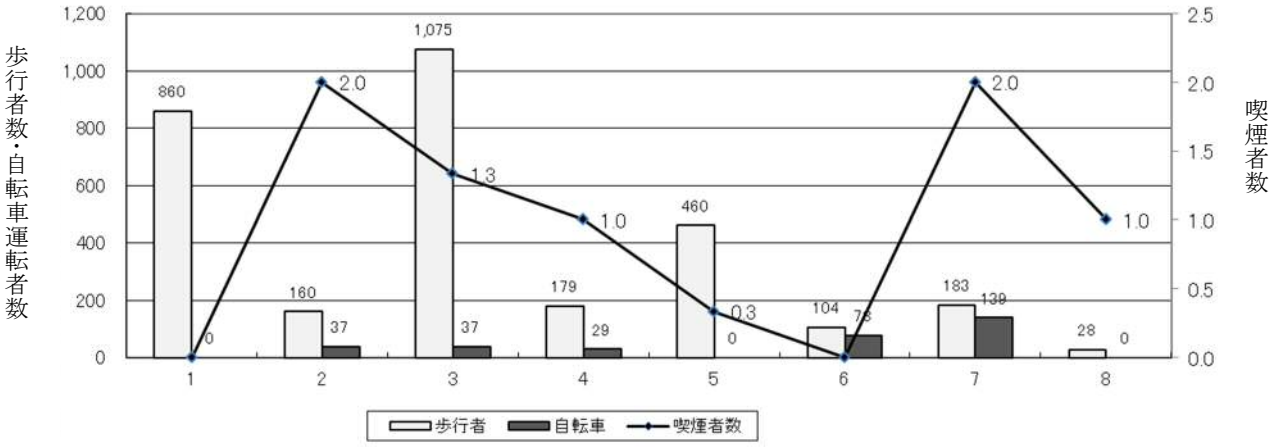
一方、コミュニティ広場、川口 2 丁目 6 号付近、飯塚 1 丁目 2 号付近の調査地域の周辺部には、たばこの散乱が多く見られる。喫煙マナーの向上のための啓発や清掃活動の強化などの対策が必要と考えられる。

図表 3-8　１時間当たり平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数【川口駅西口】

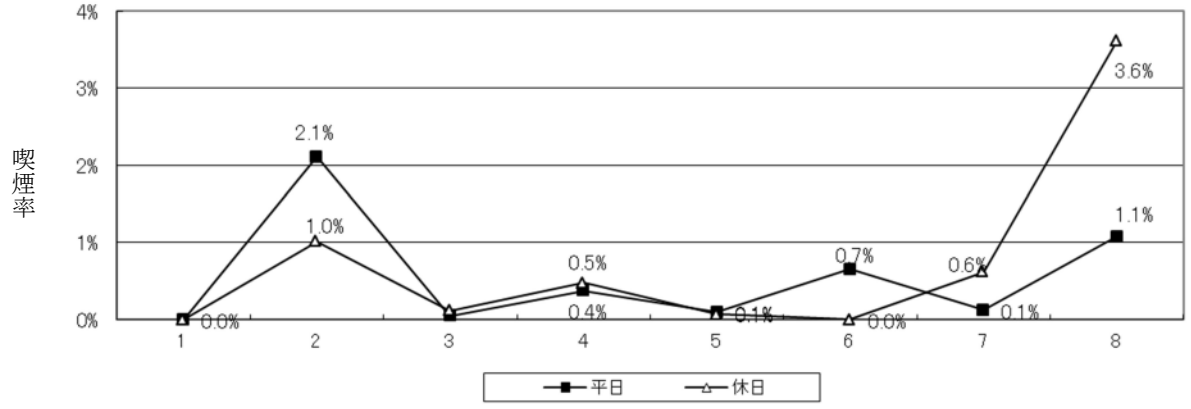
平日



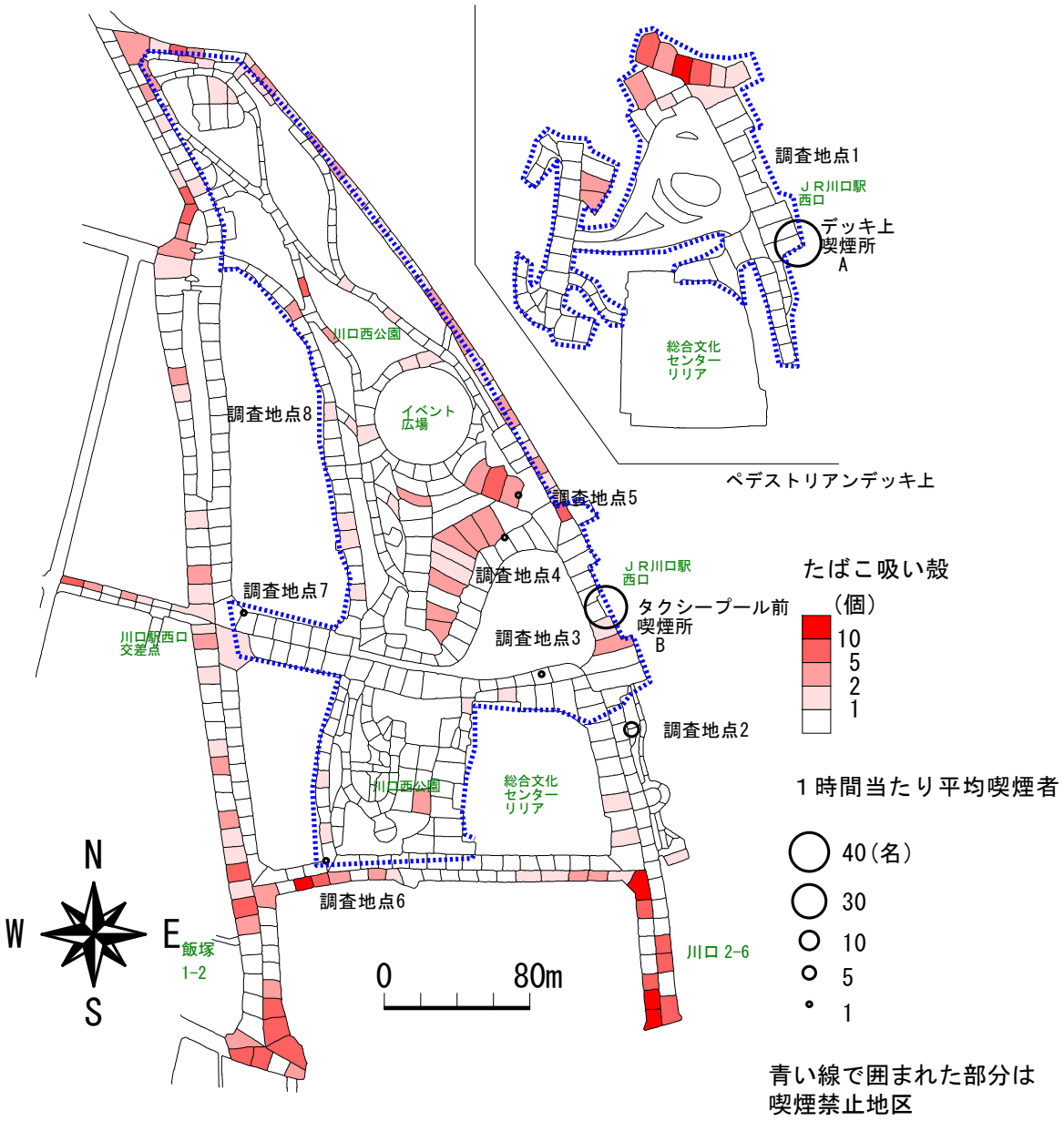

休日



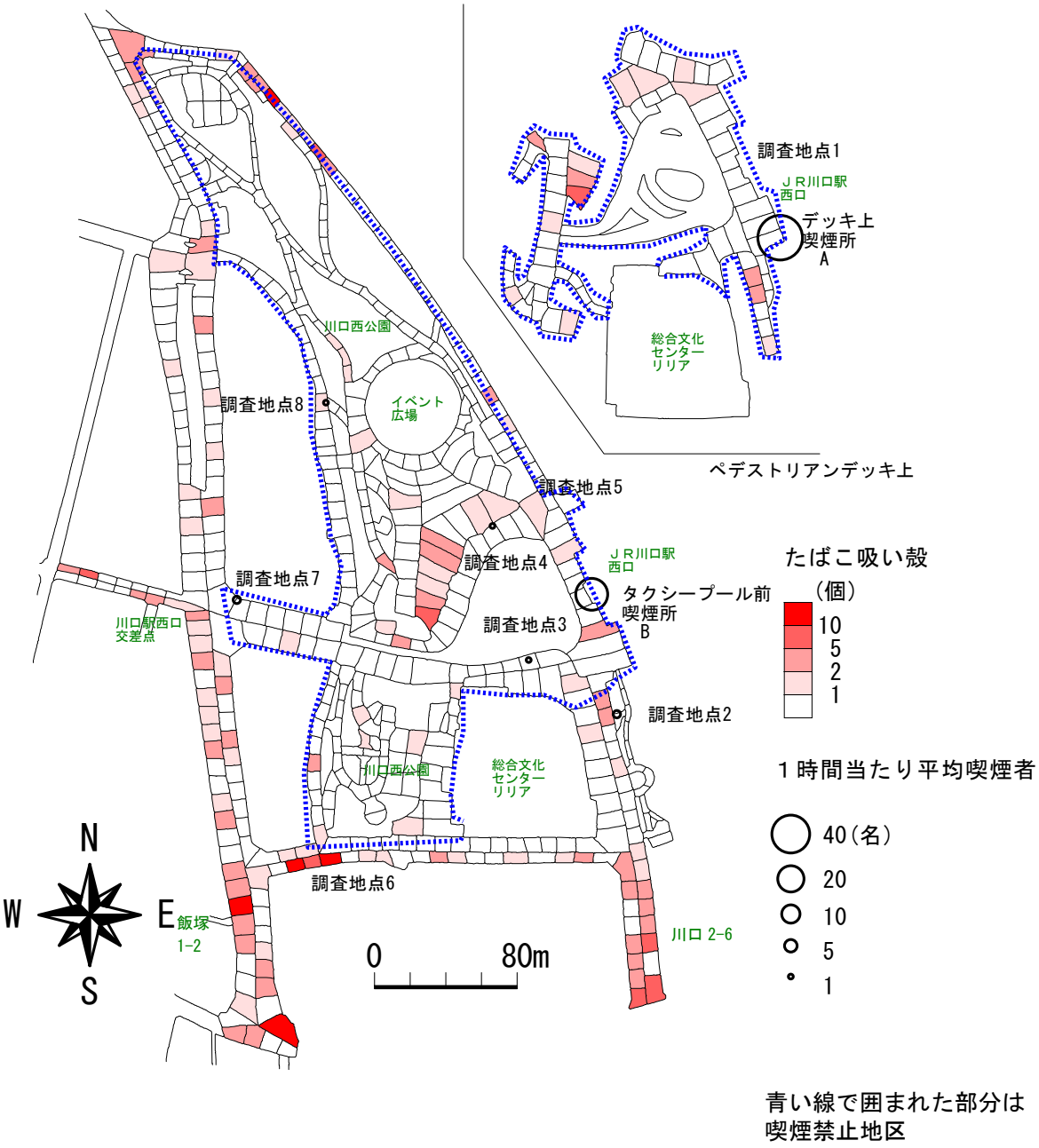

喫煙率



図表 3-9　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（平日）【川口駅西口】



図表 3-10　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（休日）【川口駅西口】



### （３）西川口駅東口

①歩行者・自転車運転者･喫煙者の現状

西川口駅東口での平均歩行者数は、平日・休日とも調査地点１（ＪＲ西川口駅入口）が、平日で 2,811 人／時、休日 1,982 人／時と最も多くなっている。

平均自転車運転者数は、平日は調査地点２が 244 人／時と最も多かった。休日は調査地点７が 139 人／時と最も多かった。

喫煙率は、平日・休日ともに調査地点６が高く、3.0%・2.2%であった（図表 3-11）。

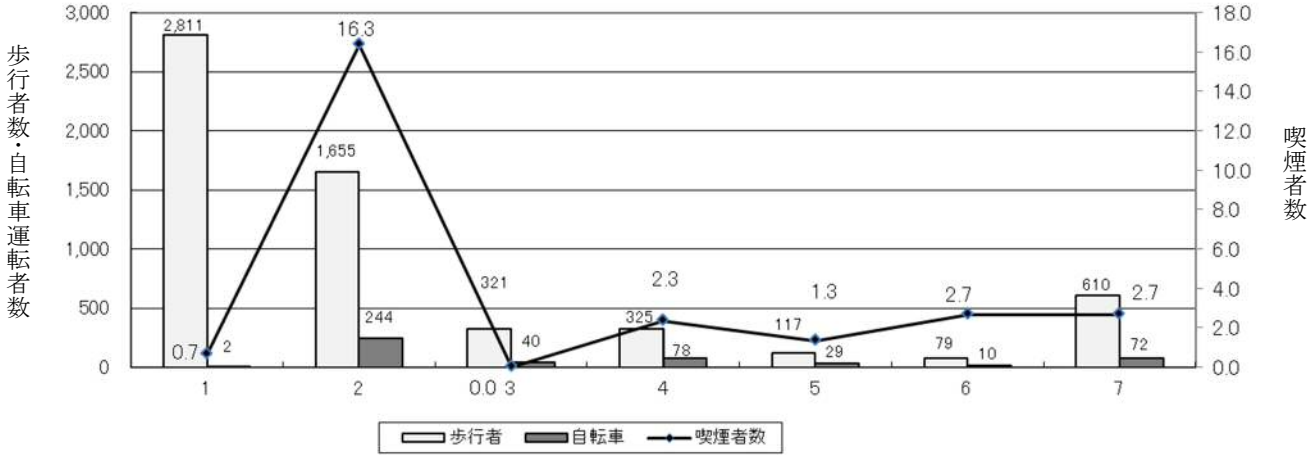
②喫煙状況等の推移と考察

西川口駅東口における喫煙率は、前回の平成 20 年度調査では、平日で 0.8%、休日で 0.9%だったが、今回調査では平日は 0.4%、休日は 0.3%と低下している（図表 3-2）。

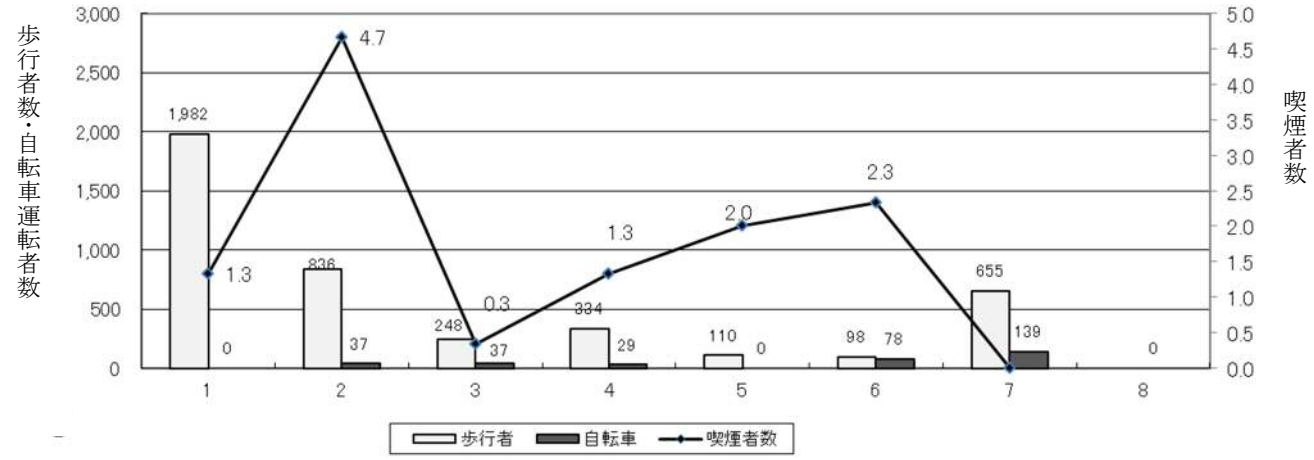
西川口駅東口には、指定喫煙所は設けられていない。駅前ロータリー付近のベンチでたばこを吸う市民がみられた。

図表 3-11　１時間当たり平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数【西川口駅東口】

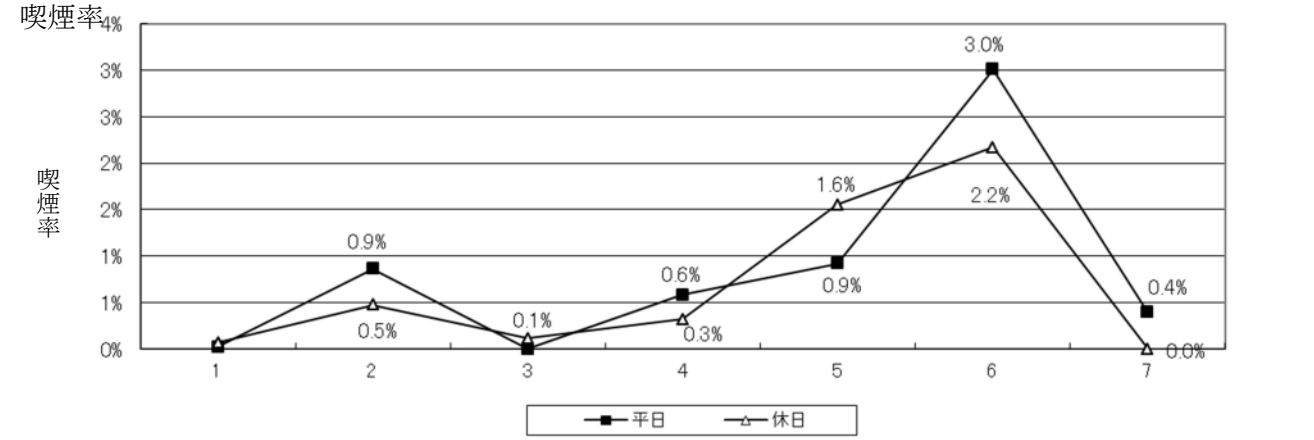
平日




休日

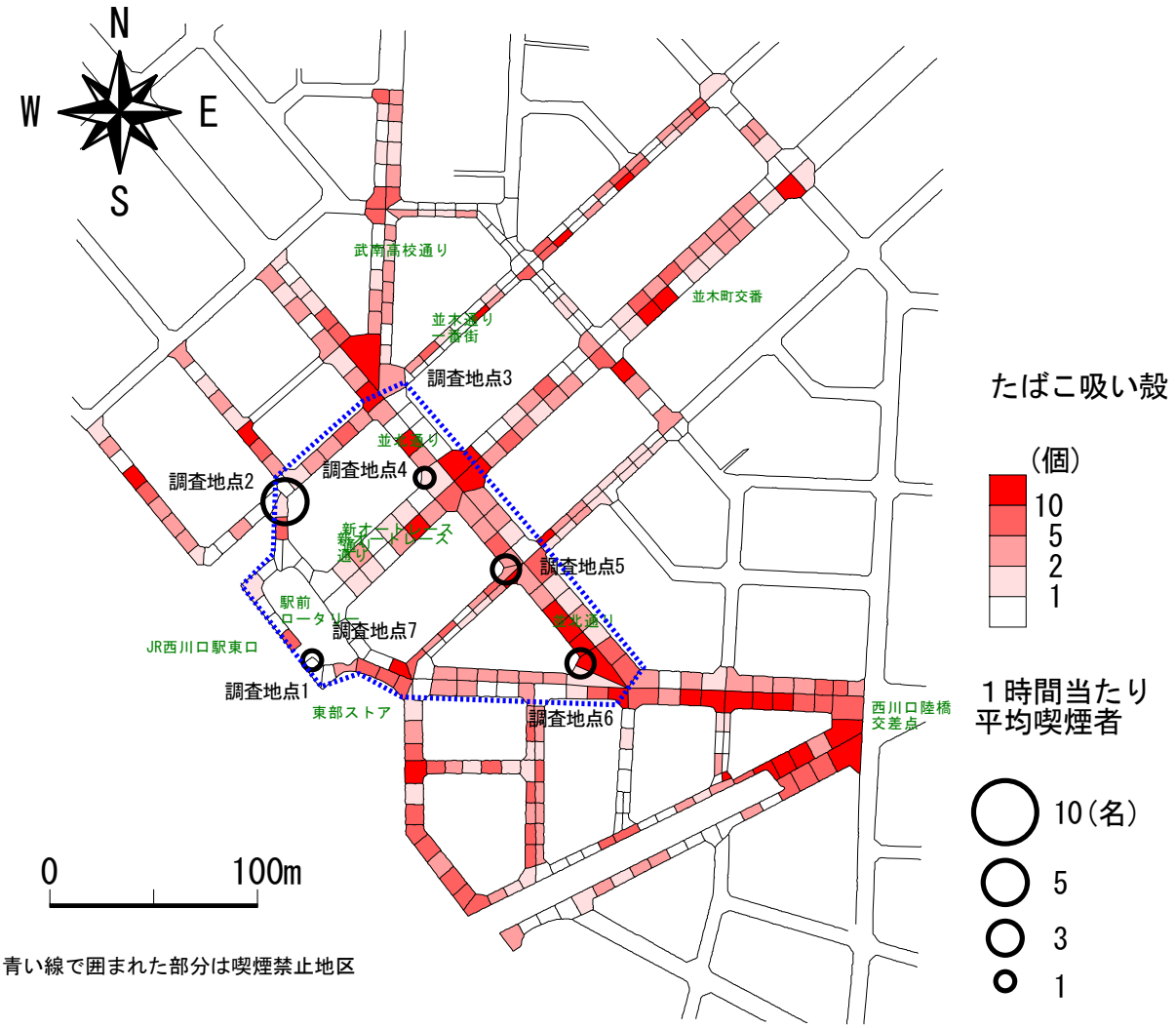



喫煙率



図表 3-12　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（平日）【西川口駅東口】

図表 3-13　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（休日）【西川口駅東口】



### （４）西川口駅西口

①歩行者・自転車運転者･喫煙者の現状

西川口駅西口での平均歩行者数は、平日・休日とも調査地点１（ＪＲ西川口駅入口）が、平日で 2,281 人／時、休日 1,510 人／時と最も多くなっている。

平均自転車運転者数は、平日・休日ともに調査地点２が多く、平日は 116 人／時、休日は 85 人／時と最も多かった。

喫煙率は、平日・休日ともに調査地点３が高く、1.2%・4.9%であった（図表 3-14)。

②喫煙状況等の推移と考察

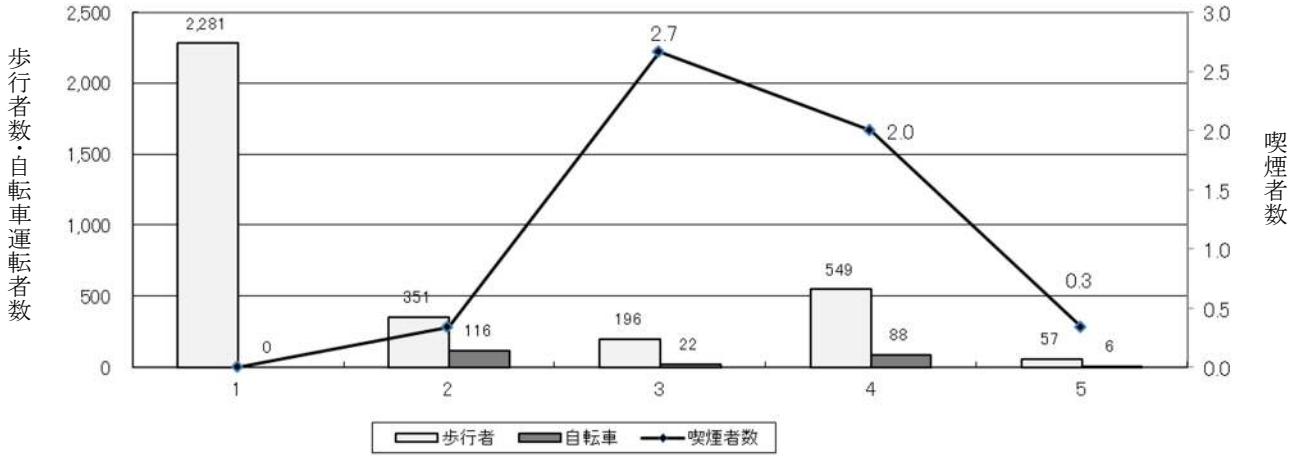
西川口駅西口における喫煙率は、前回の平成 20 年度調査では、平日で 1.6%、休日で 1.5%だったが、今回調査では平日は 0.1%、休日は 0.7%と低下している（図表 3-2)。

たばこの吸い殻の散乱状況をみると、路上喫煙禁止地区内は、比較的、たばこの吸い殻の散乱が少ない。路上喫煙防止条例が一定の効果をあげているものと考えられる。

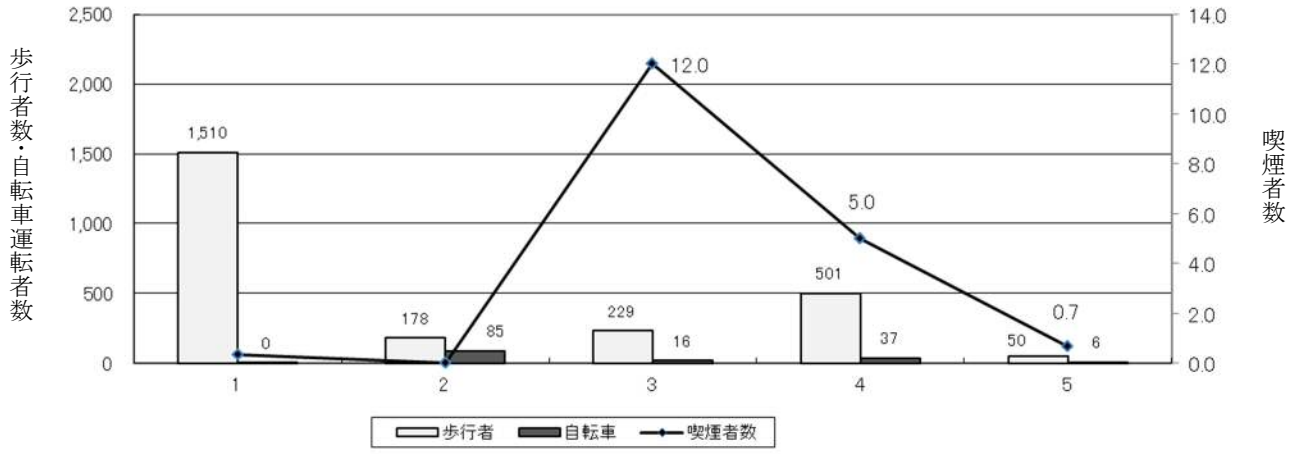
駅の近くにある空き店舗が喫煙所として利用されている。他の地域に比べたばこの吸い殻の散乱が多い地域であることから、喫煙マナーの向上のための啓発キャンペーンの実施や清掃の強化など、一層の取り組みが必要と考えられる。

図表 3-14　１時間当たり平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数【西川口駅西口】

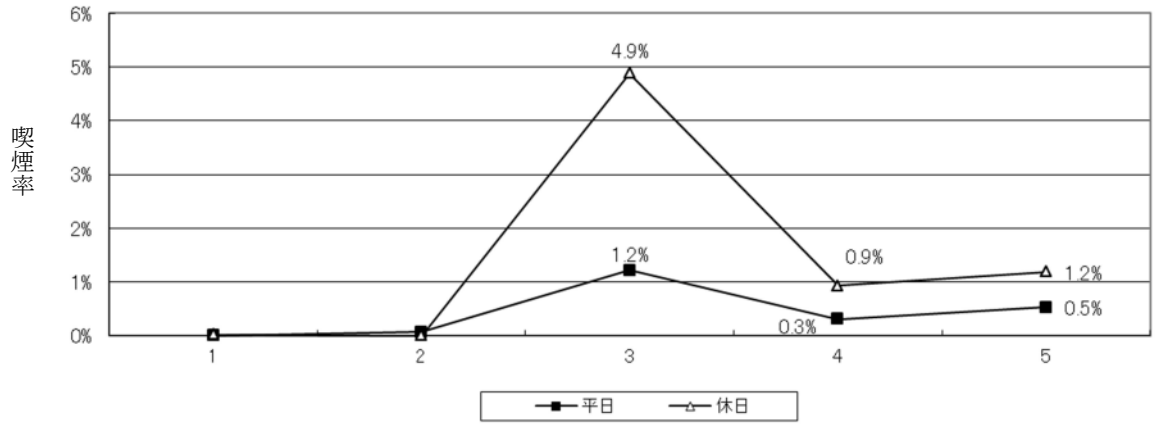
平日



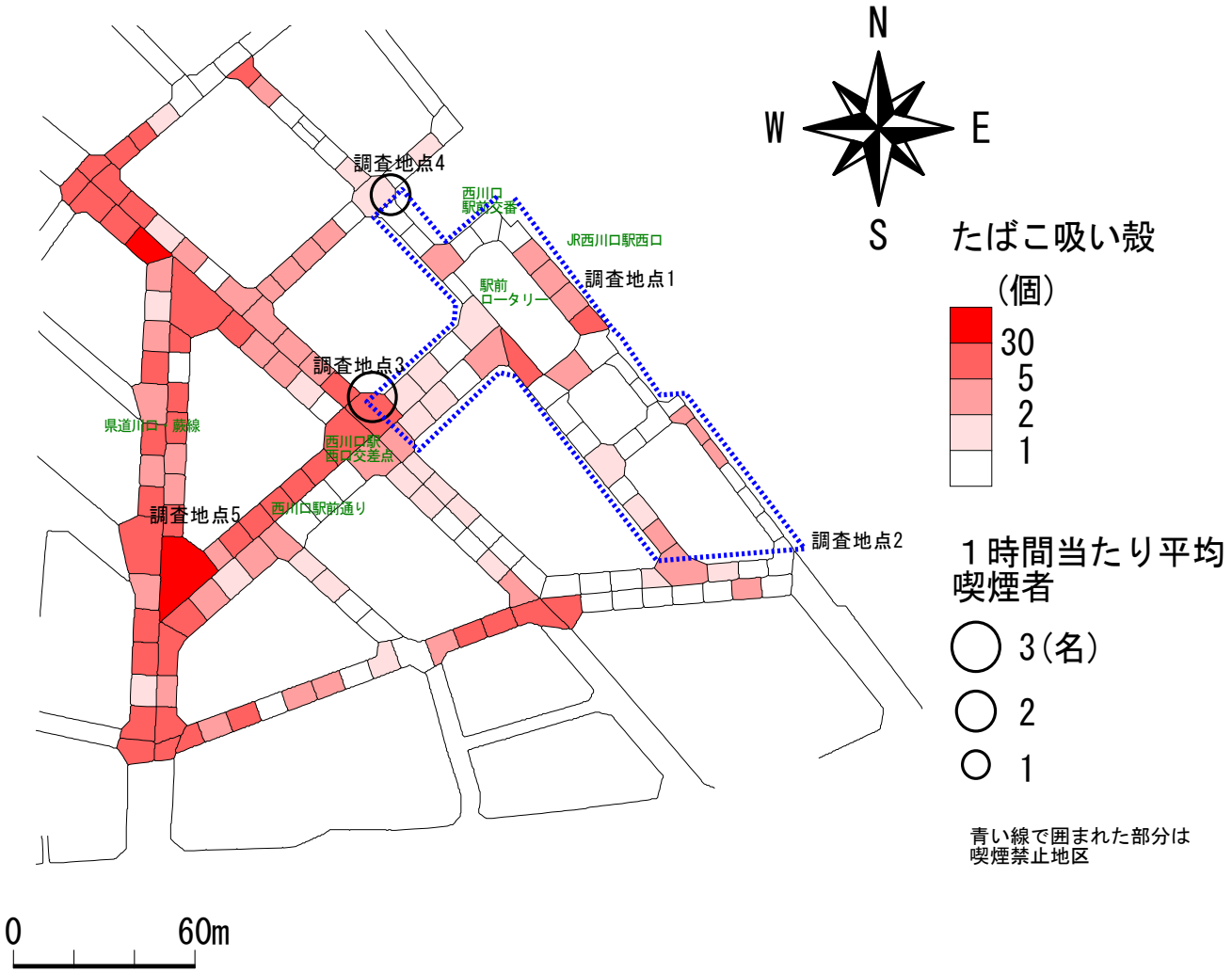

休日



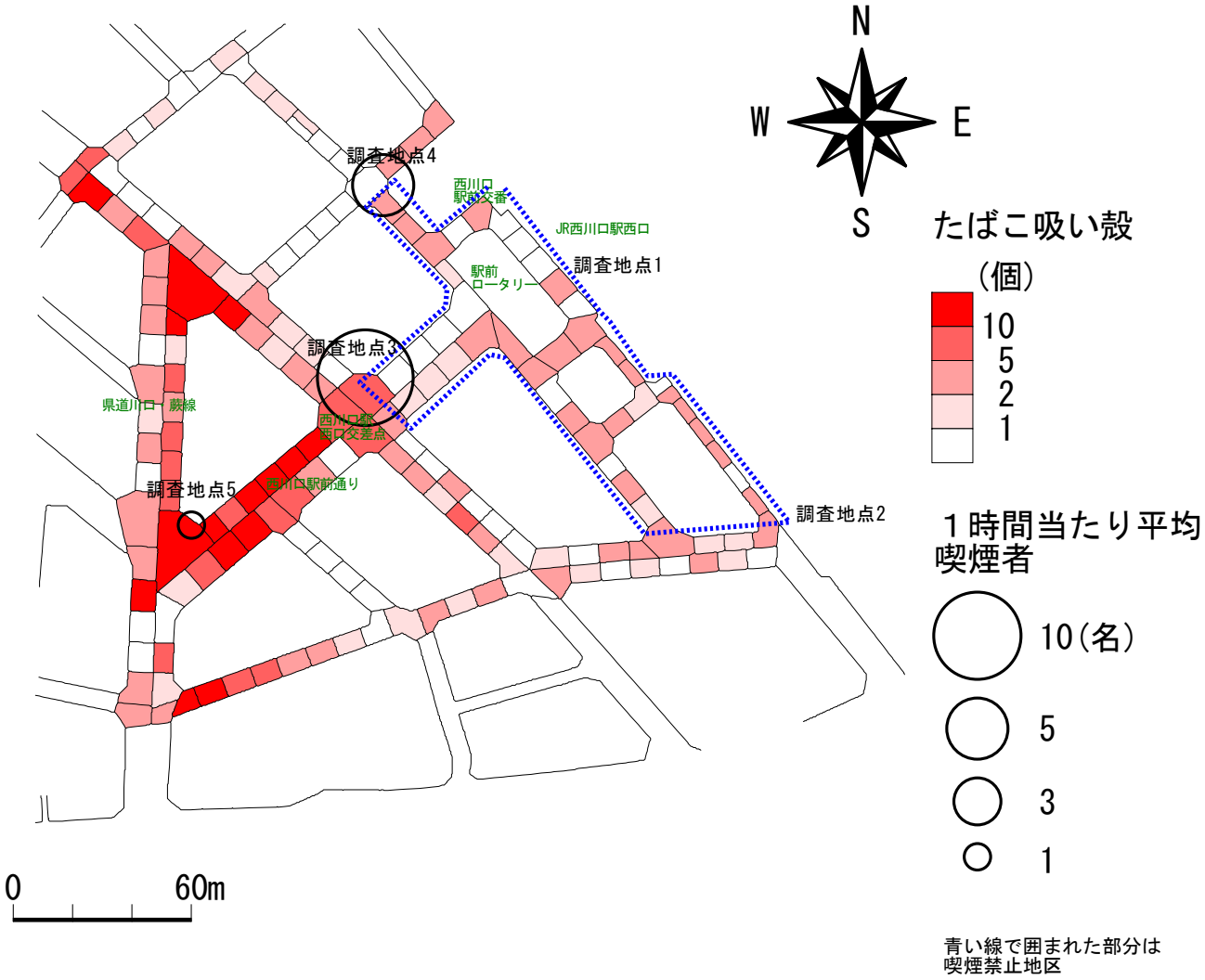

喫煙率



図表 3-15　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（平日）【西川口駅西口】



図表 3-16　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（休日）【西川口駅西口】



### （５）蕨駅

①歩行者・自転車運転者･喫煙者の現状

蕨駅での平均歩行者数は、平日・休日とも調査地点２が、平日で 763 人／時、休日 606 人／時と多くなっている。平均自転車運転者数は、平日・休日ともに調査地点１が多く、平日は 175 人／時、休日は 125 人／時であった。

喫煙率は、平日・休日ともに調査地点１が高く、2.0%・1.0%であった（図表 3-17)。

②喫煙状況等の推移と考察

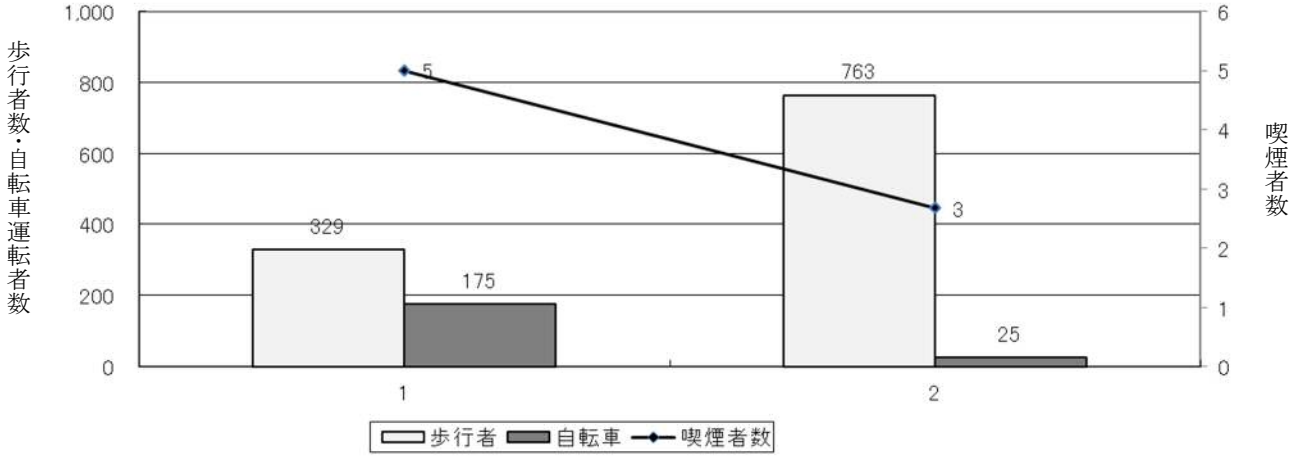
蕨駅における喫煙率は、前回の平成 20 年度調査では、平日で 1.8%だったが、今回調査では 0.6%と低下している。一方で、前回の平成 20 年度調査では休日は 1.4%だったが、今回調査では 1.8%で増加している。(図表 3-2)。

前回平成 20 年度の調査では、この調査地域には、「川口市と蕨市の行政界の市道があるが、とくにそれによるたばこの吸い殻状況への影響はみられなかった」と述べている。今回調査でも市境が、たばこの吸い殻の散乱に影響していることはなかった。

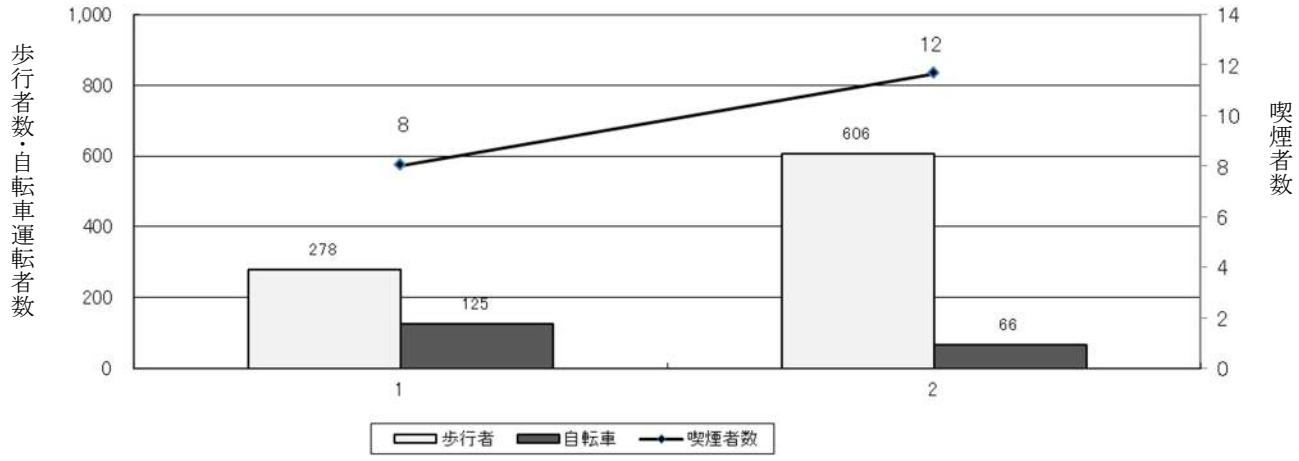
蕨駅周辺では駐輪場での散乱が目立った。駐輪場は、駅に向かう市民・駅から帰る市民が利用する施設なので、たばこの吸い殻が集まりやすいと考えられる。清掃がしにくいところなので、たばこの吸い殻がたまりやすい。駐輪場周辺などでの、清掃活動の奨励、キャンペーンの実施などの対策が必要と考えられる。

図表 3-17　１時間当たり平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数【蕨駅】

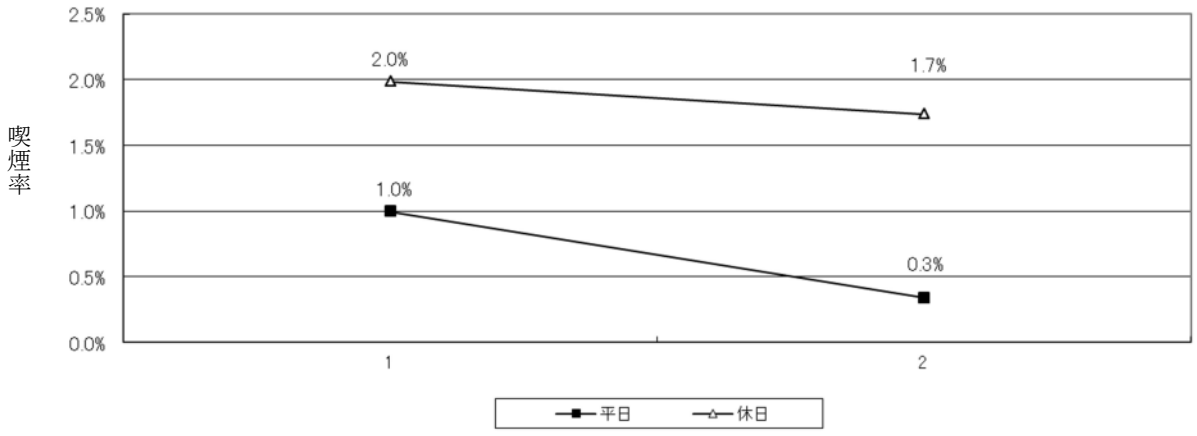
平日



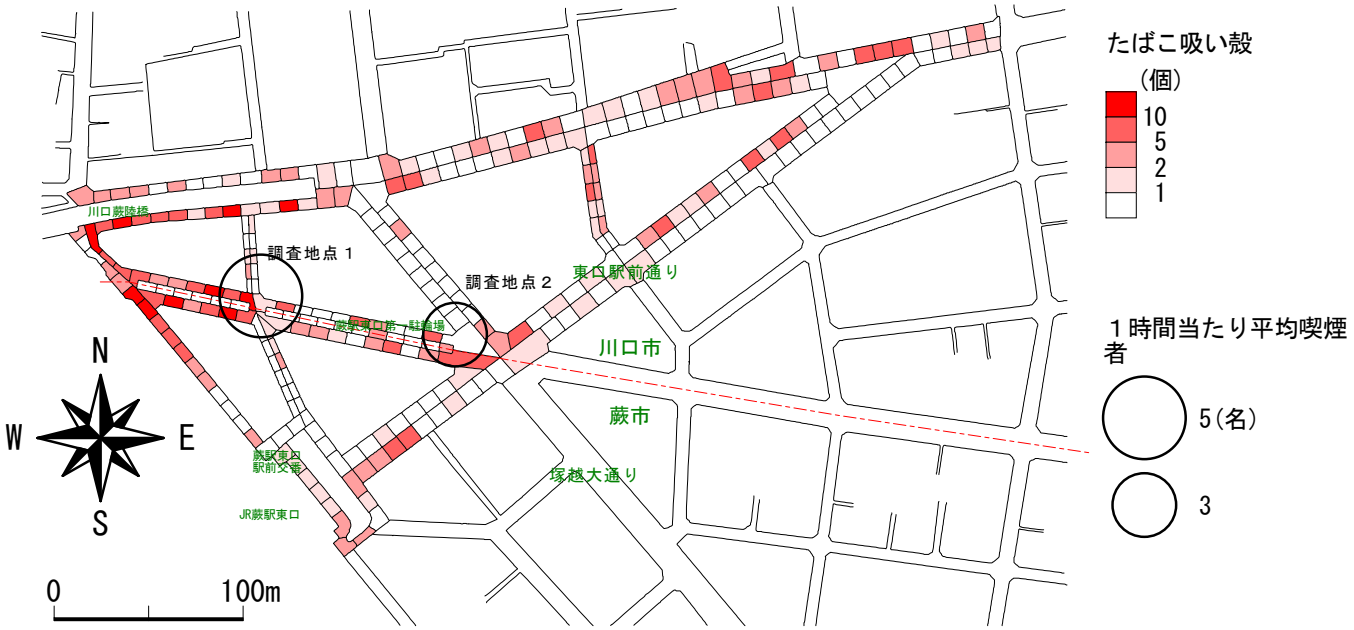

休日



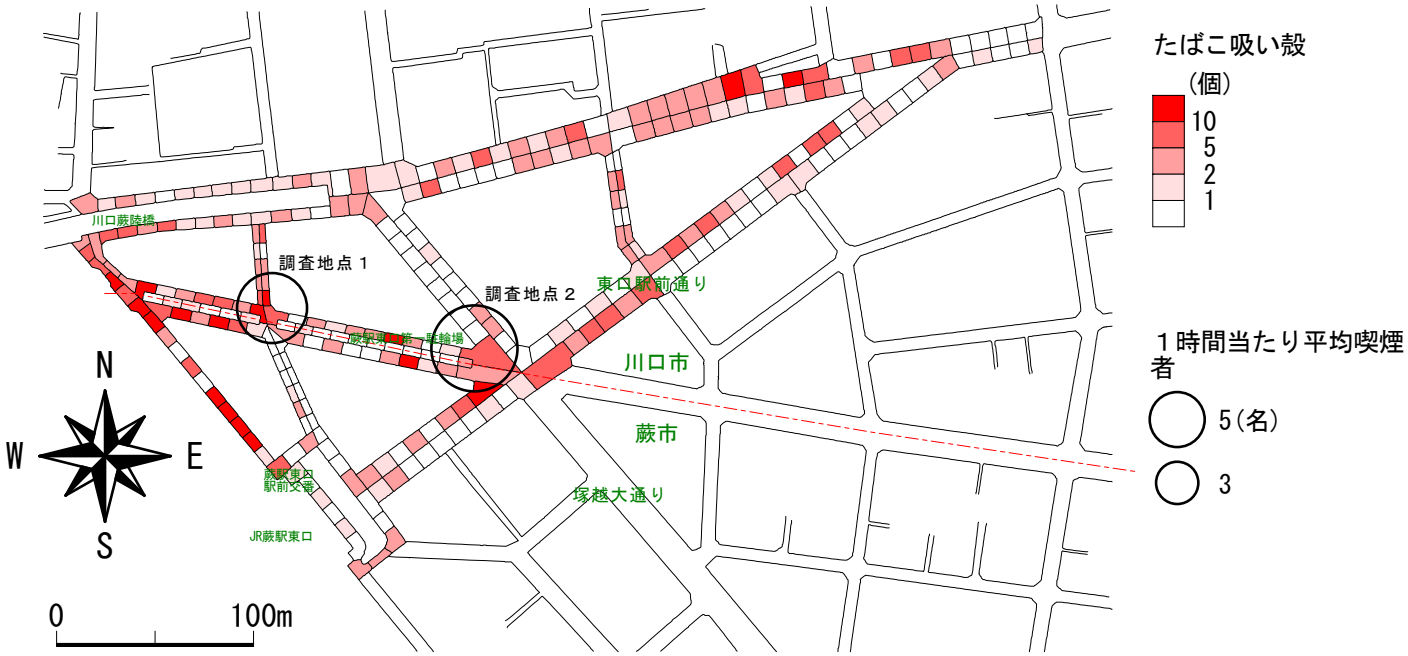

喫煙率



図表 3-18　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（平日）【蕨駅】



図表 3-19　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（休日）【蕨駅】



## （６）東川口駅

①歩行者・自転車運転者･喫煙者の現状

東川口駅での平均歩行者数は、平日は調査地点２が多く、2,125 人／時であった。休日は調査地点１が多く、1,701 人／時であった。

平均自転車運転者数は、調査地点３が平日・休日ともに多く、平日 152 人／時、休日 149 人／時であった。

喫煙率は、平日は調査地点３が高く、0.8％であった。休日は調査地点９が高く、0.9％であった。なお、東川口駅周辺は、平成 24 年７月から路上喫煙禁止地区が設定されている。調査地点７・８は、県道を挟んで禁止地区の内外に位置している。この２地点の結果からは、大きな違いは見られなかった（図表 3-20)。

また、指定喫煙場所（３ヶ所）の利用者数は、喫煙場所Ａ（駅北口）では、平日で 53 人／時、休日で 30 人／時、喫煙所Ｂ（交番前）では平日で 41 人／時、休日で 16 人／時、喫煙所Ｃ（駅南口）では、平日で 41 人／時、休日で 22 人／時、であった（図表 3-21～22)。

②喫煙状況等の推移と考察

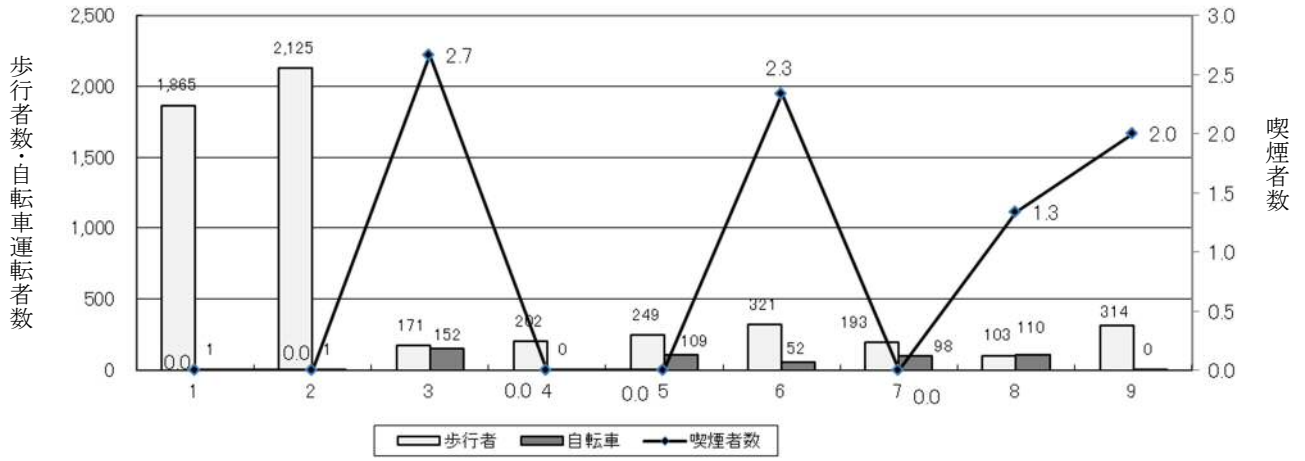
東川口駅における喫煙率は、前回の平成 20 年度調査では、平日で 0.8％だったが、今回調査では 0.1％と低下している。一方で、前回の平成 20 年度調査では休日は 1.3％だったが、今回調査では 1.5％で増加している。(図表 3-2)。

平成 24 年７月に、路上喫煙禁止地区が指定されている。喫煙率をみると、路上での喫煙者が減少しているとは言えず、路上喫煙禁止地区の指定が市民の間に浸透していないと考えられる。今後も周知・啓発活動を進めていくことが必要と考えられる。

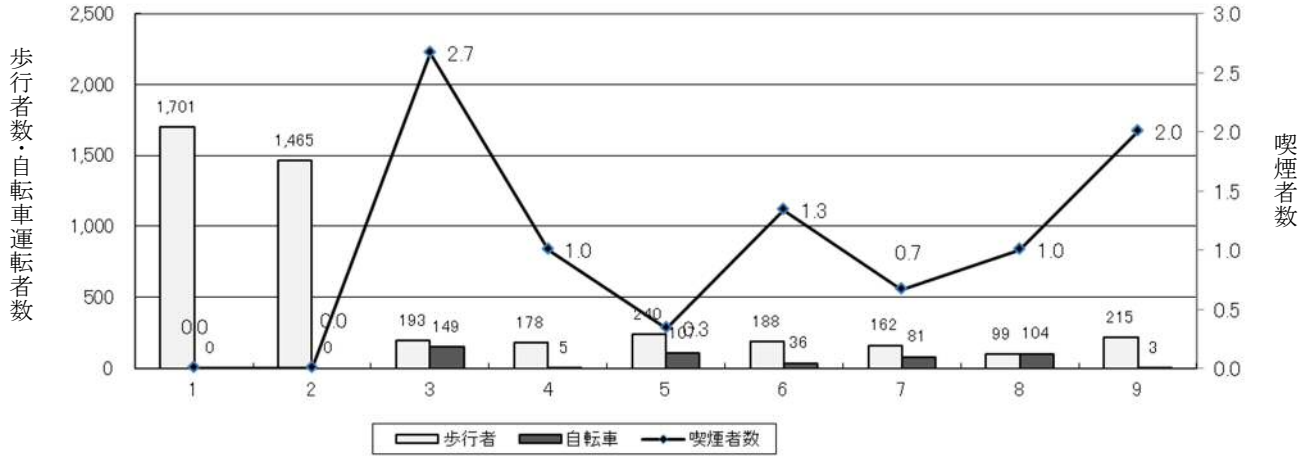
指定喫煙所の利用者

図表 3-20　１時間当たり平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数【東川口駅】

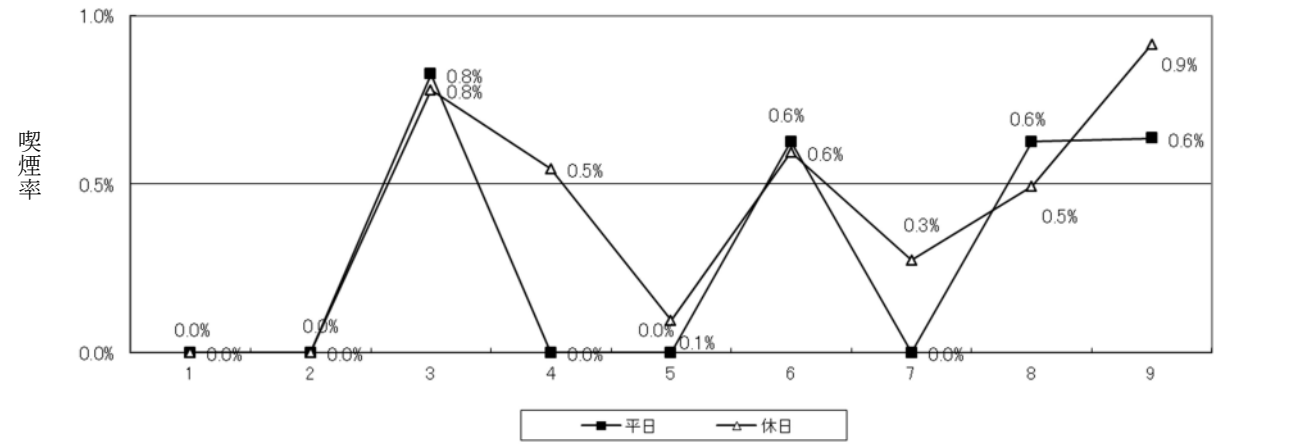
平日



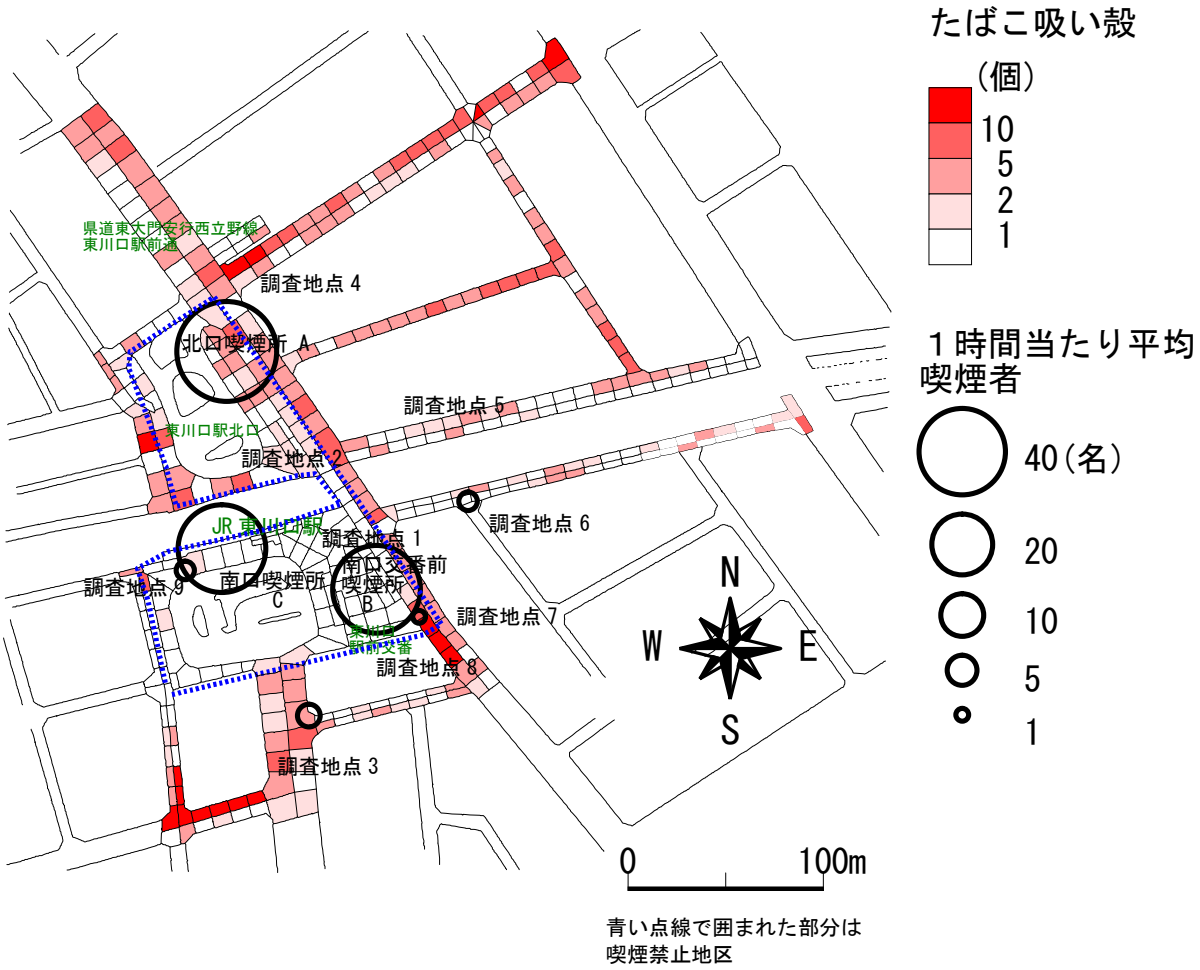

休日



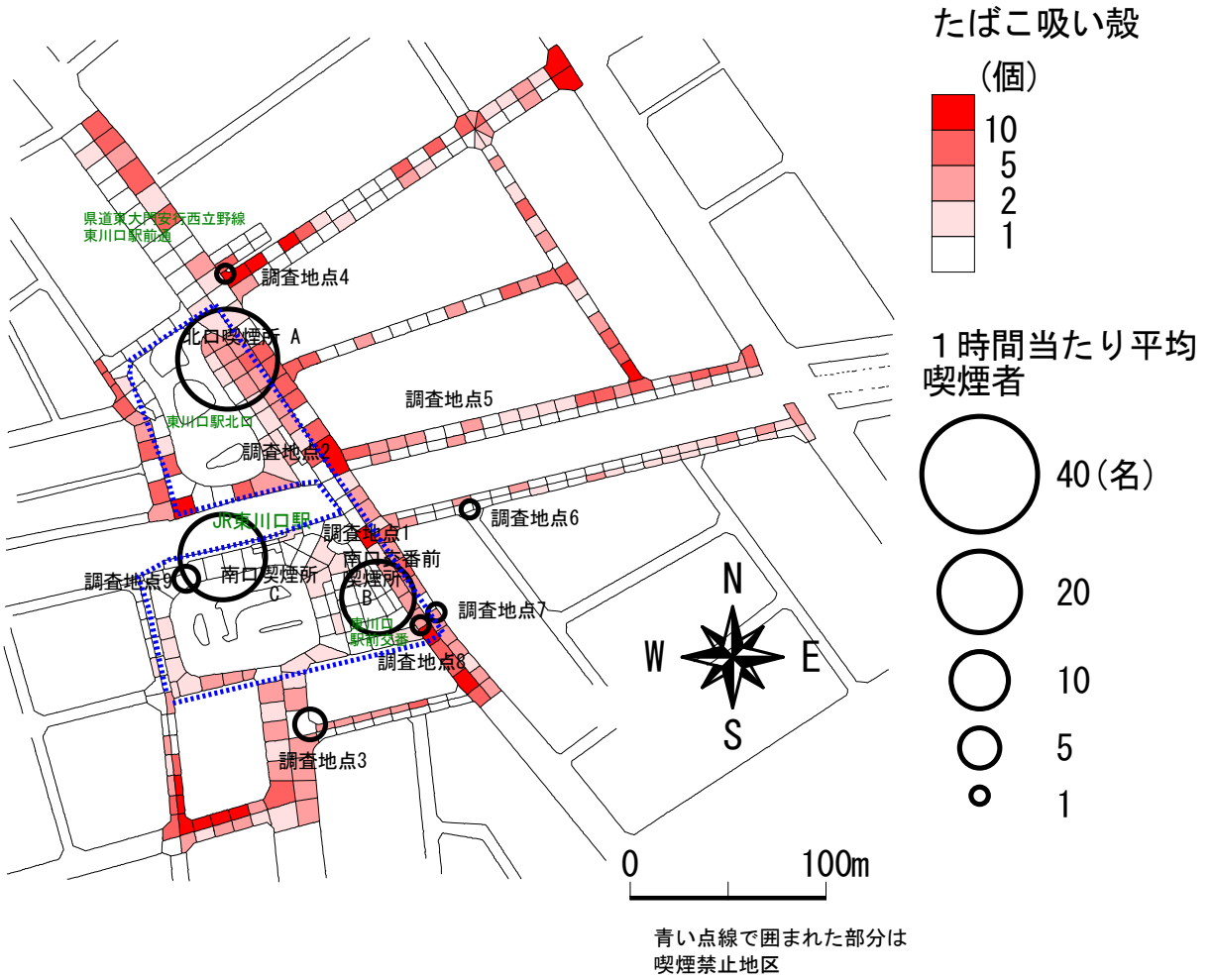

喫煙率



図表 3-21　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（平日）【東川口駅】



図表 3-22　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（休日）【東川口駅】



### （７）川口元郷駅

①歩行者・自転車運転者･喫煙者の現状

川口元郷駅での平均歩行者数は、平日・休日ともに調査地点３が多く、平日は 156 人／時、休日は 150 人／時であった。

平均自転車運転者数は、調査地点３が平日・休日ともに多く、平日 182 人／時、休日 148 人／時であった。ついで、調査地点１が多く、平日 175 人／時、休日 138 人／時であった。

平均喫煙者数は、平日・休日ともに調査地点２が多く、ともに 2.0 人であった。

喫煙率は、平日・休日ともに調査地点２が高く、平日は 1.4%、休日は 1.2%であった（図表 3-23)。

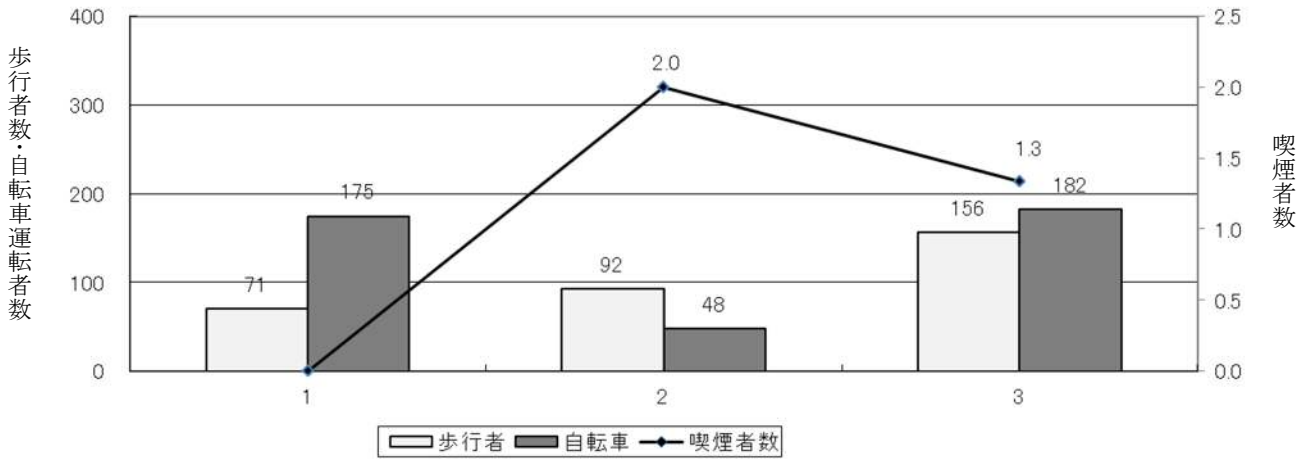
②喫煙状況等の推移と考察

川口元郷駅における喫煙率は、平成 17 年度調査では、平日で 3.3%、休日で 2.2%だったが、今回調査では平日で 0.7%、休日で 1.1%と低下している。(図表 3-2)。

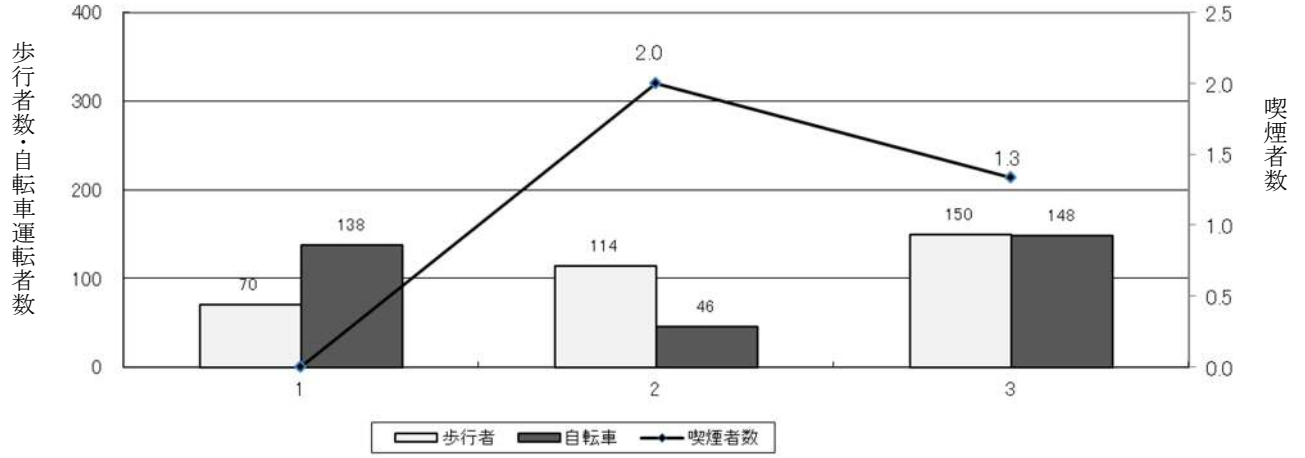
すでに考察したとおり、川口元郷駅周辺のたばこの吸い殻の散乱は、他地域に比べると平均的な水準にある（114 頁)。たばこの吸い殻の散乱は、元郷 1 丁目 2 番地付近、栄町 1 丁目 13 番地での散乱が比較的多かった。

図表 3-23　１時間当たり平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数【川口元郷駅】

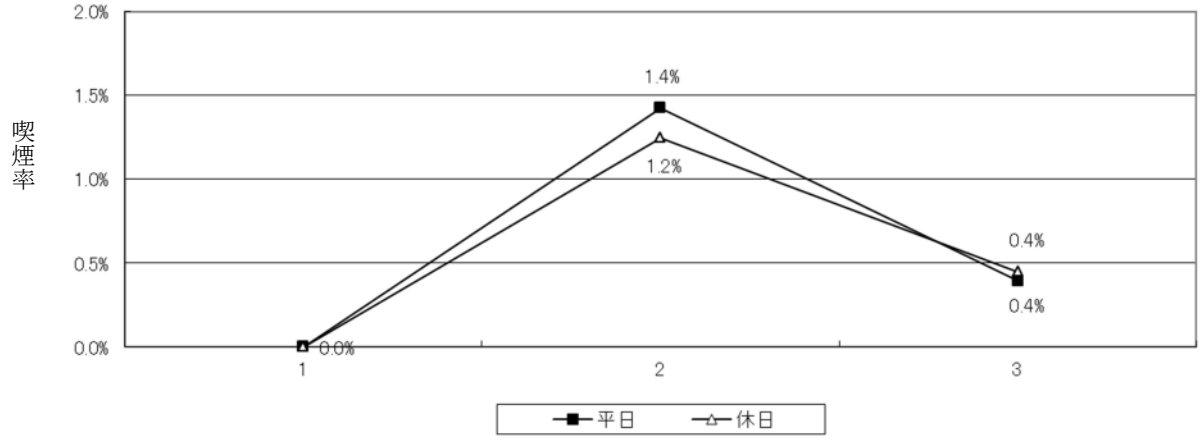
平日



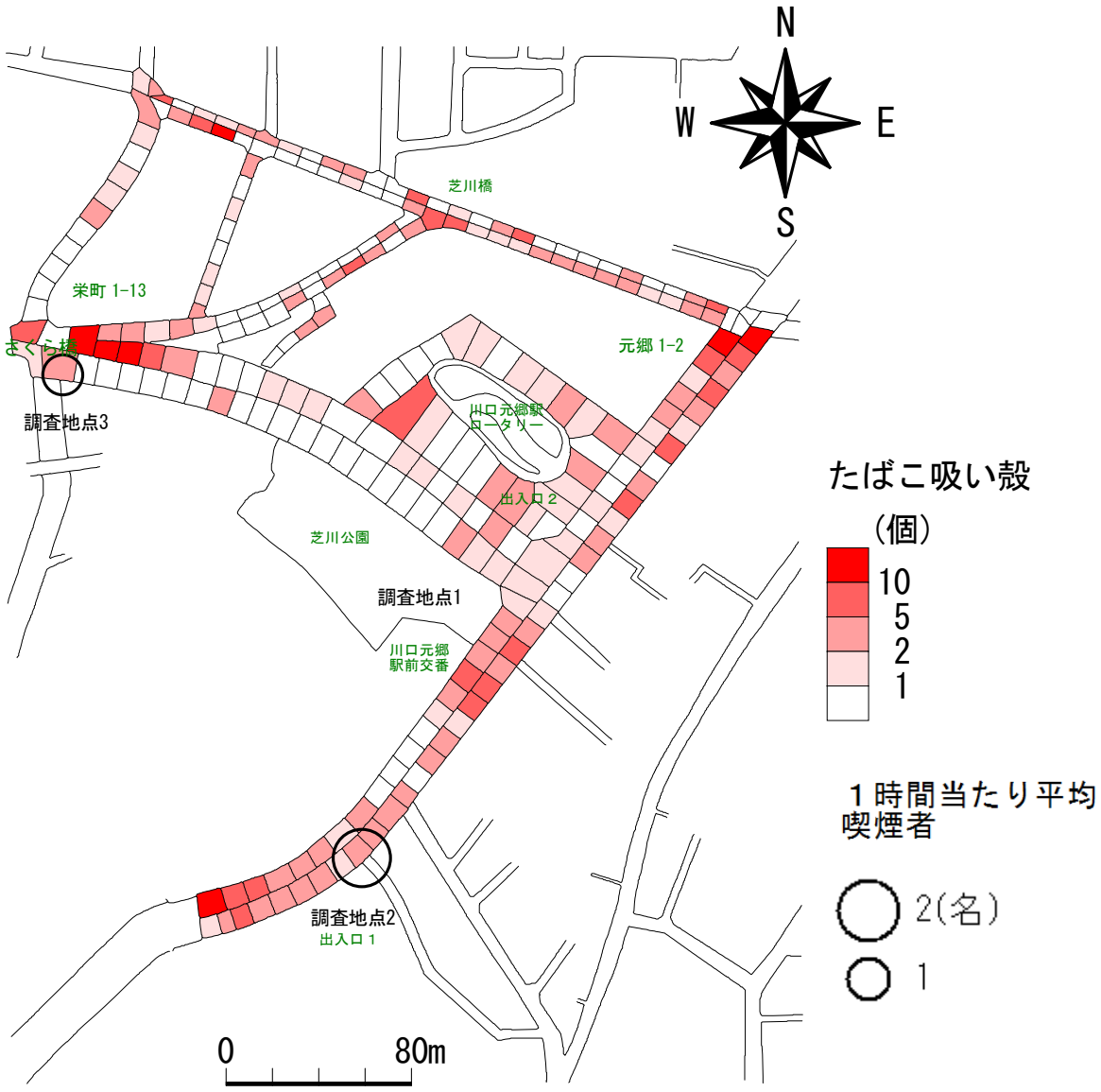

休日



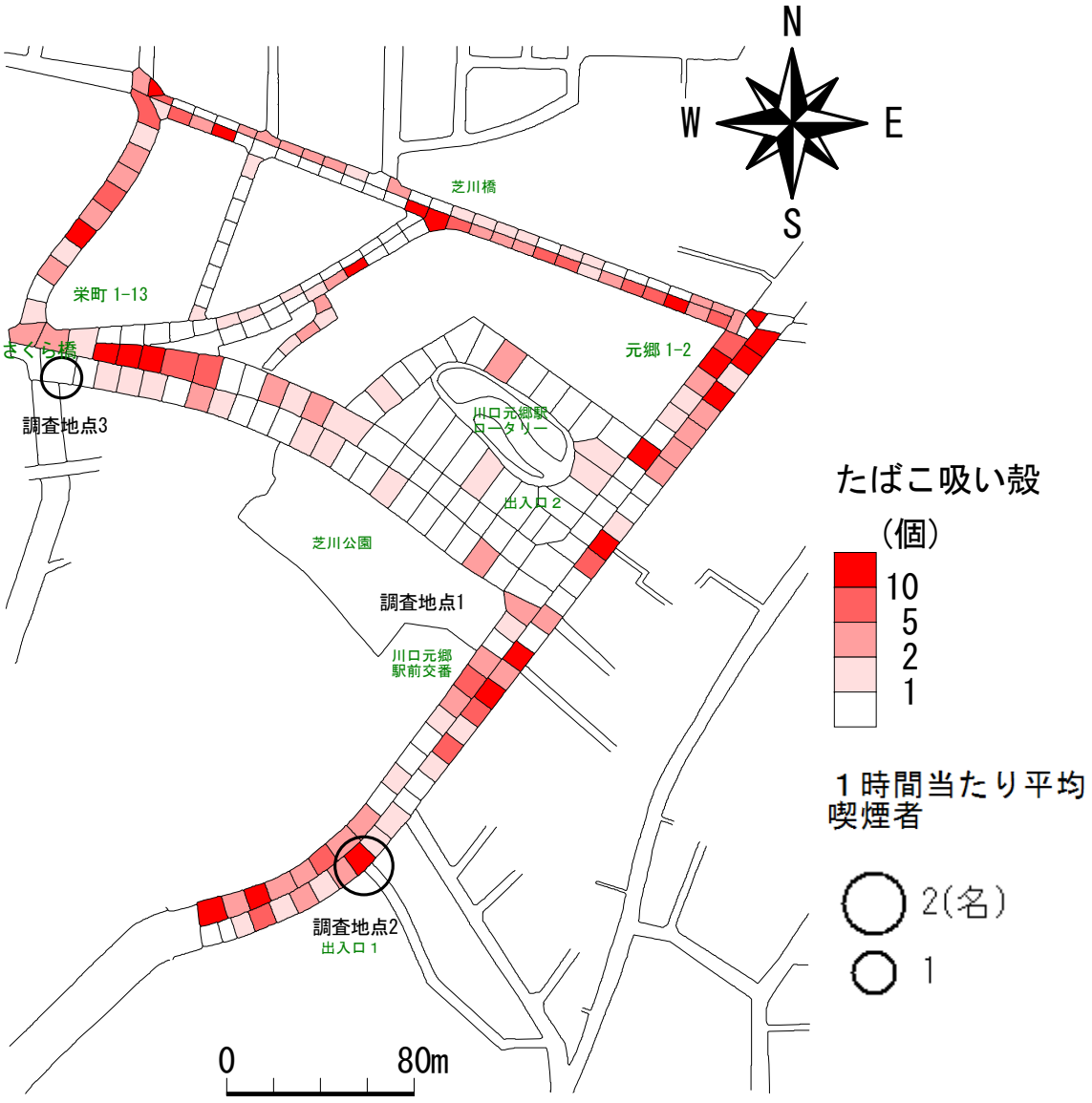

喫煙率



図表 3-24　　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（平日）【川口元郷駅】



図表 3-25　　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（休日）【川口元郷駅】



### （８）南鳩ヶ谷駅

①歩行者・自転車運転者･喫煙者の現状

南鳩ヶ谷駅での平均歩行者数は、平日は調査地点３が多く、259 人／時であった。休日は、調査地点２が多く、125 人／時であった。

平均自転車運転者数は、調査地点２が平日･休日ともに多く、平日 72 人／時、休日 60 人／時であった。次いで、調査地点４が多く、平日 40 人／時、休日 41 人／時であった（図表 3-26)。

平均喫煙者数は、平日・休日ともに調査地点３が多く、平日は 5.7 人／時、休日は 3.7／時であった。

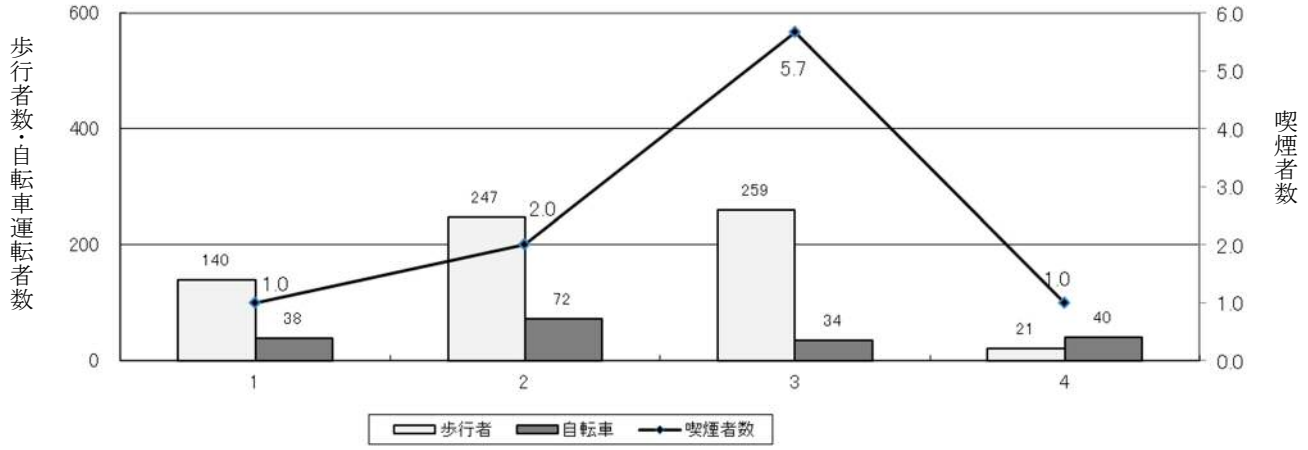
喫煙率は、平日・休日ともに調査地点３が高く、平日は 1.9%、休日は 2.9%であった。

②喫煙状況等についての考察

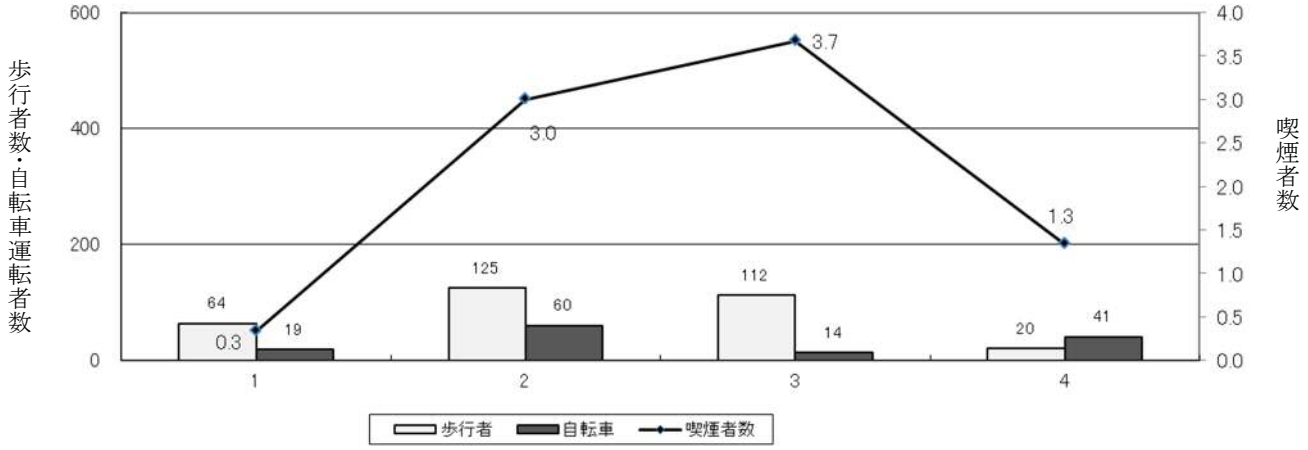
南鳩ヶ谷駅は、今回調査から調査対象になったので、比較するべきデータがない。利用者も比較的少ないため（1 日 6,010 人、図表 3-1)、たばこの吸い殻等の散乱は少ない。今後もこうした水準を維持していくために、啓発活動を継続していくことが必要と考えられる。

図表 3-26　　1時間当たり平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数【南鳩ヶ谷駅】

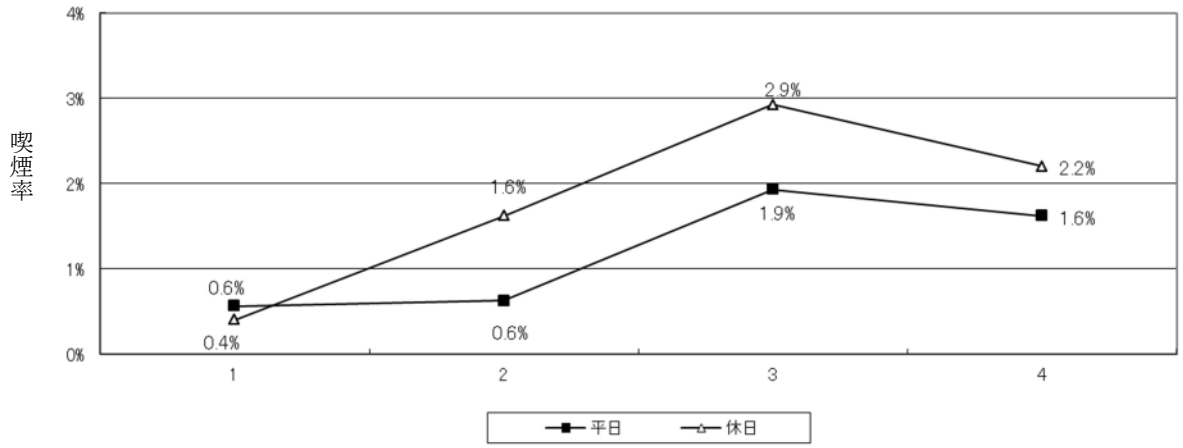
平日



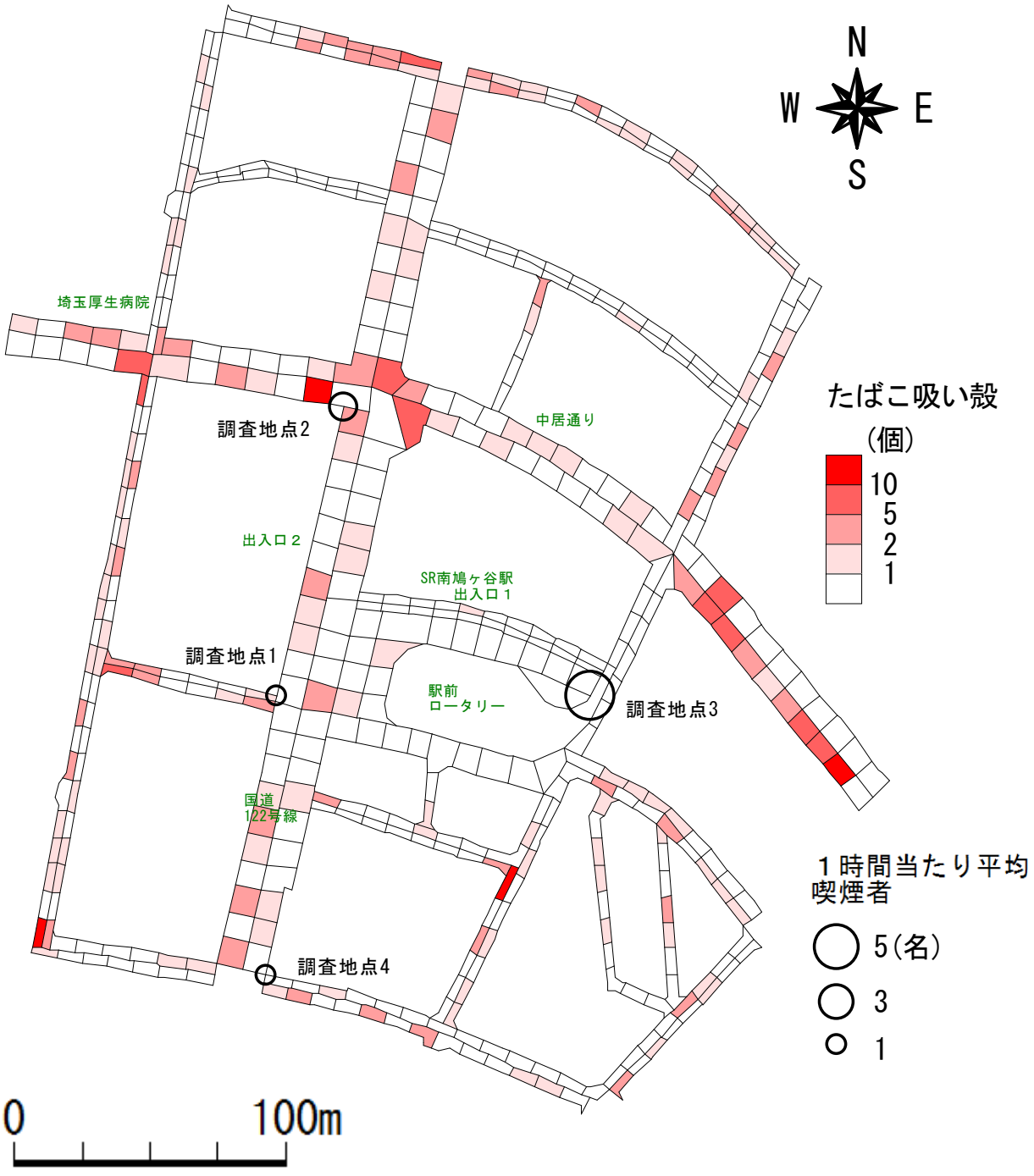

休日



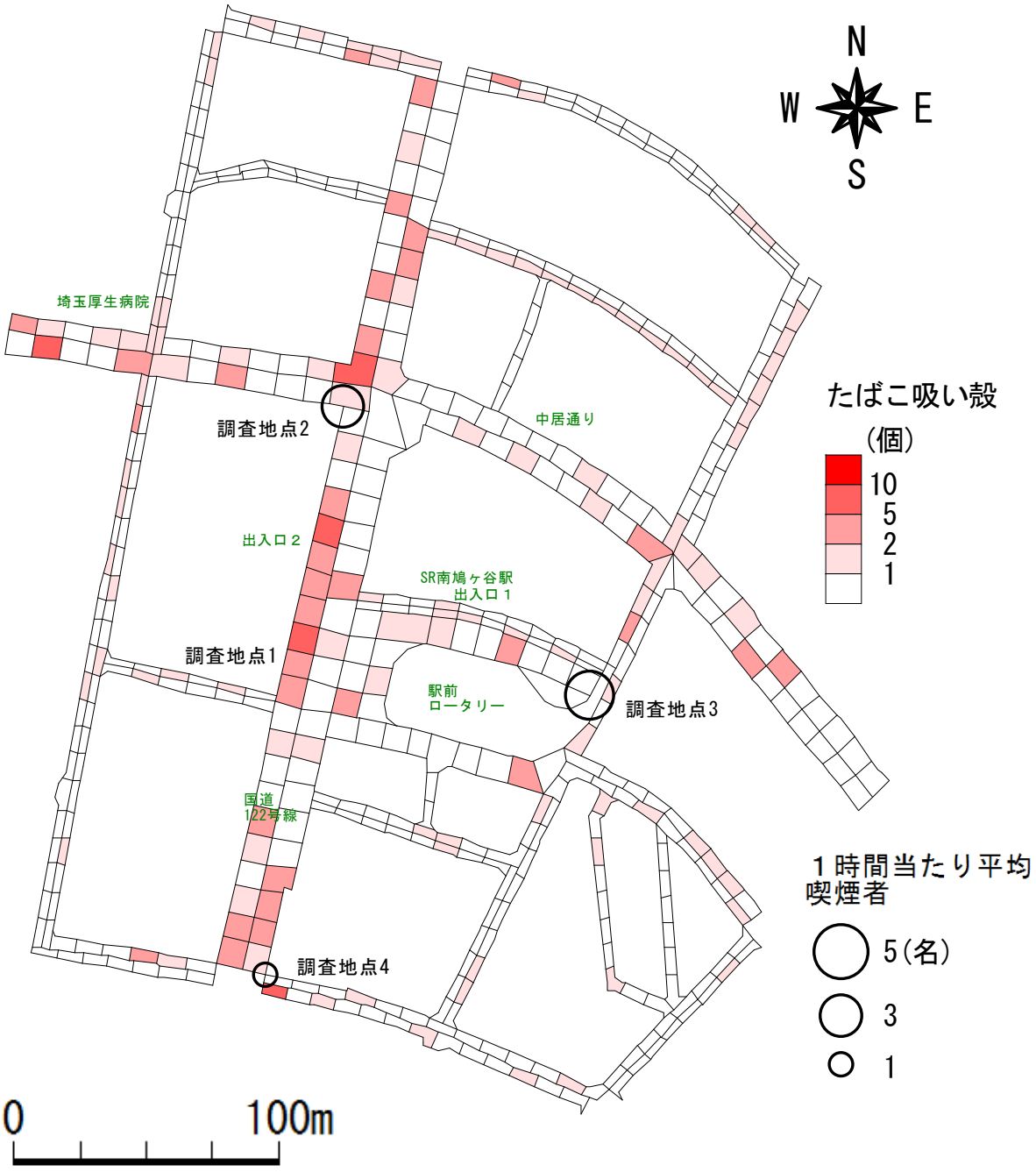

喫煙率



図表 3-27　　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（平日）【南鳩ヶ谷駅】



図表 3-28　　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（休日）【南鳩ヶ谷駅】



### （９）鳩ヶ谷駅

①歩行者・自転車運転者･喫煙者の現状

鳩ヶ谷駅での平均歩行者数は、平日・休日ともに調査地点５が多く、平日は 347 人／時、休日は 212 人／時であった。ついで、調査地点１が多く、平日は 250 人／時、休日は 193 人／時であった。

平均自転車運転者数は、調査地点４が平日・休日ともに多く、平日 53 人／時、休日 40 人／時であった（図表 3-29)。

平均喫煙者数は、平日は調査地点２が多く、2.7 人／時であった。休日は、調査地点４が多く、3.0 人／時であった（図表 3-30～31)。

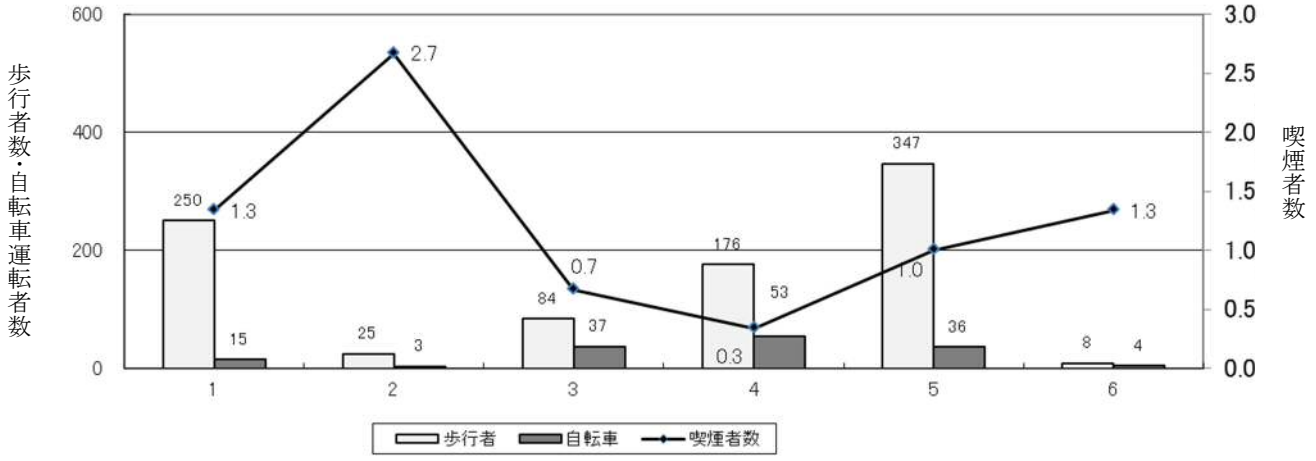
喫煙率は、平日・休日ともに調査地点６及び２が高いが、分母となる歩行者数が少ないので、この数字をもって論ずることは難しい（図表 3-29)。

②喫煙状況等についての考察

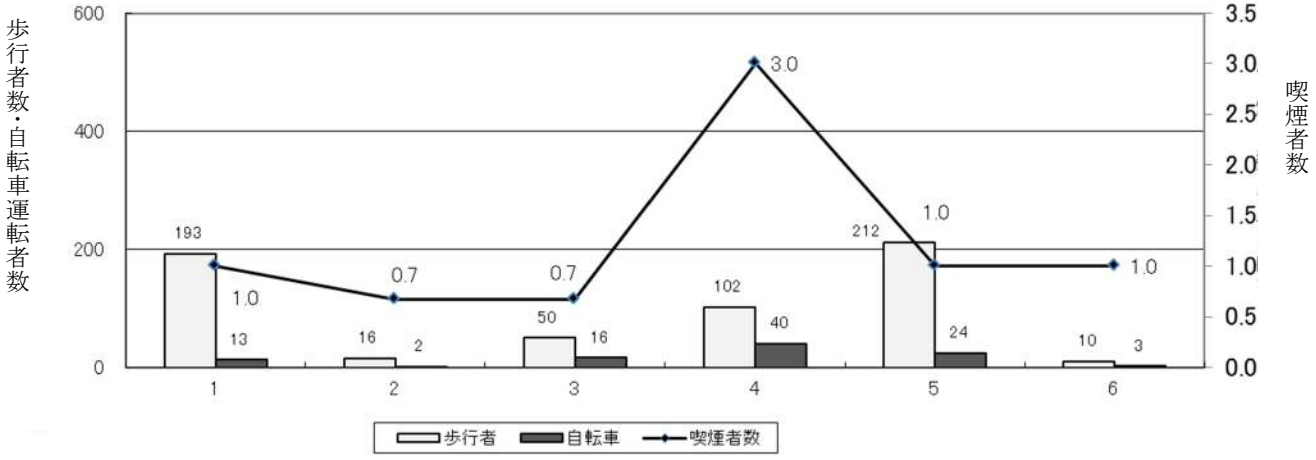
鳩ヶ谷駅は、今回調査から調査対象になったので、比較するべきデータがない。利用者も比較的少ないため（1 日 9,030 人、図表 3-1)、たばこの吸い殻等の散乱は最も少ない。今後もこうした水準を維持していくために、啓発活動を継続していくことが必要と考えられる。

図表 3-29　　1時間当たり平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数【鳩ヶ谷駅】

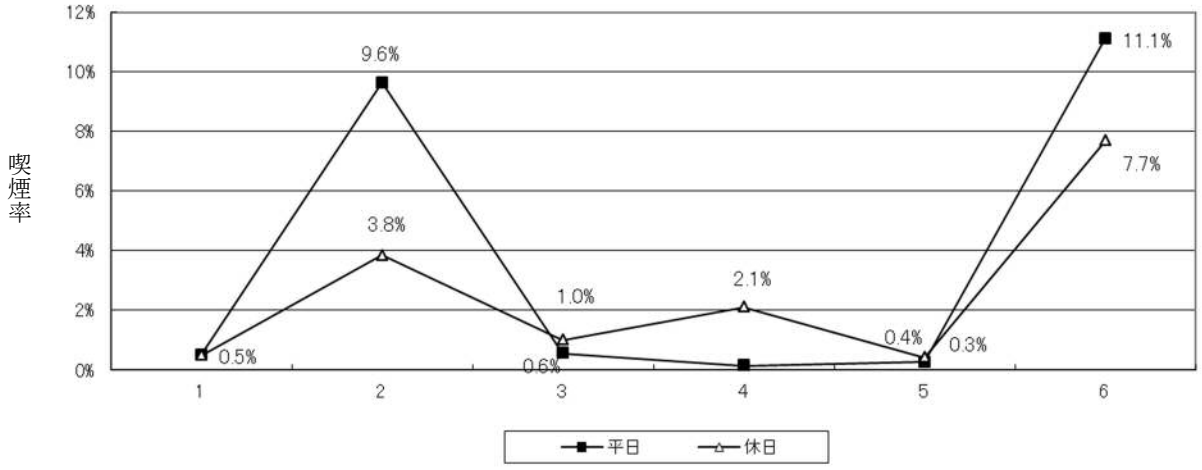
平日




休日

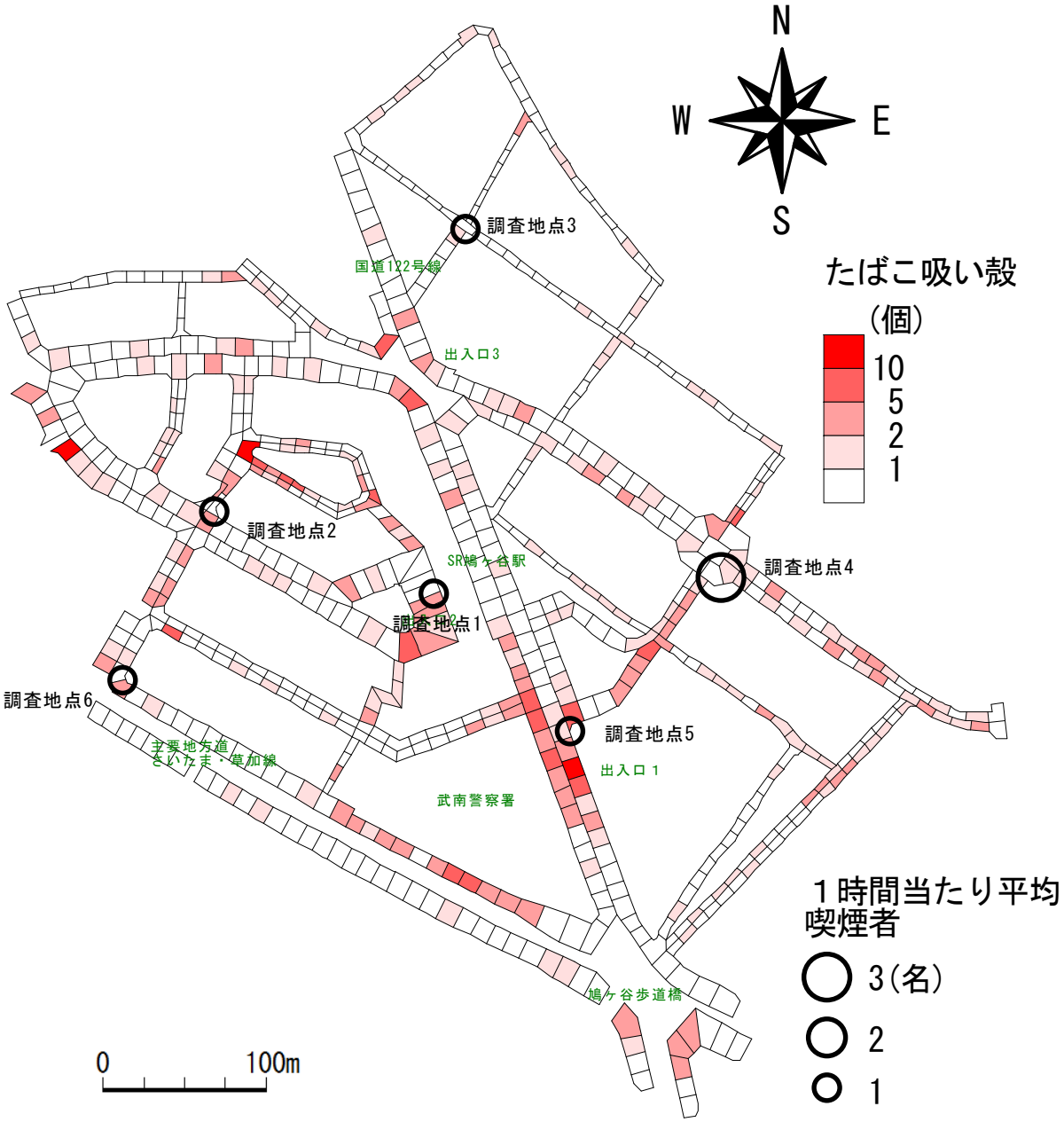



喫煙率



図表 3-30　　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（平日）【鳩ヶ谷駅】

図表 3-31　　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（休日）【鳩ヶ谷駅】



## （１０）新井宿駅

①歩行者・自転車運転者･喫煙者の現状

新井宿駅での平均歩行者数は、平日・休日ともに調査地点１が多く、平日は 184 人／時、休日は 109 人／時であった。

平均自転車運転者数は、平日は調査地点２が 75 人／時と最も多くなっているが、調査地点３は 72 人／時、調査地点１は 53 人／時で、調査地点によって大きな差はない。休日もまた、調査地点３が 54 人／時で多いが、調査地点２は 48 人／時、調査地点１は 40 人／時で、調査地点によって大きな差はない。

平均喫煙者数は、平日は調査地点１が多く、2.0 人／時であった。休日は、調査地点３が多く、2.3 人／時であった。

喫煙率は、平日は調査地点２及び３が 1.0％であった。休日は、調査地点３が高く、1.9％であった。(図表 3-32)

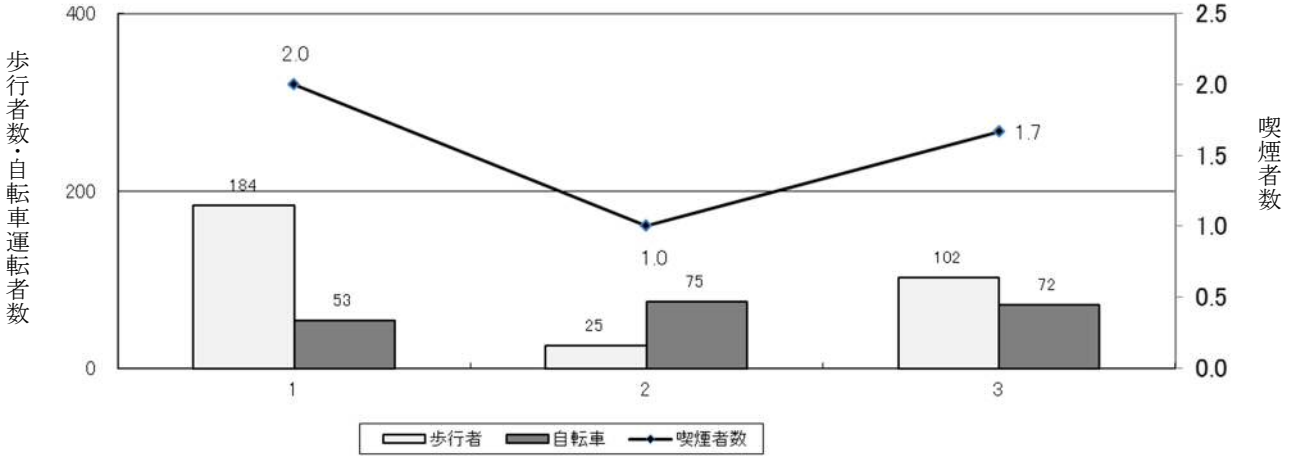
②喫煙状況の推移と考察

新井宿駅は、平成 20 年度には調査の対象となっていない。新井宿駅における喫煙率は、平成 17 年度調査では、平日で 1.9％、休日で 2.1％だったが、今回調査では平日で 0.9％、休日で 1.2％と低下している。(図表 3-2)。

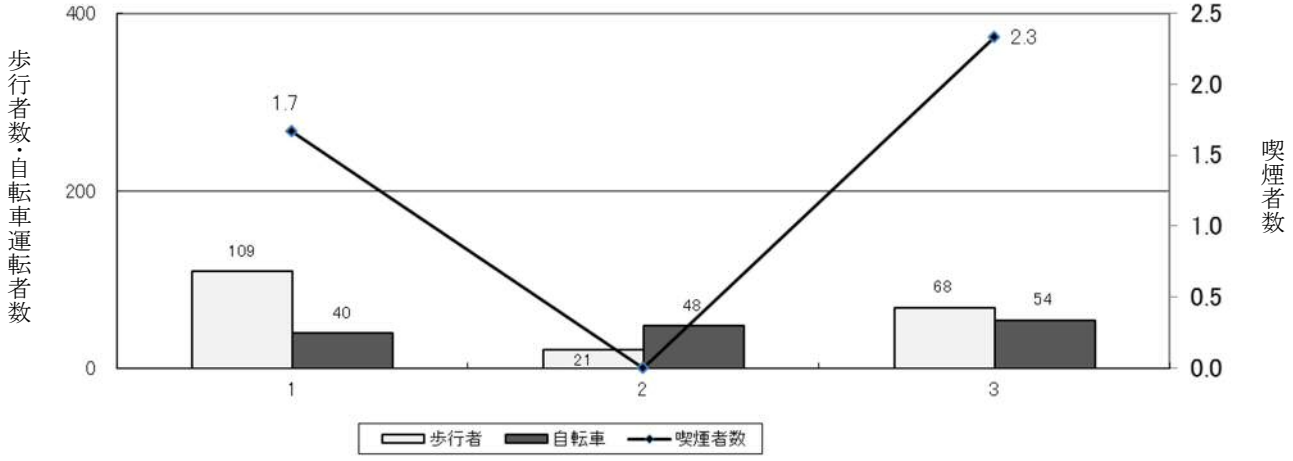
平成 17 年度調査では、新井宿駅東交差点、新井宿駅西交差点でたばこの吸い殻の散乱が多かったとされていた。今回調査では、交差点付近だけでなく、調査対象となった地域全体でたばこの吸い殻の散乱がみられた。他の地域に比べると、たばこの吸い殻等の散乱が多い地域なので、啓発・清掃活動の強化が必要といえる。

図表 3-32　　１時間当たり平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数【新井宿駅】

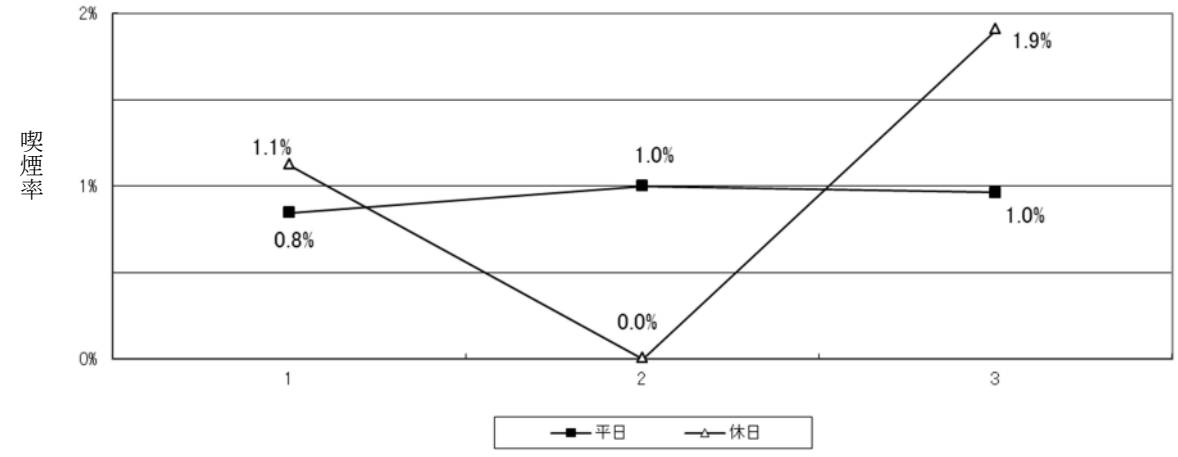
平日



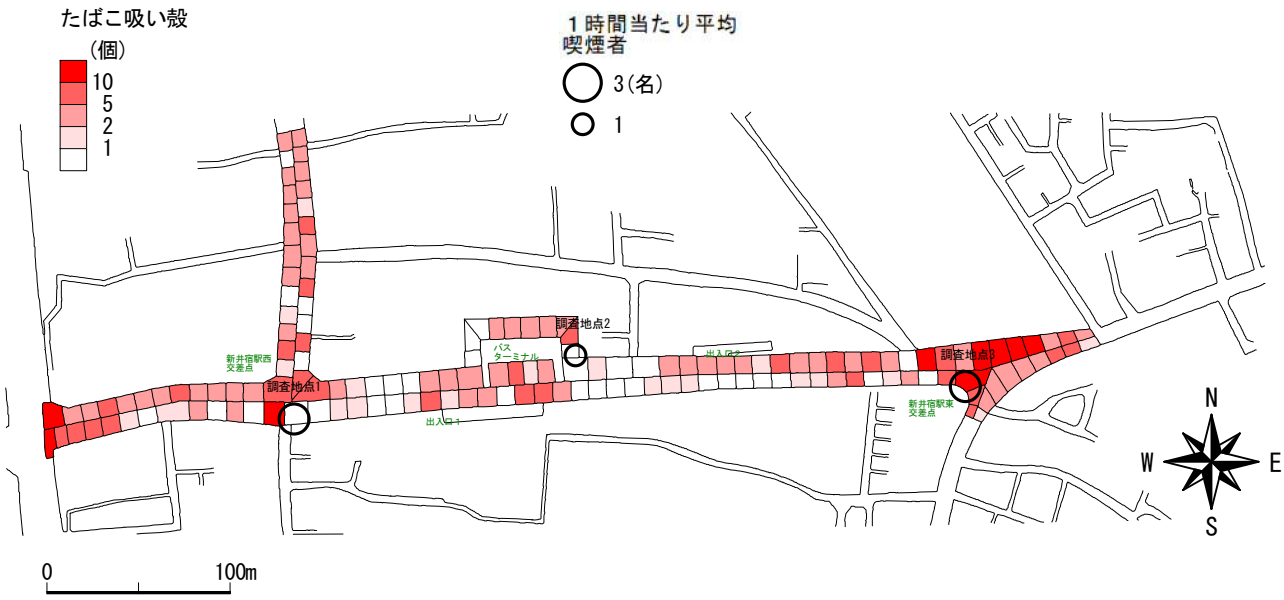

休日



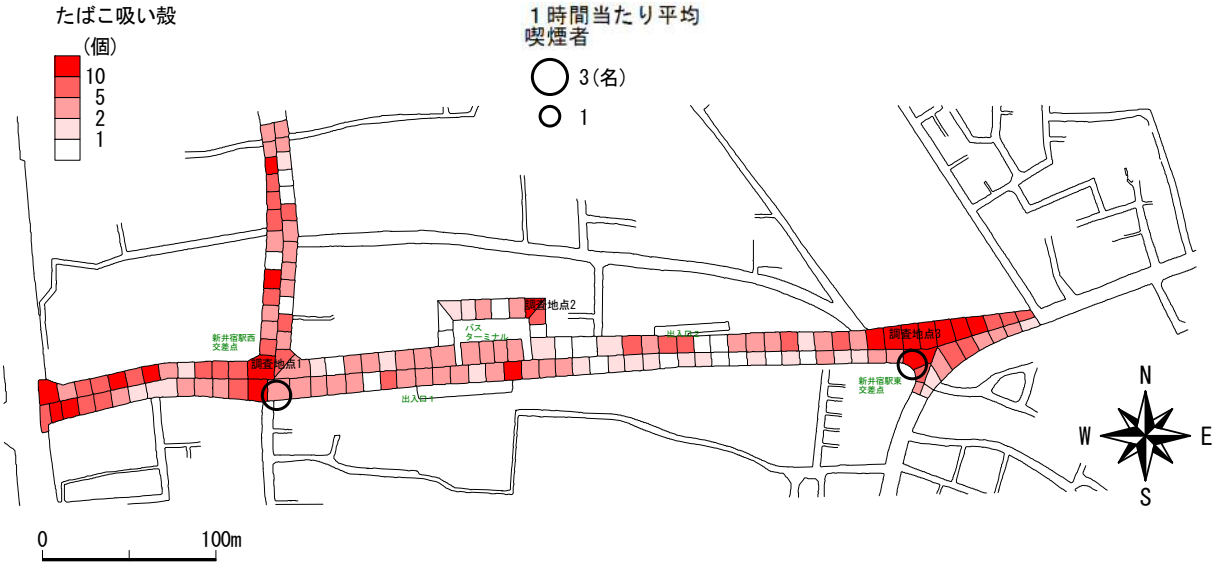

喫煙率



図表 3-33　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（平日）【新井宿駅】




図表 3-34　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（休日）【新井宿駅】



## （１１）戸塚安行駅

①歩行者・自転車運転者･喫煙者の現状

戸塚安行駅での平均歩行者数は、平日・休日ともに調査地点２（ＳＲ戸塚安行駅出入口２）が多く、平日は 334 人／時、休日は 141 人／時であった。

平均自転車運転者数は、平日は調査地点３・４・５が多く、63 人／時、70 人／時、54 人／時であった。休日も調査地点３・４・５が多く、35 人／時、30 人／時、31 人／時であった（図表 3-35)。

平均喫煙者数は、平日は調査地点４が多く、1.7 人／時であった。休日は、調査地点３・４・５が多く、それぞれ 0.7 人／時であった（図表 3-36～37)。

喫煙率は、平日は調査地点４が 1.2%であった。休日は、調査地点５が多く 1.5%であった(図表 3-35)。

②喫煙状況等の推移と考察

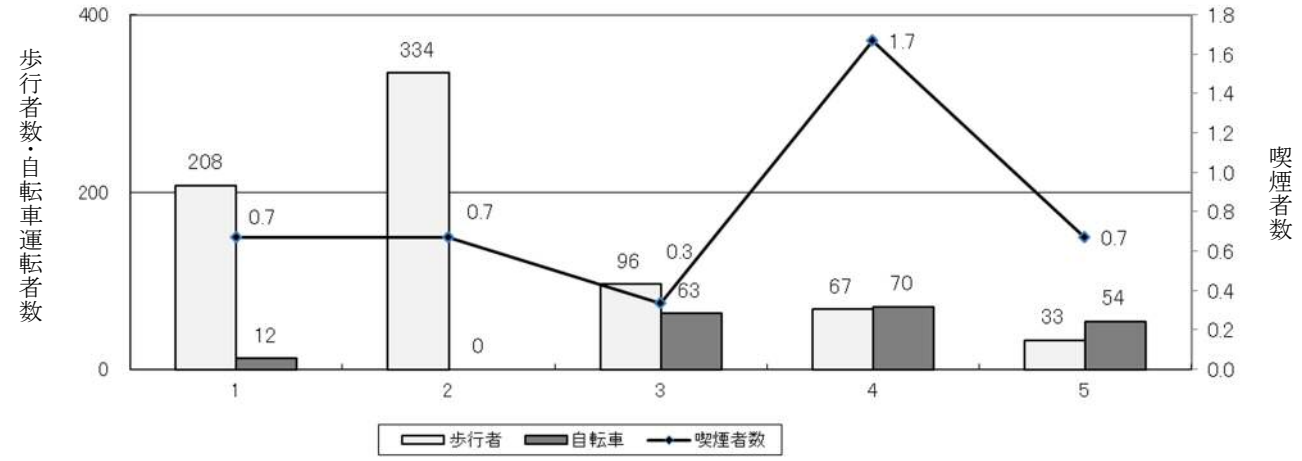
戸塚安行駅は、平成 20 年度には調査の対象となっていないが、平成 17 年度調査では、平日で 4.4%、休日で 3.8%だったが、今回調査では平日で 0.4%、休日で 0.5%と大きく低下している。(図表 3-2)。

平成 17 年度調査では、駅から離れた交差点、駐車場付近での散乱が多いと指摘されている。今回調査でも、交差点付近でのたばこの吸い殻の散乱が比較的多かった。

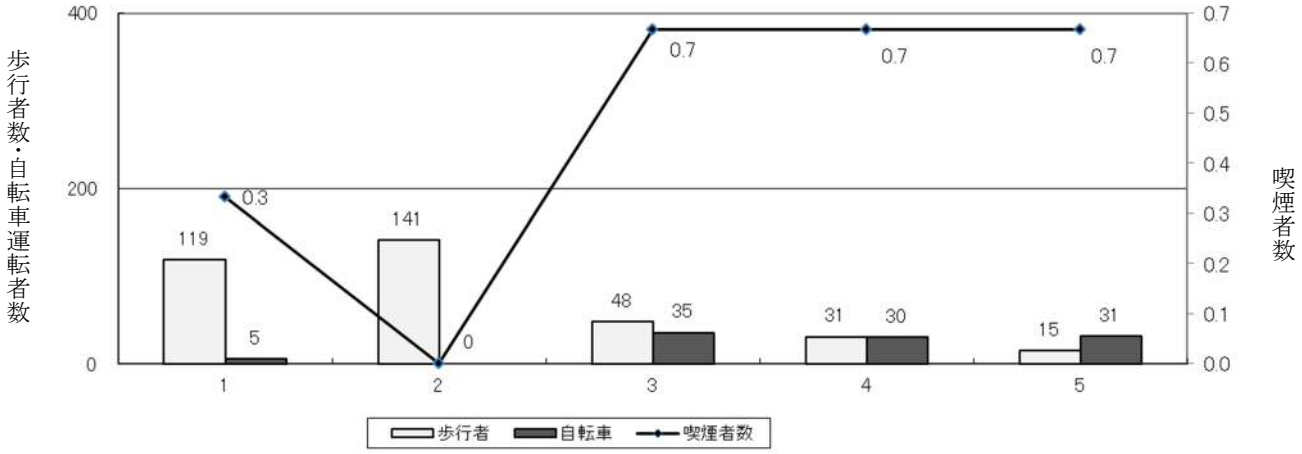
たばこの吸い殻の散乱は、他の地域に比べて比較的低く、こうした水準を維持するための啓発活動の継続が必要と考えられる。

図表 3-35　１時間当たり平均歩行者数・自転車運転者数・喫煙者数【戸塚安行駅】

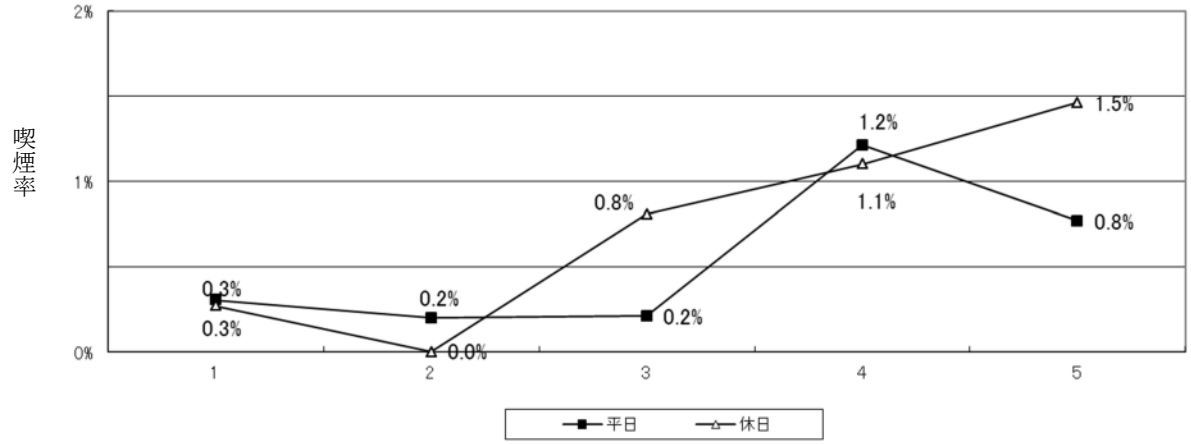
平日



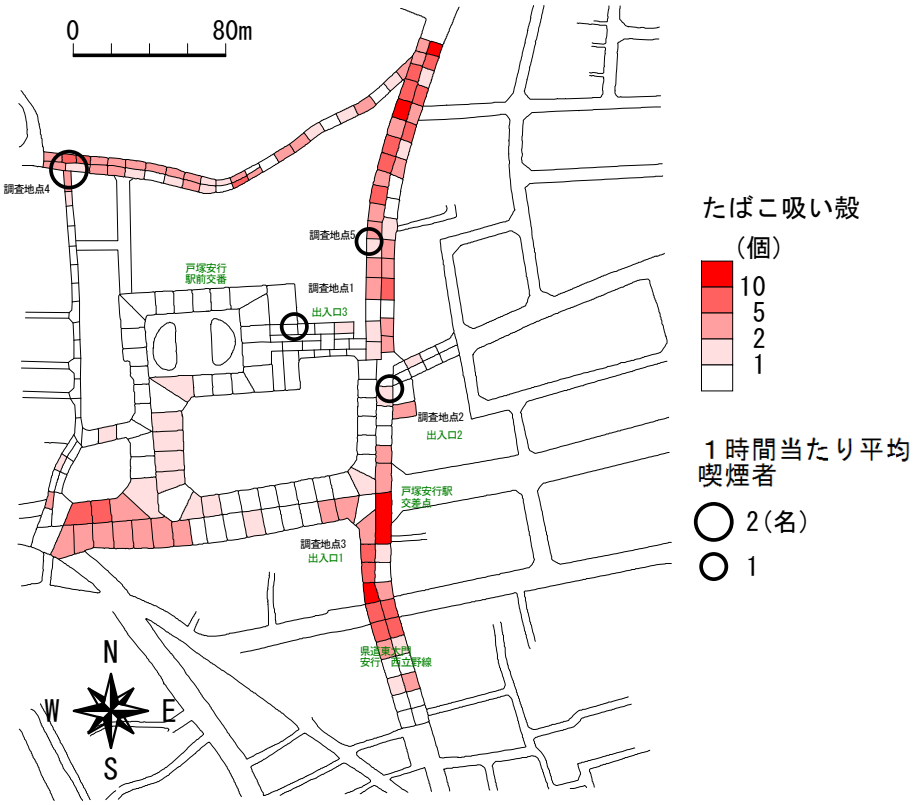

休日



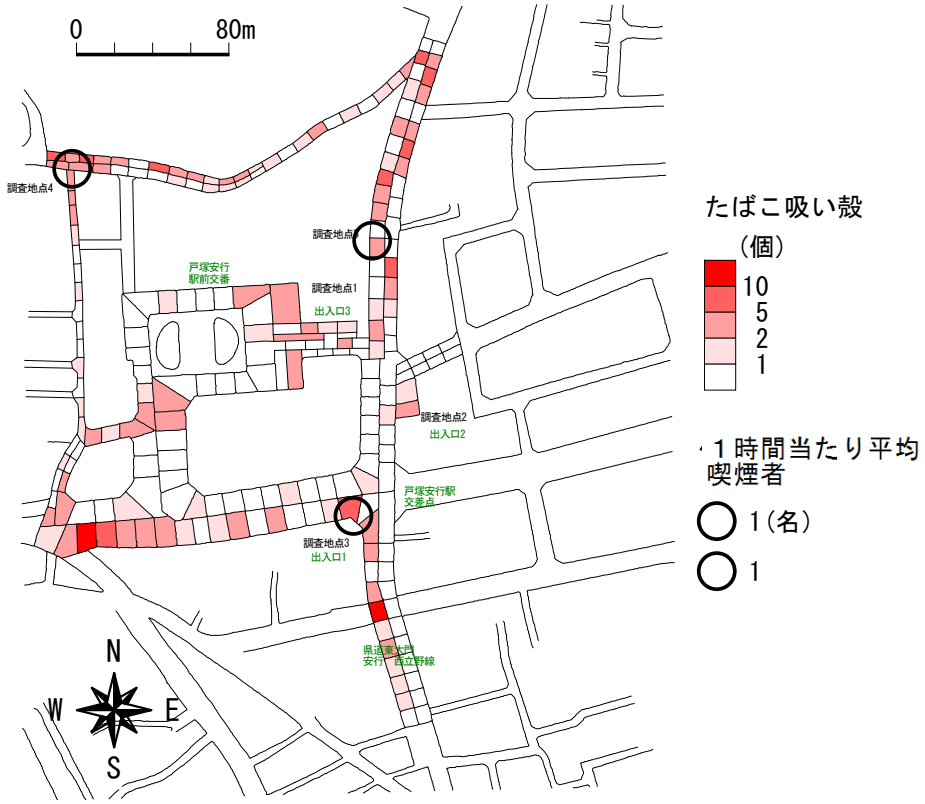

喫煙率



図表 3-36　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（平日）【戸塚安行駅】




図表 3-37　１時間当たり平均喫煙者数及びたばこの吸い殻の散乱状況（休日）【戸塚安行駅】



## ３－４．指定喫煙場所における喫煙状況

### （１）各地区の喫煙所の利用状況

それぞれの地区における指定喫煙所の利用者をまとめた（図表 3-38）。

①川口駅東口

指定喫煙場所で平均利用者数が多かったのは、キュポ・ラ広場に設置されている喫煙所で、平日は朝が最も使用されており、１時間あたり 169 人に利用されている。休日は、朝の利用者が比較的少なくなっている。駐輪場前の喫煙所も朝に利用者が多く、1 時間あたり 103 人に利用されている。

朝・昼・夜の平均では、キュポ・ラ広場の喫煙所は、平日で 129 人/時、休日で 118 人/時となっている。駐輪場前の喫煙所は、平日で 70 人/時、休日で 58 人/時となっている。２か所の喫煙所を合わせると、平日で 199 人/時、休日で 176 人/時が利用している。

平成 20 年度に実施された前回調査では、川口駅東口に設置された３か所の喫煙所の合計利用者数は、平日で 258 人/時だった。このうち最も利用者が多かったのは、昨年廃止されたベックスコーヒー前（ペデストリアンデッキ上）の喫煙所だった。ペデストリアンデッキ上のたばこの吸い殻の散乱はほとんどないことから、喫煙所の撤去は散乱防止の観点からは大きな影響はなかったものといえる。

②川口駅西口

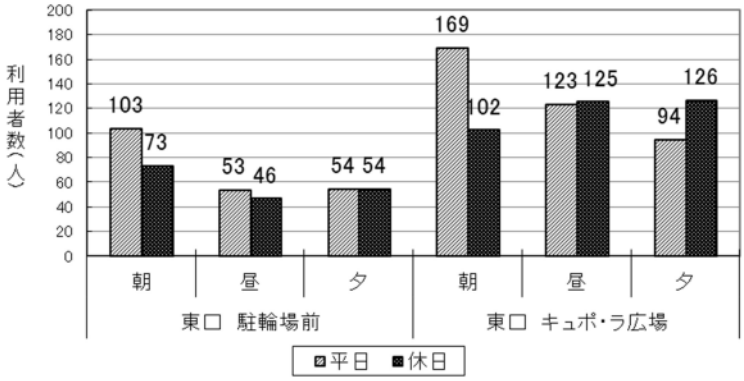
指定喫煙場所で平均利用者数が多かったのは、デッキ上に設置されている喫煙所で、平日は朝が最も使用されており、１時間あたり 115 人に利用されている。休日も、デッキ上の夕方が多く１時間あたり 62 人に利用されている。タクシープール前（地上）の喫煙所も朝に利用者が多く、平日１時間あたり 96 人に利用されている。休日は、最も利用される時間帯は昼で、43 人/時が利用している。

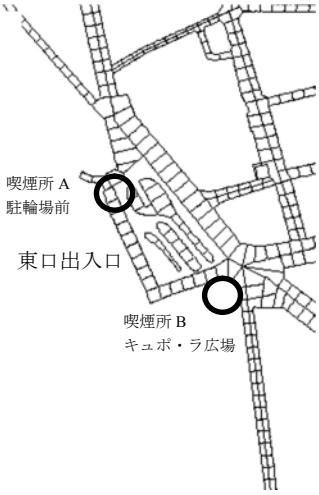
③東川口駅

指定喫煙場所で平均利用者数が多かったのは、北口に設置されている喫煙所で、平日は朝に最も使用されており、１時間あたり 94 人に利用されている。休日は、夕の利用者が多い。朝・昼・夕の平均利用者数は、平日で 53 人/時となっている。南口交番前の喫煙所及び南口に設置されている喫煙所は、ともに平日で 41 人/時となっている。109 頁に記述した通り、東川口駅でのたばこの吸い殻の散乱は、平成 20 年度調査に比較すると半分程度に改善していることから、指定喫煙場所設置の効果はあったと考えられる。

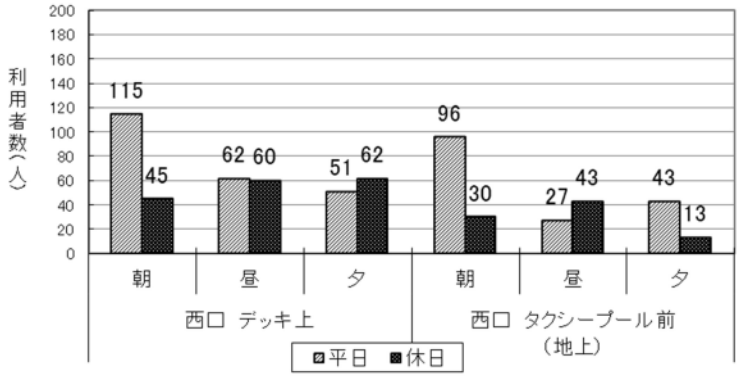
図表 3-38 指定喫煙場所の利用状況

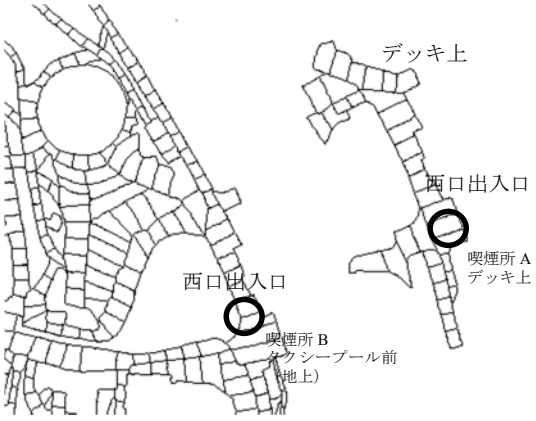
川口駅東口



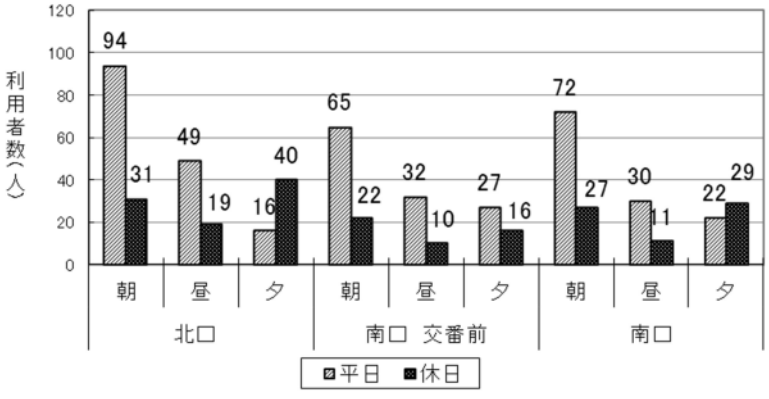



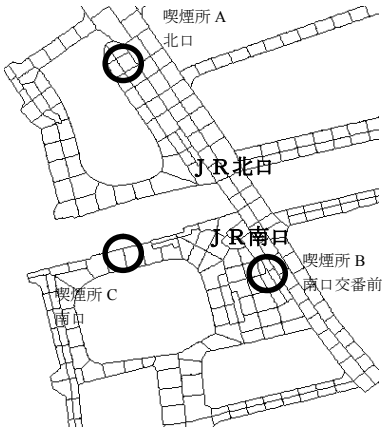

川口駅西口




東川口駅

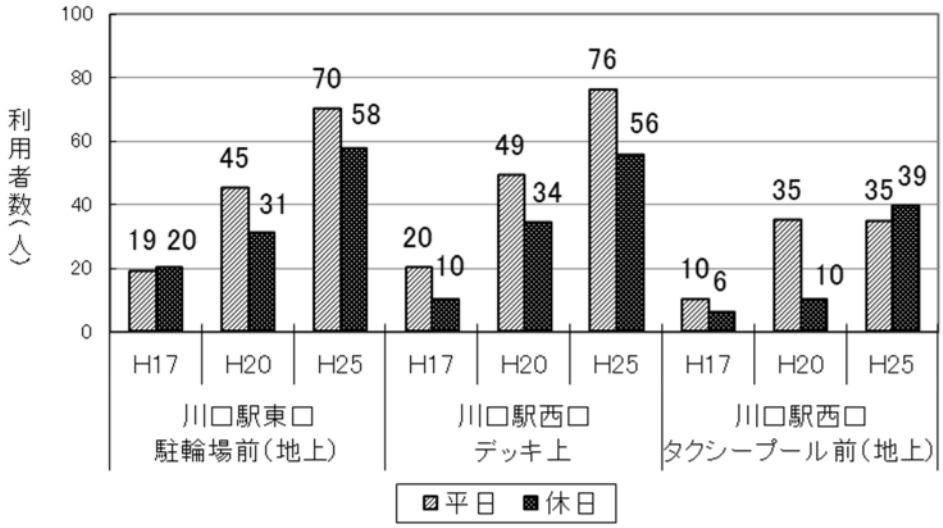


### （２）利用状況の推移

過去の調査結果があり、比較可能な３つの喫煙所における利用者数の変化を図表 3-39 に示す。喫煙所の利用者数は、次第に増えてきている傾向がみられる。喫煙者のマナーが向上し、歩行中に喫煙することが少なくなり、喫煙所の利用が増えていると考えられる（図表 3-39)。

図表 3-39 指定喫煙場所の１時間あたりの利用者数の推移



# Ⅲ．考察

## １．たばこの吸い殻は、散乱ごみの半分以上

たばこの吸い殻が散乱ごみ全体の中に占める割合は、路上部分のみでみると、平日・休日ともに60%を超えている（図表 2-4、図表 2-5)。植栽部分を含めた集計結果でも、たばこの吸い殻が半数以上となっている（図表 2-6、図表 2-7)。前回の平成 20 年度調査でも、「全体的にみると散乱ごみに占めるたばこの吸い殻の割合は路上部分のみ及び路上部分＋植栽部分で約 60%」と報告されている。たばこの吸い殻は、依然、散乱ごみの過半数を占めており、対策の継続が必要といえる。

なお、散乱ごみの中で次に多いのが紙くずで、約 20%であった。飲料容器類は約 2%であった。この傾向は、平成 20 年度調査でも報告されており、散乱ごみの組成には変化がないと言える。

## ２．喫煙率は減少傾向－喫煙ルールの浸透

路上での喫煙者は、継続して減少傾向にある。平成 16 年度調査では平日の喫煙者率は全調査地点平均で 2.0%だったが、平成 17 年度調査では 1.7%、平成 20 年度調査では 0.6%、今回の調査では 0.2%に減少している。休日でも同様に、平成 16 年度と平成 17 年度は 2.0%だったが、平成 20 年度は 0.6%、今回の調査では 0.5%となっている（図表 3-2)。路上喫煙率は、鳩ヶ谷駅周辺・蕨駅周辺（特に休日）で比較的高かったが、全体として低下傾向にある。

全国で成人人口に対する喫煙の習慣がある人の割合は、女性は 10%程度で、近年変化はないが、男性は、平成元年には 55%であったものが、平成 24 年には 34.1%に減少している（「成人喫煙率（厚生労働省国民健康栄養調査」)。今回の調査で見られた路上喫煙率の低下は、こうした成人喫煙率の低下という社会的な背景が一因と考えられる。

しかし、今回の調査及びこれまでの調査でみられた路上喫煙率の低下は、成人喫煙率の低下を上回っており、「川口市飲料容器等の散乱の防止に関する条例」（平成 16 年）及び「川口市路上喫煙の防止等に関する条例」（平成 17 年）による取り組みの効果と考えられる。

## ３．喫煙所設置の効果

今回の調査では、指定喫煙所の利用者数が増加傾向にあることが確認できた（図表 3-39)。

指定喫煙所の利用方法としては、喫煙所においてたばこに火をつけて吸うという利用方法が想定されている。こうした利用法のほかに、駅に向かって歩きながらたばこを吸い、指定喫煙所に設置されている灰皿に吸い殻を捨てるというケースもあり、前回の調査においてもこうしたことが指摘されている（注)。たばこの吸い殻の散乱防止につながっていると考えられるものの、路上喫煙を禁止する条例の趣旨に反する利用法といえる。

なお、路上喫煙禁止地区との境に地元事業所などが独自に設置し、通行する喫煙者の利用に供している例も確認された。周辺での吸い殻の散乱防止を期待してのことと考えられる。

灰皿の設置と散乱抑制の相関は仮説であるが、ヒアリング調査・路上部分での実態調査などで検証することができれば、適切な場所に、適切に管理された灰皿を設置することもたばこの吸い殻の散乱抑制策として考えられる。

（注）本調査では、喫煙所の「利用者」を喫煙所で立ち止まってたばこを吸う利用者としているため、喫煙所の灰皿代わりの利用は利用者数に含まれていない。

## ４．吸い殻が投げ捨て捨てられやすい場所

たばこの吸い殻が捨てられやすい場所として、道路の両脇にある「集水枡のふた」の部分があげられる。集水枡は下水道に通じていることから、ポイ捨てをしているという罪悪感が低いのかもしれない。

なお、前回調査では、信号待ちや歩行中に路上部分や植栽部分にたばこの吸い殻をポイ捨てしやすいことが指摘されている。

ポイ捨ての防止のためには、喫煙マナーの一層の向上が必要である。「川口市路上喫煙の防止等に関する条例」に基づく、広報掲示、パトロール等は、たばこの吸い殻のポイ捨ての防止に一定の成果を上げていると考えられる。

「集水枡のふた」に捨てられた吸い殻

## ５．散乱状況は、清掃の頻度に影響される

駅周辺は、行政による清掃が頻繁に行われている。また、地元事業者や市民などが日常的に清掃活動をしている場所が多い。そのため、路上部分の散乱ごみは、すぐに清掃されることが多いと考えられ、観察できる散乱ごみの個数は、その地域で投げ捨てられるごみの個数と清掃活動の頻度に影響されていると考えられる。

地域で清掃活動をしている事業者・団体・市民との連携(道具・消耗品の提供、表彰など）の強化も重要と考えられる。